カラス　the GazettE　ナイトメア　彩冷える　アンティック-珈琲店-　ムック

平成9年12月5日第三郵便物認可平成22年3月1日発行第205号（毎月1回1日発行

SHOXX

蝴蝶网
hudie.com

3月号 Vol.205
2010 月刊 980YEN

カラス 20ページ特集
特別付録 特大ポスター

カラス

SPECIAL FRONT 20 PAGES EDITION

the GazettE　ナイトメア
彩冷える　アンティック-珈琲店-　ムック　Plastic Tree　LM.C
Kagrra,　Alice Nine　ヴィドール　12012　SuG

蝴蝶网
hudie.com

初回生産限定盤 A CD+DVD

CD：10曲（共通）＋ボーナストラック1曲！

DVD：豪華LIVE映像
① 2009/10/26 渋谷AX：全国ツアー「colorful rock party」のFINAL公演の模様を収録。
② ライブ当日の舞台裏に潜入。
「サヨナラ」初お披露目、緊張の舞台裏での表情など、ファンにとっては見逃せない内容！
（映像：約55分収録予定）

封入特典：彩冷えるminiパネル〈Type A〉

TKCA-73501 ¥3,500 (tax in)

初回生産限定盤 B CD+DVD

CD：10曲（共通）＋ボーナストラック1曲！

DVD：豪華LIVE映像
密着映像３本立て！
①「彩冷えるの台湾滞在記」2009年10月に行われた初の台湾公演にカメラが完全密着！
② レコーディングに完全密着 ③ ライブリハーサルに完全密着
（映像：約50分収録予定）

封入特典：彩冷えるminiパネル〈Type B〉

TKCA-73502 ¥3,500 (tax in)

通常盤 CD+写真集

CD：10曲（共通）＋ボーナストラック2曲！

写真集：そこまで見せる?!?!
豪華56Pスペシャル写真集

封入特典：彩冷えるminiパネル〈Type C〉

TKCA-73506 ¥2,800 (tax in)

※ボーナストラックの楽曲はそれぞれ異なります。

彩冷える Spring Tour
「彩 -irodori-」
LIVE SCHEDULE

2010年3月12日(金) 仙台darwin
18:30/19:00【問】ニュース・プロモーション 022-266-7555

2010年3月14日(日) 札幌PENNYLANE24
16:30/17:00【問】WESS 011-614-9999

2010年3月20日(土) なんばHatch
17:30/18:00【問】キョードーチケットセンター 06-7732-8888

2010年3月27日(土) 博多DRUM LOGOS
17:30/18:00【問】B.I.C 092-713-6085

2010年3月30日(火) 名古屋ダイアモンドホール
18:30/19:00【問】サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

2010年4月01日(木) ZEPP TOKYO
18:00/19:00【問】H.I.P 03-3475-9999

※チケット代金 前売¥4,200 / 当日¥4,700(税込)
※詳しくはオフィシャルホームページにて

AYABIE OFFICIAL FAN CLUB
DONUT SPIN
AYABIE OFFICIAL FANCLUB "DONUT SPIN"

INFORMATION「donut spin」
〒106-0031
東京都港区西麻布3-2-9 サンライズ六本木5-B
03-6805-7562

Ayabie Official Website
http://www.ayabie.net/

着うた®配信中！

彩冷える
ayabie
ロック・ポップ・テクノ・ジャズ・歌謡曲・バラード
溢れるほど彩り豊かな
彩冷える初のフルアルバム発売決定！
1st Album
「彩 -irodori-」
2010.1.27 release!
収録楽曲
「会いたくて」1st Single・メジャーデビュー曲
「夏物語」2nd Single・初のオリコントップ10！
「サヨナラ」3rd Single・超話題の新曲
「カナリア」映画『第二写真部』主題歌
「action」映画『ゲーム☆アクション』主題歌
他多数、新曲収録！
TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

DEBUT ALBUM [ジュビリー] "JUBILEE" 2010.1.20 BORN

-METHOD OF INHERITANCE-

Ⅰ. God Palace -Method of Inheritance-
Ⅱ. Ascendead Master
Ⅲ. Rosen Schwert
Ⅳ. 愛と哀しみのノクターン
Ⅴ. Amorphous
Ⅵ. Reminiscence
Ⅶ. Catharsis
Ⅷ. The Umbrella of Glass
Ⅸ. 月下香
Ⅹ. PRINCESS -Revival of church-
Ⅺ. Serenade
Ⅻ. Sound in Gate

■初回限定盤

(WPZL-30169/70):CD+DVD ¥3,500(TAX IN)
★DVD付き(約23分)
<「ASCENDEAD MASTER」「Serenade」PV2曲+Specialメイキング収録>
★豪華パッケージ仕様【豪華32ページブックレット&ライナーノーツ封入】
ライナーノーツ解説:土屋京輔氏(音楽ライター)、荒澤純子氏(SHOXX編集部)

■通常盤

(WPCL-10755):CD only ¥3,150(TAX IN)
★初回出荷分には「APOSTLE CARD」(トレーディングカード)封入

全12曲収録
*収録楽曲は初回盤・通常盤共通

VERSAILLES OFFICIAL WORLD FAN CLUB "DESCENDANT OF THE ROSE"
世界中の薔薇の末裔達へ・・・待望のワールド・ファンクラブがいよいよスタート!! 下記HPにて入会受付中
http://versailles-wfc.com

モバイルファンサイト "NOBLE"
チケット優先予約・FC限定イベント・着ムービーやコメントなど特典アリ！　Versailles情報を随時更新予定です。

WARNER MUSIC JAPAN

Versailles

VERSAILLES WORLD TOUR 2010
"METHOD OF INHERITANCE"-APOSTLES-

2月18日(日)横浜SUNPHONIX HALL
OPEN 17:00 / START 18:00
HOT STUFF PROMOTION : 03-5720-9999

3月05日(金) 名古屋ボトムライン
OPEN 18:30 / START 19:00
サンデーフォークプロモーション : 052-320-9100

3月07日(日) 岡山IMAGE
OPEN 18:00 / START 18:30
夢番地 岡山 : 086-231-3531

3月09日(火) 神戸VARIT.
OPEN 18:30 / START 19:00
サウンドクリエイター : 06-6357-4400

3月11日(木) 松山サロンキティ
OPEN 18:30 / START 19:00
デューク松山 : 089-947-3535

3月13日(土) 福岡DRUM Be-1
OPEN 18:30 / START 19:00
B.I.C. : 092-713-6085

3月14日(日) 鹿児島SR HALL
OPEN 18:30 / START 19:00
B.I.C.:092-713-6085

3月16日(火) 京都MUSE
OPEN 18:30 / START 19:00
サウンドクリエイター : 06-6357-4400

3月21日(日) 新潟RIVERST
OPEN 18:30 / START 19:00
キョードー北陸チケットセンター : 025-245-5100

3月22日(月) 金沢Van Van V4
OPEN 18:30 / START 19:00
キョードー北陸チケットセンター : 025-245-5100

4月02日(金) 仙台DARWIN
OPEN 18:30 / START 19:00
ニュース・プロモーション : 022-266-7555

4月04日(日) 札幌Kraps Hall
OPEN 18:00 / START 18:30
WESS : 011-614-9999

チケットは1月16日(土)より各プレイガイドにて発売中!

前売り ¥4,500　※ご入場の際に別途ドリンク代¥500が必要となります

VERSAILLES WORLD TOUR 2010
"METHOD OF INHERITANCE"-JUBILEE-

4月18日(日) 大阪御堂会館
OPEN 18:30 / START 19:00 / サウンドクリエイター : 06-6357-4400

4月30日(金) 東京JCBホール
OPEN 18:00 / START 19:00 / HOT STUFF PROMOTION : 03-5720-9999

チケットは2月27日(土)より各プレイガイドにて発売開始

前売/全席指定 ¥4,500　※一部チケット発売日に誤りがありました。正しい発売日は上記となります。

OTHER LIVE EVENT

3月19日(金)東京JCBホール 鹿鳴館伝説 ~LEGEND OF ROCK MAY KA ~
OPEN 17:30 / START 18:30 / チケット料金　立見¥6,000(税込、ドリンク代別) / チケット一般発売日　2010年2月1

総合インフォメーションDelacroix　contact@delacroix-tokyo.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ネオヴィジュアル系の精鋭、ここに集結。「カラス」、CDリリース遂に決定！
Vocal: 達瑯(ムック)、Guitar: ヒロト(Alice Nine) & 美月(Sadie)、Bass: dunch(jealkb)、Drums: ケンゾ(彩冷える)
カラス『LASTICA』
new single 2010.1.27 in stores
完全生産限定盤: CD+DVD / 携帯デコレーションセット(携帯デコシール+待ち受け画像プレゼント企画)付き
【CD】1.LASTICA 【DVD】1.LASTICA VIDEO CLIP 2.LASTICA LIVE in "JACK IN THE BOX 2009 SUMMER" 3.MAKING OF LASTICA VIDEO CLIP
DCCL-18〜19 / ¥1,890(tax incl.)
http://www.myspace.com/karasuofficial
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

avex trax
メガマソ
2nd Single
MEMORIES
蝴蝶网
hudie.com
2010.1.27 Release
全形態共通 初回限定トレカコレクション！ 全4種類のトレカのうち1枚を封入！
初回限定封入特典
1.豪華特典応募券 2.全国ツアー優先予約応募用紙
特典内容 ①全3形態ご購入の方全員にスペシャルフォトブックレットプレゼント
②1形態のみご購入の方には抽選で豪華特典プレゼント
特賞：メガマソ衣装入りオリジナルラミネートパス（各メンバー10名ずつ）
※なんと、9/10@赤坂BLITZでメンバーが着ていた衣装の一部が入っているオリジナルラミネートパスをプレゼント！
MEMORIES
初回盤A(CD+DVD) AVCD-31787/B
¥1,890(tax in)
【CD】 1.MEMORIES
2.sweet change
3.MEMORIES(Instrumental)
【DVD】 「MEMORIES」
(Video Clip+Making)
MEMORIES
初回盤B(CD+DVD) AVCD-31788/B
¥1,680(tax in)
【CD】 1.MEMORIES
2.sweet change
3.MEMORIES(Instrumental)
【DVD】 "赤坂秘儀～SWEET CORONATION～"
(2009.9.10@赤坂BLITZ)から
1.ザワールドイズマイン
2.chimes
MEMORIES
通常盤(CD) AVCD-31789
¥1,050(tax in)
【CD】 1.MEMORIES
2.sweet change
3.クンクタトル乱舞
4.MEMORIES
(Instrumental)
無料メルマガ配信中
メンバーからのメールが届いたり！
ライブの先行チケット予約が出来たり！
登録者にはイチ早く情報をお届けします！
2010 メガマソ Spring Tour 『M of Beauty』
3月19日(金) 仙台 MACANA (開場18:30/開演19:00)
3月22日(月·祝) 岡山 IMAGE (開場16:30/開演17:00)
3月25日(木) 札幌 cube garden (開場18:00/開演18:30)
3月28日(日) 神戸 KOBE VARIT (開場17:00/開演17:30)
3月31日(水) 大阪 OSAKA MUSE (開場18:00/開演18
4月1日(木) 名古屋 E.L.L (開場18:00/開演19:00
4月4日(日) 福岡 DRUM Be-1 (開場17:30/開演18:
Tour Final 『M of Beauty, M of AX』 4月6日(火) 東京 SHIBUYA-AX (開場18:00/開演19:00)
料金（全公演共通）：スタンディング¥3,800
※当日入場時別途1ドリンク代が必要となります。
※開場開演時間はオフィシャルホームページで事前に告知の上、変更になる場合がございます。
インストアイベント情報
1/27(水)@ライカエジソンドットコム
1/30(土)都内インストアサーキット(※対象店舗は、ブランドエックス・ライカエジソン東京店・自主盤倶楽部・ZEALLINK渋谷店の4店舗になります)
1/31(日)@タワーレコード新宿店
2/6(土) @名古屋·名豊ミュージック豊橋本店、ライカエジソン名古屋
2/7(日) @大阪·ライカエジソン大阪店
内容などの詳細はOFFICIAL WEB SITEをチェック！
OFFICIAL WEB SITE www.megamasso.jp (PC/mobi

アンド
ECCENTRIC AGENT

ve Schedule

23日（土） 柏 PALOOZA
26日（火） - 渋谷AA 任務 !!- 渋谷O-WEST&渋谷BOXX
30日（金） 横浜 SANFONIX HALL
15日（月） 名古屋 E.L.L
20日（土） 渋谷 WOMB
25日（木） 渋谷 O-EAST
14日（日） 横浜 SANFONIX HALL
20日（土） 高崎 FLEEZ
21日（日） 柏 PALOOZA
22日（月） さいたま新都心 HEAVEN'S ROCK VJ-3
2日（金） 宇都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2
4日（日） 水戸 LIGHT HOUSE
8日（木） 名古屋 E.L.L
9日（金） 大阪 BIG CAT
13日（火） 博多 Be-1
15日（木） 金沢 Az
16日（金） 長野 JUNKBOX
17日（土） 新潟 JUNKBOX
19日（月） 郡山 #9
20日（火） 仙台 darwin
22日（木） 札幌 KRAPS HALL
27日（火） 渋谷 O-EAST

store Event
ssson 02 -インストアイベント決定!!-

13日（土） 池袋 ブランドX
27日（土） 新宿 自主盤倶楽部
3日（土） 新宿 ZEAL LINK
7日（水） 名古屋 HMV 栄
10日（土） 大阪 I.D.PILOT DEADONE
12日（月） 博多 SKULL ROSE
18日（日） 郡山 三野屋
24日（土） HMV 仙台一番町店
29日（木） 渋谷 ZEAL LINK

アンド・平成22年7大任務発令!!

Mission 01》「任務報告録」DVD発売決定!!
(平成22年1月3日渋谷CLUB QUATTORO単独公演任務+名古屋、大阪単独公演任務オフショット収録)
平成22年1月31日（日）23:59 までにご予約頂きましたお客様へ初回予約特典「直筆サイン入り本体未収録裏DVD」をプレゼント!!
※詳しくはECCENTRIC AGENT本部をご覧ください

Mission 02》3月10日(水) NEW SINGLE「煉獄」発売決定!!
A-Type【CD+DVD（PV）】¥1,890-（tax in）/ B-Type【CD+DVD（LIVE＋α）】¥1,890-（tax in）
※平成22年7大任務《Mission 03》指令書封入※ (CDに関するお問い合わせは ONG DISTRIBUTION 03-5784-9662)

Mission 03》3月28日(日) 都内某所限定 AGENT VIP ROOM 2010'「強化任務」
※詳しくは《Mission 02》封入指令書をご覧ください

Mission 04》5月NEW SINGLE発売決定!!

Mission 05》初・5大都市単独公演巡業任務決定!!
【一般発売】3月6日（土）より開始!!
※詳しくはECCENTRIC AGENT本部をご覧ください
6.13（日）原宿アストロホール | 6.16（水）仙台MACANA | 6.23（水）名古屋ell FITS ALL | 6.25（金）心斎橋ルイード | 6.27（日）博多Drum SON

Mission 06》《Mission 07》×××××秘×××××

ンドOFFICIAL MY SPACE 1/21 OPEN! [http://www.myspace.com/andweb]「煉獄」試聴&コメント映像ON AIR START!

<TOTAL INFORMATION>
ECCENTRIC AGENT 本部
http://and-eccentricagent.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

摩天楼オペラ

全国ワンマンツアー Emergence from COCOON追加公演決定

2010.02.24(Wed) 目黒鹿鳴館

OPEN 18:00 / START 18:30 (問)鹿鳴館 03-3494-1801

チケット全公演共通 ¥3,500 一般発売 1/30一斉開始

2.27 (Sat) 浦和 Narciss
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)ナルシス 048-824-877

3.5 (Fri) 福岡 DRUM SON
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)B.I.C 092-713-6085

3.13 (Sat) 甲府 KAZOO HALL
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)KAZOO HALL 055-243-7069

3.17 (水) 大阪 OSAKA MUSE
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)MUSE 06-6245-5389

3.19 (Fri) 愛媛 LIVE HOUSE SALON KITTY
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)SALON KITTY 089-945-0020

3.20 (Sat) 岡山 IMAGE
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)セカンドシーン 082-212-0810

3.26 (Fri) 新潟 CLUB JUNK BOX mini
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)JUNK BOX mini 025-226-7200

3.27(Sat) 石川 金沢AZ
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)AZ 076-264-2008

4.3 (Sat) 名古屋 ell.FITS ALL
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)サンデーフォーク 052-320-9100

4.4(Sun) 静岡 Sunash
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)Sunash 054-288-0880

4.8 (Thu) 札幌 KRAPS HALL
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)GURUGURU 011-251-4480

4.10 (Sat) 仙台 MACANA
OPEN 17:00 / START 17:30 (問)MACANA 022-262-5454

4.11 (Sun) 盛岡 Club Change
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)Club Change 019-652-7182

4.16 (Fri) 群馬 高崎club FLEEZ
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)club FLEEZ 027-345-7571

4.17 (Sat) 神奈川 横浜SUNPHONIX HALL
OPEN 18:00 / START 18:30 (問)SUNPHONIX HALL 045-474-2020

－Emergence from COCOON－会場限定シングル

R

SASCD-056 ¥500 1曲収録
2010.02.24 発売 ※ワンマンツアー会場のみの販売となります

2010.05.06(Thu) 渋谷C.C.Lemon HALL「Birth of GENESIS」

OPEN 17:30 / START 18:00 チケット 前売 ¥4,000 **プレイガイド先行開始!!**

ローソンチケット プレリクエスト先行(抽選)
受付日時:2/1(Mon) 18:00～2/14(Sun) 23:00
受付方法:WEB・MOBILE
当落確認/発券:2/17(Wed) 15:00～

チケットぴあ @電子チケットぴあ「プレリザーブ」
一次受付:2/4(Thu)11:00～2/10(Wed)11:00
二次受付:2/18(Thu)11:00～2/24(Wed)11:00

e+プレオーダー受付
2/3(Wed)12:00～2/11(Thu)18:00

6th MAXI SINGLE **Murder Scope**

NOW ON SALE

初回限定盤
SASCD-054 ¥1,575(tax in)

通常盤
SASCD-055 ¥1,260(tax in)

Sherow Artist Society

Sherow Artist Society E-mail : mail@matenrou-opera.info Official Web Site : http://www.artist-society.com/

ローディー募集
Sherow Artist Societyでは所属バンドのローディーを全国より募集しております。

ファンレター等の宛先
〒150-0031東京都渋谷区桜丘町14-6 黒松ビル301 Delacroix内Sherow Artis

SHOXX 創刊20周年記念

SHOCK WAVE 2010

ear

想なるヴィジュアルハードショッカーを

するアナタ。

年明けましておめでとうございます。
OXXが生まれて今年で20年。
の度、ささやかながら誕生会を開催します。
友達、恋人も同伴で是非お越しください。
Bホールでみなさんにお会いするのを
しみにしております。

SHOXX 編集部一同

SHOXX START 20th Anniversary CONGRATULATIONS!

出演（アルファベット順）

SCREW（オープニングアクト）
Alice Nine
LM.C
ムック
Plastic Tree

期日：2010年4月29日（祝）
時間：OPEN 16:00/START 17:00
場所：JCBホール
料金：前売料金：アリーナスタンディング 5,500円（税込）/
バルコニー指定 5,500円（税込）
※ドリンク代別途500円入場時に必要になります。

4月29日
CBホールにて賑々しく開催!!

月2日より
SHOXX読者優先予約受付開始!!
受付期間：1/21(木)15:00～1/31(日)23:00
受付URL(パソコン/携帯)：http://l-tike.com/shoxx/

当落確認/引換期間：2/3(水)15:00～2/7(日)23:00
受付席種：アリーナスタンディング/バルコニー指定
枚数制限：お一人様4枚まで
SHOXX先行予約の受付は携帯電話及びインターネットのみになります。
※チケット先行予約に関するお問合せ
ローソンチケットインフォメーション
0570-000-777(一部携帯電話・IP電話・全社PHS・CATV接続電話使用不可)

主催：CLUB CITTA'
企画：(株)音楽専科社
制作：CITTA' WORKS
総合問合わせ：クラブチッタ(044-246-8888)
オフィシャルHP：http://www.ongakusenkasha.co.jp/

蝴蝶圀
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

CONTENTS

080 D ディー
081 D'espairsRay ディスパーズレイ
082 Phantasmagoria ファンタスマゴリア
084 揺紗(THE KIDDIE) ユサ(キディー)
088 ViViD ヴィヴィット
098 heidi. ハイジ
100 Kra ケラ
104 ドレミ團 ドレミダン
105 -OZ- オズ
106 jealkb ジュアルケービー
154 Mix Speaker's, Inc. ミックス・スピーカーズ・インク
156 メガマソ
158 BugLug バグラグ
160 トゥーン工場 トゥーンファクトリー
108 DaizyStripper ディジーストリッパー
109 Aoi アオイ
110 -ZEROdb ゼロデシベル
112 DOG inTheパラレルワールドオーケストラ ドッグインザパラレルワールドオーケストラ
114 アンド
116 MIX LEMONed JELLY ミックス レモネード ジェリー
118 SHOCK WAVEアポロ

126 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
ヒトツメ
ネガ
VANESSA ヴァネッサ
R指定 アールシテイ
α:Vout アヴァウト
×TRiP× トリップ
ダウナー
130 エクスペクトラッシュ
Chaos System カオス・システム
オトガデッド
己龍 キリュウ

140 ぽっくんの主張
141 アーティストBOX
148 Mission in ぽっくん
150 プレコン WORLD
127 ぽっくんの早耳情報
152 SHOXX@WORLD
152 大島暁美のロックン-ロール日記

>> マークの説明 <<

ムービー / 着メロ / 着うた / 着ボイス / 待ち受け / 写真フレーム / 試聴 / 携帯連載

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか？」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽／映画／芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか？」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか？」

Editorial in chief／Kuniaki "B" Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director／T.O.MAMMOTH graphics
Design Stuff／Yoichirou Fujii,
Maki(mam) Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi,
Iori Hayakawa(Bakery37.1),
Nakane(amulet label), Yukako Takayama,
Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics,
Kyoko Yasunaga(ZOISite)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.206は2010年2月20日(土)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座 アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版・印刷／株式会社プロ[illegible]凸版印刷株式会社
発行日／2010年3月1日
特別定価／980円本体933円

蝴蝶网 hudie.com

SHOXX

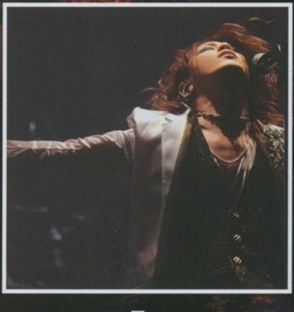
2010
3月号
Mar Vol.205

Cover Model:カラス
Photo:Yosuke Komatsu(ODD JOB)
Design:T.O.MAMMOTH graphics

016 カラス
Part 1:超端麗[illegible]ラボフォトセッション。
Part 2:カラス最新インタビュー
Part 3:バンド内対談5連発!!

036 the GazettE
ガゼット
イヴの夜のプレミアムな時と場所。

040 YOMI(ナイトメア)
ヨミ
2つの顔



046 The LEGENDARY SIX NINE
レジェンダリー・シックスナイン
RUKA・ソロプロジェクト始動!!

049 彩冷える
アヤビエ
NEW ALBUM『彩-irodori-』に込められた想い

052 アンティック-珈琲店-
アンティックカフェ
絆～約束を胸に～
1月4日 日本武道館公演速報レポート!!

056 ミヤ(ムック)
2010年は、ムックをもっとムックに

060 Plastic Tree
プラスティック トゥリー
年末恒例、渋谷の夜!

062 LM.C
エル・エム・シー
NAGOYA de HOLY☆NIGHT

064 Kagrra,
カグラ

066 Alice Nine
アリスナイン

068 ヴィドール

070 12012
イチニーゼロイチニ

072 ギルガメッシュ

074 SuG
サグ

077 Versailles
ヴェルサイユ

蝴蝶网
hudie.com

群れなす翼の着地地点は何処！？
シーン激震。衝撃のファーストタイム！！

蝴蝶网
hudie.com

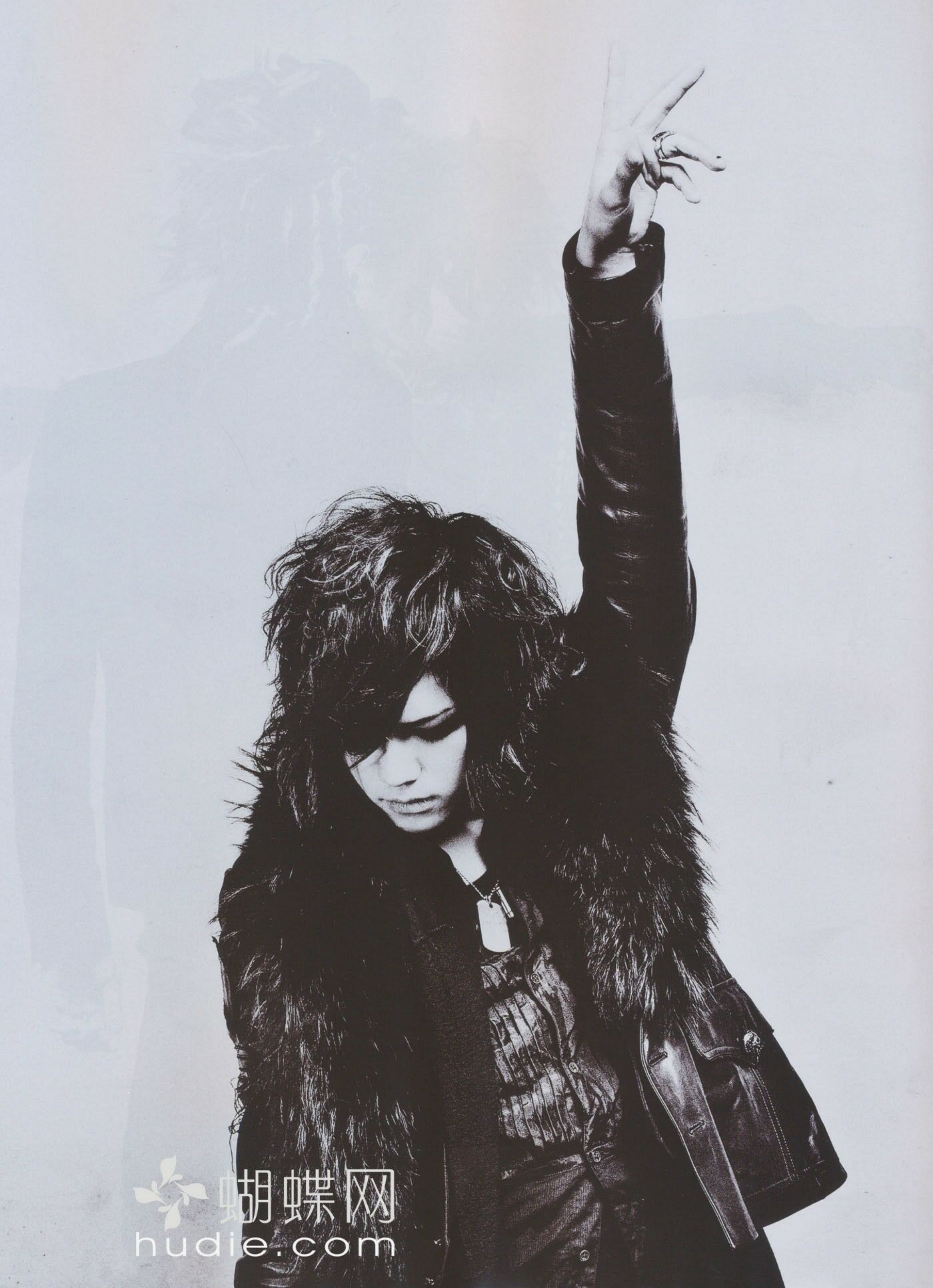
Photgraphy : YOSUKE KOMATSU (ODD JOB)
Art Direction & Design : T.O.MAMMOTH graphics
Hair Make-up : DISUKE TANAKA (JET SPEEDeR) FUMIE NOZAWA

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com


蝴蝶网
hudie.com

カラス

異端分子の化学反応「LASTICA」を語る。

『JACK IN THE BOX 2009 SUMMER』（ラルク アン シエルやムック、シドなどが所属するMAVERICK DCグループ主催のイベントライヴ）のステージでベールを脱いだカラス。そんなカラスの正体は、Vo・達瑯（ムック）、G・ヒロト（Alice Nine）&美月（Sadie）、B・dunch（jealkb）、Dr・ケンゾ（彩冷える）で構成されたスーパーユニットバンドである。
今回は、1月27日にリリースされる音源「LASTICA」の集合インタビューと、対談インタビューの2本立てでお送りします。

Interview:NAOKO TAKEICHI

──そもそも、カラスの結成の経緯は何だったの？『JACK IN THE BOX 2009 SUMMER』でベールを脱いだというところからも、ボスは達瑯くんだよね？

達瑯：うん。『JACK IN THE BOX 2009 SUMMER』っていう、ウチの事務所のイベントライヴでもあるんですけど、毎年年末にやってるイベントライヴなんですよ。だけど、２００９年は夏にもやろうってことになって、そこでの目玉として、ちゃんとオリジナル曲作って、音源リリース出来るくらいのセッションバンドをやろうってことになったのが始まり。

──そこからメンバー集めを？

達瑯：そう。やっぱセッションだからね、楽しくやりたいなと思って。基本、知り合いとか友達から声かけてメンバー集めしてった感じで。んで、まず最初に、ヒロト、ケンゾに声かけて。

ヒロト：電話もらって。今回よりも前に、1回、セッションを一緒にやりたいねって声かけてもらったことがあったんですけど、そのときはタイミングが合わなくて。でも、今回はタイミングがあったので、ぜひ！ってことで。達瑯さんは、僕がこのシーンでバンドを始める前からこの世界でやってきてた大先輩だし、ムックってすごいカッコイイバンドだと思ってたから、一緒に出来たら絶対面白いこと出来るっていう確信があったんで、ぜひ！って感じでしたね。

──最初からオリジナル曲やるって聞かさせたの？

ヒロト：いや（笑）。2回目の打ち合わせくらいのときに、サラッと。

達瑯：そうそう（笑）。最初から〝オリジナル曲やるよ！〟って言ったら重いかなと思って（笑）。ジャブな感じで、最初は、コピーバンドだよ～と見せつつ、オリジナル曲もやっちゃう？　的な感じでもってこっかなと。ぬるっと話持ってった感じ（笑）。

──ジャブだねぇ（笑）。ケンゾは即答？

ケンゾ：うん。もう、達瑯さんから電話かかってきたその時に、〝やります！〟って（笑）。

──dunchは？

dunch：僕はですね、ある日、知らないメールアドレスから着信がありまして。そこに、【お話があります。ここに電話下さい。達瑯】って書いてあったんですよ。絵文字もナシだったし、本当に本人かどうかも分からなかったんで、半信半疑で電話してみたんです。そしたら、このお話だったという。俺、そのとき、本業のお笑いのステージの本番前で、ルミネの舞台袖で、ハゲ鬘かぶってて。もぉね、その状態で、心臓バックバクですよ。マジで、吐きそうになるくらい、その電話だけで緊張しちゃって。そんな名誉なことはないって話なんで。つか、正直、荷が重いとも思ったんで、スケジュール合わなきゃいいなぁと思って、マネージャーに予定を聞いたら、〝いや。全然空いてますんで、大丈夫ですよ〟ってサラッと言われて……どうしよう……って（笑）。

──美月くんは？

美月：僕だけちょっと違うんですよ。僕は大阪に住んでいるんですけど、事務所の社長から電話もらって、この話をもらったんです。〝美月、決まったから〟って（笑）。他のメンバーさんは、もう全員決まってて。もう1人ギターが欲しいってことになって、僕の名前が上がったということで、お話頂いたんです。

達瑯：俺、美月くんとだけ面識なかったんですよ。でも、ツインギターにしたくて、誰か居ないかな？って、スタッフに相談したら、〝Sadieはどう？〟って、美月くんの名前が上がって。Sadieの音は聴いたことあったから、音的にはまったく問題なかったんだけど、大阪に住んでるって聞いたし、リハとかいろいろとあるし、大丈夫かな？って。でも、『JACK IN THE BOX 2009 SUMMER』を見に来るって言ってるって話を別から聞いて、見に来るんだったら出ちゃえばいいじゃん！ってことになって（笑）。

美月：ちょうどその辺り、ツアーで関東に居る期間だったんで（笑）。ぜひ、やらせて下さい！　お願いします！　みたいな（笑）。

──ジャブだなぁ（笑）。でも、十分な時間があった訳じゃなかったんでしょ？

ヒロト：うん。本番4日前のリハんときが、初の顔合わせでもあって。

達瑯：オリジナルのデモをみんなに渡したのが、1週間前くらいだったんじゃなかったっけ？　曲作り自体も、本番の10日前くらいだったからね。〝みんなぁ～3、4日で覚えて来てね！〟って感じだったんすよ。

──タイトなスケジュールだったとは聞いてたけど、そこまでだったとはね。「LASTICA」は、作詞作曲共に達瑯だけど、編曲にDER-ZIBETの吉田光さんが参加してるでしょ？

達瑯：そう。インダストリアルな楽曲にしたかったんで、光さんが得意なシーンでもあるから、一緒にやりたいなと。それでお願いしたんです。とにかく、覚えやすくて、ノレる曲。それが第一条件だったんですよ、今回。〝いい曲〟っていうより、〝ノレる曲〟。無条件で拳が上がる曲、体がリズムを感じられる曲。そういう曲が作りたかったんですよね。

──でも、自ら行ったね、ファルセット。

達瑯：あははは。最近、ムックの曲にはファルセット多くて苦労してるのにね（笑）。自ら行ったね、ファルセット（笑）。ここは行きたかったんだよね。

──なるほどね。それぞれのパートは、そのデモを元に煮詰めていったの？

ケンゾ：うん。ドラムに関しては、最初16でハイハットが入ってたんで、これだとノリを出すのが難しいなと思ったんで、シャッフルビートにして、ハットは同期で鳴らした方がいいんじゃないかなっていう意見を出してみたり。

達瑯：うん。みんなで合わせるときまでに、それぞれそういう細かい部分を微調整しあって、持ち寄ったんですよ。

──それぞれ自分のバンドとは違うカラーの曲調でもあるし、このメンバー、この楽曲だからこそ出せる色というものを感じたんだよね。ケンゾのドラムも、彩冷えるのときとは違って、大きくてどっしりとしたドラムフレーズだったし。

ケンゾ：うん。俺はもともとメタルが好きだったりするから、個人的には、こういう曲調の、こういう大きく構えた派手なドラミングが好きだし、得意だったりするんだよね。なんか、自分が好きな曲と自分が作る曲ってちょっと違って。すごい刺激になったな。こういうゆったりとしたドラミングって、すごい好きだし、肌に合ったんですよね。

dunch：こういうシャッフル系の曲は、jealkbでもやったことなかっ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

たし、すごく新鮮でしたね。最初にデモ聴いたとき、相当ヤバイなって思いましたからね。ヤバい。カッコ良過ぎる！って。でも、同時に、この曲を自分が弾きこなせるのか？　って不安で不安で。4日前までまったく弾けなくて。

達瑯：とか言いつつ、頑張って弾いてくれましたからね、dunchさんは。本番には完璧な状態で仕上げてきましたからね、自分のパートのフレーズ。さすがでしたよ。

dunch：いや。もぉ、達瑯さん、今、こうやって言ってくれてますけど、本番当日、"dunchさん。今日のライヴ、dunchさんにかかってますからね"って、超プレッシャーかけてきたんですよ！　もぉね、心臓バックバクでしたからね。

達瑯：ま。ビビらしたかっただけだったっていう（笑）。

——そうそう（笑）。実は、あのイベントライヴの時、先輩のDEAD ENDと清春さんのカヴァーをやったこともあって、歌詞間違えられないっていうんで、足元にカンペを置いてあった達瑯くんは、花道はおろか、自分の立ち位置から一歩も動けなかったという裏話があるんだよね（笑）。

dunch：え!?　マジ!?　そうだったの？

達瑯：そうそう（笑）。dunchさん以外のメンバーにはちゃんとそのことは伝えてあって、"そういうことだから、花道とか絡みとか、よろしく頼むね！"って言ってあったんですよ。でも、きっとdunchさんはそれどころじゃなく、自分のことでいっぱいいっぱいだろうなと思ったんで、ちょっと別なことでビビらしといたんですよ（笑）。

dunch：ひっでぇな（笑）。つか、俺、それ、今のいままで知らなかったし（笑）。身内ビビらしてどうすんだよ！

一同：（大爆笑）

——ホントにね（笑）。

達瑯：あははは。でも、本番は俺もマジでいっぱいいっぱいだったからね、ヒロトがせっかく俺んとこに絡みにきてたのに、まったく気づいてなくて、途中で気づいて、おっ！　ヒロト！　オマエ、いつからそこに居たんだ!?"って思ったくらいだったからね（笑）。

ヒロト：気づいてくれないなぁ〜、達瑯さん……って思いながらずっと横で絡んでましたよ（笑）。

美月：あははは。俺も（笑）。でも、客席はやっぱりすごい盛り上がりでしたよね。「LASTICA」は本当に、あの日初披露だったけど、みんな一瞬で覚えて一緒に踊ってくれてて。僕も自分のバンドにもシャッフル曲は1曲だけあるにはあるんですが、あんまり馴染みのない感じの曲調だったりするんで、体に染込んでなくて。最初デモ聴いたときは、"シャッフルっすかぁ!?"って思ったんですけど、逆に、馴染みのない曲だったからこそ、すごく楽しく出来たと思うんですよね。

——そうだね。ヒロトと美月くんとは、また全然違うタイプのギタリストだしね。でも、すごく面白い化学変化が生まれてたと思う。どっちが、どこをどう弾くっていうのは、どうやって決めたの？

ヒロト：美月くんと、ちゃんと会って話したのは、最初のリハの時だったんで、美月くんがどういうギタープレイをするのかとか、どういう癖があるとかもまったく知らなかったんですよ。

美月：ですよね。本当にちゃんとお会いしたことなかったんで。

——そうだったんだ！

ヒロト：そうそう。だから、You TubeでSadieの映像を片っ端から見て、美月くんのギタープレイを予習して、当日合わせようと思って、自分なりに考えたフレーズを持ってったんです。一番に考えたのは、達瑯さんと同じく、楽しめるってことと、カッコイイことしたいってことでしたね。で、実際会って、ツインだからこその魅力でもあるユニゾンとかキメポイントだけを煮詰めていきましたね。

達瑯：俺はね、オケ録りん時、日本に居なかったのね。ちょうどその時、海外に行ってて。だから、楽器隊がいろいろとフレーズを加えてくれていたことに感動した。イントロのギターとかもデモんときとは変わっててね。

——ちょっとサイバーなイメージのところ、あそこカッコイイよね。

「LASTICA」の意味を聞きたいの？　あのね意味はないよ（笑）

達瑯：そうそう。そこからメインのリフに行くでしょ。そこ好きでね。

——はいはい。あそこカッコイイよね。サイバーな感じから、細かいギターフレーズに繋がれるのかと思いきや、大きなスケールで攻めてくる。あそこ、たしかにカッコイイ。

ヒロト：レコーディングするとなったら、またライヴとは違って、いろいろと、こだわりたいところが出て来て。ライヴで1回やってるからこそ、そこで、"あ、ここ、こうしたらもっとカッコ良くなるんじゃないかな"ってとこもあったりして。本気の遊びをしたかったんですよね。自分のギタリストとしての個性も音源ではしっかりと残したかったし、この面子だからこそ出せる色とか個性を、ちゃんと残したかったんですよ。しっかりと、プレイヤーとして残したかったんですよね、この曲を。で、レコーディングするとなったとき、めちゃめちゃ拘って、あーでもない、こうでもないって、右往左往させてしまったというか。美月くん、ごめんなさい（笑）。

美月：あははは。いえいえ。大丈夫大丈夫。でも、本当にヒロトくんはすごく考えて音作りしてましたね。2転3転してましたね（笑）。前日に"やっぱ、あそこ、こうしませんか？"って電話かかってきたりとかもしましたからね（笑）。ホント、熱い男っぷりを見せてくれてましたね。俺はそれが楽しかったんですよ。俺、自身のバンドでも、比較的、乗っかる方なんで（笑）。

——あははは。でも、乗っかるタイプもバンドには必要だと思うよ。

達瑯：うん。だよね。分かる分かる。俺も美月タイプだと思うもん。嫌なモノは嫌なんだけど、そんなに嫌なモノがないんだよね。なんでも、"こんなのどう？"って言ってくれたモノに対しては、一度はちゃんと乗っかってみる。そこで絶対発見があるしね。つか、その乗っかるタイプの俺が、カラスではリーダー役として、みんなをまとめる役だったんだから、大変じゃなかった訳がないっていうね（笑）。まとめ役なんて、普段やんねぇからさ。みんな楽しんでやってくれてっかな？　とか、そっちばっか気になってさ（笑）。

美月：いやぁ、めっちゃ楽しかったですよ。

dunch：いや、ホント、俺なんか、いつもリハ、ちょい遅れて入ることが多かったんで、その度にフレーズが変わってて、"あれ？　これ、違う曲やってんの？"って、毎回焦ってましたからね（笑）。

達瑯：あははは。なんか目に浮かぶね（笑）。あれ？　知らないうちに、もう1曲出来ちゃったの？　みたいな（笑）。

dunch：そうですよ！　で、こっそり、美月くんに"あの……これ、「LASTICA」だよ……ね？"って聞いたりしてましたもん。ねぇ。

美月：あははは。うん。聞かれた聞かれた（笑）。

——あははは。レコーディングは、リズム隊から？

ケンゾ：ううん。まず達瑯さん以外の楽器隊全員で合わせて、そっから微調整してったって感じ。ライヴ感出したかったからね。

——なるほどね。個人的に、アウトロの重めのドラムも好きだった。シンセドラムも入れてる？

ケンゾ：レコーディングの時に、生音で録って、それを加工したの。

——間奏のギターソロも最高にカッコ良かったし、ラストの弦をピックでこするノイズもかなりカッコイイ。

美月：ですよね、そこはヒロトさんのこだわりの部分でもありましたからね。

ヒロト：ギターソロはホントハマりまくりで。普段自分が弾かないようなフレーズで弾こうっていろいろと考えたらハマっちゃったんですよね。でも、結果、満足いくモノになったと思います。

——「LASTICA」って何？

達瑯：曲のタイトル。

——あ。いや、そのタイトルの意味をね。

達瑯：聞きたいの？　あのね、意味はない（笑）。ダンスっぽい曲だし、サビのメロも、みんなで一緒に叫べるような、かけ声にしたかったのね。そんで、なんか響きのいい言葉ないかなぁと思って探してて、メロにいろいろと当て嵌めてみてたの。そんときに、ふと、ラスティカって響きいいなぁと思って、仮歌をそれで歌ってたのね。そんで、なんか意味あんのかな？　と思って辞書とか調べてみたんだけど、やっぱ意味なかったんだよね（笑）。ラスティカって、ロマンシアとか、ユートピアとかみたいな、世界ぽくっていいなって思ったんだよね。終わりに向かってく世界みたいな感じでね。そんなとこから、歌詞も広げてったの。

——ムックも、4つ打ちのダンスチューンをやりだすようになってから、いままで以上に言葉遊びというか、メロと言葉のハマり具合に拘るようになったんじゃない？

達瑯：うん。そうだね。昔は日本語に拘ってたとこがあったりもしたんだけど、最近はカタカナ語もいいなっていうか、そこまでガッチガチになんなくってもいいなっていうか、ちょっとラフにメロに言葉を嵌めることを覚えたっていうかね。それに、LASTICAって言葉はムックでは使わない言葉かなって思ったこともあって、おもいっきり振り切った歌詞が書けたような気もしてて。

——なるほどね。サビも印象的だよね。Bメロすぐ後のサビと、LASTICAって言葉が頭に来るサビと、2つある構成になってたりしない？

達瑯：あぁ、うんうん。そこはね、後から付け足したの。最初、Bメロから、LASTICAって言葉が頭に来るサビに飛んでたんだけど、なんかもうちょっと欲しくて、語尾にファルセットが来るサビを、そのサビ前に持って来て、LASTICAって言葉が頭に来るサビを、大サビみたいな位置に持ってきたって感じ。

——なるほど。すごくいいよね。ところで。今後のカラスの展開は？

達瑯：本気で遊べてる場所になりつつあるので、そうあり続けれたらいいなとは思ってるかな。今後ずっとやり続けます！　とも、やらないとも言い切れないんだよね、ぶっちゃけ、それぞれバンドあるし。でも、正直、やりたい（笑）。始まり自体が、無茶苦茶なとこから始まってるバンドだから、とことん自由に、めちゃくちゃになり続けていけたらいいなって思ってますね、今は。

蝴蝶网
hudie.com

達瑯×ヒロト

ヒロトと2人っきりで遊ぶのは危険だ！

は、かねてからゲーム仲間だったという達瑯とヒロト。かれこれ、もう3年くらいの付き合いにはなるものの、それでいてカラスとしての活動を共にするようになっても、いまだ2人きりで遊んだことはないという。そこで、今回はお互いのオフタイムの過ごし方を比較しながら、お互いが楽しめそうな"モンハン"以外の遊び方というものを模索してみた。はてさて、どうなりますことやら。

Interview: YUKI SUGIE

—遡ると、達瑯くんとヒロトくんは何時頃からのおつきあいになりますか。

達瑯：んっとね、あっきー（シド・明希）がヒロトと原宿に買い物行くっていうんで、俺も着いてったのが最初。

ヒロト：あれ、3年くらい前だったけ。

達瑯：うん、多分そんな感じ。

ヒロト：僕としては、大先輩にあたる達瑯さんが来るって聞いて「ほんとに？」って驚いたんですけど、あの時って普通に原宿の駅前で待ち合わせましたよね。

達瑯：そう、NEWDAYS（駅併設のコンビニ）の前。

—その3人で原宿駅前って、よく人に見つからなかったですね。

達瑯：あれ、平日の昼間とかだったもんな。それにしちゃ人は多かったけど、別に見つかったりとかは無かったですよ。

—で、そのお買い物をきっかけにして、その後はどんな交流を？

達瑯：主にモンハン（モンスターハンター＝ゲーム）。

ヒロト：大体それも、常に間に明希さんがいるんですけど（笑）。モンハンの会、っていうのがたまにあるんです。

達瑯：ま、多くて4〜5人だけどな。

—それにしても、皆で誰かの家に集まってゲームというのは、まるで小学生の頃と変わらないような行動パターンではありません？？

達瑯：って思うでしょ？でも、全然小学生の頃より性質悪いですよ。皆オトナになってるし、子供の頃からしたらヘンにカネも持ってるから、ひとりでPSP2台とか使ってるヤツいますからね。

ヒロト：あとは、「ソフト今日持って来てないから、買っちゃおう」とか。僕、それでおんなじソフト2本持ってたりとかありました。

達瑯：人格（ラヂオ）の悠希くんなんかは、PSPも2台あって、ソフトも2本あって、1コはただの倉庫として使ってるからなぁ。

—なんだか、彼の性格が良く出ていますねぇ。いかにも悠希くんらしい（笑）

達瑯：要はね、1人につき自分のアイテムって持てる絶対量が決まってるわけですよ。で、彼の場合は2台使いながら、メインの方にアイテムが無くなったら「こっちから持って来よう〜!」ってやっ

て[illegible]メッチャ贅沢な遊び方してるんです。あ[illegible]ん、小学生ムリムリ（笑）[illegible]な[illegible]、その会ではゲームばっか[illegible]延々[illegible]っとやってます（笑）。お腹空いたら、コンビニ行ってなんか買ってきて、またゲームやって。そんなに、[illegible]酒[illegible]入[illegible]ないですもんね。[illegible]大体、明け方くらいになって（ゲームの）話[illegible]コ終わって、次の準備する[illegible]ーっていう時に、そろそろ寝だすヤツが[illegible]来る[illegible]ターンだよな。で、残りの[illegible]で2コ目[illegible]が終わって「じゃあ、帰るか」ってな[illegible]感じ。

ヒロト：次の日っていうか、明けてその当日に写真撮影とかある人もいたのに、あれはヒドかったですよねぇ（笑）

—買い物、ゲームと来て、呑みはしたことが無いのですか？

達瑯：そもそも呑むの？酒。

ヒロト：弱いんですよ、僕。でも、酒の場はキライじゃないです。達瑯さんにも何回か誘ってもらってるんですけど、何時も都合が合わなくて、ことごとく行けてないんですよね。すいません。

達瑯：まぁでもほら、今度12月27日の武道館（「JACK IN THE BOX」）の後は打ち上げっていうか、忘年会あるからヒロトも来なよ。それこそ、ムックどころかKYOさんがいたり、L'Arc-en-Cielのメンバーがいたり、凄い先輩がいっぱいいるし、いろんな面白い話聞けると思うよ。あと、面白い光景も見られるだろうね（笑）

ヒロト：えっ、ほんとですか（笑）。普段、なかなか接することが出来ない場なんで、それは是非。僕、普段は打ち上げとかで皆で騒ぐっていうより、どうしても地味にしっぽりタイプなんですよね。たまには、そういうのも面白そう。

達瑯：っていうか話飛ぶけどさ、ヒロトが休みの日とかに楽しくって仕方ないことって何なの？なんていうか、ゲーム以外の趣味みたいな。

ヒロト：何だろう？んー、休みの日でも家でギター弾いてたり、音楽聴いてたりすることが多いかもしれないです。

達瑯：あー、完璧にインドア派なんだ。

ヒロト：っていうわけでもなくて、逆に山行ったりすることもあります。

—極端ですねぇ。山には何をしに？トレッキングですか？

ヒロト：もう、単純に山登りをしに。

達瑯：マジで？ヤマノボリ!?

ヒロト：これが、頂上まで行くっていうこと自体がけっこう楽しいんですよ。って言っても、本格的な登山の格好しなきゃ行けないようなとこは、まだ行ったことないですけどね。

—ということは、高尾山あたり？

ヒロト：高尾山もそうだし、あとは群馬の方にも良いとこあるんです。京都の大文字山なんかも良かったなぁ。

達瑯：京都って、そこまで行くだけで大変じゃん。

ヒロト：だからまぁ、大体2日がかりとかですよね。

達瑯：俺だったら、2日のオフを山登りには費やしたくないわ！

ヒロト：良いもんですよ、なかなか。

達瑯：今まで無かったけど、これはヒロトと2人っきりで遊ぶのは危険だな。いきなり「山行きません？」とか言われたら困るもん。「絶対行かねーし！」ってなる（笑）

ヒロト：あとはまぁ、オフっていうと友達と会って買い物したり、その後メシ食いに行ってしゃべったりとか、そのくらいですかねぇ。

達瑯：買い物してメシ食って、しゃべって、って女子か（笑）。カフェで3時間、みたいな。

ヒロト：カフェならまだいいですよね。ファミレスとかも行きますよ（笑）。

達瑯：高校生女子じゃん（笑）

—かくいう達瑯くんは、もし2日オフがあったらどうします？

達瑯：2日あったら出掛けちゃうな。

—何処に？

達瑯：ここではない、どこかへ。

ヒロト：GLAYですか（笑）

達瑯：どうしよっかなぁ。1泊でどっか遊びに行くのか、1日ずつ別のとこ行くのか、まずはそこだよね。ま、どっちにしろ家にはいないのは確かです。

—じっとしているのは苦手ですか。

達瑯：気がついたら、常にどっかで何かやってますね。でも、それで困ってることもあるんですよ。もらった吉井さん（吉井和哉）のDVD早く観たいのに、なかなか2時間とか家にいて起きてる時間、っていうのが無くて。

ヒロト：へぇー、凄いですね。

達瑯：忙しいっていうのもあるんだろうけど、昼間外いて夜メシ食ってあーだこーだしゃべって帰ったりすると、あとは風呂入って、そのまま寝ちゃうでしょ。で、次の日起きたらまた出掛ける、っていうこの繰り返し。

ヒロト：達瑯さんって、行動力のカタマリみたいな人ですよねぇ。

—逆に、作詞期間で家にこもっていなければならない時は、大変でしょうね。

達瑯：いや、詞も俺は外で書くことありますよ。どうしても今日中に何か仕上げなきゃなんない、みたいな時は書く道具を持って出掛けます。

ヒロト：分かります。僕もたまに、公園で曲作りしたりするんで。

—まさか、ギターを持って公園に??

ヒロト：車に乗せて、持ってく時もありますね。空見るのが好きなんですよ。だから、晴れてた日の夜とかは公園行って、それで出来た曲もあります。

達瑯：おー、夜空ノムコウだ（笑）

ヒロト：そうそう…じゃなくて「FANTASY」とかなんですけど（笑）。

—さて。話は前後しますが、まだこの2人では遊びに行ったことが無いということでしたよね。このカラスで親交を深めたからには、そのうちツーショで遊びに行く機会があっても良いですよね？

達瑯：男2人で、面白いことでしょ。何しよっか。

ヒロト：アミューズント系はどうです？

達瑯：あ。だったら、前に行ったことあるんだけど、茨城と千葉の県境くらいのとこに、室内のカート場があるのよ。あれ、メッチャメチャ面白かったよ。

ヒロト：リアルのマリオカートみたいなもんですよね？面白そう！

達瑯：あるいは、もっと人数集めてもいいんなら、近場でラウンド1とか。バンドマンばっかりでさ。

—どうせなら、そういう企画で取材させてくださいよ。

ヒロト：いいですね。ただ、前にツアー中ウチのバンド皆でラウンド1行ってバスケやったら突き指しちゃったんで、そういうのだけは気を付けないと（笑）

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

――このお2人って、カラスでの活動以前から交流はあったのでしょうか。

ヒロト：いや、それがちゃんとお話したことは無かったんです。もちろん、美月くんの存在自体は知ってましたよ？

美月：あ、それは僕もです！でも、今回はお互い「はじめまして」っていう感じだったんですよね。

――だとすると、まだ会ったことが無かった時点での相互に対するイメージはどんなものだったのでしょう？

ヒロト：このカラスをやる前は、ライヴで対バンもしたこと無かったんで、サディさんについては映像でしか観たこと無かったんですよ。その時のイメージとしては、ちょっと〝おっかない〟ヒトたちなのかな？って僕は思ってました。なんか、アー写とかの目つきも鋭いし。

美月：いやいやいや、普段は全然そんなことないから。っていうか、その〝サディさん〟っていうのヤメて（苦笑）

ヒロト：ほんと？じゃ、ヤメる（笑）。それでまあ、その後に夏の「JACK IN THE BOX」の時のリハがあって、そこで初めて会ったんですけど、映像とか写真とは全然違って物腰も柔らかいし、凄く感じの良い方だったんで、僕はそれがちょっと意外でしたね。「あ、これなら一緒にやってけるな」って思いました。

美月：良かったー、そういう風に思ってもらえて（笑）。

――美月くんの場合は、いかがでした？

美月：僕は前から雑誌とかでは見てましたし、あとウチの弟が（Alice Nineの）音源を持ってたんで、それを聴いたりしたこともあったんですね。それと、お会いする前にインターネットで（笑）映像も見させてもらってたんですけど、僕の場合はヒロトくんとは逆で、実際会った時に「やっぱり、思ってたとおりの人やな」っていう印象でした。

――思っていたとおり、というのは具体的に言うと？？

美月：たとえば、ステージングひとつとっても、音にしても、真っ直ぐで真面目な雰囲気が凄い伝わって来たんですよね。ヒロトくんは、まさにそのイメージ通りの人だったんです。

――かくして、昨年後半から徐々にカラスとしての活動が始まったわけですが、お2人についてはギタリスト同士という立場でもいらっしゃいますよね。そうなると、特にコミュニケーションをとることが必要だったのではないです？

美月：そうなんですよ。僕ら2人でギター隊ってことは、それだけ他のパートよりも綿密な打ち合わせが必要で。だから、話は短い間にいっぱいしました。

――きっと、もともと相性も良かったのかもしれませんね。前から友達だったとかでもなく、いきなり一緒にやるというのは、よほど〝ソリ〟が合わないと難しいはずですよ。

ヒロト：あと、ひとつには上手同士とか下手同士じゃなかったっていうのも、良かった気はしますね。それぞれ、母体のバンドでのポジションとおんなじっていう基本があったんで、そういう面ではアイディアをまとめて行きやすかったというか。とはいえ、お互い普段やってる相方とは違うタイプのギタリストが相手になるわけなんで、そこには今までにない刺激っていうのも多々ありました。

美月：まず、レコーディングの前のライヴ（夏の「JACK IN THE BOX」）の時が面白かったよね。

ヒロト：そうそう。けっこう、ステージの上だとこの2人って一緒にガッと動けるタイプだっていうことが、そこで分かったんですよ。

あのライヴをやってみて瞬間的にいろんな事がわかった。

異なる部分を認め合いながら、彼ら2人は互いに好敵手同士としての交流を、この短い間にも深めて来たようだ。Alice Nineのヒロトと、サディの美月。それぞれにプレイヤーとしてのタイプは違えど、彼らはカラスの中において、ともにツインギターという重要な要素を担っている。ここではカラス結成を機にあらためて出逢ったという、2人の馴初めとその後の進展ぶりについて訊いてみよう。

Interview: YUKI SUGIE

ヒロト×美月

――このツインギターの並びは、華があって映えますよ。あれだけスケール感のある幕張メッセの大舞台を、きっちり使い倒しているように見えました。

美月：ただ、あのライヴ始まるまでは怖かったですよー。曲もらったの1週間前だし、リハも4日前に1回やっただけでしたから（苦笑）

ヒロト：僕も、そこは凄い不安でした。でも、あのライヴをやってみて生で合わせた時の雰囲気とか、瞬間的にいろんなことが分かったから良かったです。レコーディングとか、PV撮影とか、あとリハをやってただけでは分かんない、感覚的な部分で理解し合えた気がします。

美月：とにかく、やってて楽しかったですもんね。

ヒロト：うん。後から映像みたら、若干何時もより顔が強張ってるとこはあったんだけど（苦笑）、いろんな意味で普段とは違うライヴだったから、それだけ得るものも大きかったですよね。

――それぞれ、カラスの中でギターを弾く際に、普段と最も違って来る点はどんなところだと考えています？

ヒロト：意外とそういう違いとかって、自分自身ではあんまり意識してないですね。特に頭で考えたりしなくても、一緒にやる人たちが変われば、自然と自分から出て来る音も変わってくんだろうし。むしろ、そういう意図しないとこで出て来る違いみたいなものを、自分でも楽しめたら良いなって思ってました。やっぱり、集まってるのは今現在それぞれこのシーンの第一線で頑張ってる人たちばっかりですからね。そういう皆でやった時に生まれる、独特な化学変化っていうのはありますよ。

美月：えぇこと言うなぁ、ヒロトくんは。僕も特に違いとかっていうのは考えてなかったんですけど、それはそこまでの余裕が無かっただけっていう部分が、多分大きいんですよね（苦笑）。でも、ありのままの美月として参加させてもらった中で、僕も沢山のことを勉強させてもらってます。ヒロトくんっていう、良い意味でのライバルが新しく出来たことも、凄い自分にとってのプラスになってますね。

ヒロト：かれこれ、サディも4年でしょ。ウチも5年ずっとおんなじ相方でやって来てたんで、ここでこういう経験が出来たっていうのは、お互い新鮮だったし、ほんと良かったよね。

美月：もうね、このダンナは何するにしても熱いんですよ（笑）。レコーディング前、電話で話しつつデータで音のやりとりをしながら音をまとめてったんですけど、僕なんかは細かいとこにこだわんないで、感覚的に何でもやっちゃったりするんですね。でも、ヒロトくんは違うんです。凄いこだわりがある人だし、何でも徹底的にやってく人だから、一緒にやりながら「凄いなぁ、この人は」って、僕はちょっと申し訳ないような気持ちになってたくらいで（苦笑）

ヒロト：何ソレ。そんなアゲないでいいよ（笑）。僕は単に、心配性で凝り性なだけだから。こっちの方が良い！って思ったら、突然土壇場でフレーズ変えたりしちゃいますからね。そういう僕ともちゃんと付き合ってくれる、美月くんのこの柔軟な適応力と順応力が僕は凄いなって思ってるんです。

美月：いやいやもう、そんな。

ヒロト：それにほら、美月くんってしゃべりも流暢じゃないですか。そこも僕からしたら、凄い羨ましくって。

美月：それねぇ、達郷さんにも言われるんですよ。「関西人は、そういうとこ良いよなぁ！」って（笑）

ヒロト：なんか、壁とか感じずに話せる感じが凄い親しみやすいんだよ。

美月：そう言って頂けると嬉しいです。

ヒロト：だから、そう考えるとこれって凄いよね。素はこんなとっつきやすくて優しい人なのに、バンドとして見たらあぁいうハードなイメージなわけでしょ？僕、あのイメージをそのまま真に受けてたもんなぁ。それだけ、バンドとして完璧に〝見せてる〟ってことだよねぇ。

美月：すいません、なんかいろいろギャップあって（笑）

――ところで。風の噂によると、先日このお2人は呑みに行かれたそうで。

ヒロト：そうなんですよ。この間、Alice Nineで大阪行った時に、わざわざ美月くんがライヴ来てくれて、その後一緒にすっごいお洒落なバーで、妙にしっぽりと（笑）

――ちなみに、そのお店のチョイスはどなたが??

美月：僕です。僕やったんですけど、でも違うんですよ！僕もそこまでしっぽりしてるお店とは知らなくて、1階の雰囲気だけ見てえぇなと思って決めたら、僕らは2階に通されちゃったんです。そしたら、そこがものっすごい照明ダウンした、必要以上にムーディなとこやったんですよ（苦笑）

――周りはカップルだらけ的な？

ヒロト：どころか、他には誰もいなくて僕ら2人っきり（笑）

美月：おまけに、椅子はフッカフッカのソファーしかなくて、そこに2人で横座りして（笑）

ヒロト：何も知らない人が見たら、相当不自然な図だっただろうなぁ～。

美月：アレ、店員さんはおそらく完全に怪しんでましたよね（笑）

蝴蝶网
hudie.com

美月×dunch

あの日のdunchさんは見るからにテンパっていた。

どこかマイペースな兄と、面倒見が良くてしっかり者な弟。まるで、そんな関係性にも似た雰囲気を醸しだす2人の話を聞いていたら、なんだかこちらまで楽しい気分になってきた。jealkbのdunchと、サディの美月。彼ら2人は、カラスというバンドの中でともに活動するようになって、急にその親密度を増したのだという。今後は、何とまさかの合コンまで共同開催する可能性大!?

Interview: YUKI SUGIE

蝴蝶网 hudie.com

――このお2人の出逢いは、少し変わったかたちだったようですね。

dunch：そうなんですよ。最初は、お互いラジオ番組を通じて、声だけのやりとりしかしたこと無かったんです。

――えっ？それは、一体どのような状態なんですか？！

美月：dunchさんたちはスタジオに居て、僕らの方が桜中継っていうことで神戸で桜咲いてるとこまで見に行って、その様子を中継しました（笑）

dunch：その番組、やってるのはラジオ関西なんですね。でも、スタジオが銀座にあったんで、大阪にいるサディに「神戸まで行け！」っていう指令が出て、ロケに行ってもらったわけです。ま、ラジオだから桜の映像とかは伝わんないんですけどね。

――そもそも、桜中継とサディって、あんまり似つかわしくないような（笑）

dunch：いやでも、その中継ではメチャメチャ楽しい大阪のお兄ちゃんたち、っていう感じでしたよ。

美月：僕ら、その日はちょうど大阪でワンマンライヴやったんですけどね。それが終わった後、神戸まで高速使って行って生中継したんですよ。

dunch：「すいません、ライヴ後のお疲れのところ～」みたいな感じでやってもらったんですよね。いきなり無理なお願いしちゃったかたちだったんで、ほんとあの時は申し訳なかったです。

美月：いやいや、別にそんなことはないですよ。ただ、あの桜がまだ三分咲きくらいやったっていうのは、ちょっと微妙な感じだったですけどね（笑）

dunch：なんか、サディってバンドのイメージ自体は悪い意味じゃなくてほんと暗くて激しい感じじゃないですか。それだけに、あぁいうふうに普通にしゃべってるのって、当時ちょっと意外でしたねぇ。そのうえ、後々こうしてまさかこんなかたちで再会？出来るとは、思ってもみませんでした。

――再会というか、実際にはこのカラスで初めて顔を会わせたかたちだったたと。

美月：なんか、なんとも言えない不思議な感じがしますよね（笑）

dunch：夏の幕張のイヴェントの前に、1回だけあったリハーサルが初めての顔合わせだったんです。しかも、あのときは地震で新幹線が遅れて、前日ほかのイヴェントで一緒だった達瑯さんと僕はスタジオに後から飛び込んでったかたちだったんですよ。

美月：そうそう、いきなり遅刻（笑）

dunch：おまけに、僕なんかは曲もちゃんと構成とか覚えられてない状態で行ってしまってたんで、とにかく凄いテンパっちゃってたんですね。ただ、リハーサルしてるうちに「あれ？そういえばサディっていうと、あの桜の中継の時の!?」っていうことを思い出して、コッソリ休憩の時に「あのー、あの時の…ですよね？」って、美月くんにあらためて確認したんです。

――そうフられて、美月くんはどう返したんですか？

美月：「そうですよー」って（笑）

dunch：あの時は、なんかもういろいろバツが悪過ぎました（苦笑）。でも、そんな僕を美月くんはちゃんとフォローしてくれるんですよ。立ち位置的に下手同士で近いっていうのもあって、細かいとこまで気遣って頂いて嬉しかったです。美月くんのテックさんが、曲をまだ覚え切れてない僕の為に、譜面を見えやすいようにって、万里の長城みたいにダーって譜面台並べてくれたんですよ。

美月：だってねぇ、演奏しながら譜面めくるって無理でしょ（笑）

dunch：ほんとそうですよね。それどころか、あの日はもうテンパっちゃって舞い上がってたせいか、多少覚えてたとこでさえ、頭の中が真っ白になっちゃって何かよく分かんなくなっちゃってましたもん。美月なんかはアレでしょ？今までの音楽人生の中でも、他のバンドの人とやったりって きっとあったんだよね？

美月：まぁ、たまにセッションとかそういうのは多少。

dunch：僕は今までそういうことが1度も無くて、あれが初めての経験だったんですよ。周りは初めて一緒のやる人たちばっかりで、ましてやプロというカテゴリーの中でやってらっしゃる方たちばっかりっていうのが、僕にとっては凄いプレッシャーでした。

――そうは言っても、jealkbも今やメジャーのフィールドで活躍しているバンドではありませんか。

dunch：確かに、そうなんですけどねぇ。でも、皆さんそうそうたるメンツですから。最初はもう、何をどうしたら良いか分かんなかったです。そういう中で、アタフタしてた僕に手を差し伸べてくれたのが美月くんだったんです。

美月：多分、あの日は遅刻して来たっていうのもあったと思うんですけど（笑）、dunchさんメチャメチャ腰低かったし、見るからにテンパってたからね。

dunch：曲と曲の間とか、ちょっとした間があるんですよ。そうすると、美月くんがちょっとした一言をかけてくれるんですね。もう、それにどれだけ救われたことか（笑）

――ちょっとした一言って、どんな内容だったんですか？

dunch：たとえば、「下手（しもて）同士、頑張りましょうねっ！」とか。

美月：ちょっと、そんなんよう言いますわ（笑）。今、話ちょっと盛ったでしょ！

dunch：えー、言ってたじゃないですかー。覚えてないんですか？僕そのまんま言いましたよ、今。絶対、完コピですって（笑）

――美月くん、やや照れくさいのかもしれないですよ（笑）

美月：言うて、僕もたいがいあの日は緊張してましたからねぇ。

dunch：いやー、それでもあの美月くんの言葉にはジーンと来ましたね。ほんとにありがたかったです。うちのバンドなんかは、現場にマネージャーとかはあまり来たりしないんで、今回は美月くんはじめ周りの方に凄く助けられました。

美月：dunchさんの話を聞いてると、jealkbってマネージメントの体制とか、普通の音楽事務所なんかとはまたちょっと違うみたいですよ。

dunch：基本、ウチの吉本興業っていうのは若手タレントが沢山所属しているので、取材なんかの細かいことは自分で管理することも多いんです。

美月：凄いよね、それ。

dunch：前のカラスでの写真撮影の時なんかは、マネージャーから連絡がくる前に、美月くんから「兄さん、明日宜しくお願いします」っていうメールが来たんですよ。で、美月くんに「ちなみに明日、何時入り？」って返したら、時間も場所も教えてくれて、当日の行程表とスタジオの地図のアップの写真を、僕に送ってくれたんです。あのメールがなかったら、僕また撮影にも遅刻してたかもしれないです（苦笑）

――美月くん、とっても親切ですねぇ。

美月：やった!!（笑）。まぁでも、dunchさんは何かと大変なんやなと思いますよね。話を聞いてると。

今、読者の方たちの好感度は急上昇していると思います（笑）

――ほかにも、dunchさんと話していて「自分の周りでは無いな」と感じた、珍しいお話はありました？

美月：お話というか、カラスの皆で一緒にゴハン行ったりしたことがあったんですよ。そしたら、その場でdunchさんが後輩さんを紹介してくれはったんですよ。そしたら、その方たちが僕に対しても物凄～い礼儀正しいんですね。

――先輩の友達＝先輩と同じ、という感覚で対応なさるのでしょうね。

美月：そういうことみたいなんですよ。僕なんかまだまだ小僧なのに（笑）、テレビで観たことあるような芸人さんたちが、凄い腰低い感じになってくれてて。

dunch：あぁ、大地（洋輔＝ダイノジ）とか。

美月：そうそうそう。僕からしたら、そんなんびっくりですよ。思わず、「そんなかしこまらんといて下さい」って言っちゃいました（苦笑）

dunch：アイツら、年は一緒なんですけど半年くらい、僕の方が先輩になるんですよね。上下関係が特に厳しいっていう感覚も無くて、僕らの世界ではそういう感じが当たり前なんです。

――いやはや。dunchさんの多彩な人脈があれば、今後は充実した合コンなんかも開けそうではないですか（笑）

美月：あーらー。いいんですかね（笑）

dunch：いいですよ。というか、僕らバンドマンの方と呑む機会自体そんな無いんで、それは是非やりましょう！

美月：僕はもう、そうなったら兄さんに着いて行くだけです（笑）

蝴蝶网
hudie.com

dunch×ケンゾ

バンドの3原則は"我が侭に・楽しく・真剣に"。

リズム隊であるケンゾとdunch。今回の「LASTICA」では、素晴しく、どっしりと構えた、息の合ったシャッフルのリズムを届けてくれているふたり。そんなふたりの出逢いとは？　プレイ面だけではなく、撮影合間にも、微妙な突っ込みとボケをかまし、現場を和ませてくれていたケンゾとdunchに、互いの存在について訊いてみた。突然始まった、"自分の見せ方講座"は爆笑です。

Interview:NAOKO TAKEICHI

――ふたりの出逢いは？

dunch：まさに、このユニットの最初の顔合わせだった日ですね。

ケンゾ：って言うんですけどね、実は2年前くらいに、1回会ってるんですよ。

dunch：マジっ!?　どこで!?

ケンゾ：恵比寿のホルモン焼き屋（笑）。haderuさんとdunchさんと柩と一緒にご飯食べてるとこに、後から俺が合流した感じ。

dunch：あんとき!?　もう"おはようございます"っていう時間だったからよく覚えてないんだけど（苦笑）。でも、2年前って言ったら、まだまだ新参者で、俺、"彩冷える"を"アヤビエ"って読むって知らなかったからね。"アヤビエール"だと思ってたんだもん。

ケンゾ：なんで伸ばすの（笑）。

dunch：そういうルールかと。

ケンゾ：ないし、そんなルール（笑）。

dunch：とにかく、偉いミュージシャンの人だと思ってるから、自分からなんて話しかけらんないし、緊張して顔も見れなかったんですよ、その時は。

ケンゾ：でも、蓋を開けてみたら、偉いミュージシャンでもなんでもない、ただの小僧だったっていう。

dunch：そうそう。ただの小僧だったっていう。って！　そんなこと言ってねぇだろっ（笑）！

ケンゾ：（照れ笑）。なんか今、逆突っ込みしたから恥ずかしっ（モジモジ）。

dunch：あははは。ホントだよ！

――慣れないことするから（笑）。

dunch：このケンゾくんの様子を動画でお伝え出来ないのが残念だよ（笑）。めっちゃ照れてるじゃないっすか（笑）。後輩である俺が言うのもなんですけど、こういう可愛いとこあんですよ。徐々にそういうとこ見えて来て、すごい好きなんですよ。

――ケンゾはね、一見人を寄せ付けないクールな感じだし、俺様キャラだから。

ケンゾ：キャラだけね（笑）。

dunch：うんうん（笑）。すごい礼儀正しいし、人懐っこいし、いいヤツなんですよね。さすが、育ちがいい。僕の地元の某有名私立校に行ってたらしいですからね、ケンゾくん。その学校はね、頭良くないと行けないのはもちろん、面接もあって、育ちが良くないと行けない学校なんで、僕たち、団地界隈のヤツらは、面接で全員落とされてましたからね。ランドセルが独特で、一目でその学校だって分かるんですよ。いわゆる、名門校ってヤツ。おぼっちゃまですよ！

ケンゾ：違うから（笑）。俺だって普通に地元の友達の居る公立の学校に行きたかったよ。だって、給食に憧れたもん。

dunch：え？　給食じゃないの？

ケンゾ：うん。弁当。母親の手作り弁当。ま、母親の手作り弁当も嫌いじゃなかったけど、やっぱ、中学は普通の学校に行きたくて、地元の中学に行ったんだもん。

dunch：くぅ～。贅沢だな、これ。絶対学校に保温式の水筒でレモンティー持ってってたでしょ。ウチら団地界隈の子供は、ペットボトルを水筒代わりにして、そこに麦茶入れてましたからね。

ケンゾ：あははは。つか、俺だって学校の水道捻って水飲んでたっていうの！

――水道捻るとレモンティー的な？

ケンゾ：どこに水道捻ってレモンティー出て来るとこあんのっ（笑）！　水水！　マジ、おぼっちゃまじゃないから（笑）！　俺、今、銀行の残高2万だし。

dunch：俺、残高2円だし。

――それ少なすぎ（笑）。リズム隊としても息ピッタリなんじゃない？

dunch：俺はバンド歴浅いんで、ドラマーはウチのe-saしか知らないんで、カラスやらせてもらって、すっげぇ勉強になったんですよ。ケンゾさんのドラム、さすがだなぁって思いましたからね、やっぱり。迫力が違うし。個性があるんだなって教えてもらいましたね。

ケンゾ：俺も、彩冷えるの前は、ヴィジュアル系のバンドはやってなかったからね。基本的にメタルとかヘヴィロックばっかやってたから。だから、全然先輩じゃないから（笑）。同期同期。

dunch：いや、立派な先輩っすよ！　まだ撮影とか慣れないですからね、俺（笑）。今日とかも、どうやって撮られたらいいのか、他のメンバーのポーズとかキョロキョロ見ちゃったっていう。

――今日、カメラマンさんに、"dunchくんは、右方向、左方向、どっちの角度の顔がメイン？"って聞かれて、"特には…"って答えてたけど、ちゃんと写りのいい方を持ってなくちゃ（笑）。

ケンゾ：そうそう。そこは基本（笑）。写り方を知っておくのも大事だからね。

dunch：マジっすか！　ケンゾくん、ポージングとかもちゃんと分かってるんすか？　あ、でも、たしかに、顔の角度とか、手の使い方とか超ウマいっすもんね！　あれって、どうやるんすか？

ケンゾ：まず（立ち上がる）、立ち方があるんですよ。ダンサーの立ち方と一緒で、左右どっちかの足を重ねるように前に半歩出して、体をちょっと捻る。んで、重心を持ってきて形を整えて背筋を伸ばす。で、手を顔の前に自然に持ってくる。

dunch：（言われたままやってみるdunch）こうっすか？

ケンゾ：ん～なんか、"考える人"みたいなんだけど（笑）。なんか変だなぁ（笑）。

dunch：おいっ！　変とか言うな（笑）！　これはこれで芸術だろぉが！

――これも動画でお伝えしたいね（笑）。

dunch：ケンゾくんはどういうとこで、ポージング勉強してるんですか？

ケンゾ：ダンサーやモデルの友達から立ち方を教わったり、洋服好きだから、いろいろなコレクション見たりとか。

dunch：なるほど～。プロだなぁ。衣裳も自分で選んでるんですよね？

ケンゾ：やっぱ自分が着るモノだし、そこは拘っていくべきとこかなって思うし。

dunch：でも、靴とか、ドラム叩く時に、叩きやすいのと、デザイン的に気に入ったモノとは違うんじゃない？

ケンゾ：ドラム叩くときは裸足だから。

dunch：すげぇ。こだわりの塊じゃないっすか。俺、なんもこだわりない。

ケンゾ：でも、ヘアスタイルとか、カラスの羽付いてて、一番カラスっぽいっすよ、dunchさん！

dunch：これは、ムックとかのメイクやってるボブさんに全部お任せでやってもらったんですよ。さすがですよね。やっぱ、深いなぁ、ヴィジュアル系。やっぱダメっすねぇ、こだわりを持った人生を生きなくちゃね。なんか、本業の方もそうだけど、本業が機動に乗るまで、バイト生活が長かったんで、本業を優先させるために、融通のきくバイトばっかやってたんで、こだわりってもんを持ったことがなくて。もっと、"これは俺にしか出来ないんだ"っていうことをしていくべきだと。いやぁ、バンド以外でも教わること多いな。人生、流されて生きてちゃいけないなってことっすよね。

ケンゾ：そうそう。1回きりだからね、人生は。でも、dunchさんたち芸人さんは、すげぇストイックだなって思いますよ。バンドだって、本業の片手間でやってる訳じゃなく、暇さえあればリハ入ってるじゃないっすか。俺たちよりもリハ入ってたりする。すごいっすよね。

――本当にそうなんだよね。じゃぁ、dunch、ケンゾに、ヴィジュアル系の3原則とか教わっておく？

ケンゾ：ちょっと待って待って（笑）。ヴィジュアル3原則なんてないよ（笑）。

dunch：ないっすか？　俺、テレビの前説の仕事とかもしてるんですけど、拍手の3原則ってあるんですよ。【おこげの3原則】って言うんですけどね。【大きく・細かく・元気よく】っていう。

ケンゾ：すげぇ！　やっぱ違う畑の話聞くのって面白いよね！　んじゃぁ、【わたしの3原則】。【我が侭に・楽しく・真剣に】。これかな。バンドに限らず、生きる上での3原則でもあるけどね。

dunch：すげぇ！　こんないいの持ってんじゃないっすか！

ケンゾ：今思いついたの。

dunch：今!?　天才だな、オイ。

ケンゾ：ヴィジュアライズ的にね（笑）。とにかく、サウンド面は、バンドとしてのまとまりを考えるべきだと思うけど、ステージの上では、誰よりも自分が目立つつもりで向き合わなくちゃ。俺はそう思ってる。ボーカルをも食う勢いで[illegible]。カラスはホント、それが個性的で個性が強いからね。達瑯さんはホントすごい存在感だから、自分で頑張らないと、逆に達瑯さんを殺しちゃうと思ったんで、そこは自[illegible]頑張らないとね。俺、俺、っていうのがあんまり良くないのかもしれないけど、【わたしの3原則】があれば、自然と[illegible]んじゃないかな。

dunch：ですね。すげぇ、深いなぁ。

ケンゾ：間違えないように弾こうとか思わなくていいんで[illegible]楽しく！　真剣に。我が侭に[illegible]

dunch：はい！　先輩！　今後も頑張っていきたいと思います！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

一緒にカラスを出来て、ますます達瑯さんのこと好きになった。

ケンゾ×達瑯

達瑯が、カラスのメンバーを集めようという計画を立てたとき、まず最初に声をかけたというケンゾ。達瑯にとってケンゾは、どういう存在なのか? ケンゾにとって達瑯は、どういう存在なのか? 出逢ってから3年。プライベートでも交流の深いふたりに、改めてお互いについて語ってもらいました。音楽家としても、独りの人間としても、尊敬し合える存在であることを感じさせる対談となりました。

Interview:NAOKO TAKEICHI

――最初に出逢ったのは?

ケンゾ：もちろん、ムックは知ってたし、一方的に達瑯さんのことは知ってたんですけど、ちゃんと会って話したのは、3年くらい前じゃないかな? 明希(シド)と枢(ナイトメア)と、新宿でご飯食べてた時に合流したのがきっかけ。最初にムックの音を聴いたのは、昔『バンドやろうぜ』の付録で付いてたCDにムックが入ってて、それ聴いて、うわっ、めっちゃカッコイイ! って。そっから自分でもCD買って聴いたんですよね。

達瑯：あの付録のCDからムック知ったって人多いんだよね〜。

――それって何の曲が入ってたの?

達瑯：「娼婦」。

ケンゾ：俺の妹もそのあたりからムックのファンになって(笑)。

達瑯：マジ(笑)。でもさ、妹、ヴィジュアル系好きになって、お兄ちゃんが彩冷えるだったら嬉しいんじゃないの?

ケンゾ：彩冷えるは興味ないみたい(笑)。

達瑯：いやぁ〜、それは照れ隠しでしょ、絶対。だって、俺だったら嬉しいもん。

ケンゾ：どうかなぁ(笑)。俺、ムックで一番好きなアルバムは、『朽木の灯』なんですよ。すげぇなって思った。でも、一番好きな曲は、「流星」。達瑯さんには申し訳ないっすけど、俺のカラオケのセトリ(セットリスト)に入ってますから(笑)。ってか、達瑯さんはカラオケでもすごいんだよ。誰の曲入れても、全部達瑯さん自分の歌にしちゃうんだもん。

――達瑯は何歌うの?

達瑯：俺はね、吉井さん。(吉井和哉)

ケンゾ：これがまたすごくいいんだよ。

――達瑯さんもね、最近歳取ってきたんで、大人の気だるさが出て来たから、粘りがあっていいよね、唄に。

ケンゾ：歳取ってきたって(笑)。でも、そうなんだよね。俺、ホント、達瑯さんの唄、大好きなんですよ。俺、基本洋楽しか聴かないヤツだったから、邦楽アーティストでいいなって思えるバンドが、正直あんま居なくて。でも、ムックは音ももちろんだけど、達瑯さんの唄の存在感もすげぇ好きだったし。それもあって、今回声かけてもらったときは、すっごい前のめりだったっすもん(笑)。

達瑯：マジ〜。嬉しい。邦楽アーティストで初めてライヴ行ったの誰なの?

ケンゾ：初めて邦楽アーティストのライヴに行ったのは、美川憲一さん(笑)。

達瑯：マジ? またなんで美川憲一だったの? 好きなの?

ケンゾ：俺のオジさんが、

達瑯：美川憲一さんなの!?

ケンゾ：いや(笑)。

――達瑯くん……。最後まで聞いてね。

達瑯：はい(笑)。

ケンゾ：あははは。美川憲一さんのマネージャーやってんですよ。

達瑯：マジで!? そうなんだ! すごいね、それ。でもさ、バンドって、ライヴ見に行こうと思えるとこまでに持っていくのって、すっげぇ大変だと思わない? 普通に"好き"くらいじゃぁ、ライヴ行こうとまでは思えないもんね。

ケンゾ：たしかに。俺も好きなバンドたくさん居るけど、ライヴに行ったのって、キッスとドリームシアターとストラトヴァリウスくらいだもんなぁ。そこの壁ってたしかに高いですよね。ストラトヴァリウスが、O-EASTでライヴやったときに見に行って、"いつか俺もここでライヴしてやるぞ!"って思ったんですよ。

達瑯：そうなんだ。俺が最初に見たライヴはね、ソフィアだったよ。水戸で。学園祭に来てたんだよね、女子大の。

――学園祭ライヴってのも、またちょっと違うもんね。ところで。達瑯も、よく、"ケンゾ、ケンゾ"って言ってるけど。

達瑯：そ。よく言ってるね。

ケンゾ：マジっすか? 超嬉しいんですけど(笑)。

――対バンとかしたことなかったの?

達瑯：2年前くらいか? なんかイベントで一緒にやったことはあったけどね。

――お互いの第一印象とかは?

達瑯：人当たりとか、雰囲気が、ヴィジュアル系っぽくないなって思った。

――何? ヴィジュアル系っぽい人当たりって(笑)。

達瑯：なんかない? ヴィジュアル系って、ちょっと独特な雰囲気ない? 俺の中で彩冷えるって、特にヴィジュアル系のイメージが強かったんだよ。昔、メンバーに女キャラが居たでしょ。それもあって、勝手なイメージがあったのかもね。でも、なんかすごい普通のミュージシャンっぽい感じだった。最近は、オタク気質だなぁって思うけどね(笑)。でも、オタクじゃないミュージシャンを探す方が無理があるかもね。音楽って専門職だもんね。まぁ、世の中全部専門職っちゃぁ専門職だけど、音楽は分かりやすい専門職というか、特にひとつのことを突き詰めていく感じの専門職だから、特にオタク気質のヤツが多いなって思うんだよ。ケンゾもドラムや音楽に関しては、すげぇオタク気質だなって思うしね。

――分析入ってます。

ケンゾ：あははは。面白い面白い(笑)。

達瑯：モノを作る人ってそうだよね。いろいろと深いとこに興味持つ人が多いと思うからね。好奇心旺盛なヤツが多いというかね。

――自分に近いとこを感じたりもする?

達瑯：俺もいろんなことに興味あるけど、途中で飽きちゃうのね。でも、ケンゾはとことん掘り下げるからね。そこは同じ凝り性でも、ちょっとタイプが違うとこだね。ひとつのジャンルを、全部一個ずつ深く掘り下げてる感じするんだよね、ケンゾって。例えば、野球だったら、全部の守備をとことん知ってる感じというか。どこでも守れちゃう! みたいな。俺はさ、野球もサッカーもバスケも全部好きだけど、野球場でサッカーボール蹴ってみたりとかするタイプ。

ケンゾ：あははは。めちゃめちゃ分かりやすい(笑)。めっちゃ自由じゃないですか。でも、すげぇ達瑯さんっぽい。達瑯さん、いろんな人と仲いいですしね。好奇心旺盛なとこはすごいなって思う。でも、なるほど、そこがあの歌詞に繋がるんだなって思ったりもするし。

――そうだね。でも、そんな広い交友関係の中で、ケンゾには、カラスの話を最初に持ちかけたんでしょ?

達瑯：そうそう。なんか一緒にやってみたかったんだよね。ケンゾとは。なんか面白いこと出来そうだなぁ〜と思って。

ケンゾ：すげぇ嬉しいっすね、それ。

――でも、達瑯くん、ケンゾのこと、いじくり倒す感じではないよね。

達瑯：あぁ、うんうん言葉攻めみたいにってことでしょ? そう。そういう意味ではね、ケンゾとかヒロトはね、いじくり倒しがいが無いの。枢とかYUKKEとか、カラスん中で言ったら美月は、究極のイジラれキャラなんだよね。"え?え?え?え!?"みたいな、天然なイジラれモードが美月にはあるんだけど、ケンゾとかヒロトは、イジラれキャラながらも、サラッと交わすとこあるからね。

ケンゾ：あははは。それすっごい分かる(笑)。美月くんは究極のイジラれキャラだし、たしかに、俺とかヒロトは交わす(笑)。分かってんなぁ達瑯さん(笑)。でも、ホント、今回一緒にカラス出来て、ますます達瑯さんのこと好きになったんですよ。やるときはやる。プライベートではホント、すっごい面白い人で、一緒に居ると楽しいんだけど、今回一緒にやってみて、結構考えてるなぁって思うこといっぱいあったんだよね。

――何にも考えてないようで、結構なんだかんだ考えてるからね(笑)。

達瑯：そそそ、なんだかんだね(笑)。まぁ、でも、10個考えてる内の9個はしょうもないことだったりするけど(笑)。

――それくらいがいいんだと思うよ。あんまり真面目過ぎても、息が詰まっちゃうというか、追いつめられちゃうと思うんだよね、ボーカリストって。自由人なところがないとね、ある程度。じゃないと壊れちゃうし、輝けないと思うし。

達瑯：ラルクのkenさんも言ってたなぁ、そんなようなこと。kenさんはギタリストだけど、セッションでドラム叩くし、ソロではボーカルやってるでしょ。やっぱ、ボーカルでセンターに立つ時は、緊張度が違うって言ってたもん。みんなから受ける期待感が半端じゃないって。

――ギタリストとしてステージに立つときは、どんなに広い会場でも緊張しないけど、ボーカルとなるとどんな場所でもとにかく緊張するって言ってた。

ケンゾ：それ分かる。ボーカリストってバンドの顔でもあるからね。大変なことも多いと思うし。達瑯さんはボーカリストとして理想だと思う。俺も、彩冷える以外でこういうセッションを経験してみて、ホントにいろんなことに気づけたというか、楽しみながら、いろんな勉強が出来たからね。ホント。いい経験させてもらったなって。また、真剣に遊びたいんで、また遊んで下さいね!

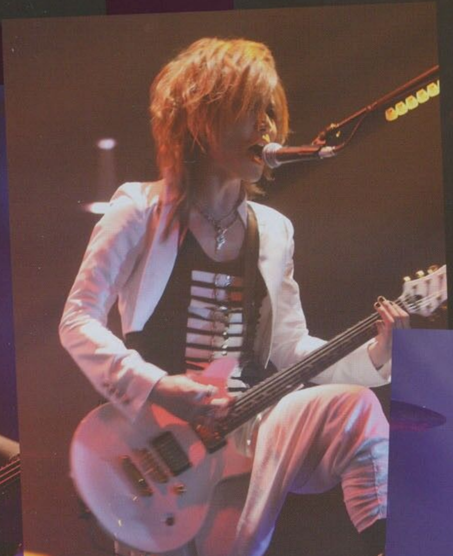
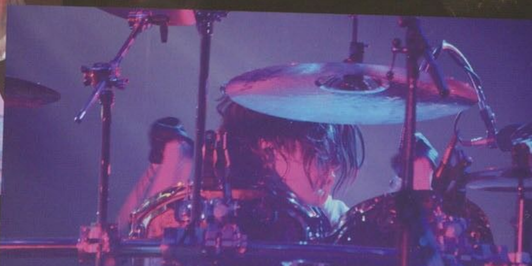
達瑯：うん。またあっそぼぉね〜。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

the GazettE

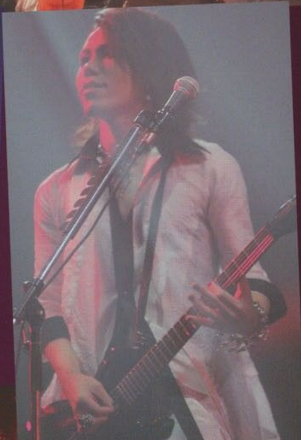



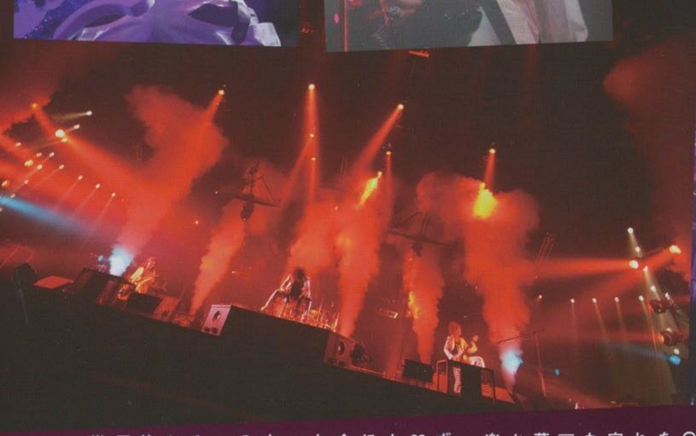
the GazettE live 09
「A HYMN OF THE CRUCIFIXION」

Live at 東京ビックサイト 東棟屋内展示場 2009年12月24日

聖夜の祝宴、ここに極まれり。the GazettEが昨年末に東京ビッグサイト東棟屋内展示場にて行った『A HYMN OF THE CRUCIFIXION』は、特別で貴重な一夜となった。が、今年の彼らも既に臨戦態勢は整っている。来たる3月には、HERESY PRESENTS the GazettE STANDING LIVE TOUR 10『THE END OF STILLNESS』と題されたスタンディングライヴハウスツアーの開催が決定。"第二の覚醒"が始まる日は近い。

Report:YUKI SUGIE



蝴蝶网
hudie.com


ビッグサイトにある巨大な東棟屋内展示場に2万人が集結し、the GazettE［A HYMN OF THE CRUCIFIXION］のライヴが行われた。懐かしい曲も含めて、ファンには予想外なうれしい、涙もののセットリスト、さらにはクリスマスライヴならではの特別な演出まで、非常に大盤振る舞いな内容に終始していたのも、きっと〝聖夜〟という特別なマジックが作用していたような気がしてならない。

そういうことでもなければ、今の彼らがいきなり予想外の「ザクロ型の憂鬱」と「赫い鼓動」のコンボからライヴを始める、などということはまず有り得ないはずではないか。

しかも、見やれぱステージ上の5人は全員が白を基調とした衣装をまとっており、特別な夜らしくクリスマス仕様での登場だ。また、［A HYMN OF THE CRUCIFIXION］というライヴタイトルを鑑みてなのか、舞台周りの宙空に吊られていた照明イントレも、しっかり〝十字架〟様のデザインに。会場全体が神聖なる場所と化している。

「Merry Christmas! あんまりこういう言葉は似合わないバンドですが（笑）、せっかくなんで今日は長く、ヤバい、凄い、楽しいライヴにしましょう!」

照れくさそうに笑いながら、ルキはまずこの夜こう述べた。思い返してみると、09年春に幕張メッセ国際展示場で行われた［7-SEVEN-］の時にも、彼らは珍しいほどサービス精神をみせていたものだが、今回の聖夜ライヴはそれを凌駕するものとなっていた印象がある。

枚挙していくなら、この後にちょうど本編中頃あたりで、これまた久し振りの「7月8日」をプレイ。かと思えtheGazettEとしての本領を発揮するべく、「虚無の終わり　箱詰めの黙示」から「体温」にかけての流れでは、密室的暗黒世界をその場に創りだして観衆を圧倒し、そこから先は「AGONY」以降、激音の嵐となった「DISCHARGE」まで、ノンストップの大展開となった。

the GazettE

the GazettE live 09「A HYMN OF THE CRUCIFIXION」

蝴蝶网
hudie.com

ットリスト】
-ザクロ型の憂鬱
-赫い鼓動
-BEFORE I DECAY
-Crucify Sorrow
-Filth in the beauty
-CIRCLE OF SWINDLER
-瞞し
-ガンジスに紅い薔薇
-7月8日
0-虚無の終わり 箱詰めの黙示
1-体温
2-AGONY
3-HEADACHE MAN
4-COCKROACH
5-DISCHARGE
-encore1——
CORE
1-Ride with the ROCKERS
2-赤いワンピース
3-十四歳のナイフ
4-THE $OCIAL RIOT MACHINE$
5-関東土下座組合
6-LINDA ～candydive Pinky heaven～
-encore2——
NCORE
N1-Cassis

さ・ら・に。アンコールでは、「Ride with the Rockers」の途中、楽器隊メンバーが突如「赤鼻のトナカイ」を演奏しだす一幕まで!! 戒いわく「おまえら、ほんと良かったなぁ。俺はね、「それはちょっとやりすぎんなじゃないの?」って言ったんだよ。でも、他のメンバーが「いいんだよ、クリスマスくらい」って。それ聞いて、俺も「そうだな」って言った(笑)」というやりとりが、この事前にはあったそうだ。

かくして、ここまで来ると既にもうその場は何でもアリの状態で、惜しげもなく「赤いワンピース」と「十四歳のナイフ」が連打され、駄目押しでもするように「The $ocial riot machine$」、「関東土下座組合」、「LINDA～candydive pinky heaven～」のトリプルキラーチューンも炸裂。

東京ビッグサイトの東棟屋内展示場とは本当に広い場所で、おおよそこの夜も2万人近くのオーディエンスが詰めかけていたというが、その誰もが無心になってthe GazettEのサウンドに身を任せ、その瞬間を堪能しようとしている光景は壮観の一言に尽きた。

そして、盛大なるこの聖夜の宴において、Wアンコールとして最後を締め括ったのは…ルキがセミアコギターを携えながら歌うあの曲。そう、希代のバラードとしてファンの間でも「冬にこそ聴きたい」という呼び声の高い「Cassis」。

葵の弾く繊細なアコギ、麗のアーミングを活かしたギターワーク、戒の一打一打を大事なしたリズム、れいたの機微を感じさせるベースフレーズ、ルキのドラマティックなヴォーカリゼイション…。それらが場内に響き渡るだけでも充分感動的だったというのに、このときステージ上では数千の星影たちと、舞い散る淡雪までもが静かに彩りを添えていた。「ほんと、幸せなひとときでした。来年も暴れ倒すんで、みんな着いて来て下さい。また来年、会いましょう!」

聖夜の祝宴は、こうしてハッピーエンドをもって幕を閉じたのである。

蝴蝶网
hudie.com

カラス

YOMI（ナイトメア）／Plastic Tree アンティック-珈琲店-／ヴィドール トゥーン工場 etc...

カラスのSingle「LASTICA」PV、コメント動画の他に、表紙巻頭撮影の裏をメイキングムービーにて配信予定。その他のアーティストも撮影メイキングムービーや待ち受けなど、SHOXXと連動して配信中!! アンティック-珈琲店-感の武道館レポートも配信中です！

音楽専科社公認公式携帯サイト

http://mobile.ongakusenka.com

音楽せんか?

月額315円の会員になれば、待受け取り放題!! ムービー見放題!!さらに、発売前の音源の試聴、ライヴスケジュールやイベント情報も調べられるよ。ほか、アーティスト情報満載の楽しいコンテンツを配信しています！ 詳しくは携帯からアクセスしてね★

ARENA37℃ SHOXX ARENA37℃ SPECIAL

ARENA37℃、SHOXX、ARENA37℃SPECIALと連動した『撮影秘話』は必見!!普段見ることの出来ない雑誌撮影の裏側をムービーにて配信中!! 次々と更新されていくムービーを見逃すな!!

SHOXX×びじゅけい

ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾!
ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね!→→→→→

びじゅけいpresents 東名阪イベント 第6弾開催!

「Revolutions」- 四面楚歌DX TOUR 2009 -

★2/14(日)高田馬場エリア ★2/28(日)大阪ミューズ ★3/1(月)名古屋クアト

Wizard/シリアル⇔NUMBER/Seven/spiv states
HERO/ν[NEU]/愛狂います。(名・阪)/平成維新(名古屋)Virgil(東京)

チ
12/
発売

Wizard

シリアル⇔NUMBER

Seven

spiv states

HERO

ν[NEU]

愛狂います。(名・阪)

virgil(東京)

TMR電子書籍1月より配信決定!!

詳しい配信スケジュールの
詳細は音楽専科社のWEBページまで

ARENA 37℃ SPECIALにて撮り下ろしたグラビアのアナザーカットを配信!

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック
「SHOXX FiLE ナイトメア Edition1」が
ケイタイ書籍になったよ！

～グラビア堂書店 Pr
モバフ

QR コードからアクセス！

蝴蝶网
hudie.com

YOMI

Nightmare

2つの顔

“YOMI”だけを見てろ

2010年1月1日。ナイトメアは結成10周年を迎えた。
一言で10周年と言ってしまうのは簡単な事だが、
浮き沈みの激しいこの音楽業界で生き残って来る事は、並大抵の事ではないだろう。
今回は、そんなナイトメアをフロントマンとして引っ張って来たヴォーカリスト・YOMIに
スポットをあて、アーティスト・YOMIとしての顔、
そして、一人の青年・千葉淳としての顔、2つの異なる彼の顔を探ってみたいと思う……。

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:YORIKO MATSUDA

蝴蝶网
hudie.com

——今日はですね、YOMIさんの深い部分を探りたいわけなんですが…。
「あ、そうなんだ。俺、全然浅いですけど、はは！」
——メンバー含め、周囲の方も口を揃えてそうは言うものの、敢えてそこを突いてみようかという、弊誌の挑戦に今日はぜひ、ご協力をいただきたいと思う次第ですっ。
「わかりました、頑張りましょう（笑）」
——メンバーのみなさんからもよく訊くのが、出会ったころのYOMIさんがとても暗かった、というエピソードなんですが…もともと、そういう暗い性格の少年だったんですか？　もしくは、何かきっかけになるようなことが思春期にあったとか？
「…っていうかね、正確に言うと、人に心を開くまでの時間が、すごくかかる人間だったの」
——それは誰に対しても？
「そう、誰に対しても。だから、今みんなが知ってるYOMIっていうのは、仲良くなった後の俺の状態っていうか。だから、当時メンバーが俺のことをすごく暗かったって言うのは、心が開けてなかった状態だったんだよね」
——何年も一緒に過ごすことで次第に心を開くことができたし、メンバーと一緒にいたことで、初めて会う人に対しても昔よりは心を開きやすくなりました？
「うん、なったね。なんかね、最初なかなか人と打ち解けられない、っていうことが、だんだんなくなってきたから。それに、昔よりも喜怒哀楽の感情が表に出るようになったかな」
——昔は、意識して感情を抑えていたんですか？
「そうかもね。あんまり出したくなかったというか…打ち解けてるヤツらに対してはいいんだけど、打ち解けてない人たちに対しては、感情を見せたくないと思ってた。それがなんでかって言われると、なんでなのかは自分でもわからないんだけど（笑）」
——とにもかくにも、そうやって感情を解き放つことができるようになってきたのは、言ってみればバンドのおかげでもあるんですかね。
「うん、そうだね。メンバーのおかげもあるかもしれないし、こうやって取材とかで自分のことをしゃべったりするおかげもあるかもしれないし。あと、ラジオでしゃべったりとかね」
——自分を表現することが上手になったんでしょうし、人間的にも成長したことになるでしょうね。
「そうそう、確実に良く変わってるとは思う」
——そうやって成長していく中で、新しい自分を見つけたりすることもあります？
「…ないですっ」
——即答しちゃいます!?（笑）。
「うん（笑）。だって、自分のことは自分が一番わかってるんで。ま、メンバーとか、事務所の社長とかマネージャーも、俺のことよく知ってるけどね（笑）」
——しかし、自分で自分のことを一番わかっているというのは、非常に冷静な目を持っているということでもありますよね。
「そうなのかな…たとえば、咲人とかによく、〝ゾジーさんも本読めば〟みたいなことを言われるわけ。〝歌詞書くにしろ何にしろ、結構役立つと思うよ〟って。でね、俺も〝そうだよね〟って思う気持ちはあるの、もちろん。でも、俺はたぶん読まないなって、自分で自分を決めつけちゃうの」
——たとえば、本を手にとってみることもしないですか？
「うん、しないね。もう読まないって思っちゃってるからさ」

——そこで、〝新しいページを開いてみることで、何か得られるのでは〟っていう期待感を持つことはないんですか？
「うーん…ないんだよね。どうやったら、そういう期待感を持てるんだろう。何しろ、自分でイメージができないんだよね。ま、その本の内容にもよるかもしれないけど」
——ま、活字は人によって受け付けにくいかもしれないですけど、たとえば音楽や映画なんかは、自分からだったり、人から勧められたりだったりして、触れることはあります？
「うん、音楽とか映画とかは、聴くし観るよ。たとえば、歴史の本とかよりは、NHKとかでやってる歴史番組とかのほうが入ってくるし」
——確かに、映像化されたほうが受け付やすさはありますもんね。でも、本を読むということが、歌詞を書く上でプラスになるであろうという認識は、あることはあるんですよね。
「わかってはいる、すごく。だけど、自分はたぶん最後まで読まないだろうなって、勝手に決めつけちゃう。それって…悪いことだとは思うんだけど（苦笑）。あとは、たとえば咲人に本を勧められて、読み始めたものの途中で断念とかしたら、周りのみんなに〝やっぱりね〟って言われるのがイヤなの！」
——〝読み通りだよ〟みたいな、思う壺にはハマりたくないと。
「そうそうそう！　だったら最初から何もないほうが…サッパリしてる」
——みんなに冷やかされることもなく、潔いではないかと。
「そうそう！」
——そういう自分を、変えたいと思うことはあります？
「うん、変えたいとは思うの、すごく」
——変えたいと思わないのであればそれはそれでいいと思いますけど、変えたいのであれば…何か行動を起こす必要があるかもしれないですね。
「そうなんだよね、確かに。うん、そうなんだよ。でも…何なんだろうね、俺って」
——そうして変われば、アーティスト的にも人間的にも、さらに新しい境地に辿り着ける予感も、十分あるわけですよね？
「うんうん。そうなの」
——でも、その一歩がなかなか踏み出せないと。
「そうそうそう」
——それは、課題ですかね。
「そうだね、うん。課題だね、ホント。なんかね、求められるとダメなんだよなぁ」
——そうなんですか。しかし、ヴォーカリストなんて、もっとも多くのことを求められるポジションだと思うんですよ。フロントマンとしてなり、歌唱力、パフォーマンス、話術…そういうプレッシャーはどう感じているんですか？
「でもね、歌唱力だったり、パフォーマンスだったり、バンドに関わることに関しては、言われたら〝何くそ〟的な感じになるんですよ」
——〝見返してやるぞ〟と。
「そう、〝そのうち見てろよ！〟って思うから。でも、自分の中での枠から外れると…一気に熱が下がるっていうか」
——自分の中でのプライオリティによって、その温度は決まっていくんですよね、きっと。
「そうそう。だからね、学生のときなんかは俺、結構理数系が好きだったんだけど、たとえば理数系のテストで70点とか取ると、自信があるから〝うわ！〟って感じになるの」
——たとえ70点でも、自分にとっては低い点を取ってしまった、という感覚なわけですよね。
「そうなの。でも、たとえば全然興味のない科目で20点でも、何とも思わないみたいな。そういう感覚に近いのかな。だから、得意な分野で負けるのがすごくイヤなんだよね」
——自分の中で得意で負けたくないと思うのは、やはり歌うことであると。
「うん、歌うことであったり、パフォーマンスだったり、バンドであったりとか。特に、いちヴォーカリストとしては負けたくないなっていう気持ちが強い」
——あとは…歌うことに関してはYOMIさんをおいて他にいないですけど、歌詞に関しては、咲人さんとRUKAさんという作詞家もいるから、自分の中でのウエイトが低かったりもするんですかね。
「そういう安心感ね。でも、あんまりそういうことは意識してないかもしれない。だけど、作詞にしろ作曲にしろ、伝えたいことがある人が書くことが、一番良い結果を生むと思ってるから。たとえば他のバンドを見たときに、歌詞はヴォーカルが書いてることのほうが多いけど…俺は、〝何書けばいいんだろう〟っていう状態で書くのって、自分自身にあんまり響かないことが多くて。そういう意味では、歌詞や曲を書ける人が多いのはいいんじゃないかなって思うんだよね。それこそ、柩もNi~yaも、どんどん曲も詞も書いたら良いと思うし。伝えたいことがあるんだったら、絶対そっちのほうが良いと思うし、それもバンドの強みになっていくと思う」
——特に歌詞って、たとえばすごくハッピーなときやポジティヴなとき、逆にどん底まで落ち込んでいるときやネガティヴなときなど、何かしらの感情が突出しているときに、それが原動力になって書ける気はするんですが…YOMIさん自身、そういった起伏は多いほうですか？
「そうだな…喜怒哀楽でいったら、多いのはどうしても怒と哀ですよね。たとえば〝ジャイアニズム〟シリーズの歌詞は俺も結構書いてるけど、自分の中での怒りとか、自分自身に腹立って

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ることが原動力になるっていうか。最近は、そういう傾向の歌詞が多いかなと思う」

—その〝自分自身に腹が立つ〟というのは、どういう部分なんでしょう。

「さっきの本を読む読まないの話じゃないけど、〝自分はこうだ〟って決めつけちゃう自分にも、一方では腹が立つし」

—理想と現実の、自分の中でのギャップに憤っていると。

「そう、いろいろ腹が立つ。だから、自分自身に対して腹が立つことのほうが多いのかな」

—外に向けてではなく。

「うん。外に向けても、もちろんあるんだけど…最近もね、周りであったことに怒ったんだけど。俺、3か月に1回ぐらいのペースで地元に帰ってるんだけど、19歳ぐらいの後輩で、地元でバンドやってるヤツがいるの。そいつとたまたま会ったときに、いかにも〝ケンカしてきました〟みたいな風体だったから、〝どうしたの!?〟って訊いたら…地元でもいろんなジャンルのバンドが活動してるんだけど、違うジャンルのバンドにやられたんです、みたいな感じで」

—やられちゃったのは、いわゆるヴィジュアル系のバンドの人なんですよね。

「そうそう。なぜか〝古川ではやらせねぇからな〟みたいなことを言われたらしくて。でも、〝俺、やっぱりバンド続けたいんですけど〟って泣いてて。実際、俺もその現場を見てないからすべてはわかんないけど、そういうことかまだにあるらしいんだよね。で、そういう話を訊くと、〝なんで音楽で闘おうとしないんだろう〟って」

—確かに非常に狭量というか、そんなこと言っちゃうなんて音楽人としてナンセンスですよね。

「ですよね？ ま、実際ウチらも、先輩からそういうことを言われた経験もあるし…。あとは…何だろうな、怒ってる」

—じゃあ、ナイトメアや自分に対しての、外からの見られ方や評価なんかはどう感じていますか？

「どうだろう…。でも、俺はあんまりそういうことは考えないかな」

—左右されない？

「左右されないことはないけど（笑）、見られ方や評価に不満があったとしても、その原因は自分とか自分たちにあると思うんだよね」

—それはまた…随分シビアな目線ですね。

「でも、結果を出せてないのは自分たちが悪いと思うし」

—あとは、たとえばバンドをやってる側は、ジャンルなんかは関係なく、良い作品、良いライヴを追求していくじゃないですか。でも、周りは勝手にカテゴライズして、さらには〝ヴィジュアル系だから〟という先入観や偏見を持たれて、正当な評価を受けなかったりとか…昔よりはそういうことも少なくなってきたとは思いますけど、多少なり、肌で感じるストレスはないのかなと。

「でもね、俺はヴィジュアル系って区切られるのは全然いいし…うん、あんまり気にしてないかな」

—ただ、妙な先入観でもって聴いてもらえないのであれば、それはゆゆしき事態ですよね。

「そうそう。聴いてもらえないことはイヤだね。でも、自分たちで胸張って〝ヴィジュアル系だ〟とは思ってるからね。だから、もし食わず嫌いで聴いてもらえない人がいるんだとしたら、聴いてもらえる努力をしたいなとは。思ってるけど」

—そうやって、さらにバンドが認められるようになるために、YOMIさん自身がしなきゃいけないと思っていることは？

「やっぱり、歌唱力かな。もうちょっと頑張んなきゃいけないのは。あと、作詞だけじゃなくて、作曲もできるようになんなきゃいけないかなとか」

—作曲できる環境はあるんですか？

「それがね、うちにもMａｃがあって、ガレージバンド（パソコン上で作曲や演奏、録音を行なうことができるソフト）も入ってるんだけど…なかなか難しいんだよね（苦笑）。かなり勉強しないと、これはムリだなと」

—なんなら、ギター1本でアナログな作曲方法からスタートしてもいいかもしれないですし。何にせよ、作曲できるようになれば、バンドにもプラスになると。

「そうだね。理想は、みんなが持ち寄れることとかなって思うし」

—ちなみに、自分の中にあるYOMIの理想像に対しての、今達成しているパーセンテージはどれぐらいになりますか？

「50％ぐらいかな。ちょうど半分っていう感じだと思う。でね、最近思ったことがあって。いつも、〝RYUICHIさん大好き〟って言ってるじゃないですか。でもたぶん、この調子でずっと何年かやっていったとしても、俺の進む理想像の先は、RYUICHIさんでは無いと思うんですよね。で、この間abingdon boys schoolさんとイベントで対バンをさせてもらったんですけど、そこで西川（貴教）さんを観たときに、〝俺も頑張っていけばああなれるのかな〟って思えて。自分の理想に近いと感じたんだよね。だから、西川さんが理想の１００だとしたら、俺はまだ50ぐらいかなって」

—なんだか…すごくしっくりきますね、その進路。西川さんの声量、表現力、キャラクター…有無を言わさぬ凄まじさを感じますから。

「でしょ？ 自分でほとんど、作曲も作詞もされますからね」

—さらに、ヴィジュアル面でも、ずっと変わらずに維持していますし。

「確かにね。ホント、完璧だと思うアーティストなんで」

—そして、YOMIさんも理想は高く掲げると。

「そうしなきゃなって。自分が西川さんのライヴを観て〝もっと頑張んなきゃ〟って思ったように、自分たちもどっちかって言うとベテランに差し掛かってるわけだから…今後、若いバンドと対バンする機会があったら、自分が触発されたように、触発できるバンドであり、ヴォーカリストになりたいなって」

—そのためには、もしかしたら新しい1ページを開いてみる必要があるかもしれないですね。

「あ、そうね。うん、新しいページを開いてみるべきなのかも、ははっ」

—ま、今すぐではなくても、いつか時が来れば。

「そうなんだよね。いくら人に言われても、自分が読みたいと思わないとダメだと思うんだよね」

—でも、それは何に関しても言えることかもしれません。

「そうそう。ダイエットにしてもそうだったもん。昔はかなり人から言われてたけど…」

—そのときは、自分の中では気になっていなかったわけですよね。

「うん、全然気になってない（笑）。まさに、今の俺にとっての本みたいな感じで、必要性を感じてなかったから」

—となると、みんな諦めて言わなくなったころに、急に本を読みたくなるかもしれないですよね。

「そうかもね。だからね、その時期を待とうかなっていう気もするし。じゃないと、ムリして読んでも、頭に入らない気がする。ただ、一生その時期が来ないかもしれないけどね（笑）」

—それはそれで…しょうがないかも（笑）。といったところで、アーティスト・YOMIとしてのお話ですが、1人の男子として目指す〝理想の男像〟はありますか？

「えぇ…なんかないなぁ。なんかねぇ…千葉淳はもう、諦めてるの。いいの、もう！ みたいな。それは恋愛にもつながってくるんだけどさ。俺いつも、〝恋愛はもういい〟って言ってるじゃない？ そういう感じで、千葉淳っていう男は、完全にクズでいいんだよ」

—そんな…まるで居直り強盗じゃないですか（笑）。

「ははは！ 確かにね（笑）。でもね、ホントそう思ってる」

—ただ、人間って時間の経過とともにいろいろなことが変わる生き物ですから…たとえば二十歳のときと今では、考え方や価値観なり、変わってきていると思うんですよね。だから、そうやって口では言いつつ、実は深いことを考えていたりするのではないかなと。

「あぁ…でもね、考えてるときは、たぶんYOMIだと思う。…いや、どうだろう。自分でもわかんなくなってきたぞ（笑）」

—もちろん、バンドとして、ヴォーカリストとして追い求める像というのはしっかりあるわけですけど、一方では1人の青年でもあるわけで…自分の人生、将来、恋愛…いろいろ考えていて然るべきだとも思いますしね。

「うんうんうん。それはわかる。でもね、たぶん自分の中で、YOMIでいる時

間のほうが長いんだと思う」

——YOMIでいる時間のほうが長いというのは、苦ではないんですか。

「どっちがいいんだろう…どっちがいいか、わかんないなぁ（苦笑）」

——人それぞれだとは思いますけど、ステージに立つ自分と、プレイベートな自分を線引きしたほうが、無理がないような気もするんですよ。まったくバンドのことを切り離して、素に戻って考えることや、考えたいこともあるだろうし。

「あぁ、なるほどね。素に戻るってなると…結構、地元の友達が東京に出てきてたりするんだけど、そういう友達と呑んでるときかなぁ。そういうときも、話すことといえばバンドのことなんだけど…YOMIというよりは、一人の青年としてしゃべってるような気はする」

——そうやって千葉淳になったとき、一番大事にしていること、守りたいと思ってることって何でしょうか。

「大事にしていること!? 何だろう…YOMIとしてはいろいろあるんだけど…一人の青年としてはないかなぁ。うん、ない！」

——とはいえ、ナイトメアを始める前は、YOMIではなく千葉淳だったわけじゃないですか。そのとき大事にしていたことはありませんか？

「あったんだろうけど…思い出せない。」

——忘れてしまうぐらい、今はただただYOMIなんですか。

「うん…なのかもしれない。でも…基本的にはね、俺も分けてるつもりなの。だから…悪いことしてるときは、YOMIではないかな」

——そういう分け方!?

「[illegible]悪いことするのは、全部千葉淳（笑）」

——千葉淳という人には、悪魔の尻尾がついているわけですか。

「そうそう。で、前向きに頑張ってるのが、YOMI。そういう分け[illegible]。だからね、自分でも〝千葉淳だから仕方がない〟って思ってる節はある（笑）。一人の青年として守りたいものってないもん。っていうか、守りたいものを作らないようにしてる。たとえば、恋人とかね。守るものがあって強くなれる人もいるじゃない？ でも、俺はたぶん、そういうタイプじゃないと思う。ま、守るものがずっとなかったから、ホントにそういうタイプかどうかはわかんないんだけどね」

——でも、そうやってさんざんやんちゃな人に限って、本気で守るものができたときに一気にそっちにのめり込んじゃったりはしがちなんですよね。

「うんうん、なんなら悪く変わっちゃったりしてね。俺、たぶんそっち系だと思うんだよなぁ」

——自分でそう感じるところがあるから、敢えて守るものを作らずにやんちゃに振る舞っていたりして？

「…なのかもしれないよね。実際、守りたいものができたときに、どうなるかはわかんないけどね。もしかしたら、良い方向に変わるかもしれないし」

——だから、わざと巨乳好きをアピールしたりして、真剣な恋愛観を持っていないように見せたりもするんでしょうか。

「うん、本気で好きにならないようにはしてるとは思う」

——内面の魅力に気付いたり、惹かれたりしないように、自制していると。

「そうかも。ただね、何だかんだ言って、上っ面だけじゃなくて、内面の良いところも見てるの、俺。でも、気づかないフリをしてる」

——臭くもないのに、フタしちゃうんですか。もったいない！

YOMI

Nightmare

「言われてみればね（笑）。でも、そうやって考えると…うん、敢えてそうしてるところはあるね」

——それは、YOMIさんにとって実は苦痛ではないんですか。

「でもね…過去に何人かと付き合ってきて、行き先がわかっちゃってるんだよね。たとえば誰かと付き合ったとして…絶対、結婚とかしたいから付き合うわけじゃないですか」

——そういう考え方も、あると思います。

「最初はただ好きなだけかもしれないけど、ずっと付き合っていけばさ、とりあえずのゴールはそこになったりもするじゃない？ で、たとえば〝結婚したい〟って女の子が思ったときに、自分はそこ（結婚）に連れて行ってあげられないんだよね」

——ただ、〝それでもいいから一緒にいたい〟っていう女子も、いるとは思うんですよ。

「それはね、俺がイヤだ。俺は、好きな相手だったらちゃんと結婚して幸せにしてあげたいと思うから。だから、そうしてあげられないんだったら、付き合ってても相手に悪いなって」

——ということは、さっき一人の青年として目指すものはないと言っていましたけど…今は考えられなくても、将来的に幸せになるという青写真がないわけではないんですね？

「うん、ないわけではない。けど…自分で全然想像はつかないよね。不安もあるし。さっきの話じゃないけど、幸せになることで自分が悪い方向に変わっちゃうかもしれないし。一応さ、こういうジャンルって…結婚とかあんまり受け入れられる傾向がないじゃない？ 俺がもし結婚したとして、ナイトメアの人気が下火になったら、イヤだしさ。ただね、俺は、もし結婚したらちゃんと発表したいの。で、発表したときに、そこで本当のことがわかるのかなとは思ってるんだけど。CDのセールスだとかライヴの動員がガクっと下がったら、俺たちはアイドルだったんだなってわかるじゃない？ それが、セールスや動員に響かなかったら、ホントに俺たちの音楽を好きでいてもらえてたんだなってわかるから」

——それは…まさに、真価が問われる瞬間かもしれません。

「うん。俺はずっと、〝バンドマンだ！ アイドルじゃねぇ！〟って思ってやってるけど、実際、アイドルみたいに見てる人たちも、少なからずいるとは思うんだよね。それはそれで、いけないとも思わないし。だけど、やっぱり…アーティストでいたいと思う」

——その上で、私生活ではハッピーで、なおかつバンドとしてビッグネームな存在であり続けられれば、それが一番良いですよね。

「うん、そうだよね」

——海外のバンドなんかそういうことはオープンですし、エアロスミスなんか、堂々と家族もツアーに同行したりしてましたもんね。ただ、YOMIさんも今時点で、他のヴィジュアル系バンドがタブー視しそうな下ネタやら武勇伝を公にして、それがファンからも受け入れられてはいますから…下地はできているような気はします

「あぁ、俺もね、それは思う。俺、ナイトメアのメンバーの中で一番、〝まだいいかな〟って思われそう（笑）」

——むしろ、何かハッピーな報告があったら、〝更生できて良かった〟って思われたりして（笑）。

「はは、そっちね！ でもね、自分でもそんな気はしてる。それに、悪魔の尻尾が生えてる情報がみんなに広まったとしても、〝YOMIだからしょうがないよね〟ってみんなに思われてるんだろうなっていうのも、思う」

——そういう安心感!?（笑）。しかしですね、その悪魔の尻尾を、ちょっとは隠しておこうかなという気には…ならないんですか。

「ならない！（←即答）。それはね、女々しいっ」

——具体的にどういうことをなさってるかは、私もわかりませんが…そういうやんちゃな話って、都市伝説的に尾ひれがつくことが多いじゃないですか。

「いやいや、そこはね、話がどんどん大きくなっててもいいぐらい。だって、そっちのほうがロックじゃん。俺、〝YOMIさん良い人〟みたいに思われるほうがイヤだもん。〝コイツ危険！〟って思われるほうが、理想だもん。それには、バンドとしてちゃんとカッコイイっていうのが大前提なんだけどね」

——ただの悪いヤツじゃいけませんね、確かに（笑）。

「そうそう、そこ大事だから」

——でも、ステージに上がれば表現力、存在感ともに申し分ないけど、普段はなかなかワルいみたいなギャップが、ロック的なカッコよさを一番感じさせるのかもしれないですね。

「俺はね、それがカッコイイと思ってる」

——というスタイルは、これからもしばらくは変わらないと。

「うん、変わらないと思う」

——というYOMIさんの言動について、メンバーからは何か言われたりしますか？

「枢にね、よく言われる、はは。でも…こればっかりは治りません！ だからね、ファンのみんなにも言いたいのは…〝千葉淳は見るな〟ってことなんだよね。ファンってどうしても素を見たがるじゃない？ でもね、自分で言うのもなんだけど、千葉淳は見てもしょうがないから（笑）。とにかく、〝YOMIだけを見てろ〟と。アーティストとしてのYOMIは、前向きに、ストイックに磨いていくからさ」

<伊達漢>〒162-0831 東京都新宿区横寺町３２TR神楽坂Bld.　TEL:03-3268-7213（受付時間・平日12:00～18:00）　dateotoko@nightmare-web.com

蝴蝶网 hudie.com

——RUKAさんのソロプロジェクト〝The LEGENDARY SIX NINE〟なんですが…何しろ謎だらけでして、いろいろと探りに参りました。
「わかんないことといっぱいあるよねぇ。だってさ、みんなわかってないもん、俺含め（笑）」
——そんなまさか!?（笑）。…メンバーはPENICILLINのHAKUEIさん、そして、日本語ラップの草分け的存在であるTWIGYさんですが…HAKUEIさんは以前から親交があった方ですけど、TWIGYさんとも以前から？
「いや、ゼロだよね。ホントね、接点はなかったよ。個人的に俺が好きだったっていうぐらいで。CD全部持ってるからね。KAMINARI-KAZOKU.（前身は90年代、YOU THE ROCK★らと共に活動した〝雷〟。2003年にKAMINARI-KAZOKU.として再始動し、2004年にはアルバムも発表）のころに知ったんだけど、ラップがすごい衝撃的で。まず声質が、甲高くてちょっと変ってるなって」
——確かに独特な声の持ち主ですよね。
「そうそう。聞いたら1発でわかるし。あと、書いてる詞の内容がさ、もうわかんないの。今回もそうだったんだけど、独特すぎて」
——そういう憧れのTWIGYさんと、いつか機会があれば一緒に音楽を作ってみたいと思っていたところに、チャンスが舞い込んだわけですか。
「そう。なんか突然でさ。TWIGYさんが、KAMINARI-KAZOKU.の前にMICROPHONE PAGER（1992年に結成のヒップホップグループ）をやってたんだけど、MUROさん（MISIA、ZEEBRA、安室奈美恵等の作品にも参加）とTWIGYさんの2人で再結成ってなって、すごいドキドキしてたわけ。そうしたら、たまたまウチの事務所のレーベルでやることになったって訊いて。そこから、あれよあれよという間に一緒にやれることになったんだよ」
——しかし、それには先方も共鳴してくれないと始まらないですが…どんな言葉でお誘いしたんですか。
「…〝一緒にやってください〟って」
——随分と直球（笑）。〝前から好きでした！〟みたいな感じで。
「そうそう。で、〝あのときのラップの感じが好きです〟とかいろいろ話してて」
——RUKAさんのホントに好きという気持ちや熱意が、TWIGYさんに通じたんでしょうね、きっと。
「だといいんだけどね。でも、TWIGYさんってすごくオープンな人で。それこそさ、即答で断られるぐらいに思ってたけど、〝ソロでやるんで、ゲストでラップ入れてもらえませんか〟って言ったら、〝いいよ〟って。ノリノリでやってくれたね」
——しかし、ナイトメアの10周年とソロプロジェクトの始動が重なったのは…偶然？
「ホント偶然。元々はHAKUEIさんと一緒にやりたいって言ってたからね、お互いに。それが延び延びになってたん

蝴蝶网 chudie.com

The LEGENDARY SIX NINE

RUKAソロプロジェクト始動
今、その全貌が明らかに!?

The LEGENDARY SIX NINEが遂に始動！ The LEGENDARY SIX NINEとは、ナイトメア・RUKAのソロプロジェクト名。毎回、メンバーを入れ替え、ナイトメアとはまた違うアプローチで、音楽を表現していく予定だと言う。その第一弾として、PENICILLINのHAKUEIとヒップホップ界のカリスマ・TWIGY氏を迎えての始動となる。今回は、ソロプロジェクト始動に至るまでの経緯をRUKAに語って貰った。

Interview:YUKA SUGIE

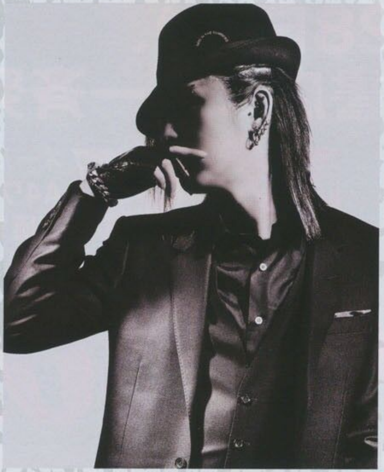
て。で、やっと去年レコーディングしたって感じ。だから、たまたまなんだよね、10周年と重なったのは」
――でも、HAKUEIさんとも念願叶ってコラボレーションできたわけで…実際、一緒に作業してみて感じたこともあるのではないかなと。
「どうだろうな……時間に来ない（笑）」
――そこ!?（笑）。しかも、今までは気付かず？
「いや、それまでは家に行くとかだったから、待ち合わせってしたことないからさ。でも、時間決めてみたらホント来ないから…ウケるよ（笑）。ま、逆に時間通りに来られちゃうと緊張するからね、先輩だし。だから良かったなって。でもね、HAKUEIさんは時間に来ないけど、来てもすぐブースに入って歌えるから。そういう面では、プラマイ0かな。現場に来てからノド温めるのに1時間かかるとか、そういうヴォーカリストじゃないからね」
――そこはさすが、プロフェッショナルですね。しかし、いつものレコーディング作業とは顔触れも違うわけだし、新鮮

内にあったのではないかなと。
「ま、自由っていうぐらいかな。ヴォーカルが2人っていう自由度はある。声も2つだし、メロディとラップに分けられるし」
――そして、それはRUKAさんにとってすごく楽しいことなんですよね。
「うん、楽しいね。2人分作んなきゃいけない大変さはあるけど、すごく楽しい。声が途中で変わるとドキっとするし。なんかさ、昔からミクスチャーバンドなんかだと、ロックにヒップホップのラップが乗るとか、バンドのヴォーカルがラップをするってあったけど、ヴィジュアル系ってやっとそういう要素が入ってきた感じじゃない？　ファンにもだいぶ免疫がついてきてるような気はするけど、やっぱり、ヴィジュアル系を好きなファンはヒップホップが苦手だったりするし、もちろんヒップホップの人たちはヴィジュアル系を〝何だこれ？〟って思ってるだろうから。そういう意味で、本物を聴かせたいなっていう想いはあった」
――その意味では、かなり強力なプロジェクトだと思います。しかし、バンド

ンも中にはいると思うんですが…そういった声にはどう応えます？
「でもさ、ヴォーカリストがソロやるって大きいことだと思うけど、俺って歌わないからさ。ソロで動いたとしても、影響はないんじゃないかなって」
――ベーシストやギタリストのソロだと、自身が歌うケースも多いですけど…歌おうとは思いませんでした？
「思わなかったね。だってさ、ドラム叩きながら歌うのカッコ悪いもん（笑）」
――機会があれば、いつか歌声も聴いてみたいものです。さて、3月にはシングルをリリースするわけですが、今回はまず、予告をしておいてください。
「PV盤には2曲、CD盤には3曲入る。でも…俺の中では曲を作るスタンスは変わらないからね、ナイトメアと」
――ラップが入ってくることを想定していつもと手法を変えたり、メンバーとアイデアを投げ合っての曲作りではないんですか。
「メンバーには投げないね。曲を作ってる段階で、歌とラップが入る場所は決めちゃうから」

さんのラップに刺激されて書いたりもしたんですか？
「いや、今回はね、全部歌詞も書き終えてからTWIGYさんに渡したから。でもさ、TWIGYさんのラップはやっぱりカッコイイ。完全に負けたと思ったもん、最初聴いたとき。すごいなって思ったね」
――というソロ作品ですが、ナイトメアのメンバーはすでに聴かれたんでしょうか？
「どうだろう…Ni～yaは聴いた」
――して、その反応は？
「いや、特に（笑）」
――〝どうだった？〟とも訊かず？
「訊かないな。あんまり触れないほうがいいかなと思って（笑）。でもさ、他の4人のソロも聴いてみたいな」
――結構…バラバラなことになりそうです。
「だろうね。っていうか、バラバラがいいな。うん、楽しみ」
――ちなみにこのプロジェクト名、見たままと言われそうな気もしますが、〝ロック〟なり、何か2重、3重に意味が重なっ

「…6月9日（←誕生日）っていうぐらい（笑）。他はホントに何もない。何かちゃんと意味込めるような人だったら、写真でも真ん中に来るでしょ。そういうのではないからね」
――いかにもRUKAさんらしい（笑）。今後はどう展開していくんですか。
「3月にね、イベントに出る。あとは、秋口に第2弾が出る予定。で、毎回、3曲目にはナイトメアの曲を入れようと思ってる。でもね、今回のメンバーと一緒にやるかどうかはわかんない。っていうか、そうやってメンバーが流動的なのが、このプロジェクトだから。プロジェクト名は変わらないけどね」
――しかし、普段、あまり人と交流がないと言ってはいますが、次々とメンバーを変えていけるということは、意外と人脈があるということですかね。
「ないよ。次々と変えていけたらいいけど、まだわかんないし」
――…願望ということですか。
「そうそう。だから、今回のメンバーに戻ったら、〝友達尽きたんだな〟ってことで（笑）」



RUKA

2000年1月に結成されたナイトメアのドラマー。インディーズ時代に発売した限定デモテープやシングルを次々と完売させ、2003年にメジャー・デビュー。その後も、心地よく、耳に残るメロディーの楽曲をリリース、メインコンポーサーの一人としてバンドを支え、多くのファンを魅了し続けている。

HAKUEI

1992年に結成されたPENICILLINのヴォーカリスト。インディーズで4年間活動したのち、1996年メジャーデビューし現在に至る。その他にも、ソロやユニットでの活動も平行して行うなど、CDリリースや国内外でのLIVEなど精力的な音楽活動を行ってきた。また、ファッションモデル、漫画家としても多彩な能力を発揮するなど、多方面でのアーティスト活動をおこなっている。

TWIGY

'80年代後半からラップを始め、その独特の声とフローだけではなく[illegible]ンやスタイルでもヘッズたちを魅了して止まない文字通り日本語ラッ[illegible]ネーター。'90年代に入ってから、ソロとして数々のコンピレーション[illegible]楽曲を提供。'98年東芝にて1stソロ・アルバム『AL-KHADIR（アルハディル）』[illegible]ス、2ndアルバム『FORWARD ON TO HIP HOP SEVEN DIMEN[illegible]らはセルフ・プロデュースも始め、常に斬新なアイディアで聴く[illegible]作品を発表し続けている。今年リリースするアルバムを制作しながら[illegible]楽曲に参加するなど幅広い層から支持を得ているヒップホップ・アーティ[illegible]ト。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX INDEXX 2010

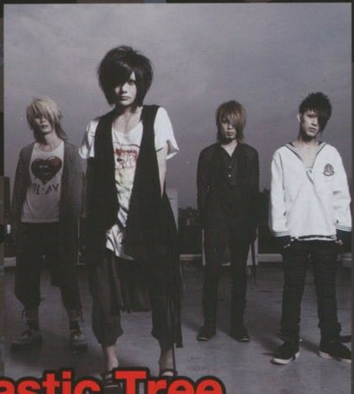
1月28日(木)、
全国書店にて一斉発売!!

ショックス インデックス

オールカラー
A4ワイド版 164ページ
定価1890円
(税込) 本体1800円
雑誌04538-03

2009年に『SHOXX』に掲載された記事から、オイシイところをピックアップした恒例のSHOXXアーカイブスが今年も登場!! 大好きなアーティストのあの記事を見逃しちゃったあなた。最近気になり出したアーティストの記事を読みたいあなた。一気にまとめて楽しみたいあなた。ぜひ手に取ってくださいませ!!

ナイトメア
50pages



Plastic Tree
31pages

ムック 28pages

彩冷える
24pages

LM.C
23pages

発行:株式会社 音楽専科社
〒104-8228東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL:03(3574)0201 FAX:03(3574)8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

CUT LINE

雑誌注文書(コピー可)

書店(番線)印 雑誌扱い	受注 月 日	部数: 部	担当者:
	書名: SHOXX 3月号増刊 『SHOXX INDEXX 2010』(ショックス インデックス) 定価1890円(税込) 1月28日発売		
	あなたのお名前	あなたのご住所 〒 TEL	
	出版社名:(株)音楽専科社 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL:03(3574)0201 FAX:03(3574)8548		

Ayabie

彩冷える

蝴蝶网
hudie.com

彩-irodori-

"今"の彩冷えるのカラー

2009年の5月。「会いたくて」で念願のメジャーデビューを果たした彩冷える。そんな彼らから、年明け一発目に、初の1stアルバムが届けられる。1月27日にリリースされる『彩-irodori-』と名付けられたこのアルバムは、「会いたくて」「夏物語り」「サヨナラ」というメジャー 3部作を網羅しつつ、彩冷えるの原点と、メンバー全員が楽曲を手掛ける彼らだからこその個性を感じる必聴の1枚と言えるだろう。

Interview:NAOKO TAKEICHI

葵

夢人

タケヒト

——メジャー初のフルアルバムが出来上がった訳だけど。

葵：ですね。実は、フルアルバムって、初めてなんですよね。インディーズ時代、このメンバーになってからは、ミニアルバムしか出してないんで。

——彩冷えるは、毎回、シングルでもメンバー全員の楽曲が入ってたりして、シングルなのにミニアルバム的な充実感のある作品だったりするから、初めてのフルアルバムって感じがしなかったよ。

ケンゾ：それはあるかもね（笑）。今回も、まったく違った曲調ばっかだからね。

——コンセプトはあったの？

葵：いままでの彩冷えるだと、何かそういう意味を持たせたアルバムなんじゃないか？って思われると思うんですけど、今回は、このメンバーになっての初めてのフルアルバムってことで、5人の個性を惜しみなく出し切りたかったし、今の彩冷えるのカラーを、存分に伝えられる1枚にしたかったので、敢えてテーマ性を持たせずに作ったんです。

インテツ：みんな、今、自分の作りたい曲を自由に作ってきてたので、お互いに新鮮でしたね。実際に制作に入ってからも、全体をディレクターが統一させてくれるというスタイルではなく作曲者がディレクションするというスタイルを取ったので、そこでも、より個性を引き出せたんじゃないかなと思います。ケンゾさんはどう思いますか？〝別に〟とか〝逆に〟から入るのも、〝総合的に〟から始まるのも禁止（笑）。はい、どうぞ。

ケンゾ：喋りにくぅ～（笑）。そこは、喋る前の口癖だから、それがないと喋りだせないっつーの（笑）。え～と。今回はホント、改めて、彩冷えるってなんでもアリなんだなぁって思った（笑）。1曲1曲をピックアップして聴いたら、まったく違うんだけど、不思議と並べて聴くと、はちゃめちゃになってないとこがすごい。それって、メジャー一発目のシングルのときに、敢えて4人の曲を入れて、バラバラにしようって狙いがあって、3枚目のシングルの「サヨナラ」で、結構彩冷えるの真ん中に着地させたっていう、流れがあってのアルバムだったことも、結果的にいい流れだったんだろうね。1stアルバムなんだけど、なんか、『グレイテスト・ヒッツ』的な感じだよね。

蝴蝶网
hudie.com

タケヒト：たしかに、1曲1曲の個性が強いのに、ちゃんとまとまって聴こえるっていう意味では、そういう感じなのかもね。個人的に、今回も、最初の選曲会のときは、作曲者も4人居たし、やっぱり4人それぞれ個性的な曲を持ってきてたこともあって、正直、“大丈夫かなぁ？”って心配になったんですけど、最終的に選曲して並べてみたら、不思議と統一されたメロディを感じたり、彩冷えるらしさを感じたりする作品になって、自分でもびっくりしたんですよ。インディーズ時代は、アレンジ面もディレクションも、全部自分たちだけのジャッチだったこともあって、やりたいことを表現するには限界もあったんですけど、今回は、メジャーという環境だからこそ出来たこともあって、より自分たちがやりたかった音に近づけた気がしたんですよね。

——驚いたのは1曲目の「0010101」。こんな激しい幕開けはまったく想像してなかった。葵くんのシャウト始まりとか、英詩も、かなり新鮮。

葵：英詩で、しかもラップの様に同じ旋律で歌うってのは、本当に初の試みでもあったんです。自分的にもかなり冒険だったんですけど、曲とのハマりもすごくよくて、新しい彩冷えるの扉を開けた気がしてますね。

インテツ：この曲は、インディーズの頃にやってた、ベースのスラップから入る「001010」っていう曲をオマージュして、今回はギターのリフから入る激しい曲に変えて作ってみたんです。歌モノが多い中、こういう曲も面白いんじゃないかなと思って。8曲目とかに入ってたら、アルバムの中にある激しい曲ってだけのことだったんですけど、ド頭に持ってきてるところが斬新なんじゃないかなと思いますね。敢えて、今の僕たちがやる激しい曲は、こうですよ、っていう、証明になったというか。そこをしっかり感じてもらえたら嬉しいなと思います。

——紅茶飲んでマフィン食べてる人が書く感じの曲じゃないよね（笑）。

ケンゾ：ホントそうなんだよ、どっちかって言ったら、メタル好きな俺が書きそうな曲調じゃない（笑）？ プライベートではとことん激しいのが好きなんだけど、自分が作るときは、最後に光を感じる系の曲を作ることが多いんだよね。

——「Labyrinth」は、ゆったりとした曲かと思いきや、案外速いし、細かく刻まれるギターがすごくロックっぽいし、軸にケンゾらしさを感じるよね。

ケンゾ：そうそう。俺全開曲だよね。

タケヒト：2年くらい前には出来てたよね、その頃から何度も聴かせてもらってて、いつか形にしたいなって思ってた。

葵：テンポ感が変わる面白い曲だと思いますね。Aメロが低くてBメロが高い、そんでもってサビが低いっていう。Bメロがサビ以上に目立っていいんですよ。

——「GAME」は、夢人色全開のゲーム音をサンプリングした楽曲で。久々だね、こういう曲。最近のシングルではなかったもんね。

夢人：そう！ アルバムということで、夢人全開でいきましたね。最初は、打込み全開だったんだけど、ファミコンの音を取り込んでたりするんで、とことん古さを強調しようと思ったときに、古さとはなんぞや？って突き詰めていったときに、打込みじゃなく、生音にしようと。

——そこがすごくバンドっぽいよね。

インテツ：うん。ライヴだともっと迫力出ると思うんですよね。

——その後に続く「shake」も夢人曲だけど、これまたジャジーで。

葵：そうなんですよね。今回夢人くんが一番振り切ってるんじゃないかなと思いますね。同じ人の曲とは思えないくらいの振り幅なんですよ。「映写機が映す空」も夢人くん曲なんですけど、すごくこれはドラマティックな曲だし。

——そうだね。「shake」の間奏の気だるい感じのギターソロはタケヒト？

タケヒト：俺か夢人かっていったら、俺っぽいソロですよね、あそこ（笑）。でも、あそこは夢人が弾いてるんです。

夢人：自分にない感じのフレーズだったんで、めっちゃ練習したんですよ！

タケヒト：いままでにはない曲調だったから、すごく苦労した曲でもあったんですよ。ノリを出すのがすごく難しかった。音にもこだわったんだけど、こだわっただけのことのある音で録れましたね。

——葵くんの歌い方もちょっといつもと違うし。

葵：そうなんですよね。この曲はムーディーに、アダルトに、昔の歌謡曲をイメージして歌ってみたんです。歌詞も、90年代のバブリーな感じを思わすモノにしてみたんで、曲との絡みが面白いんじゃないかなと思いますね。

——そうだね。音と言えばね、今回1曲1曲の音色にもこだわりを感じるよね。「0010101」のタイトなドラムの音もすごく好きだったんだけど、「shake」のドラム音も、すごく印象的だった。

ケンゾ：全然違うもんね。コンプガチガチのと、生音のバサバサした感じのね。

インテツ：ケンゾくん、「shake」のシンバル音決めるのに2時間かけたんですよ！ ベース音も、ウッドベースっぽい、古めの音にしたくてこだわった1曲だったんです。

——曲の並びもすごく良かった。個人的に「映写機が映す空」から「サヨナラ」に繋がる感じが最高で。

タケヒト：さすが。わかってらっしゃる（笑）！ ここはね、最高にこだわった流れだったんですよ。インテツと夢人と3人でスタジオに居たときに、いろいろと考えてたんだけど、「映写機～」の終わりに、カチッっていう音が入ってるんですけど、そこから曲間を0にして「サヨナラ」が始まったらいいんじゃない？ってことになってやってみたら最高で。ここだけ曲間0にしてあるんですよ。

葵：歌詞的な繋がりはないんですけど、曲の流れ的にストーリーが繋がってる感じもあってね。すごくドラマティックになってるんですよね。

——タケヒトは、泣きのメロが得意だもんね。「サヨナラ」もタケヒト全開だし。

タケヒト：そうですね、なんかちょっと古い歌謡曲ノリというか（笑）。

夢人：その泣きの感じと「映写機～」がここまでマッチするとはね、自分たちの音源ながら、ホント絶賛。あ、言い忘れましたけど、僕、「映写機～」で初のアコギにチャレンジしてます！ 僕的には、「0010101」で散々騒ぎ散らした後に、“会いたくて～”って、いきなり歌モノ!?っていうギャップも好きです。

葵：このままの並びでセットリスト組んでライヴをしても面白そうだなって思ってるんですよ。このアルバムを引っさげてのツアーが今から楽しみなので、ぜひ、みなさんも楽しみにしていてほしいです。

インテツ

ケンゾ

【ライヴスケジュール】●「brand new story」2010/1/6東京厚生年金会館●12/31渋谷C.C.Lemonホール
(問) donut spin　東京都港区西麻布3-2-9　サンライズ六本木5-B　http://www.ayabie.net/

蝴蝶网
hudie.com

AN CAFE
アンティック－珈琲店－

Live at 日本武道館 2010.1.4

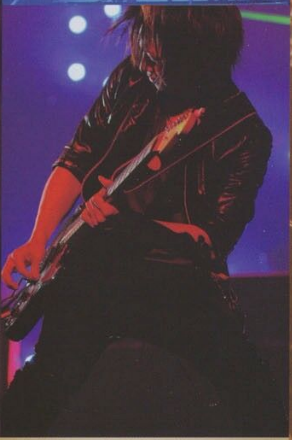
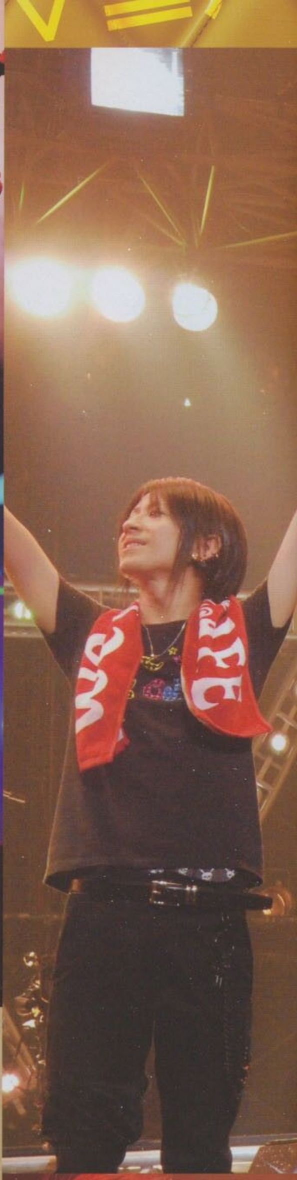
Photography: MIWA OHYA. Report:NAOKO TAKEICHI

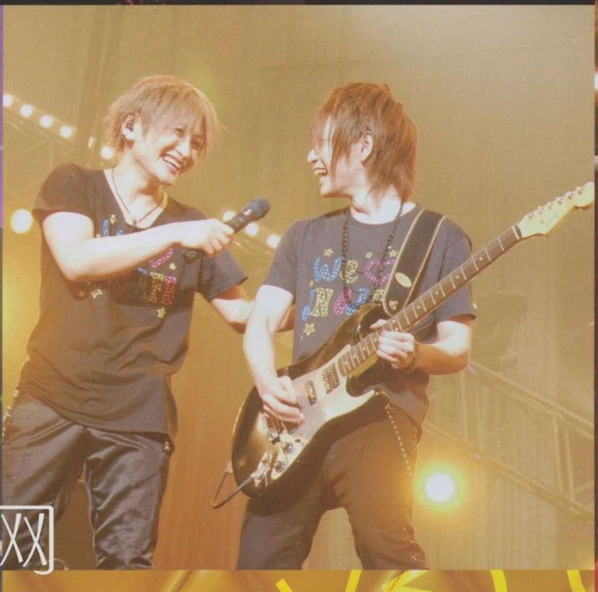
2010年1月4日。初めて武道館に立つこの日に、アンティック-珈琲店-は、活動休止することを発表していた。

バンドを始める者すべてが、この場所を目指すであろう武道館。彼らは結成から6年目にして、やっとここに辿り着いた。初期メンバー、ギタリスト坊の脱退。そして、takuyaとゆうきの加入。彼らの6年間は決して平穏なモノではなかった。みく、takuya、カノン、ゆうき、輝喜、そして、彼らを支えた多くのカフェっ仔達とで叶えた夢のライヴを、ここに書き残そう。

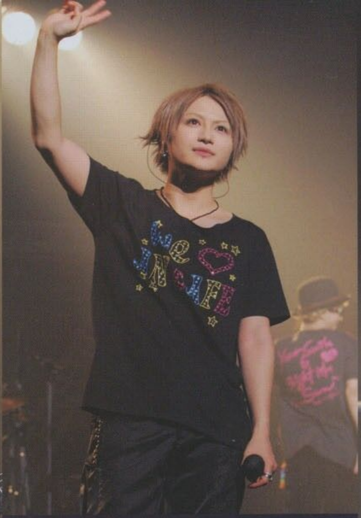
LIVE CAFE 2010
『キング オブ 原宿ダンスロック』
～いきなりニャッピーレジェンド～

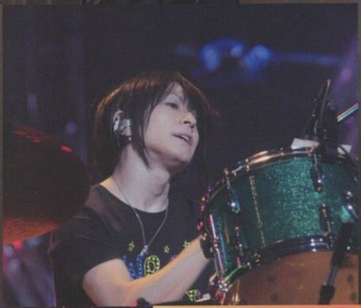
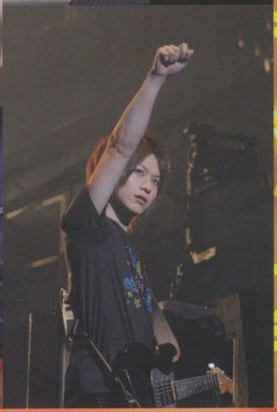
蝴蝶网
hudie.com



蝴蝶网
hudie.com



蝴蝶网
hudie.com

バンドとは、実に難しいモノである。
この日、改めてそんなことを思いながら武道館へと向かった。会場前に集まったたくさんのカフェっ仔たち。普通ならば、ここは〝おめでとう〟の場所。しかし。ほっぺを赤く染め、寒さをこらえながら、武道館正面に掲げられた『アンティック-珈琲店-武道館・キングオブ原宿ダンスロック〜いきなりニャッピーレジェンド〜』の横断幕の下に集まり、なかなか会場に入ろうとしなかったカフェっ仔達。解散、ではなく、あくまでも充電期間とした前向きな活動休止とはいえ、この日のライヴが始まり、終わってしまえば、しばらく彼らには会えなくなる——。それが分かっているからこそ、カフェっ仔は会場に足を踏み入れたくなかったのだろう。私自身、武道館を、彼らがこんな形で迎えることになったことを、正直、残念に思っている。初めて彼らからこの事を聞かされたとき、その意味を理解することが出来なかった。〝どうして休止なの？ 続けたままじゃ出来ないの？〟きっと、カフェっ仔も同じことを思ったに違いない。しかし、彼らは、自分たちがもっと成長するために、少しアンティック-珈琲店-から離れなければならないのだと言った。前ギタリスト坊の脱退により、一度はバランスを崩しかけた彼らだったが、新たに、今から将来が楽しみなほど、しっかりとした個性を持ち、第二期アンティック-珈琲店-のメインコンポーザーとなったギタリストであるｔａｋｕｙａと、キーボーディストとしてだけでなく、バンドのアイコンとして、バンドのムードメーカーとなったゆうきの加入により、更にバンドの個性が際立ち、再びアンティック-珈琲店-旋風を巻き起こした彼ら。今や、アンティック-珈琲店-のフリークバンドも出て来るようになったというのに、人生は分からないモノである。

しかし。彼らはこの日。最高のライヴをカフェっ仔に届けてくれた。自分たちの夢でもあった武道館ということももちろん、しばらくこの5人で音を出せなくなるという想いを、すべて音にぶつけた、熱を感じさせたライヴだった。

ゆったりとしたSEに乗って、ゆっくりとステージに現れた5人。まず最初に、上手から輝喜、下手からゆうき。続いて上手からカノン、下手からｔａｋｕｙａ。彼らは、ステージ中央で硬く握手を交わし、それぞれの定位置についた。そして、最後にみく。中央から、スモークが立ち込めたステージに、ゆっくりと姿を現したのだった。5人が揃ったステージに向かって、大きな歓声を投げかけるカフェっ仔たち。

彼らはそんな歓声を思い切り吸い込み、1曲目に用意した「覚醒ヒロイズム」にぶちまけた。間髪入れずに届けられた激しいナンバー「逃避回路」では、素晴しくまとまったバンドサウンドを感じた。細やかなフレーズまでも正確に叩きこなし全体のサウンドを支える輝喜のドラム。息の合った、寸分の狂いのないユニゾン感でサウンドに厚みを与えていたｔａｋｕｙａのギターとカノンのベース。ディープなサウンドを、鮮やかに演出していたゆうきの鍵盤。この日は、『エトセトラ the 武道館』も、歴代の曲をインストで届けるなど、４人のバンド力をしっかりと見せつけてもらった。彼らが一緒に音を放つようになって2年半。わずか2年半で、こんなにもバンドサウンドは成長するものなのか？ と、今更ながら驚いたほど、彼らの音は成長していた。楽器隊としても人間としても、本当にお互いのピースを求め合う、いい関係だったことが伺い知れる演奏だった。「テケスタ光線」や「Cherry咲く勇気!!」などのダンス曲と、「キャンデーホリック」「エスカビズム」「武士道と云ふは死ぬ事と見付けたり」などの毒を持ったヘヴィ曲と、「ベストアパート」「alone」という聞かせる曲を、見事に歌い分けていたみくのヴォーカルにも、この日は特別な想いが込められている気がしてならなかった。

いままで、ライヴのことを、ずっと〝デート〟と呼んでいたみく。〝デートは楽しいだけのモノだけど、結婚は良いとこも、悪いところも見て認め合っていくことだと思う。だから、これからは、みんなとそういう関係になりたいと思って、今日は結婚式って言いました〟と、その意味を語った。

そして。「スマイル一番イイ♀」で締めくくられたライヴ。客席の電気がカフェっ仔たちを照らす中、彼らは涙をこらえ、最後の音を精一杯放った。

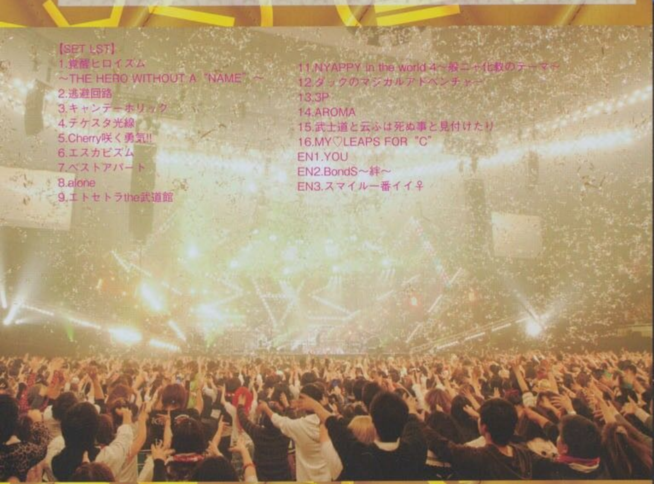
まさに。この日。ライヴタイトルどおり、彼らに【キングオブ原宿ダンスロック】の称号を与えたいと心から思った。

最後に輝喜が言った言葉。〝「待ってて」って、すごく我が侭な言葉だと思うけど、もし良かったら、待ってて下さい——〟カノンが最後に言った〝みんなに「ありがとう」って言ってもらえたら、やってきた意味を感じます〟という言葉。

5人のありがとうと、カフェっ仔のありがとうが深く心に残ったライヴだった。

約束してほしい。また戻って来ると。待ってます。カフェっ仔とともに。２０ＸＸ年、SUMER DIVEのその日まで…。

【SET LST】
1.覚醒ヒロイズム
〜THE HERO WITHOUT A "NAME"〜
2.逃避回路
3.キャンデーホリック
4.テケスタ光線
5.Cherry咲く勇気!!
6.エスカビズム
7.ベストアパート
8.alone
9.エトセトラthe武道館
11.NYAPPY in the world 4〜般ニャ化教のテーマ〜
12.ダックのマジカルアドベンチャー
13.3P
14.AROMA
15.武士道と云ふは死ぬ事と見付けたり
16.MY♡LEAPS FOR "C"
EN1.YOU
EN2.BondS〜絆〜
EN3.スマイル一番イイ♀



【ライヴスケジュール】●20XX年　SUMER DIVE
(問) Red Cafe　東京都港区北青山2-12-28　青山（SEIZAN）ビル2F　☎03-3475-7420（平日11:00〜19:00）

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ムック feat.ミヤ

蝴蝶网
hudie.com

ムックをもっとムックに――

2010年は、2009年にやったことはもうやらないんじゃないかな

何と頼もしいことだろう。
「2010 年は、ムックをもっとムックにして行く年になる」――
ミヤは、しっかりとした口調でその言葉を口にした。
今年は、2 月に主催イベント「えん 5」と、東阪ワンマン・ツアー
[WINTER CIRCUIT 2010] を行なうところから、
その活動を本格始動させるムック。
ここではバンドを率いる立場にあるミヤが、
これからに向けての展望を率直に語ってくれた。

Photography:SHINJI TANAKA（Luz-p.o.）
Hair & Make-up:DAISUKE "BOB" TANAKA（JET SPEEDeR）
Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

——昨年後半のムックはJCBホールでの"WORLD CIRCUIT 2009『球体』FINAL"を成功させた後に、再びガンズ&ローゼズ公演への帯同という大きな仕事もなし遂げました。加えて、大晦日には第3回目となった[Over The Edge]でもメンバー個々セッションに参加されていましたし、またも多忙かつ大活躍の1年でしたよね。

「とりあえず、2009年はいろんな意味でバンドっぽいことを多くやってきた年だった気はします」

——やはり、アルバム『球体』がロック然、バンド然とした作品だったことが、そこには大きく影響していたのでしょう。それを生で再現していく場となった国内外でのツアーでも、よりバンドとしてのグルーヴが強化されたことは間違いないはずです。

「まぁ、結果そうなったっていう感じではあるんですけどね。っていうのが、2009年って別に最初は"ああいう風に"なると自分では思ってなかったんですよ。『球体』みたいなアルバムが出来るとも予想してなかったし、当然その後のツアーが"ああいう雰囲気"になるなんて想像できてなかったし」

——あれだけ的の絞れていた作品が、そんなにもノープランな中で生まれたものだったとは、今さらですがちょっと意外ですよねぇ。

「なんか、作ってみたら凄いバンドっぽくなっちゃったんですよ（笑）。しかも、あそこからの流れは今まで自分たちが理想としてたかたちでもありましたから。良いアルバムを作って、日本と海外の両方で1年かけてアルバムの曲をあっちこっちに持ってく、っていう。2009年はそれがやれてホント良かったです」

——なお、12月末には配信限定シングル『ジオラマ』も発表となりました。こちらは、ムックの面々がとある大事な方との別れを経た中で、必然的に生まれた楽曲だったそうですけれども。

「確かに、この曲の場合は詞の中でも言いたいことははっきりとあったし、曲のイメージも見えてたんで、作り出したらすぐ出来ましたけどね。ただ、だからってこれはそれだけのために書いた曲っていうわけでもなかったですよ」

——とはいえ、この歌からはメンバーの発する深い感謝の念と、これからを生きていくべき人間としての強い想いが、冬ならではの情景を背景にして、ひしひしと伝わってきます。

「いやでも、その背景となった出来事については、別に聴く側は知ってても知ってなくても、それはもうどっちでもいいんすよ。この曲を作り出した時期にちょうど感じてたことと、たまたまシンクロしてしまった出来事はありましたけど、それがどうこうっていう細かいことはどうでも良いんです」

——なるほど。すでにこれは、作品として昇華されたものになっている、ということなのでしょう。サウンド的にみると、この曲はムックが本来的に持っているフォーキーな部分を活かしながら、潔いほどシンプルに歌と詞とメロディを聴かせる仕上がりになっていますね。

「あぁ、そうですね。この曲はそのまんまみんなで録って、俺がミックスして、自分たちで全て完結させてます。言ってみれば、俺んちの部屋で出来たものを直接みんなの元にお届けする、みたいな感じです」

——直接といえば、今回CD販売というスタイルではなく、iTunesストア等を介しての配信という手法を初めて取った理由は何でしたか。

「思ったことをすぐ曲にして、出来たものを出来るだけ早くみんなに聴かせられるっていう意味で、今回はこういう配信っていうかたちでの発売をすることにしたんです。今回、曲を作ったの自体がもう12月のアタマくらいでしたからね。それをすぐみんなに聴かせるには、どうしたらいいんだろう?って考えた時、今までやったことはなかったけど、レーベル移籍もして、また新しいことをやれる環境があるんだったらやってみよう、ってなりました。今回のこの曲に関しては、このかたちがきっといちばん良かったんじゃないですかね」

——では、ここからはいよいよ2010年についてのお話を伺っていきましょうか。充実した昨年を踏まえたうえで、今年はどんなヴィジョンをもって前に進んでいきたいとお考えです?

「そうだなぁ。2010年は、2009年にやったことはもうやらないんじゃないですか。一応、今度のNHK（ホール）とかで"今年のムックはこんな感じかな"っていうところが、もしかしたらちょっと分かるかもしれないですよ」

——東京と大阪での[WINTER CIRCUIT 2010]のことですね。ということは、新曲がお披露目となる可能性もありそうです。

「いや、そういうことは具体的にはまだ分かんないですけど（苦笑）。気持ちとして、いろいろ新しいことをやっていきたいし、そういう姿勢が何となく観てる側に伝わるライヴになればいいなっていうことです」

——ちなみに、ミヤくんの考える"新しいこと"とは具体的にはどんなことを指すのですか??

「実際に作品が出来てるわけじゃないんで、今の段階では何とも言いにくいですけど、イメージ的には例えば打ち込みをまた違うかたちで使ったりとか。漠然としてますけど、2010年はムックをもっとムックにしていく年になるのかもしれないな、っていうことは何となく感じてます」

——ムックをもっとムックに…とても気になる発言です。

「基本は、その時々で思ったことをそのままかたちにしてく、っていうことですよ。そのスタンス自体は、これからも変わんないです」

——音楽的な見地からいくと、ムックはこれまでも様々なアプローチを試みてきました。ミヤくんが、今なにか興味を持っている領域というのはありますか。

「ホント、何でもアリなんでね。いわゆるダンスビートみたいなものにしても、もっと本格的に取り組んでみるとか」

——その第1歩は、そういえばシングル『フリージア』の「楽園」でも試みていましたよね。あれは、ドラムまで打ち込みという思い切りようでしたっけ。

「とはいえ、あれもライヴでやるとしたら生になるだろうし、ムックとしてやる以上は、ダンスビートを生でやるからこそ面白い、っていうとこに行き着くとは思いますけどね。あとは、メタルとかもただ普通にメタルっぽくやっちゃうのも、やっぱりつまんないし。あとは、今年はテクノの人たちと何かやってみるっていうのも、機会があれば挑戦してみたいんですよね」

——それはコラボレーション、というやつですか。

「畑の違う人たちと何かやる、っていうのがやってみたくて。何にしても、今年はよりムックを広げる年になってくと思いますよ。何ていっても、今ホント、フットワークが軽くなってますしね。その分、やれることはいっぱいあるんで、またインディーズの頃みたいに、思いっきりメチャクチャやってやりたい（笑）」

——しかし、そうなると仕事量はより増えてしまいそうですよ。

「でしょうね。でも、それは今に始まったことじゃないし。ここ何年か、ずっとその連続でどんどん忙しくなってますけど、それはもう別に大変とも思わないですよ。逆に、今ここに来てヘンにヒマになっちゃったら、そっちのほうがむしろ切ないし（苦笑）」

——忙しいうちが華、というやつですね。確かに、このご時世それは正論かもしれません。

「俺ももう、30だし。忙しいくらいじゃないと」

——そうでした。俗に"男は30から"という言葉もありますが、"自分もようやくオトナになったかな"的感覚はあるものですか?

「う〜ん、それはあんまりないです。たまーに、"あぁ、18とか19の頃だったら、きっとこうじゃなかったかもな"みたいなことがあるくらいで（笑）」

——それはつまり、物事を寛容に捉えられるようになったとか、良い意味で?

「んー、というよりは良い意味でも、悪い意味でも。いろんな場面で、"どうでもいいや"って思えるようになったっていうことですからね。まぁでも、そのくらいですよ。変化したとこなんて」

——半ば勢いまかせな面もあった10代の頃と比べて、物事に対して腰を据えて取り組むようになったとか、そういう変化はありませんか。

「いや。何でも考え過ぎると、たいてい面白くなくなっちゃうんで。そこはやっぱ、ヘンにオトナになりすぎないでフラットでいたほうが良い気がします。普通のサラリーマンとかだったら、それじゃちょっとマズいんでしょうけど。目に見えないものを作っておカネもらってる立場なんで、そこはちょっと人とは違っても良いのかなって思ってます」

——何と言っても、職業=アーティストですからね。柔軟な発想は大事です。

「でもなんか、最近たまに思いますよ。自分の職業は、ホント変わった職業なんだろうなって（笑）」

——バンド結成から10年も過ぎて、今さらですか??

「なんっすかねぇ…あるフォーマットのモノを、ずっと続けていれば何とかなるような職業ではないじゃないですか」

——最もルーティンワークに陥ってはいけない職種にあたるでしょうね。

「だから、常に"次"っていうものを考えてかなきゃならないんですよね。"まぁ、いいや。何とかなるだろう"では、済まされない部分があるわけです」

——一般企業に勤める方々などに比べると、確かにミュージシャンには自由な面も多いです。けれども、ダイレクトに"結果"を求められる場面が多いことを考えると、人が思う以上に厳しい仕事であるとも考えられます。

「まさに、自由な仕事ってことなんでしょうね。自由な反面、それだけ伴う責任も大きいのかなっていう」

——評価、セールス、ライヴ動員といったかたちで、全ては自らに跳ね返って来るわけですから、シビアな世界です。

「それだけに、やったらやった分だけ良いかたちでも返って来るじゃないですか。それに、仕事だ責任だとは言っても、結局は音楽ってあくまでも趣味の延長ですから。基本、無意識に楽しみながら作ってる時がいちばん良いんっすよ」

——何だか、分かるような気がします。オトナたちの目論見に翻弄されてしまったり、不自然な方向転換をしようとして、迷走を始めるバンドも時たま見かけますからね。ムックに関しては、その点全く心配はいらなさそうです。

「そうですね。いろいろと動きやすい環境になって来たし、自分たち自身もここまで経験を重ねて来て、柔軟になるところは柔軟になってるし、もちろん揺るがないとこはより揺るがなくなってるし。こ

蝴蝶网
hudie.com

ここからは、その時やりたいこと、やれることを精一杯やる、っていう姿勢をさらに強化していきたいです。ムックならではのやり方で」

――今後の具体的な活動予定としては、2月5日の「えん5」と、先ほども話題に出た東京NHKホール＆NHK大阪ホールでの［WINTER CIRCUIT 2010］が決まっていますが、その先についてここで言及していただくことは可能ですか？

「当然、その後リリースもしますよ。もう、次のアルバムに向けても動き出してますし」

――ぬかりないですね。いつから着手していたんです？

「去年、JCBでの〝『球体』FINAL〟が終わってからですね。曲作りは」

――話の前半でも、今後に向けて音楽的にトライしたいことは語っていましたが、アルバム単位で考えた時に次どんなカラーの作品になるかも、ミヤくんはすでに見えています？

「まだまだフリーハンドで描いてる段階ですけど、何となく〝こういう絵を描きたい〟っていう意思は、固まりつつあります」

――それから、もうひとつ。いちギタリストとして考えた時、今年の目標のようなものは何かあります？

「あー、今年は〝弾かない〟ギタリストになりたいですね（笑）」

――まさか、『球体』でさんざん弾き倒した反動ですか??

「そうなんですよ。去年は実際けっこう弾いたんでね。もう、そろそろいいかなって（苦笑）」

――個人的には、少し残念です（笑）。でもまぁ、元をただせばミヤくんは決してメタル系の弾き倒し系ギタリストではなかったですものね。

「あれだけギター・ソロとか入ってるアルバムを出して、その後また弾きまくったツアーをやったじゃないですか。それで思ったのは、〝敢えて弾かない面白さもあるよな〟ってことだったんですよ。今年は、そこをちょっと改めて追求してみたいかなと。音数に関わらず、弾いてて気持ちが昂ぶるような音が好きなんで。純粋に、自分が出してて気持ち良い音を出していきたいです」

【ムック情報】ムック主催イベント「えん5」開催決定!! 2010年2月5日（金）横須賀芸術劇場にて（OPEN17:30、START18:00/チケット料金:前売り¥5,800/一般発売日:2010年1月10日/お問い合わせ:ディスクガレージ☎03-5436-9600）。WINTER CIRCUIT 2010　東阪ホールツアー決定! 2010年2月14日・NHKホール、17日・NHK大阪ホール。 http://www.55-69.com/

蝴蝶网
hudie.com

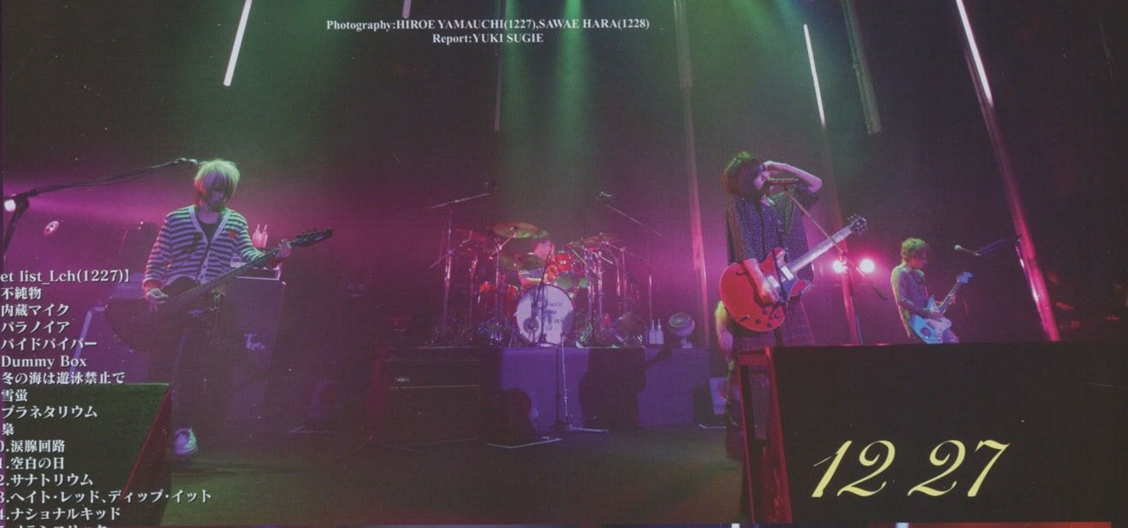
Plastic Tree

2009年 冬『C.C.C.C Lemon★Lemon_Lch/Rch』

2009.12.27～28 SHIBUYA C.C.Lemon HALL

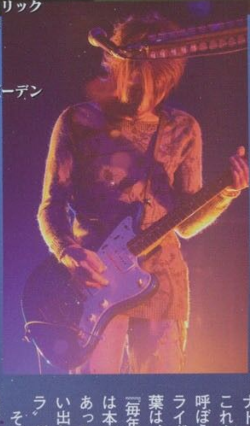
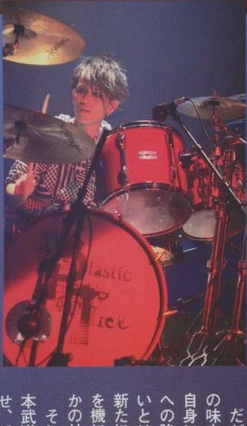
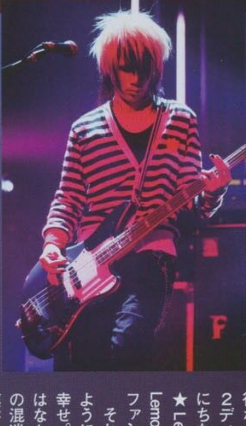
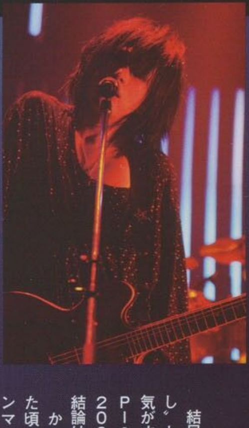
**波乱に満ちた激動の2009年は、紆余曲折を経ながらも最高のライヴをもって大団円に終わった。
Plastic Treeは見事、その与えられた難しい試練に打ち克ったのだ。
2010年に入った今、彼らは現在最新アルバム『ドナドナ』を携えての冬ツアー[【Re:chord】-レコード-]の真っ最中。
4人のたどる旅路は、ひとまず2月26日の渋谷C.C.Lemonホール公演まで続いてゆく。**

Photography:HIROE YAMAUCHI(1227),SAWAE HARA(1228)
Report:YUKI SUGIE



【set list_Lch(1227)】
1.不純物
2.内蔵マイク
3.パラノイア
4.パイドパイパー
5.Dummy Box
6.冬の海は遊泳禁止で
7.雪蛍
8.プラネタリウム
9.梟
10.涙腺回路
11.空白の日
12.サナトリウム
13.ヘイト・レッド、ディップ・イット
14.ナショナルキッド
15.メランコリック
16.最終電車
<encore>
17.ガガジ
18.Ghost
19.サイコガーデン

12 27

結局のところ、〝終わりよければ全て良し〟というところに、物事は行き着いた気がする。この2日間のライヴを見終え、Plastic Treeの過ごしてきた2009年に思いを馳せた時、出て来た結論は紛れもなくそれだったのだ。

かの場所が渋谷公会堂と呼ばれていた頃より、恒例となって久しい年末ワンマン・ライヴが、2009年もまた行なわれた。しかも、今年は豪華にも2デイズ！ それぞれ現在のホール名にちなんで、27日は［C.C.C.C.Lemon★Lemon_Lch］、翌28日は［C.C.C.C.Lemon★Lemon_Rch］と題され、多くのファンが集うことに。

それにしても、恒例のライヴが例年のように行なわれるという、この何気ない幸せ。それを、今年ほど強く感じたことはなかったろう。正直、2009年前半の混迷期には第三者ながらに、ただただ漠然とした不安を抱えていたものだ。

だが、運命は彼らと彼らを見守る我々の味方であったらしい。あるいは、彼ら自身に卓越したリカバリー能力と、復活への強い意志が備わっていたことも大きいとは思うが、下半期に入ると7月には新たに佐藤ケンケンが正式加入し、それを機にPlastic Treeは幾度目かのリスタートを切った。

そして、彼らは8月末には2度目の日本武道館公演を初回以上の内容で成功させ、12月には現体制での初アルバム『ドナドナ』も発表するに至ったのである。これを奇跡の復活劇と呼ばずして、何と呼ぼう。故に、今回公演2日目のMCにて、ライヴ終盤あたりに竜太朗が口にした言葉は、とても印象的に響いた。

『毎年1年が過ぎるのって早いけど、今年は本当に早かったです。でも、いろいろあったけど、思い返してみると楽しい思い出しかありません。これも、ちゃんと〝プラ〟が出来てるからだと思います』

その言葉に一切の取り繕いがないことは、この2日間のライヴ内容をみればまるで明白だった。

絶妙に絡み合う、音と音。アイコンタクトというかたちで交錯する、視線と視線。確かに、今でも良い意味での緊張感は時にステージ上を席捲するが、それは

12 28

【set list_Rch(1228)】

1.不純物
2.プラットホーム
3.オレンジ
4.パイドパイパー
5.Dummy Box
6.冬の海は遊泳禁止で
7.雪蛍
8.うつせみ
9.梟
10.星座作り
11.空白の日
12.サナトリウム
13.ヘイト・レッド、ディップ・イット
14.ナショナルキッド
15.メランコリック
16.記憶行き
<encore>
17.ガガジ
18.Ghost
19.リセット

【ライヴ・スケジュール】1月23日・青森クウォーター、24日・Zepp Sendai、30日・広島クラブクアトロ、31日・松山サロンキティ、2月6日・熊本Be-9、7日・福岡DRUM LOGOS、9日・なんばハッチ、13日・名古屋ダイアモンドホール、25日・横浜ブリッツ、26日・渋谷C.C.Lemonホール。
http://www.plastic-tree.com/

…は全く異なる性質のものだ。正、アキラ、ケンケン、竜太朗の4人が活き活きとライヴをしている姿が、少し大袈裟に書くなら、"輝いて"さえ見えてしまったのは筆者だけだろうか。

新旧の楽曲をバランス良く配しながら、2デイズらしく「プラネタリウム」や「星座づくり」など、"片方の日にしかやらない"楽曲を織り込んだセットリストも大充実で、1日だけ観ても、2日通して観ても、しっかりプラトゥリの醍醐味を味わえる内容になっていたはずだ。

なお、今年も本編が終わってアンコールが始まるまでの幕間には、おなじみの年末特別映像の上映が行なわれた。題目は昨年に引き続いてのサスペンス大作『土曜プラトゥリ劇場』続編で、今回のエピソードは〈檸檬館の美女〉。名探偵・明智竜太朗とその仲間たち＝長谷川少年／ナカヤマ少年／ケンケン少年が、怪奇的事件を究明していくという内容だ。

懐古趣味的な昭和テイストたっぷりの映像や、ウィットの利いた演出、各人が繰り出す渾身の名演技に場内は大いに沸き、上映後には観客たちより惜しみない拍手が彼らに対して贈られていた。

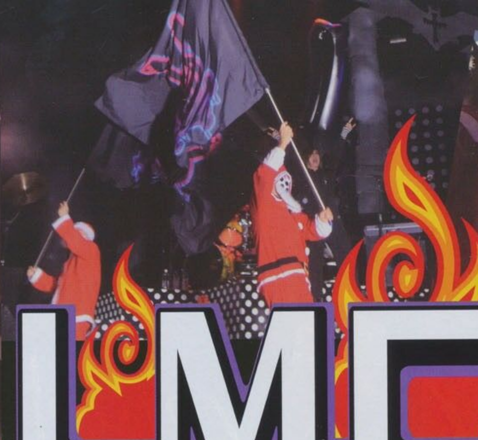
また、今回のライヴではア[illegible]ルで、いち早く最新アルバムからの新曲も披露され、これもファンにとっては嬉しかったに違いない。『みなさん、もう『ドナドナ』は聴き[illegible]たか。今日はちゃんと聴いて[illegible]ここでテストします！』

新譜の中でも最高にライヴ映え[illegible]『ガガジ』は、新曲とは思えない[illegible]盛り上がりをみせながら、ライヴを最高潮へと導いていた。

それはかりか、2日目の最後には『今年のイヤだったこと、頭に来たこと、悲しかったこと、つまんなかったこと、ぜーんぶリセット!!』と竜太朗が叫び、見事2009年に鬱積した澱は御破算に。全ての演奏が終わった後、メンバーみんなで和気あいあいとじゃれあう中、ケンケンが『おいは幸せたーい！』と叫んでいた姿には、思わずこちらが破顔させられてしまった。

これでいいのだ、来年はきっともっと良くなる…！　そう感じられたことが、今回の最大の収穫だったのかもしれない。

蝴蝶网 hudie.com



LM.C

TOUR 09-winter-FINAL
NAGANO de HOLY★NIGHT
2009.12.25
@NAGANO HOKUTO BUNKA HALL

ひとつの夢が叶ったクリスマス・ライヴ!!!

その地を踏むことは、LM.Cにとって必然であり、ひとつの夢でもあったという。始動から約3年。地元・長野にあるその場所で、彼らはクリスマスの一夜を渾身のライヴ・パフォーマンスで彩ってみせた。この節目を経て、来たる3月3日には待望のアルバム『WONDERFUL WONDERHOLIC』を発表し、その後には全国ツアーも決定したというLM.C。夢の続きは、これからだ──

Report:YUKI SUGIE

『夢が叶った』と、mayaはこの夜ステージ上でそう言った。

長野で生まれ育った、mayaとAiji。2人が約3年前にLM.Cを起ち上げてからというもの、彼らにとっては"この日"を迎えることが、ひとつの夢だった、というのは確かにちょっと頷ける話だと思う。

2009年、クリスマス当日。LM.Cは、[TOUR'09 -WINTER-]のファイナル[NAGANO de HOLY☆NIGHT]というかたちで、晴れて長野ホクト文化ホール（旧・長野県民文化会館）の舞台に立ち、故郷に錦を飾ることとなった。

彼らが募らせてきた万感の想いは、この夜のライヴ内容そのものに色濃く反映されており、ステージセットをひとつ取ってみても細部にまでこだわりが感じられる、凝った作り込みがなされていた。西洋の墓地を想起させるその空間は、まるでハロウィンとクリスマスが一緒にやって来たような賑やかさだ。しかも、ステージのフロント中央にはせり出した花道までが用意されている。

オーディエンスたちの期待と興奮が高まる中、この夜のオープニングとして選ばれていたのは、このセットに最も相応しい1曲「GHOST†HEART」。が、オープニングSEが鳴り幕が上がっても、まだ今夜のいちばんの主役の姿が見当たらない。と思いきや？　その瞬間、奈落の底からmayaが勢い良くせり上がって来た！

いきなりの派手な登場っぷりに、場内は初っぱなから拍手喝采と歓声の嵐に見舞われる。イタズラが上手いこと成功した時の子供のように、得意げな笑顔でマイクを握るmayaの姿は、[illegible]見ていて何だか微笑ましい。その横[illegible]いるひとりひとりの顔を確[illegible]に、しっかりと視線を送りなが[illegible]弾いているAijiも、やはり心底嬉しそうな表情をこぼしている。

ツアー・ファイナルだわ、クリスマス当日だわ、あげく初の凱旋ホールワンマンだわ、と大いにトピック満載な中、今回のライヴでは2009年[illegible]されたシングル群（『GHOST†HEART』『PUNKY♥HEART』）の収録曲たちが、カップリングも含めて随時演奏されてゆき、例えば「DAYS」では昨今[illegible]なかなかソロを取りたがらないA[illegible]が[illegible]く長尺ギター・ソロを披露し、[illegible]客たちを魅了していた。

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
1.GHOST†HEART
2.@FUNNY PHANTOM@
3.Bell the CAT
4.JOKER -my name is-
5.Galileo
6.DAYS
7....with VAMPIRE
8.Haunted House make a Secret
9.METALLY
10.Z-MAN
11.CRAZY A GO GO
12.CHEMICAL KING-TWOON
13.OH MY JULIET.
14.BOON!!
15.METALLY
16.my girl
17.A Blueberry Night
18.Love me?
19.88
20.僕らの未来。
21.LIAR LIAR
22.BOYS & GIRLS
23.little Fàt Màn boy
24.☆Rock the LM.C☆
25.PUNK♥HEART

ば、「CHEMICAL KING-TWOON」でのフライングVを持ったmayaの立ち姿も、見事にホール映えしていたのは間違いない。

さらに、ごく個人的な趣味的見解も加えさせてもらえるなら、小粋で軽快な展開が心地よい「my girl」と、渋谷系的（死語ではあるが）なノリが絶妙な「A Blueberry Night」が演奏されたくだりも非常にツボで、このテの卓越したポップセンスを具現化できるあたりが、LM.Cはそんじょそこらのバンドとは明らかに一線を画していると言っていい。

もちろん、他にもこの夜のライヴには見せ場、聴きどころの類いが目白押し。ホール中がオーディエンスによる大合唱の渦となった「88」や、mayaが歌詞を〈長野の街が近付けば　雑音は[illegible]る？〉と替えて歌った「LIAR LIAR」などは、まさにこの日の長野のあの場でなければ感じられない、特別な空気感に彩られていた場面だったのではな[illegible]か。

かつて、mayaはこのホール[illegible]つものバンドのライヴを観客として観ていたというし、時にはイベンターの[illegible]トとしてLUNA SEAのラ[illegible]に来たこともあったそうだ（案の定[illegible]はそっちのけでステージをガン見して[illegible]らしいが／笑）。

Aijiは Aijiで、かつても演者としてこの場に立ったことがあるだけに、ここに来て〝ようやく還って来られた〟という感慨は、ひとしおのものだったのではないかと推測する。

最後の最後、煌々と客席全体をも照らし出した明るいライティングの中で、精一杯に「PUNKY♥HEART」を演奏し終えた彼ら2人は、みるからに達成感と充足感に満ちた顔をしていた。

ひとつの夢を叶えた今、mayaは『ここからは、もっと大きな夢をみんなと一緒に叶えていきたい』と、この夜の去り際に口にしたのだが。LM.Cは、決してそれを夢では終わらせないアーティストだと、我々はもう知っているはずだ。

【ライヴ・スケジュール】5月4～5日・渋谷C.C.Lemonホール、7～8日・[illegible]AKASO、9日・名古屋ボトムライン、11日・仙台ダーウィン、15日・金沢AZ、16日・富山クラブマイロ、22日・博多DRUM Be-1、23日・岡山クレイジーママ・キングダム、6月6日・新潟ロッツ。http://www.lovely-mocochang.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Kagrra,

『CLUB CIRCUIT 2009「季～meguri～」』総括

輝やかしき日々はもうすでに始まっている。2010年、来たる6月にKagrra,としての10周年を迎えることとなっている彼らは、このアニバーサリ・イヤーを大切にしていきたいと考えているそうだ。2009年末に行なわれたツアー［CLUB CIRCUIT 2009「季～meguri～」］も、ひいては10年に向けての重要な序章であったらしい。Kagrra,とともに、この慶事を祝おう。

Interview:YUKI SUGIE

——2009年末は、ツアー［CLUB CIRCUIT 2009「季～meguri～」］にいそしんでいたKagrra,ですが、どうやら各地で充実したライヴを展開していたようですね。

一志：今回は、良い意味でくだけた雰囲気の中でやれたツアーだった気がします。1本ずつやってくごとにどんどん良くなってってたし、最後の水戸も大団円っていう感じで終われました。

——セットリストを組んで行く上で、今回何か重視したことはありましたか。

一志：前提としてあったのは、歴代の曲たちをちりばめてゆくでしたね。Kagrra,の辿ってきた移ろいというか、バンドとしてのいろんな面を見せていきたかったので、そこは意識してました。

白水：2010年は、Kagrra,も10周年を迎えますからね。それを踏まえた上でのツアーでもあったので、気持ちとしては年が明ける前のこのツアーから、既にアニバーサリー・イヤーのスタートが切れたら良いなと思ってたんです。

——いよいよ、Kagrra,も10周年ですか。感慨深いです。

白水：何て言うか…ここに来て改めて昔の曲たちをライヴでやることで、自分たち自身また何かを見つけられたら良いな、っていう想いもそこにはきっとありましたね。

——結果、今回のツアーを経てその〝何か〟は見つかりました？

白水：今までもバンドをもっと良くしたいとか、いろんなことは考えながらやって来てたんですけど、気持ちの面でもっともっと前向きになれたかもしれないです。たぶん、これからも自分たちの目の前に壁が出て来ることはあると思うんですけど、それも別に関係ないなって思えるくらい、ここからKagrra,の進むべき道が見えたというか。凄く、精神的に吹っ切れたとこがありましたね。

——そういえば、渋谷duo公演の時も、白水くんはいつも以上に笑顔が多く見られたように思います。

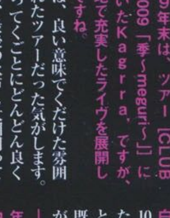
白水：ホントですか？（笑）それは、自分では気付いてなかったですけど。でも、きっといちいちアタマで考えたりしないでも、ライヴを楽しめるようになってたんでしょうね。

——真くんに関しては、このところホール・ライヴなどでは箏を2面入れ替えることが多かったですけれども、今回はクラブサーキットであったということで、敢えて1面で切り盛りしていましたよね。

真：そうなんですよ。場所によっては2つ置けないとこもあったんで、今回はセットリスト上から対応していったんです。けっこう、大変でしたね（苦笑）。

——そんなツアーを終えてみて、今感じているのはどんなことですか。

真：確かに、今回は過去の曲も幾つかやったんですけど、2009年は『珠』を出してからのツアーをやってなかったんで、僕的には今回のツアーでひとつ完結したんじゃないかな、って感じたところがありました。



——余談ながら、渋谷duoでのアンコールでは、〝ツアー2本目にしてすでに首が痛い〟と発言していましたよね。真くん、その後は大丈夫でした⁇

真：あぁ、ライヴで箏を弾いてると、前にギターぶら下げてるっていうのもあって、つい不自然な姿勢になっちゃうことが多いんですよ。でも、あの後はどんどん筋肉が強化されてってたせいか、痛みはどんどんなくなっていきましたね（笑）。

——楓弥くんは、年末のツアーを経てみてどんな収穫がありました？

楓弥：収穫はいっぱいありましたよ。自分自身として得たこともあったし、あと今回はファンのみんなとひとつの空間を創ってくっていう意味でも、より強化していきたいなと思っていたんで、ツアー前からブログなんかを通じて〝みんな、恥ずかしがらずに盛り上がっていこうよ！〟みたいなことを前フリとして書いてたんですね。会場でも、毎回MCで〝全員参加の曲とかはみんなでやろう〟とか、ライヴの楽しみ方っていうものをこっちからも発信してってたんで、実際ファンのみんなのノリとかも凄く良くて嬉しかったです。

——近年、Kagrra,にはじっくりしっとり聴ける曲が増えただけに、ファンのみなさんもおしとやかになりがちなのでしょうが、Kagrra,にはアグレッシヴでダイナミックな曲も多々ありますしね。それを堪能するための指南を、楓弥くん自ら買って出たのですね。

楓弥：僕自身、レコーディングとか〝作り上げてく〟作業も好きなんですけど、ライヴはライヴで生ものとしての良さがありますしね。ライヴ空間っていうのも、もちろんみんなと作り上げてくべきものなんで、今回はそれがちゃんと出来て良かったと思います。

ライヴ・スケジュール】 http://www.pscompany.co.jp/kagrra,/

蝴蝶网
hudie.com

1202@SAITAMA

1204@SHIBUYA

1208@FUKUOKA

1210@OSAKA

1211@NAGOYA

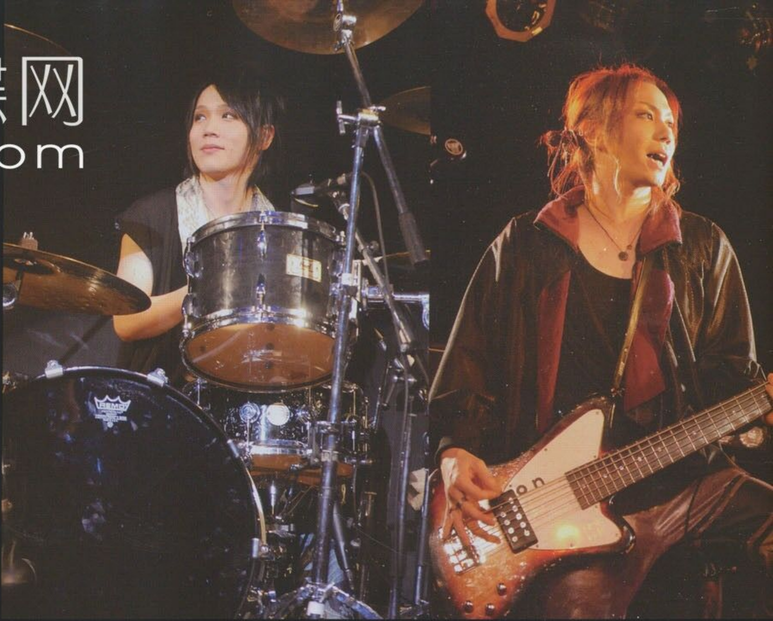
1215@SENDAI

1217@SAPPORO

1220@YOKOHAMA

1223@MITO

CIRCUIT「季〜meguri〜」



これから先を見て、“今”なにをすべきか

——女雅くんも、今回のツアーに臨むにあたっては強い思い入れがありました?

女雅：それがですね、俺どういうわけか今回はやたらと緊張することが多かったんですよ。妙にあっちこっち力が入り過ぎちゃう、みたいな。

——来年は10周年だ!と思ったりする中で、プレッシャーのようなものを感じていたとか??

女雅：っていうことのもあったんでしょうね、きっと。このツアーから10年に向けて良いスタートを切りたい!っていう気持ちは確かにあったと思います。ただ、実はそれだけじゃない部分っていうのもありまして。自分でも、まだ上手く言葉には出来ないんですけど。

——もしかしたら、ライヴに対しての意識が、ここに来て女雅くんの中で変化して来ているのかもしれませんね。

女雅：んー、そういうことなんですかねぇ。なんか、曲を通してもっと細かい表情も見せていきたい、単に演奏面だけじゃなくて、全身の佇まいからもそれを感じさせたいんだけど、そうするにはどうしたら良いんだろう?って考えてるうちに、気がついたら肩とかガチガチになっちゃってて(苦笑)。

——その高い志は、きっとここから反映されていくはずですよ。

女雅：だといいんですけど(笑)。今回のツアーでは、ジャズベタイプのピック[illegible]てたんですよ。でも、それもツアーの途中から“やっぱり慣れねーな”っていうんで、元のサンバーストに戻しちゃったりっていうこともあったんで、今後はその両方を曲によって臨機応変に取り入れていけたらいいな、って思ってます。

——機材的な面でいくと、今回は楓弥くんも変化があったそうですね。

楓弥：はい。10年に向けて、出して行きたい音っていうのが自分の中でも固まってたんで、今回のツアーではそれを試してみたんです。ただまぁ、今の段階だとまだいろいろ調整が必要なのも事実なんで、そこは僕もここから試行錯誤して、もっと理想に近い音を出していければなぁ、と思ってるところですね。

——分かりました。では、ここからは今年10周年を迎えるKagrra、として、今後この輝かしきアニバーサリー・イヤーを、どんな風に過ごしていくのか、という点についても伺いたいです。

一志：時期はまだ明言できないですけど、当然また新しい音源は出すでしょうね。それと、今年も3月3日にはまたライヴがあります。

——毎年恒例の3月3日ライヴですね。今年はKagrra、が初ワンマンを行なった渋谷O-WESTでの開催になるそうで。ここでは、改めて初心に還ることが出来るかもしれません。

白水：まぁ、10年だ10周年だって言っても、別にここがゴールなわけではないんですけどね。だから、そんなに後ろばっかり振り返ってもいられないんですけど、僕らとしてはとにかく今年は悔いのないように、出来る限りのことを精一杯やっていきたいんですよ。そのうちのひとつが、この3月のライヴなんです。

——それ以降も、もちろんもろもろの企画は水面下で進行中なんですよね?

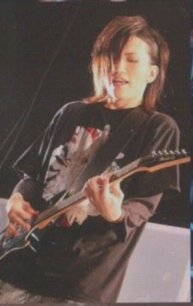
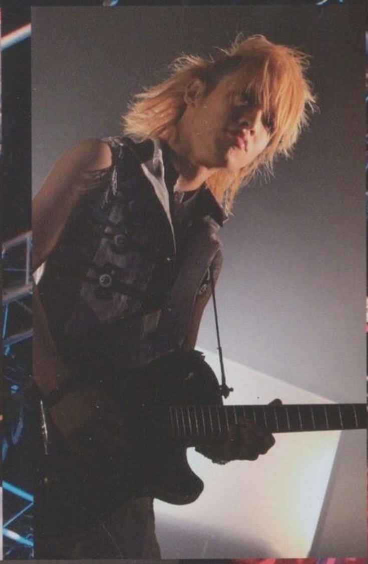
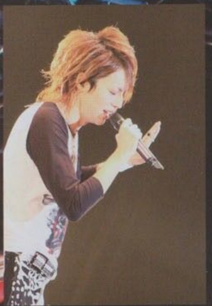
一志：はい。今年は1年を通して、アニバーサリー・イヤーとして、いろんなことをやっていきたいと思ってます。

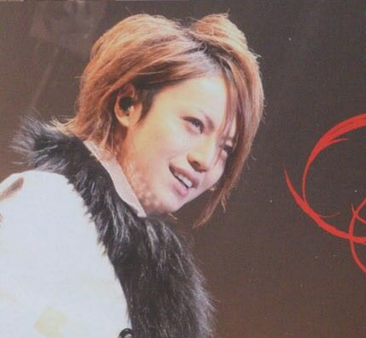
楓弥：気持ち的には、毎日が誕生日じゃないですけど(笑)、そんな感覚で過ごしていきたいですね。それも祝われたいっていうよりは、どっちかって言うと自分たち自身でこの10周年っていうものを祝っていきたいな、っていう風に思うんですよ。ここまで支えてきてくれたみなさんに対する、感謝の意味も込めて。

女雅：10年おんなじメンバーで、ここまでやって来られたのもホントにみなさんのおかげですしね。ここはパーッと士気を上げて、盛り上げていきたいです。

真：まぁでも、言っても“まだ”10年ですから。これからカッコいいバンドになれるように、ここからさらに頑張っていかないと。

白水：そうだよね。とにかく、2010年はKagrra、とみんなにとって、素晴らしい年になるようにしたいと思います!



Alice Nine

蝴蝶网
hudie.com

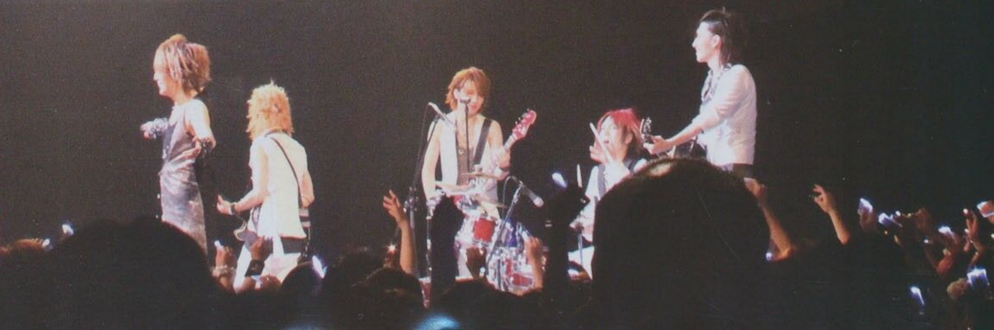
WHITE PERIOD II

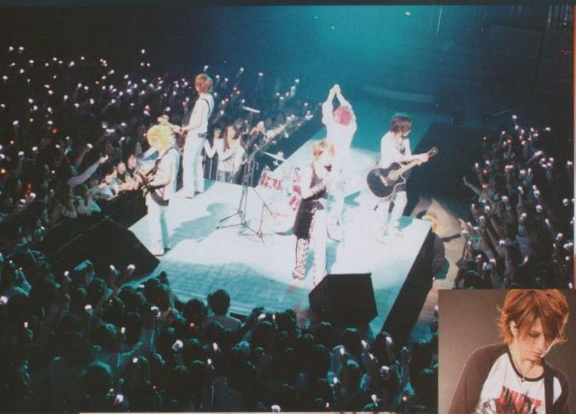
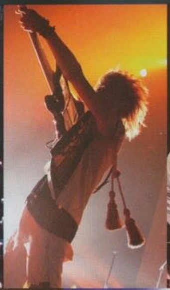
Live at 新木場COAST 2009.12.16

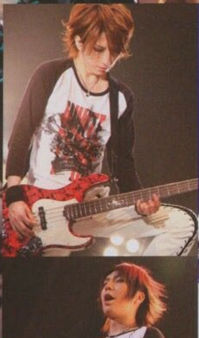
2008年という1年の集大成とも言えよう3rdアルバム『VANDALIZE』を完成させた2009年。
まさに、現時点での彼らを出し切った最高傑作と言っても過言ではないこのアルバムは、2009年のAlice Nine。
彼らの2009年は、このアルバムによって大きく変化した1年だったと言ってもいいだろう。そんな彼らの2009年のラストライヴをここにレポートしよう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:NAOKO TAKEICHI

【セットリスト】
1.All You Need Is Love（カバー）
2.春夏秋冬
3.RED CARPET GOING ON
4.Kiss twice,Kiss me deadly
5.RAINBOWS
6.暁
7.百花繚乱
8.イレイザー
9.ARMOR RING
10.君の瞳に恋してる（カバー）
11.ハイカラなる輪舞曲
12.Drella　13.闇ニ散ル桜
14.九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-
15.無限の花
16.昴
17.銀の月　黒い星
18.きよしこの夜
19:the beautiful name
20.ブループラネット
EN1.極彩極色極道歌（G3）
EN2.華一匁
EN3.平成十七年七月七日
EN4.朱い風車
EN5.タイムマシン





蝴蝶网
hudie.com

2009年。Alice Nineは音楽的に大きな成長を遂げたと思う。

これは本当に、心から思うこと。

彼らから3rdアルバム『VANDALIZE』を聴かされたとき、その出来映えを、ありったけの褒め言葉で大絶賛したのを、今もはっきりと覚えている。彼らは、その期待を裏切ることなく、顔が綻ぶのを押さえきれないほどの熱いライヴを届けてくれたのだ。忘れもしない、ツアー初日の2月28日、郡山Hip Shot Japan。とにもかくにも、最高のライヴ。やっと彼ら自身、自分たちのやりたかった場所に辿り着いたことを実感しているだろうと思った瞬間でもあった。そんな熱いライヴからスタートした彼らの2009年は、充実した1年であったように思う。それゆえに、2009年を締めくくるライヴとなった12月16日の新木場スタジオコーストでのライヴは、特に力の入ったライヴであったのではないだろうか。【白の集い】。その企ての2回目でもあった『WHITE PERIOD II』は、真っ白な洋服を纏っての来場を呼びかけた、ドレスコード・ライヴであった。

この日のライヴは、ド頭から、The Beatlesのカヴァー曲『All You Need Is Love』から始まるという特別感満載のモノ。いつもの彼らのライヴの幕開けとは違う空気に、フロアも最初は少々戸惑いがあったようだが、すぐに受け入れ、手拍子を加えながらその空気感を楽しんでいたのが実に印象的だった。そこから続いたのは「春夏秋冬」。ポップなこの曲は、ファンから人気の高い曲。しかし、この曲をこんなに頭の方でやるのも珍しい。そんなセットリストの組み方からも、この日のライヴが、いつもとは違う、特別なライヴであることを示していた。

音楽は、洋服などと同じで、それぞれの好みがはっきりと出るモノだ。それゆえに、彼らのポップ曲を好む人も居れば、彼らのディープな癖のあるロック曲を愛する人も居る。個人的な好みを述べるのならば、私は確実に後者である。それもあり、3曲目からの「RED CARPET GOING ON」「Kiss twice,Kiss me deadly」「RAINBOWS」の並びは、最高にご機嫌な流れである。独特なリズムを打ち出していくのが困難であろう「Kiss twice,Kiss me deadly」も、この1年ですっかり自分たちの個性とし、最初に聴いたときよりも、更に深みのあるロック魂がそこに宿っていたのだ。

この日は新旧の楽曲を織り交ぜたセットリストであったが、バンドとしてのスキルを確実に上げていることから、昔の曲も今の曲達と見合った重厚感が備わり、馴染んだ流れで受け取れたことも印象的であったが、そんなオリジナル曲の他にFour Seasonsの「君の瞳に恋してる」や、「きよしこの夜」が届けられたり、ベーシストである沙我のアコギの伴奏のみで歌われた曲があったり、アコースティックヴァージョンで届けられた曲があったりと、とにかく様々な角度からAlice Nineを詰め込んだ、3時間半を越えるライヴだったということもあり、純粋なAlice Nineのライヴとしては受け取りがたかったというのが正直な感想。2008年を締めくくった12月19日のNHKホールでのライヴ、『-Crossing of Supernova-』も、中盤に、普段はやらないメドレーを挟み込むなど、特別なセットリストで届けられたモノだったが、どうも彼らはこういうスペシャルなライヴでは、力が入り過ぎる傾向にあるように感じたのは否めない。もちろん、特別なライヴということで、いつも応援してくれているファンへの感謝の気持ちが詰め込まれていたからこそだということは理解しているつもりだし、オーディエンスも満足の充実したライヴであったと思う。が、個人的に、彼らには、まだまだAlice Nineの個性を存分に見せつける、オーセンティックなライヴを求めてしまうのだ。しっかりと自分たちの色を掴んできた最近では、前程ライヴに波がなくなってきてはいるが、どうもまだ、こういうスペシャルが付いてしまうと、やりたいことが多過ぎてしまい、若干まとまりのないライヴになってしまいがちなところがある。そこをいつも少しもったいなく思う。2010年は、自分たちの個性に、更に深い色彩を加えていってくれることを期待したい。彼らなら、この期待に応えてくれるはず。

2010年。『VANDALIZE』を越す名作が生み出され、2009年に勝るライヴを繰り広げてくれることを待つとしよう。

【ライヴスケジュール】
●Alice Nine Tour 2010
「幾何学ノ理」
3/22CLUB CITTA'川崎
3/27新潟LOTS
3/31Zepp Sendai
4/3広島CLUB QUATTRO
4/4福岡DRUM LOGOS
4/6Zepp Osaka
4/8Zepp Nagoya
4/10Zepp Tokyo
●SHOCK WAVE
4/29JCBホール
(問)PS COMPANY
東京都杉並区永福3-49-11
メゾンデュソレイ101
☎03-3325-2322
(平日12時～18時)

ヴィドール feat. シュン、ギル&ラメ

新たな方向性も見せた『Monad』とは!?

こういうのを待ってたと思われるアルバムが出来た

アルバム『Monad』を1月20日に発売したばかりのヴィドール。前号に引き続き、今回はシュン・ギル・ラメの弦楽器3人に、アルバム制作、そしてその仕上がりについて話を聞いた。いよいよ渋谷C.C.Lemonホールでのライヴも目前。思った以上にアグレッシヴに仕上がったというこの作品が、ライヴでは一体どんな風に感じられるのか。2010年のスタートとなるステージをしっかりと見届けたい。

Photography MASAYUKI [illegible]
Hair & Make-up:A.DO Interview:MIYUKI MURAYAMA

hudie.com

作品にするか話し合いがあったそうですね。
ラメ：確かに話し合いはあったんですけど、その時点では明確なことは決まらなかったんですよ。ちゃんと決まったのは曲を選んだ時ですかね。基本はメロディの立ってる曲を選んでいこうよってことで。メンバー以外の意見としては、一歩上のステージを見据えたアルバムにしたい的なこともありましたけど、その通りになってるかはよく分からないです。

——そんなに意識はしなかった？

ラメ：それはずっと持ってる考えなんで。

——特別に今までのアルバム制作と何かが違うということでもなく。

ラメ：あるとしたら、そういう話し合いをしたっていうことですよね。それは今まではなかったんで。

——そういう話し合いが影響したことはあるんですか。

ギル：影響しましたね（苦笑）。僕は楽器が前に出てるような楽曲が欲しいと思ってたんで、そういう曲ばっかりひたすら作って来たんですよ。それで話し合いの結果、1曲も入らなかったんですけど、みたいな（苦笑）。

ラメ：曲は誰よりも作って来てたんですけどね。

——ギルさんはこういうのがいいというヴィジョンがはっきりあったんですね。

ラメ：はっきりしたヴィジョンを持ちすぎたがために、今回は認められなかったんです。

シュン：ギリギリまでモメたんですけどね。

ラメ：ギリギリ最後に食い込んだ曲が、「Hot cage mix」なんですよ。入れるか入れないかの瀬戸際で。

シュン：その位置にはバラードを入れる予定だったんですけど…

ラメ：それは納得できないってことで替えて。でもギルくんは、「Hot cage～」よりももっと激しい曲ばっかり作って来てたんですよ。

——シュンさんが曲を作る時に考えたのは、どういうことでしたか。

シュン：悩んでましたね。悩んで、結局は自分らしく持って来るのがいちばんいいのかなって持って来た結果、「Eirene」が選ばれた感じです。

激しめの曲をイメージしますが。

シュン：激しい曲のほうが作りやすいんです。「Eirene」は5弦ベースなんですよ。重くて激しい感じで、ライヴだったら2バスもドコドコしてるし、激しい感じになるんじゃないかと思います。

——ラメさんは曲を作る時、どういうことを意識しました？

ラメ：アルバムに向けて作った曲は、「Hot cage mix」だけで、それ以外はそれまでに作った曲なんです。話し合いで、全部シングル曲っぽいアルバムにしようっていう意見があったので、それが組み込まれてるんだと思うんですけど、それだけじゃどうだろうって意識もあるんで、シュンくんとか僕の激しい曲も入っていったんだと思うんです。ただ、激しい曲も鍵盤でメロディを打って、メロディを意識して作るようになりましたね。激しい曲のシングル、みたいなイメージで。メロディは絶対に押さえとこう、と。

——各パートとして、制作にあたって意識した点と言うと？

ラメ：4弦ベースと5弦ベースを使い分けてるとか、ドロップDでチューニングを下げてるとか、そういう工夫は曲ごとにしてます。この曲はこういう音を出したいとか、ノリを出したいとかは考えましたね。

ギル：「Focus」とか、ここ最近は昔の曲と比べると、どんどんシンプルになってますね。余計なことは省いて弾くようになったんで。僕の左チャンネルだけ聴いてると、質素だなって（苦笑）。自分がここいちばん押したいって思うところ以外は、引っ込んでるんです。

——作曲した時点でも、そういう意識だったんですか。

ギル：いや、それは100%ギターで考えてますね（笑）。ギターって言うか、楽器ですね。

——こういう曲になったから、ギターもシンプルにしようと？

ギル：それはあったと思います。

——シュンさんは？

シュン：この数ヶ月ぐらい、改めていろんな音楽を聴き直したりして、自分はどういう音が好きで、どういう音にしたいのかを考えたりして。好きな音っていうから離れてたんですけど、結局好みに戻って来て、すごくいっぱい重ねてますね。

——ギター陣二人は対照的だったんですね。

ギル：俺がシンプルにする分、重ねやすいと思います。音がぶつからないんで。

——お互いが自然にそういう方向を向いていたんですか。

ギル：どういうのが好きかは分かるんで。どういうのを乗せて来るかを想像して、考えたデータをシュンさんのパソコンに送ると、それに合わせてくれるんで。

シュン：逆に、ギルくんはここ弾きたいんだろうなって分かったところは自分が後ろになったり、入れなかったり。入れられそうなところは入れて。どうしてもやめてほしいところだけ電話して、〝これ、やめて下さい〟って（笑）。

——そこは電話なんだ（笑）。ギルさんが主張したかったところって？

ギル：そうだな…強いて言えば、「Eirene」。12弦ギターを楽しみましたよ。

シュン：冒頭（笑）。

——そこだけ？（笑）

ギル：そこ、オイシイじゃないですか（笑）。あとは、何だろう、「Lib [lo] ve」のハープシコードと俺のアルペジオが絡むところ。あそこも弦楽器は僕だけじゃないですか。そういうところでは、自分のポイントはあるんですけど。

——さて、結果として出来たものに対して、最初の話し合いでの意見を踏まえて、どういう位置にあるものに仕上がったという印象を持っていますか。

ギル：意外とライヴっぽい曲が多くない？って。俺の曲が入っても大丈夫だったんじゃない？っていうのもどこかしらあるんですけど、今回はシャウトの入ってる曲が1曲もないから、俺の曲が入ったら浮くなっていうのも何となく分かるし。でも、そんなに歌モノばかりにはならなかったなって。もっとそういう風になるのかなって思ってたんで。

——シャウトの入る曲をギルさんは考えていたということなんですね。

ギル：そういう曲ばっかりで埋めたいぐらいでした（笑）。

ラメ：入れちゃいけないとか、そういうのはなかったんですけど、歌メロとかの

かったんじゃないですかね、今回は。今後は分からないです。

——ラメさんはアルバム全体をどんな風に捉えてます？

ラメ：ギルくんが言ってるみたいに、「EVE」ありき、「Focus」ありきで、全部シングルっぽい曲を集めたアルバムにしようって話をしてたんで、そういう風なニュアンスになるのかなって思ってたんですけど、意外とアグレッシヴな曲が並んで、ここ何年かのアルバムの中では、いちばんアグレッシヴになったのかなって思いますね。シャウトとかもないのにアグレッシヴになったっていうのは新しい方向性だし、こういうのを待ってましたって思われるアルバムが出来たんじゃないかと思ってますね。

——シュンさんは？

シュン：自分のギターの面で言うと、自分のやりたいことと言うか好みに出来上がりましたね。だから、僕としてはちゃんとしたフル・アルバムが出来たなって感じがしますね。何枚も作ってますけど、今回はいちばん自分らしく出来た気がし

——そして発売後、渋谷C.C.Lemonホールのライヴが控えています。

ギル：曲がまた増えたんで、セットリストがどうなるのかなっていうのもありますし、ツアーではなく、このライヴ一発だけなんでね、2年前みたいに。その時はめっちゃ緊張したんですよね。でも、気負いせずやるだけです。

シュン：今回のC.C.Lemonホールは、今までいちばん安心できそうな気がします。2年前に「Bastard」出した後は、初めて聴く人はどうノレるのかなって不安な曲があったんですけど、今回の曲は初めて聴いてもヴィドールだなって分かるノリの曲が多いんで、すごい安心してライヴが出来る気がしてます。

ラメ：ライヴを楽しんでもらいたいので、そのためにも「Monad」を30回は聴いてから来て下さい（笑）。みんながライヴを楽しんでくれたら、僕らも楽しい気持ちになれるし、僕らが楽しい気持ちであれば、みんなも楽しめるんで。そういう意味でお互いの相互関係を保ちつつ、いいライヴが出来ればと思ってます。

蝴蝶网
hudie.com

【ライヴ・スケジュール】1月23日・渋谷C.C.Lemonホール。 http://www.vidoll.jp/

蝴蝶网
hudie.com

12012

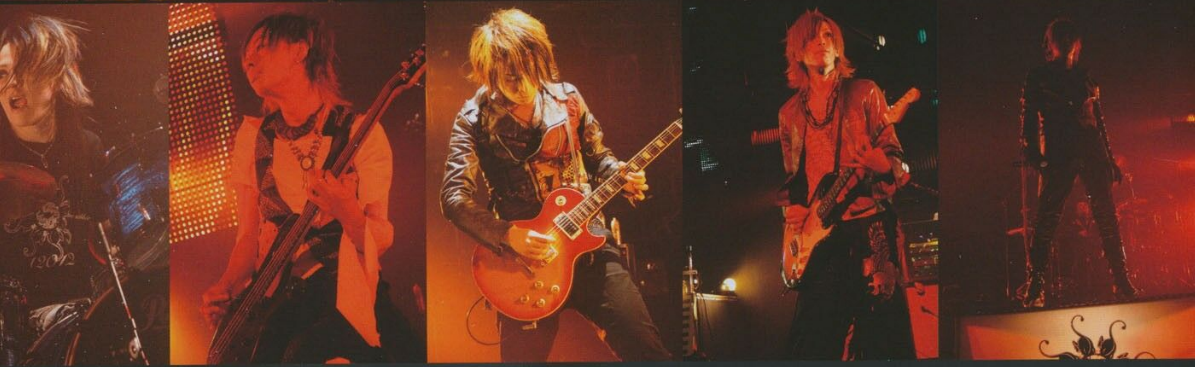
-Free Live- 無法地帯

2009.12.12 SHIBUYA C.C.Lemon HALL

【Set list】
薄紅と雨
[6] party
THE GOVERNMENT STOMPING GUM
憂色
サイクロン
newspaper
SYSTEM [0] DOWN
my room agony
深海のベッド
逢いたいから....
ダイヤモンド
crazy the city
GENERATION
罠
breaking the modern society
As
<encore>
時雨
SHINE
MERRY GO WORLD

"12012の日"史上最大の規模で行なわれた12月12日・渋谷C.C.Lemonホールでは、バンドの持つ幅広い表現力を存分に見せつけたステージを展開した12012。そんな充実の"記念日"と2009年を改めてメンバーに振り返ってもらうと共に、2010年一発目のリリースとなる『TATTOO』の概要にも触れたインタビュー。2010年の彼らの"決意"を聞いてほしい。

Report & Interview:TAKAYUKI MURAKAMI



12月12日を〝12012の日〟と位置づけて、毎年ファンに感謝の意を表すライヴを行っている12012。今年は、渋谷C.C.Lemonホールでのフリーライヴという〝12012の日〟史上最大の規模で行われた。彼らにとって初のホール・ワンマンということもあり、この日を楽しみにしていた人は多かったと思う。

大歓声を浴びて登場した5人は、「薄紅と雨」を皮切りに、「[6] party」や「THE GOVERNMENT STOMPING GUM」といったハード・チューンを相次いでプレイ。余裕の表情でワイルドなサウンドを響かせるメンバーたちの姿からは、彼らがいいコンディションでステージに立っていることがうかがえた。

セカンド・ブロックでは、「サイクロン」や「newspaper」などといったアップ・テンポの曲が演奏された。重厚なオープニング・ブロックから疾走感に満ちたセカンド・ブロックへの流れが決まって、場内のボルテージはどんどん上がっていった。さらに、「SYSTEM [0] DOWN」では、スーツ姿に白マスクで大旗を振る男性2人が登場。スリリングなサウンドと、ある種異様なムードが相まって、実に観応えのある1曲となっていた。

サード・ブロックでは、エモーショナルな「深海のベッド」、スロー・チューンの「逢いたいから....」、ウォームな「ダイヤモンド」を披露。ハードなライヴの中盤で、こういった楽曲をしっかり聴かせるのもさすがと言える。12012が奏でる深みのあるサウンドに、オーディエンスが惹き込まれるように聴き入っている姿が印象的だった。

ラスト・ブロックに入ると再びステージの空気は一転して、「crazy the city」や「GENERATION」「罠」といったナンバーをプレイ。暴力的にいき上げるパターンとは一味違ったパワフルかつ良質なサウンドを生で聴くのは絶妙の心地よさで、場内は一体感に満ちた、素晴らしい盛り上がりを見せていた。

ブロック毎のカラーを明確にすることで、幅広い表現力を披露すると同時に、大きな流れを持ったライヴを構築することに成功した12012。今回のライヴで得たものを糧に、今後の彼らはさらなるスキルアップを果たすに違いない。

――まずは、2009年10月11日～11月5日にかけて行われたツアー『薄紅と雨』の感想を、お願いします。

宮脇：2009年は、春にツアーをやって、夏にはメンバー・プロデュースのライヴもやって。いろいろな試みをした結果、面白いなと思うところや、これはいいなと思うところとかがいっぱいあって。『薄紅と雨』ツアーは、そういうところを組み込んで完成させるということがテーマとしてありました。それは、達成できたんじゃないかなと思います。

酒井：春と夏のツアーを経て、自分の中で核になる自信みたいなものはあったので、それを押し出すツアーにしようと思っていました。今の自分の中にあるものを全部見せる意気込みでツアーに臨んで、それにどういう反応が返ってくるかを楽しんで。自分の中で、一つ見えたものがあったツアーでしたね。

川内：このツアーは毎回1曲目が「薄紅と雨」で、改めて1曲目の大事さを痛感しました。あまり馴染みがない曲で、いかにお客さんを惹き込むか…ということで。自分たちが100%を出していないと、お客さんはついて来てくれないんですよね。そういうところが勉強になったのが、すごく良かったなと思います。

須賀：2009年は、ツアーを重ねることで、ステップ・アップできた1年だった印象がありますね。『薄紅と雨』ツアーは、すごく良いものになったと思います。ギタリストとしては、肩肘を張らないことの大事さを覚えました。ずっとライヴに対して100%で押し込んでいたんですけど、80%の時もあっていいかな…みたいな。いい意味で、ラフになりましたね。それがバンドとしても、いい方向に作用したんじゃないかなと思っています。

塩谷：去年は1年を通して一つのツアーみたいな感覚があって。ライヴの流れがどんどんよくなっていったし、『薄紅と雨』をリリースした後は、「薄紅と雨」「THE GOVERNMENT STOMPING GUM」「深海のベッド」が加わって。その3曲は、まさに今の12012を象徴する曲たちだったので、よりライヴの世界観を深めることができて。いいツアーになった実感があります。ただ、このツアーは、衣裳の袖がすごく邪魔で（笑）。ずっと、それとの闘いでした（笑）。

宮脇：実は、このツアーの最初に、外

蝴蝶网
hudie.com

“そこ”に生まれる何かが、自分たちを成長させてくれた

傷性難聴になってしまったんです。でも、それがキッカケになって転機が訪れました。病院に行ったら、とにかく音を聴くなと。でも、それは無理じゃないですか。それで、耳栓をしてライヴをやったら、これがやりやすくて（笑）。ただ、耳栓をすると、ライヴ感がない状態で歌うことになるので、それは克服したいなと思って。耳栓をしていようが、してなかろうが、テンションが変わらない状態でライヴをやりきることを覚えました。

――耳は大事にしてくださいね。ツアーの後、12月12日に渋谷C.C.Lemonホールで、フリー・ライヴを行いました。

宮脇：12月12日は〝12012の日〟ということで毎年何かしらやっているんですけど、新しいことをやりたくて。いくつかアイディアがあったんです。ゲリラ・ライヴとか、野外でフリー・ライヴとか。でも、野外で雨が降ったら嫌だし、ゲリラ・ライヴをやって、いきなり止められたりするのも嫌だなと思って。来てくれる人たちがいい状態でライヴを観れることを考えて、渋谷C.C.Lemonホールでライヴをすることにしました。

酒井：大きな会場は、やっぱりいいなと思いました。ツアーはライヴハウスだったので、急激に環境が変わったんですよ。それで、戸惑うかなとも思ったんですけど、ホールの気持ちよさが勝ってて。いい感じで出来ました。ライヴハウスでは出来ない演出もあるじゃないですか。照明や特効を使ったりとか…

須賀：マスクを被って、旗を振ってる人とかね（笑）。

酒井：あれなぁ（笑）。いや、いいんですけど、リハの時に思いきり旗をぶつけられて（笑）。とにかく、そういう風に、いつも以上に表現できる場所だなと思って。初めて観たお客さんも結構いたみたいですけど、そういう人たちにも12012の真髄を伝えられたと思います。

川内：もう最高でした（笑）。高いドラム台を作ってくれたので、お客さんが全員見えたんです。そういう環境は今までなかったに等しいので、他のメンバーはいつもこういう情景を見ながらライヴをしているんだな、と思って羨ましかったです（笑）。それに、ホールでワンマン・ライヴをする機会はなかなかないので、後悔しないようにと思って。もう、思いきり、いきました（笑）。

塩谷：ホールならではの演出が出来たし、ホールでしか見られない景色も見れて。〝気持ちよかった〟という一言に尽きます。でも、ライヴハウス／ホールそれぞれに良さがあるんだなとも思いました。〝ホール最高！〟と感じる反面、ライヴハウスのほうがいいところもある。今後は、両方を突き詰めていきたいです。

須賀：楽しめましたけど、課題の残るライヴではありましたね。ちょっと綺麗にまとまってしまった気がするんです。ライヴというのは、お客さんが120％に感じるものじゃないとダメだな…と思ってて。ライヴに来てくれた人が飲み込めないレベルまで持っていく必要がある。C.C.Lemonホールでも、そこまでいけたらよかったのになと思って。ライヴ直後に思ったのは、パワー不足ですね。それは、照明だとか、特効／音響といったことでは一切なくて、メンバー5人が出すパワーが大事なんだなと。ただ、パワーと言っても、頭を真っ白にして暴れ回れば生まれるものではなくて。難しいことですけど、そこまでいかないことには話にならない。でも、そのための答えは掴んだ気がするので、今後はそこを意識してライヴに臨みます。

宮脇：今いちばん感じているのは、ホールならではの〝響くところ〟を、もっと使いこなしたかったな…ということです。言葉で説明するのは難しいんですけど、〝鳴らす〟じゃなくて〝響かせる〟というか。ホールの空間いっぱいに、まんべんなく12012の音があるような状況にしたかった…というのが悔やまれるところですね。でも、一度のライヴでそれを感じられたのは、収穫だったと思っています。

――それぞれがいろいろなことを吸収した1年になりましたね。2010年の12012も楽しみです。

酒井：2010年は、もっと気持ちよさを伝えたいという想いが、俺の中では出てきています。それが上手く表現できれば、須賀さんが言ったパワーも、もっとストレートに伝わると思うし。そこを突き詰める1年にしたいですね。

川内：去年は今までの中でもワンマン・ライヴがいちばん多い年だったんです。ライヴは、自分たちの根源を思い起こさせてくれるというか。5人でバッ！と音を出すと、〝ああ、俺たちはこうだよね〟という再確認が出来るんです。考えたり、話し合ったりするより、5人で音を出したほうが分かり合えるので。そういう意味で、2010年も今年くらいの本数のライヴをしたいし、1本1本をもっと濃くしたいと思っています。

塩谷：去年は、ライヴ中心の活動をしてみて、スタジオにこもっているより、ライヴ1本やったほうが成長に繋がることをホントに実感しました。1本1本のライヴで、確実に何かを得られる5人なので。と同時に、曲をたくさん作った1年でもあったので、2009年の密度の濃さを、2010年に繋げたいですね。

須賀：2009年は、一言で言えば〝絆の1年だったな〟と感じています。メンバーにしても、お客さんにしても、スタッフにしても、場所とか空間とか時間とか、もう全てに関して、そこに生まれる何かが自分たちを成長させてくれたし、いろんなことを考えさせてくれて。そういうところで、絆というものを再確認できた1年でした。2010年は、この絆をもっと強固なものにしたいですね。その絆があることを自分たちだけが分かっているんじゃなくて、人に伝えていけるような1年にしたいと思います。

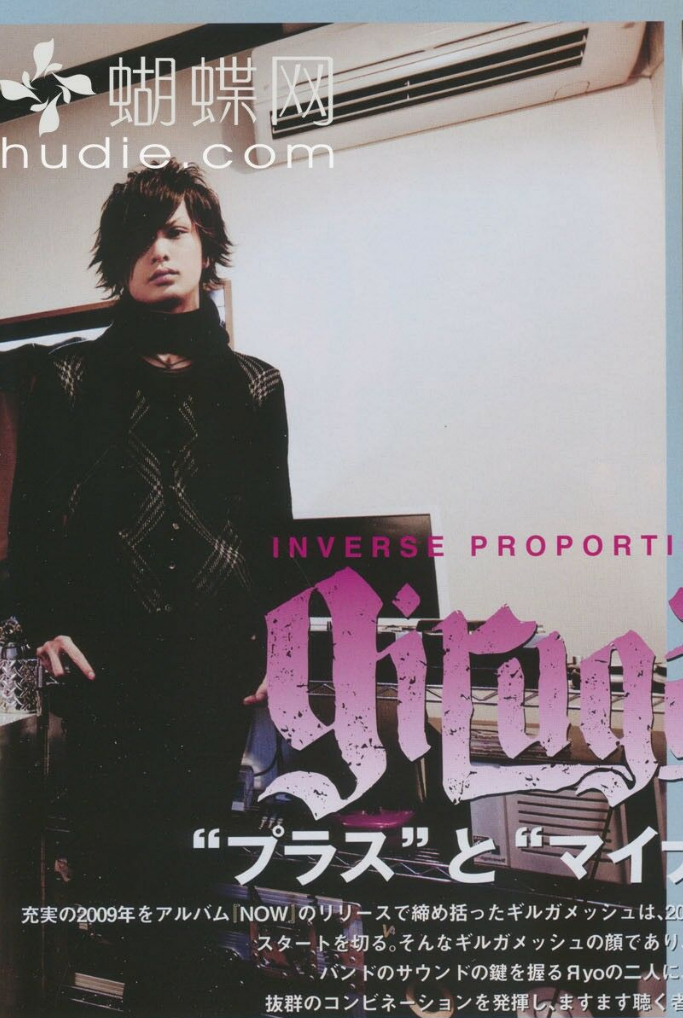
宮脇：2009年を振り返ってパッと浮かぶのは、〝楽しくやれたな〟ということですね。でも、まだまだメンバーは固まれると感じているので、今年はお互いにもっと曝け出し合って、分かり合える年にしたいと思っています。

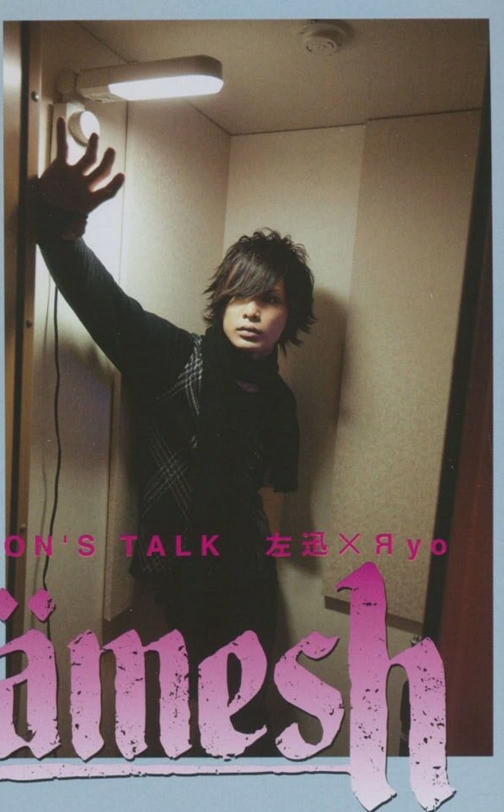
――2010年の幕開けを飾るシングルは、どんなものになりそう？

宮脇：新曲は「TATTOO」という曲なんですけど、〝決意〟という意味があって。自分が本当に求めている理想の明日や未来を掴むには、どうしたらいいか？…ということを歌った曲です。12012の決意も込めた曲になったことも踏まえて、〝TATTOO〟というタイトルにしました。今の12012を表現すると同時に、2010年の展開を予感させるシングルなので、楽しみにしててください。

【ライヴ・スケジュール】2月25日・渋谷WOMB、4月1日・名古屋ell.FITS ALL、3～4日・ESAKA MUSE、11日・渋谷AX。 http://www.12012.jp

蝴蝶网
hudie.com





INVERSE PROPORTION'S TALK　左迅×Яyo

girugämesh

“プラス”と“マイナス”の相乗効果

充実の2009年をアルバム『NOW』のリリースで締め括ったギルガメッシュは、2010年を1月31日の新木場スタジオコーストのライヴでスタートを切る。そんなギルガメッシュの顔であり、フロントマンとしてライヴを引っ張っている左迅と、バンドのサウンドの鍵を握るЯyoの二人に、より説得力を増した彼らの楽曲について話を訊いた。抜群のコンビネーションを発揮し、ますます聴く者の心を打つ歌を生み出していってくれることだろう。

——今日は、Яyoくんのプライベート・スタジオで撮影をしたわけですけど、ここで二人で歌メロを作ったりしてるんですよね。

Яyo：各々持って来たメロディを組み合わせたり、ここで綺麗に完結させたり。

左迅：ボロ雑巾になるぐらい、スパルタの教育を受けながら（笑）。

Яyo：そんなスパルタじゃねぇよ。

左迅：でも昔はそうでしたね。最近はあんまり言われなくなったんですけど…

Яyo：長くやってるから、分かって来たんですね。

左迅：両方の着地点みたいなのが見えて来たんです。前はそれがズレてたんで、そこを修正するのに相当時間がかかってたんです。

——意見がぶつかり合っていちばん大変だったのは、いつ頃でしたか。

左迅：『13's reborn』の頃かな。まだ二人で作るってことに慣れてなかったんです。

Яyo：お互い言わないんですよ、気を遣い合って。“これ、どうかな？”“どうしようかな、どう思う？”って（苦笑）。

左迅：二人とも遠慮してたんで。その次のアルバムからだんだんガツガツ言うようになって。

Яyo：“それ、違くね？”って（笑）。

左迅：“それ、微妙、ダメ！”とか（笑）。

Яyo：今は、左迅のやりたい感じとか、得意とするメロディ・ラインが分かって来たし、逆に、こういうメロディをつけてほしいんだなっていうのを持って来てくれたりするし。『MUSIC』ぐらいからかな。

左迅：お互いのメロディをつける得意の部分が見えて来たりして。俺は、AメロとかBメロとかが得意で、Яyoはサビ作るのが得意とか、そういうのも見えて来ましたね。

——なるほど。今回のアルバムで、メロディを作るのに苦労した曲と言うと？

Яyo：「NO MUSIC NO REASON」ですかね。これ、いちばん最後に出来たもんな。

左迅：そうだ。いろんなメロディを乗せたんですけど、新しさを求めるが故にドツボにハマってしまいました。

Яyo：二人とも迷っちゃって、どれがいいか分かんねぇ、って（苦笑）。

左迅：それで結果的に王道になりました。

Яyo：でも、逆にそれがいいって。

——逆に、「DIRTY STORY」のサビは、これまでと違う、新しい感じになっているということでしたね。

Яyo：それは曲作ってる段階でもう決まってて、それを朝まで考えたよな。

左迅：最初にメロディをキーボードで打ってもらって、これをカッコよくニュアンスで歌ってくれって言われて。

Яyo：でも、俺もミキシングから何から全部やってたんで、手いっぱいになっちゃって、結構（左迅に）投げてた部分があって。そこでまた意思の疎通が取れなくなって。コイツもたぶん疲れてたんですよ。だから、“こういう風に歌って”って言っても、“でも、それさぁ～”って言われて。俺もカチンと来ちゃって、うわ～ってモメて。（あの時は）ゴメンね。

左迅：（照笑）お互いね、睡眠不足でピリピリしてたからね。

——二人でやってて、険悪な空気が流れたりすることもあるんですか。

Яyo：しょっちゅうだよね。

左迅：でも、後に引きずらないし、グチグチ言うタイプの二人ではないんで大丈夫ですね。

Яyo：なのにスタッフはみんな、部屋から出て行くんです。気まずそ～に、バレないよ～に（笑）。

左迅：別に俺らはそんな気まずいとは思ってないんですけどね。周りはだいぶ気まずいらしいですよ。

——二人で作業するようになってから、お互いの成長を感じる部分はありますか？

Яyo：今回の制作で、そろそろ素直に自分のメロディも歌ってもらいたいなっていう狙いもあったんです。それで左迅から返って来たメロディが良かったんで、やるじゃんって思いましたね。5ポイントやるよ。

左迅：ありがとうございます（笑）。

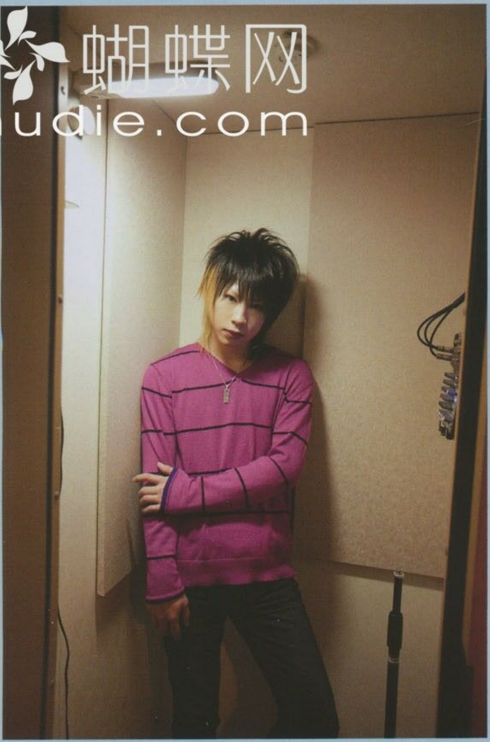
——歌う時のニュアンスとか表現力が成長して来て、曲を作った時の理想の歌に近づいてるっていう面もあるんじゃないですか。

Яyo：ニュアンスとかは最初に打ち合わせしたんだよな。素の左迅であったり、飾ってみたりであったり、そういう濃い打ち合わせはしておいたんです。『MUSIC』の時はパンチで持って行くっていう感じだったんですけど、今回はエロさとか、悲痛な感じとか、そういうのを自分なりに考えて持って来てくれって言って、返って来たのが本当に良かったんで。レコーディングは、ニュアンスとかは何も言わなかったんですよ。それで逆に心配してたんでしょ？

——いいのかな、って？

左迅：うん。諦められてんじゃねぇか

蝴蝶网
hudie.com



Photography:MASAYUKI KUSAKARI
Hair & Make-up:DAISUKE"BOB"TANAKA(JET SPEEDeR)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

【ライヴ・スケジュール】
1月31日・新木場スタジオコースト、2月21日・さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3、27日・博多DRUM Be-1、28日・広島並木ジャンクション、3月6日・心斎橋ビッグキャット、7日・松山サロンキティ、14日・岡山イマージュ、16日・神戸VARIT.、20日・名古屋ボトムライン、22日・金沢AZ、24日・新潟ジャンクボックスmini、28日・札幌クラップスホール。
http://www.girugamesh.jp/

なって(苦笑)。不安でしたね、そこは。

Яyo:〝大丈夫?大丈夫?〟って聞いて来るんで、〝いや、いいって言ってんじゃん!〟って。考えてたことがちゃんと伝わってるのかなって嬉しかったですね。

――左迅くんにそれを求めたのは、今回のサウンドにはその歌が合うからというところで?

Яyo:『MUSIC』は、ファンの方だったり、周りの関係者だったり、賛否両論あったわけですよ。そういろんな意見を聞いてまとめ上げたのが、今回のニュアンスだったんですね。

左迅:俺は、このアルバムを作る前ぐらいに、先輩に、〝誰でも真似できるようなクセで歌ってる人が広く認められてる〟って言われたんです。サザンとか、誰でも真似できるじゃないですか。そういうのを意識してやるのもいいんじゃないのって言われて、なるほどって。自分なりのクセを作っていこうかなって思って。

――それは強烈な個性を出すということですか。

左迅:そうです。〝ギルガメッシュの真似してみて〟って言われた人が、カラオケで真似できるような、そういう分かりやすいクセがあったほうが伝わるのかな、みたいなのを感じてたんで。そこがЯyoの考えてたことと合ったと思いますね。

――左迅くんから見たЯyoくんはどうですか。今やこれだけのスタジオを持って、ドラマーだけじゃない力を発揮してきたわけですが、そういう風になるだろうなって感じてました?

左迅:感じてました(笑)。プロトゥールスを買い出した頃から、〝ああコイツ、ヤベ～な〟って。ショートカットキーとかを使うようになって、めちゃめちゃ操作が速くなったんですよ。その時点で、後ろから見てて、コイツ病気だなって(笑)。

――同じバンドのメンバーがそういう風になっていくのを見て、どう感じるんですか。頼もしいなって?

左迅:頼もしいです、それは。そこまで追求する人はあんまりいないと思うんで。

Яyo:何ポイントくれる?

左迅:(笑)10ポイント。

Яyo:やったー(笑)。

左迅:相当頼りになりますね。今回のアルバム・ミックスのヴォーカル処理の感じは、いちばん好きですね。今まではちょっとストレスあったんですけど、今回はヴォーカルの質感みたいなのも話し合ったりしたんで、このアルバムの歌はすごく好きです。

――それもЯyoくんのおかげだと。作業中に険悪になっても大丈夫ということでしたが、性格的には合ってる二人なんですか。

左迅:プラスとマイナスですね。うるさいの(左迅)と静かなの(Яyo)。それでバランスがいいんじゃないですか。両方うるさかったらとんでもないことになると思うんですけど。

Яyo:人間的にタイプは逆なんですよ。

左迅:凸と凹なんで、それがいいんじゃないですか。無言でいても気まずくないんで。楽ですね。

Яyo:でも、つまんねぇって言われるんですよ、俺が喋んないんで。

――喋りたい?

左迅:喋りたいし、騒ぎたいんですよ、休憩中とかに(笑)。(Яyoは)ずっと黙ってるんで、俺だけ空回っててバカみたいで。つまんねぇんですよ、コイツ(苦笑)。

Яyo:作業に集中しちゃうと、そのことだけずっと考えちゃうんで。

左迅:それ、ダメ。集中すると、コイツ風呂も入らないんですよ。風呂とか入ってリフレッシュしたほうがいいじゃないですか。なのに入らねぇとか言うし。

Яyo:気づいたら、時計がすげぇ回ってて、次の日になったりしてて。〝ヤベ、風呂入ってねぇや〟って(苦笑)。

左迅:俺はいつも楽しく騒ぎたい派なんで。そこは寂しいですね。

Яyo:じゃあ、アゲアゲで行くわ。

左迅:それも困るけど(苦笑)。

――さて、2010年は、新木場スタジオコーストのライヴでスタートして、その後にもツアーが決まっていますね。『NOW』を引っ提げてのツアーになると思いますが、どんなライヴになりそう?

左迅:インストア・ライヴで新曲を披露したら、お客さんの反応がいい感じだったんで、ツアーを重ねていったら、アルバムがどんどん化けていくなっていうのをすごい感じましたね。

Яyo:うん。一発目であの感じだからね。

左迅:「DIRTY STORY」の掛け合いのところで、予想以上に声が返って来て、鳥肌立ちましたね。だから楽しみですね。

――2010年はどんな年にしたいですか?

Яyo:2009年もライヴをやってなかったわけじゃないんですけど、リリースが多かった感じがするんで、2010年はライヴ三昧にしたいですね。

左迅:ライヴを飽きるまでやりたいです。

蝴蝶网
hudie.com

gr8 story

SuG
Heavy Positive Rock

自分らしく自分裏切れ!

1月27日にリリースされるNEW SINGLE「gr8 story」にて、SuGが遂にメジャー・デビューを果たす。テレビ東京系アニメ「家庭教師ヒットマンREBORN」のエンディング・テーマ曲ともなっている今作。でも、そこは一筋縄ではいかないSuG。型にはまらない、自由なSuGスタイルは今作も健在!! 聴けば聴くほどハマってしまうSuGワールドに、引き込まれてしまうこと受け合い! SuGの記念すべきでメジャー・デビュー・シングル、必聴です!

Photography:YOSIE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Interview: YUKA SUGIE
Hair&Make-up:ASAMI YAMADA(PS COMPANY)/
SYUNICHI KAWADA

メジャー進出するわけですが…バンドのメジャーデビュー1発目って、個性よりわかりやすさが際立つこともありますけど、相変わらず自由な作風だなと。

武瑠：でしょ？ そこは、これからも変わるわけではないし、出したいものを出すだけだし。でも、SuGの中ではわかりやすいとは思う。

——マニアック色濃厚なシングル「PINK masquerade.」の後だけに、そう感じますね。

武瑠：そうそう。これで〝メジャー意識〟とか言ってるヤツは、絶対「PINK masquerade.」しか聴いてない（笑）。でも、その夜から朝へ移る感じは、出したかったから。

思っていた通りの形になりました？

yuji：最終的には、想像以上というか。今回は初めてマニピュレーターさんに入ってもらったんですけど、作ってもらった打ち込みがすごくて。もう、さまさまでした。

——その発想から技術から、勉強にもなったでしょうね。

yuji：すごくなりました。なんでこんなこと思いつくんだろうって思ったし。

Chiyu：で、全体で聴くときと、打ち込みだけで聴くときでは、印象が結構変わるんですよ。打ち込みだけで聴くと、〝こんな音も入ってたんや〟っていう音も入ってて。そういう打ち込みを活かすために、メリハリを大事にしたかっイところだけ出ていくみたいなフレーズ作りは、意識しました。

——ギターソロ前には、ベースの見せ場がありますもんね。

Chiyu：そう、そこだけはイケるかなと思って（笑）。

shinpei：ドラムはプレイはいつもとそんなに変えてないんですけど、音の作り方をエンジニアさんと話して変えたんですよ。なので、輪郭のある良い音に仕上がったとは思います。

——ギターは今回も、曲によって弾き手を分けているんですか？

masato：はい、分業制です（笑）。だから僕は、表題曲と「milk tune.」では、音を作るのを手伝ったり、アシスタントしてました（笑）。

蝴蝶网 hudie.com

yuji：それローディーちゃん（笑）。ま、「G☆E☆G」では、むしろ、僕はほとんど弾いてないんで。でも、そのほうが作業が速いし…逆に言うと、そうしないとスケジュール的に間に合わない（笑）。

masato：今回もカツカツだったもんね。

——ある意味、新しいツインギターの在り方かもしれないです。そういう中で、お互いアドバイスしたりも？

masato：こういう感じどう？って言ったりはしますね、確かに。

yuji：ま、表題曲に関しては特に何もないんですけどね（笑）。

——…深追いしました（笑）。それにしても、歌詞の〝「自分らしく」自分裏切れ〟って、武瑠さんならではの言い回しだなと。

武瑠：そこは最初に思い浮かんだ言葉だし、この曲のテーマはそこにあるから、それを際立たせるために他のところはわりと平坦に作っていって。それは、歌い方にも言えるんだけど。

——そしてその一節は、自分や自分たち自身に向けての言葉でもあり、リスナーに向けての強いメッセージでもあると。

武瑠：そうですね。生きている中で、どうしても自分の枠組みを作っちゃうと思うんですよ。〝これぐらいしかできないや〟って。で、それがわかっちゃうと、絶対そこを越えようとしないじゃないですか。

——人間とは怠惰な生き物でもありますからね。

武瑠：そうそう。そうやって、どんどん自分の限界が下がっていくのがイヤだなって。〝これぐらいだ〟って思ってる自分を裏切りたいし、裏切ってほしいなって。

——一方、「milk tune.」はエレポップ要素も感じる面白い曲なんですが…作曲者のyujiさんの頭の中には、最初からそういうイメージがあって？

yuji：〝そういうイメージの曲をやりたい〟って武瑠に言われたんで、〝じゃあ僕行ってきます！〟って（笑）。

武瑠：このジャンルの曲は、俺は作れないって判断したんで。困ったときは、大体yujiが何とかしてくれる（笑）。

——そして、いつだって見事期待に応える男なんですよね。

武瑠：うん。今回も、デモの1発目から、イメージぴったりで。

yuji：ま、それが他のメンバーにど

うだったかはわかんないけど（笑）。
shinpei：でも、聴いてすぐ曲のイメージが伝わるわかりやすい曲だった。
——しかし…作曲者的に守備範囲が広い感じはします。
武瑠：俺もそう思う。ちなみに、「milk tune」はショートのイメージなんだよね。重い系の曲が外野で、表題曲はピッチャーだとするとさ。
Chiyu：セカンドじゃないんや（笑）。
武瑠：そうそう。サードでもなくてさ。
yuji：なんか…わかる（笑）。俺、どこまで守れるかな。
shinpei：どこでもイケるんじゃない？
Chiyu：うん、監督以外やったらイケると思う（笑）。
武瑠：俺、3塁線の審判かな。
——選手じゃないの!?（笑）。
yuji：え、3塁側のコーチは？
——何も次々野球にたとえなくても（笑）。あと、この曲の浮ギターの浮遊感、曲に合ってて素敵です。
yuji：でも、ギターをメインに考えた曲作りができなくなってるんですよね。ギターは寂しくないぐらいに入ってたらいいかなって感じになってて。
——ギタリスト的な目線よりは、曲全体を俯瞰で見ているんですかね。
yuji：うん、そうかも。ギターに関しては守備が薄いけど、他のパートはすごく気になる（笑）。
shinpei：リズムに関して、yujiくんからその場で〝こうしてみて〟って提案してもらうことが多くて。でも「milk tune」は難しかったよね。
Chiyu：シンセベースと生ベースがユニゾンする感じだったんですけど、シンセベースのフレーズがあまりにも難しくて、前日まで苦戦してて（苦笑）。
yuji：でも、練習したらできたねっ。
Chiyu：人間離れしたフレーズだったけど…ギリギリ何とかなりましたっ。
——そして、歌詞で綴っているのは…恋愛の救いがない側面なんですよね。
武瑠：これは、どうにもならない、幸せになれないシリーズの歌詞なんです。表題曲は希望の朝っていう感じだから、この曲は希望がない感じにしようと思って。超解りやすい、〝嫌いなのに離れられない〟っていう王道な感じじゃなくて、曲のコードに合うような、真っ白＝milk色な、ほんのりとした絶望感を描きたくて。白とか純粋って、残酷さと優しさが両方ある感じじゃないですか。
yuji：子供って、何も考えないでゴキブリ持ってたりするもんね（笑）。
——そういう表裏を、鋭く突かれた気がします。通常盤のみに収録、masatoさん作曲の「G☆E☆T☆G」は、SuGの得意とするヘヴィポップド真ん中を狙いましたか。
masato：これはもう、ライヴ映え優先で作った感じです。こういうギターリフは、ギタリストとして作っていたいなって思うし。
——ちなみに、〝GETG〟という文字1字ずつに、深い意味が隠されていたり？
武瑠：いや、特に（笑）。ただの〝学園天国〟です。カッコ良さそうに聴こえるけどすごいダサい言葉でラップしてみたいなと思って、歌詞にも入れてて（笑）。内容も、男子校のモテない童貞ボーイズたちが、女子校にカワイイ子を探しに行くだけの話なんで。中身は一切ないです（笑）。でも、そういう曲もないとつまんないかなって。
——それぞSuGの絶妙バランスです。では、メジャーのフィールドに立った今、この先どういう理想の自分を追い求めていくのか、決意を訊かせてください。

武瑠：俺…マッチョ！ 強くな[illegible]いっ。
Chiyu：…色白になりたい。
武瑠：え、なんで!?（笑）。
Chiyu：いや、やっぱヴィジュアル系やし…美白を目指します（笑）。
yuji：そんなのファンデ塗ればいいんだよっ。僕は…気を抜いても猫背じゃない自分が理想です。猫背だと、猿人から人への進化途中に見えるんで（笑）。
shinpei：僕はもうちょっと太りたいんで…運動してプロテイン摂取っ。
武瑠：油も抜かないとダメだから、ボテチも禁止ね（笑）。
masato：僕はいろんな面で強くなりたいんで…やっぱりマッチョになります（笑）。

ライブスケジュール●SuG TOUR 2010「The Daybreak Sweet Kiss」1/22福岡DRUM SON、1/30大阪FANJ twice、1/31名古屋ell FITA ALL

蝴蝶网
hudie.com

The "JUBILEE" of the roses

1月20日、Versaillesのメジャー・ファースト・アルバム
『JUBILEE』がいよいよリリースされる。
様々な出来事のあった2009年を経て完成した今作は、
Versaillesの抒情が実に生々しく息づいた作品となった。
そこに込めた"継承"の意味
そしてここから描かれる彼らの物語とは——

Interview:RINGO AOMORI

Versailles
Philharmonic Quintet

hudie.com

――メジャーでの1stアルバムを作るにあたり、メンバー内でどういうものにしようと考えていました？

HIZAKI：デビュー・シングルの時は意識は凄くありましたけど、デビュー・アルバムっていうところでは全く考えてなくて。

KAMIJO：HIZAKIくんにはバラードを書いてもらいたかったのと、TERUくんには…TERUくんも望んでいたことだったんですけど、メロディック・スピード・メタルを作ってほしいということは言いましたね。7月の頭ぐらいまでに曲は全部揃っていたんですよね。

HIZAKI：イントロだけなら1年前からある曲とかもありますし…逆に苦労したのが「Catharsis」で。サビだけあって、ヘヴィな曲にしようと思ってたんですけど、他のメンバーの曲にいろいろなネタを提供していたら、そこだけすっからかんになって（笑）。どうしようと思った時に、TERUの曲を聴かせてもらったら、なぜかキーもテンポ感も一緒やったんで……じゃあ……

hudie.com

「ASCENDEAD MASTER」を作ってる時、デビュー・シングルを15分ぐらいの長い曲にしようとか言ってた時期があったと思うんですけど、たぶんその時用に書いた曲だと思います。

KAMIJO：これ、むっちゃTERUくんワールドだからね。

――TERUくんのライヴの時に見せるキャラが曲に出てる感じ。

HIZAKI：踊りながら弾くらしいですよ（笑）。

TERU：弾かないですよっ!!（笑）

――（笑）では、アルバム収録曲について聞いていきましょう。まず「God Palace-Method of Inheritance-」。

KAMIJO：始めに、第一楽章のメインのテーマの部分とか、第二楽章に移るところのテンポが変わってギターがユニゾンするところとか、ブロックごとにいろんなパーツが出て来ていて、僕の頭の中では一つに繋がってたんですけど、実際にやってみるとテンポが全然違って。それをいかに頭に浮かんでる通りにするかっていうところで、いろいろ勉強したし考えたし。綺麗な設計図と、そこに込められた情熱と信念というか…自分の生き方を注ぎ込んでいった感じですね。

TERU：第三楽章後半も、オーケストラの一部みたいにギターを入れたり、いろんな表情で入れてます。

HIZAKI：長いギター・ソロが僕は2回あるんですけど、アルバムの中でいちばん感情が入ってるソロですね。ベースも僕が録ってて…外部の人に入ってほしくなかったっていうのが凄くあって、それやったら自分で弾こうと。ある程度は弾けるんですけど、やっぱりベーシストが弾くベースとは根本的に違うから、僕が弾くって決まってから凄い練習しました。フレーズを作る時も、Youくんが弾きそうなフレーズを考えて。

KAMIJO：「Rosen Schwert」は、歌詞にもある〝慣れる〟って言葉って、〝心を貫く〟と書いて〝慣れる〟なんですよね。そんな痛々しい言葉なのにマイルドな感じに聴こえる…この曲単体の歌詞で言うと、過去の恋愛を思い出すような曲に聴こえると思うんですけど、アルバムの中で聴いた時にどの言葉が耳に残るか。それがこのアルバム全体に繋がる1本貫いてる部分だったりするので、それをいろいろな聴き方をして見つけてほしいなと思いますね。

HIZAKI：原曲では凄くキャッチーな曲だったんで、ヘヴィな要素が欲しいなと思って、ドラムもけっこうワケ分かんないことを叩いてるんですけど、ギター二人がさらにワケ分かんなくしてます（笑）。ソロで、今回のアルバムで僕が速弾きが少なかったんで、〝速弾きするから、その後メロディを弾いて〟って言ったら、コイツも速弾きしやがって！（笑）

TERU：はい（笑）。バックの雰囲気的に、こういうほうがカッコいいなと思って。8ビートのダサい感じだったんで…

KAMIJO：ダサい……（苦笑）。

TERU：いや、ダサカッコいいっていう意味で（笑）。

YUKI：ウチのバンドは1曲の中でも絶対にオイシイアレンジを持ってくるんで、そうすると僕も嬉しくなっちゃって、いろいろやってますね（笑）。

――「愛と哀しみのノクターン」は…

たものを繋げると言うか、前後の繋がりが良ければコード進行とか考えないような、行き当たりばったりの作曲の仕方をしてたんで、普通のミュージシャンが出来てて自分が出来てないことを意識して作りました。

HIZAKI：とりあえず1回好きに作ってもらって、それを僕が…こんなことないんですけどコピーをして（笑）、現場でニュアンスを変えていきましたね。

TERU：あとはYUKIくんが頑張ってます。

YUKI：アナタの言うがままに僕はやったんですよ（笑）。基本的なドラム・フレーズとかもだいたい決め込んで作ってきてたんで、分かりやすくストレートに突っ走りますよ！と（笑）。

KAMIJO：今回TERUくん、歌い方にまで口を出してきましたから（笑）。

HIZAKI：もうプロデューサー（笑）。レコーディングでちょっとミスると〝ヌルいっす！〟って言われるんですよ（笑）。

——「Amorphos」は一転して優しい曲。

HIZAKI：サビを何回も繰り返す曲を作りたくて。で、アコギを触ってた時シャレ・フレーズが出て来て。

KAMIJO：歌を入れるまでは、オシャレで穏やかな感じだったんですけど、歌詞が乗って歌が入ったら、ギター・ソロもそうですけど、〝激動〟っていう言葉がしっくり来ると言うか。この曲は、ファルセットとか自分の良い部分がいっぱい出せたので、凄く良い歌が歌えたと自負しております。

——「Catharsis」は、苦労した曲とのことでしたが。

HIZAKI：「Reminiscence」になぜか僕はアラビアとかそっちの匂いを感じてて、アラビアから中近東に行った流れを、ストーリーとは関係なく勝手に作りたくて、「Catharsis」の頭にTERUくんのギターで中近東な感じを。

KAMIJO：「Reminiscence」から「Catharsis」の流れは、バックトラックを作る上でも、映画のサウンドトラックを作ってる感覚で凄く楽しかったです。

YUKI：ドラム録りに関しては、しんどかったの一言しかないです（苦笑）。魂削って叩いてきました。リスペクトしてるドラマーの方をイメージして叩いたんですけど、それがうまいこと出来た

KAMIJO：歌詞はHIZAKIくんですね。この曲で死についてとか歌ってますけど…

HIZAKI：宗教学とかを凄く勉強してて、その時は仏教の輪廻転生に興味を持ってて。それを書いてみた感じなんです。でも実際、Youくんが目を通して、凄く気に入ってくれた歌詞っていうのもあるんで、そこは大事なところで。

——「The Umbrella of Glass」はKAMIJOくん作曲。

KAMIJO：始めは雨の曲じゃなかったんですよね。それが、ギター・ソロでスパニッシュな雰囲気が入ってきたら、僕の中で凄く雨を感じて変わっちゃったんですよね（笑）。

HIZAKI：俺、夕陽のイメージで作ったんすけどね（笑）。

YUKI：ロック・バラード的なサビとか、叩いてると気持ちいいんで、ライヴ映えしそうな曲ですね。

TERU：ギターは、ヴォーカルを補佐するって感じに徹しましたね。あ、でも珍しくカッティングとかやってるんで、そういうのが曲の良さに貢献できてるのかなぁって思います。

テイクですね。

HIZAKI：インディーズ時代に培ったものが詰め込まれてる曲だと思ってるんで、これをまたメジャーでもう一度出したいというのもありましたし、あまりにも曲が難しすぎて、当時は持ってる力を出し切れなかったので、もう一度挑戦したいという気持ちもありましたし。

TERU：身体に馴染んでる分、ツイン・ギターの感じが前よりも気持ち良くなったなと思いますね。疾走感の出方とかも変わったと思うんで。

KAMIJO：ヴォーカルも、ライヴのように自然体で歌えたので、前とは違う感じになりましたね。

——「Serenade」は、HIZAKIくん作曲のバラードですね。

HIZAKI：これもサビがふとした瞬間に降りて来まして。その次の日のリハで全員で合わせたら、Youくんが凄く気に入ってて。原曲が完成した時も、珍しいぐらいに興奮していて。だから聴くと、その時の気持ちが込められてる気がします。ベースも、Youくんと一緒に考えて、僕が弾くことにはなったんですけど、彼が気に入ってたフレーズですね。

ここから、"Versailles"という存在を知らしめていきたい

ターの見せ方として、凄く印象的に聴こえるなって。ハモリもやりすぎず、イイ感じになったと思います。

YUKI：ドラムも、原曲を聴いた段階で、逆に何もしたくないなっていうのがあって。ここまで一歩引いてリズムに徹するのがウチでは初めてで凄く新鮮で、とてもうまくいったし凄く良かったです。

KAMIJO：始め、詞が書けなくてホント困って…Youくんが亡くなってから、Youくんのことを歌いたいけど、アルバムとして収録する場所も決まってたので凄く悩んで。だけど、悩んでる中でふとした時に書けたというか。結局、アルバムのことなのかYouくんのことなのか、何かっていうことではなくて、この作品が求めてたものを自然と書けた気がします。最後の「Sound in Gate」は、アルバム全体の核ではなくて、ヒントとして捉えてもらえたらなと思いますね。ナレーションの中に伝えたいことも含まれているし、一つ一つの音…どこから音が出ているかも含めて楽しんでほしいなと思いますね。

——さて、2月からはこのアルバムを引っ提げてのツアーも始まりますね。

KAMIJO：デビュー・ツアーでもあるので、アルバムの曲はもちろん、過去の代表曲も含め、様々な曲を演奏して、日本でのヴェルサイユっていう存在を、より知らしめたいなと思いますね。

TERU：ずいぶん待たせてしまってると思うんで、『JUBILEE』っていうアルバムを表現するのはもちろんですけど、同じ時間をみんなと共有したい。僕たちも待ち焦がれております！

YUKI：待っててくれたみんなには、待っててくれた分だけの最高の音とパフォーマンスで楽しませてあげようと思ってます。

HIZAKI：まずは2月3月4月と日本全国廻るので、そこで僕たちとお客さんで『JUBILEE』の楽曲を育てて、そしてワールド・ツアーでさらに僕たちが育てて来るので、またその次のツアーで会えるのを楽しみにしております（笑）。

TERU：もう次のツアーのことまで言った！（笑）

HIZAKI：今年はライヴ三昧の年にしたいと思います！

【ライヴ・スケジュール】2月26日・新横浜サンフォニックスホール、3月5日・名古屋ボトムライン、7日・岡山イマージュ、9日・神戸VARIT.、11日・松山サロンキティ、13日・博多DRUM Be-1、14日・鹿児島SRホール、16日・KYOTO MUSE、21日・新潟RIVERST、22日・金沢VanVan V4、4月2日仙台ダーウィン、4日・札幌クラップスホール、18日・大阪御堂会館、30日・東京JCBホール。
http://versailles.syncl.jp/

hudie.com

D Tightrope

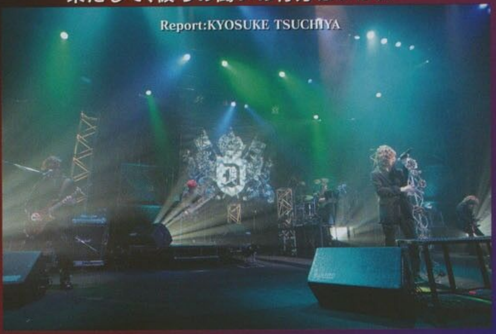
～見えない力が 今 私を動かす～

2009.12.20 NAKANO SUN PLAZA HALL

“力”は果たして何を動かしたのか──サンプラザ公演詳報

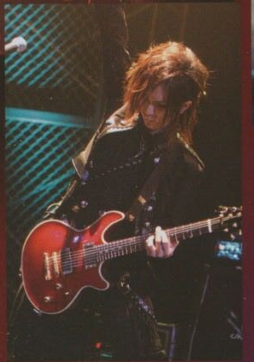
Dというバンドの深き想いが込められた、対をなすシングル曲「Tightrope」に始まり、
「Day by Day」で締め括られた、12月20日・中野サンプラザ公演。
彼らはここで、“見えない力”を昇華すべく、渾身のパフォーマンスを展開してみせた。
彼らは3月24日、新たなるフル・アルバム『7th Rose』をリリースすることが決まっている。
果たして、彼らの闘いの行方はいかに──

Report:KYOSUKE TSUCHIYA



t lfst]

.Tightrope
.Rebellion
.Colosseo
.花惑
lost breath
.Lapis lazuli
～君を思うほど僕は欲しくなる～
.Stinger～謂われなき情念～
.Night-ship“D”
.Bloodberry
.闇より暗い慟哭のアカペラと
薔薇より赤い情熱のアリア
.妖奇譚
.メテオ
.Guardian
.至高の美の崩壊
encore Ⅰ>
.闇の国のアリス
.EDEN
encore Ⅱ>
.君が見る夢の中
.Day by Day



オープニングSEに導かれて幕が左右にゆっくりと開かれたとき、目に飛び込んできたのは、すでに定位置についていたRuiza、HIROKI、Tsunehito、HIDE-ZOUの楽器陣だった。しかし、ASAGIの姿はそこにない。これが意味するものを、その時点で判別できた人は少なかっただろうが、次の瞬間、オーディエンスは今回ならではの特別な演出に喝采した。

ASAGIは檻の中に捕われた恰好で舞台下から浮上したのだ。曲はもちろん「Tightrope」。シングルのアートワークをそのまま体現した光景である。“地下牢”に閉じ込められた“綱渡り”の状況。これが何を暗示しているのか、様々な想像が膨らんだはずだ。

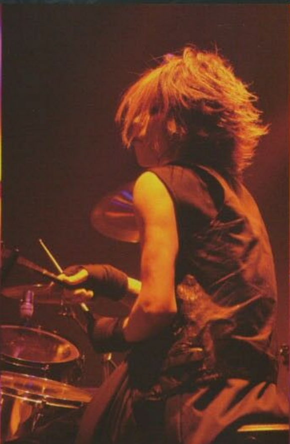
しかし、この場面は音源をライヴでどう披露するかという、単なる“再現”ではなかった可能性を指摘しておきたい。その象徴と言えそうなのが、続く「Rebellion」を始めとして、その後も攻撃的なマテリアルが矢継ぎ早に繰り出されていったことだった。前半のMCも『胸に熱く刻めるようなライヴにしようぜ!』といった煽り程度である。つまり、分かりやすい言葉ではなく、自らが奏でる音塊を通して訴えかけたかった想いが、5人にはあったように思えるのだ。

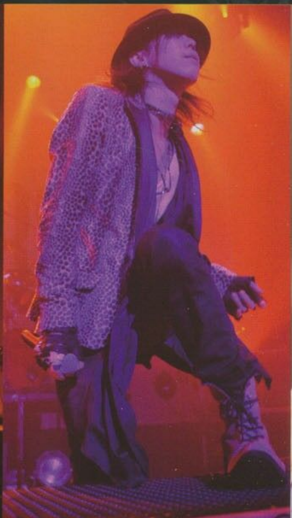
もちろん、そういった解釈は深読みに過ぎないかもしれない。ただ、観客がどう受け止めたかは別として、少なくとも、この序盤の流れが今回のライヴの鍵を握っていたのは間違いないだろう。まさに“叩き付ける”という表現しか当てはまらない、渾身のパフォーマンスだった。

そんな中で組み込まれた多くの新曲群に対する反応も興味深かった。「Lapis lazuri～君を思うほど僕は欲しくなる～」「Stinger～謂われなき情念～」「Bloodberry」「妖奇譚」「至高の美の崩壊」。本編後半はフル・アルバム発表直後のような新鮮さのあるセットである。キャッチーなコーラス・パートをシンガロングしながら、じっくりとステージを凝視するオーディエンス。座席指定の会場だったことも無関係ではないとはいえ、より集中度を高めつつ、楽曲の世界観をどう的確に伝えるべきか。将来のステージの在り方を見出せるものでもあった。

アンコールを締め括ったのは「君が見る夢の中」と「Day by Day」。言わば、陰から始まり陽に終わる、次なる光へと向かう一連の物語がここで形になったわけだ。無論、それは最終目的地ではない。3月24日には“7年目と原点回帰”（ASAGI）を旗印に掲げたアルバム『7th Rose』も発表されるが、“見えない力”をポジティヴに昇華せんと挑むDの闘いは重要な局面を迎えつつある。

【ライヴ・スケジュール】3月13～14日・さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3、19日・仙台ジャンクボックス、21日・札幌ペニーレーン24、27日・浜松窓枠、28日・名古屋ボトムライン、2日・広島並木ジャンクション、3日・梅田AKASO、4日・京都ファンJ、10日・新潟ジャンクボックス、11日・金沢AZ、22日・熊本DRUM Be-9、23日・博多DRUM Be-1、25日・ステラボール。 http://www.d-gcr.com/





【セットリスト】
1.BRILLIANT
2.Reddish-DIVA version-
3.Garnet
4.アベルとカイン
5.BORN
6.Going on!
7.Hollow
8.FINAL CALL
9.Kaleidoscope
10.HEAVEN'S COLOR
11.Lost in re:birth
12."Forbidden"
13.メドレー～檻の中で見る夢/不埒な吐息と甘い嘘/Carnival/ero:de/murder freaks～
14.REDEEMER
15.HORIZON
16.浮遊した理想
17.闇に降る奇跡
EN1.凍える夜に咲いた花
EN2.TRICKSTeR
EN3.MIRROR
EN4.夜空
EN5.Bullet

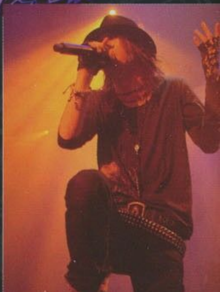
D'ESPAIRSRAY

闇に降る奇跡

Live at YOKOHAMA BLITZ 2009.12.30

闇を照らす白い奇跡は、静かに舞い降った。
D'espairsRayにとっては結成10周年の節目でもあり、
メジャーデビューを飾る年ともなった2009年。
その最後を締め括るべく、12月30日に横浜BLITZにて行われたのが、
[LIVE 2009ー闇に降る奇跡ー]だ。
2010年への架け橋となったこのライヴの中で、彼らがみせたもの。
それは、まさに奇跡と言える光景だった――。

Report:YUKI SUGIE



確かな兆しが、そこには在った。まだ春は遠いとしても、このちらつく雪がやめばきっと…。そんな希望を見出せたのが、このたび歳も押し迫った12月30日に横浜BLITZにて行われた、D'espairsRayの［LIVE 2009-闇に降る奇跡-］だったのである。

結成10周年の節目でもあり、彼らにとってはメジャーデビューの年ともなった2009年。D'espairsRayは、何時にも増して精力的な活動を繰り広げながら、バンドとしての威厳と存在感をシーンに対してみせつけた。

しかし、一方では下半期に入り、かねてから憂慮されていたHIZUMIの喉の故障が、顕著化するという事態に…。その経緯に関しては、マニアたちもさんざん心配させられていたはずだろう。

そうした中、今回の［LIVE 2009-闇に降る奇跡-］では、何とこのライヴタイトルよろしく、HIZUMIが奇跡的な復調ぶりをみせ、バンド全体としてもD'espairsRayとしての本領を発揮する、充実したパフォーマンスを見せてくれることとなった。

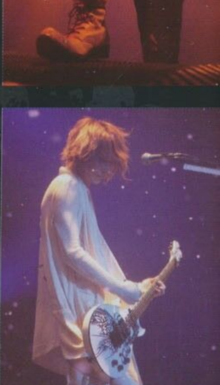
このライヴ前日に発売となった、ベスト盤『IMMORTAL』とリンクするような選曲も秀逸で、本編途中にはメドレ形式で「檻の中で見る夢」～「不埒な吐息と甘い嘘」～「Carnival」～「ero:de」～「murder freaks」といった、レアな楽曲たちも盛り込まれ、これには集[illegible]マニアたちも大いに狂喜乱舞。[illegible]歳末謝恩ライヴの様相も呈[illegible]たの[illegible]この夜の特徴だ。

"盛り上がってんなぁ（笑）。…最高の景色です。やっぱり、年末にこういうライヴをやるのは良いですね！感謝してます"

かくして、本編ラストでは「闇に降る奇跡」を深遠なる演奏で熱演し、その後にはアンコール+Wアンコールで、彼らはマニアたちの期待と要望に応えた。

昨今、コンポーザーとしてはもちろんのこと、ギタリストとしても研鑽を重ねてきているKaryu（ちなみに、この日の彼は、雪をイメージしてか、全身真っ白のコーティネート！）。癒し系なキャラとは裏腹に、カッチリキッチリかつパワフルなドラミングをみせるTSUKASA。躍動感溢れるベースプレイと、攻撃的なステージング、時折みせる笑顔でマニアたちを惹きつけて離さないZERO。そして、刺激的なスクリーミングの使いっぷりはもちろん、純粋に歌い手としての高い潜在能力を持った、HIZUMI。

そんな彼ら4人からなるD'espairsRayの2010年は、きっと光とともに在る。そのことをこの一夜を通して確信出来た以上、ここからの展開にさらなる期待をしていたい。



(問)Sword Records〒150-0011　東京都渋谷区東2-2-8　渋谷第二TYビル3F　TEL:03-3409-3323(平日14:00～18:00)

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Phantasmagoria

解体・そして転生。新たな世界への旅立ち。

――ファンタスマゴリアとしてカウントダウンライヴをするお話がKISAKIさんから出たときは、どう思いました？

JUN：僕的にはそこまでいきなりだとは思わなかったですね。何かしらKISAKIさんとは会ってますし、そのときにファンタスマゴリアの話もしたりしてるし。ファンタスマゴリアって不思議なバンドだよねって、終わって客観的に見れるようになってそういう会話が出来たりして。求められてることがあるんであれば、それに応えることがあってもいいよねって会話もしてたんです。

――じゃあ、素直にやろうと。

JUN：そうですね。嫌でバンドが終わったわけではないですし。

――戮さんは？

戮：実際問題、chariotsを含め今所属してるバンドでは、カウントダウンを仕切るのに締まらないと思ったし、ファンタスマゴリアがやるのが一番しっくり来ると思うし、KISAKIさんとやりたいとも思いましたね。

――またファンタスマゴリアとしてステージに立つことについてはどうでしょう？

戮：解散って区切りをつけて終わったバンドなんですけど、皆が集まって出来る状況ではあるんで、やりたいなって思ってますね。

――伊織さんはどうです？

伊織：正直言うと、悩んだんですよ。やっぱりファンタスマゴリアっていうバンドの存在が大きかったって、終わってみてわかったし、それをまたやるってことはとんでもないことやと思ってたんで。JUNとも相談したりして、結果的にやるって言ったんですけど、5人がいないと全てが壊れてしまうんだろうなって単純にそう思ったんですよね。KISAKIさんも考えて話をして来てるってよく分かったし、またやればきっと面白いことがあるんじゃないか、自分のためにもなることがあるんじゃないかって、考えを変えて、やろうって。

――纏さんは？

纏：皆、現役でやってるんですけど、僕は違うんで。

KISAKI：やってないよ（苦笑）。

纏：KISAKIさんはバンドにたずさわってるけど、僕はそうじゃないんで、単純に腕が心配ですね。大役なわけじゃないですか。大丈夫かなって、まず最初に思いました。やると決めたからには、きちんと練習しまくらないとって思ってます。僕だけ下手くそになった状態でやったらだめやし（苦笑）

KISAKI：それは俺もだって。俺もベース弾いてないから。お前、自分だけ逃げ道作んなよ（笑）。

JUN：俺、たぶん上手なってるで。

一同：（笑）

纏：大役なんでちゃんとしないといけないなって思いました。

――ファンタスマゴリアがまたライヴをやるってことに関しては？

纏：僕はそういうお祭りも大好きですし、喜んでって感じですね。

――というわけで大晦日にライヴが決まったわけですね。

KISAKI：伊織もさっきちょっと悩んだって言いましたけど、当然悩みますよね、自分の活動もありますし。それでも、今もファンタスマゴリアに対してオファーが来るし、求められる場所があるんだったらやろうよってことなんですよね。各々が別の活動をしてるからやらないんじゃなくて、ひとり一個しかバンドをやったらダメっていうルールなんてないじゃないですか。

――ファンタスマゴリアは特別なものっていう感覚はやはりあるわけですか。

伊織：あります。やっぱね、終わってわかることがすごく多かったんです。すごいバンドだったんだなって本当に実感しますよね。

――ファンタスマゴリアがそういう特別なものになってる理由は、どういうところにあると思います？

JUN：僕は、ファンタスマゴリアとして活動してるときに、皆の意識の持ちようがすごい同じ方向を向いてたから、いい風に物事が進んで行ったと思うし、今も特別なものになってると思うんですね。バンドって、売れたいっていう思いだけで団結してたり、いろんなパターンがあると思うんですけど。結成当初、僕らがやろうとしてるバンドは、説明できないけどすごいことをやらなあかんのや、だから自分達に才能があるかどうかはわからないけど、ガムシャラにやるしかないんだっていう、一番基本の大事な考えを

俺が変えていかないとっていう精神がいまだに5人の中で生きている。

大晦日に、UNDER CODE PRODUCTIONによるカウントダウンイベント『首都制圧』で、08年8月31日以来、1年4ケ月ぶりにその姿を現したPhantasmagoria。この後、3月10日には『Diamond Dust』『Seeds of Brain』をリリース、さらに4月5日には大阪BIG CATでワンマンライヴも決定している。これは完全復活ということなのか？　その真相と、今Phantasmagoriaとして再びステージに立つ気持ちを、5人全員に訊いた。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

皆しっかり持って、同じ方向を向いてたのはよく感じてたんで。それを強く持ってたことが、月日が経っても変な団結感みたいなのがあるのかなって思いますね。

KISAKI：当時はアンダーコードを立ち上げてまだ間もない頃で、俺らが変えていかないとっていう気持ちを全員が持ってたし、そのためにまず根本から固めて行こうってすごい徹底してやってたんで、その精神がいまだに5人の中で生きてるのかなと思いますね。

――なるほど。そして、さらにリリースもあるということで。

KISAKI：前号の取材で、2010年、何かやらかしてやろうって宣言したと思うんですけど、その第一発目って捉えてもらっていいんじゃないかと思います。メジャーデビューが決定していた時に、レコーディングしてた曲があって、諸問題で発売は出来なかったんだけど、やっと今出せる状況になったので。他にも発売に至らなかった名曲がけっこうあってそれをコンプリートした音源「Seeds of Brain」も同時発売します。

――今後の活動に続くとかってことではなく？

KISAKI：なんで出さなかったのか今となっては不思議なんですけど。

JUN：データの中に眠ってたんです（苦笑）。久しぶりに聴いたら、ファンタスマゴリア以外で絶対できない曲やなって。

戮：聴いてもらったら、絶対ファンタスマゴリアってわかるような曲なんですよね。

――それが3月10日に発売されて、その後またライヴが決まってますね。

KISAKI：ずっとお世話になって来た日黒鹿鳴館の30周年記念祭ですね。

――それはJCBホールっていう大きい会場で、どんどん話が大きくなって行く感じもしますが。

纏：やれば大丈夫です。ファンタスマゴリアに入って、一番最初のときが一番強烈やったんで。

JUN：そうだ。あれに比べたらな。初ライヴが、ベイNKホールでしたからね（笑）。

――さらに大阪ではワンマンもあると。

KISAKI：『Diamond Dust』のリリース記念なんですけど、ただそれだけじゃなくて。この日は、僕が3年前に引退を表明した日なんです。その日にワンマンをして、絶対何かを起こしてやろうと思ってるんで、ぜひ集まってほしいですね。誌面とかじゃなくて、ステージ上からでしか伝えられないこともいろいろあると思ってるんで。

――ファンタスマゴリアとしては、その後どうなって行くんでしょう？

KISAKI：結局、わからないですからね（苦笑）。僕らだけの気持ちで動いてるわけじゃないところもありますから。

JUN：どうなんでしょうね？　どうなるんかな？

――っていう感じ？

KISAKI：俺らの気持ちが動くものがあれば、やるよと。復活宣言ではないけれども、メンバーの中で特別な位置にいるバンドなんでできるなって話もあるんで。

――それは、その時々の気持ち次第だと。

JUN：きっと。

戮：別に解散したからって二度とやっちゃいけないわけでもないし、やりたいと思って、表現したいことをやるのがアーティストだと思うんで、やりたいことをやるまでです。

KISAKI：ひとつ誤解してほしくないのは、去年皆の署名が集まって一日復活のライヴが出来たときの気持ちって、メンバーもすごい大切にしてると思うんですね。その気持ちを経た上で、また新しい展開ができるっていうのは、あの当時のいろんな経験と想いがあったからだと思うんです。求められても、自分達がやりたくなかったらやらないと思うし、お客さんと気持ちがすごくリンクしてるんだと思うんですよ。[illegible]もOKしてくれたと思う[illegible]新作リリースもあるし、[illegible]ワンマンをみんなで大成功させたいです。

――4月5日以降は何か[illegible]んですか？

伊織：そのときそのとき感じたことを一番大事にして行きたいですね。

纏：この5人でないとダメ[illegible]。

――ライヴ楽しみにしています。

KISAKI：4月5日は大阪BIG CATに皆集まってほしいです。

蝴蝶网
hudie.com

自分たちのペースで楽しんでいけたら

――揺紗はＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥ前にもバンドをやっていたんだよね？

「うん。ＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥは2個目。その前は華族ってバンドをやってたんだけど、オリジナルをやるようになったのはその時から。コピーバンドみたいなバンドは、その前にもやってたんだけど」

――本気でバンドをやっていこうと思い始めたのは、華族からだったの？

「うん。大学に行きながらだったから、バンドだけっていう訳にもいかなかったんだけど、本当に自分が夢中になれるモノは、やっぱり音楽だけだったし、やるからにはちゃんとした形でバンドやりたいなって思ってて」

――コピーバンドをやってたのはいつ？

「中学生の頃。高校生の頃からバンドでプロを目指したいとは思ってたんだけど、基本的に俺、飽き性で。中学の時はサッカーをずっとやってて、サッカー以外はホント長続きしなかったのね。でも、バンドだけは、それを飛び越えて夢中になれたモノだったから、高校卒業したら、バンドでプロが目指せたらいいなと思って、親にもそう言ってたんだけど、とにかく大学だけは行っとけって。大学に行ったら、好きなことやっていいって言われたから、大学行って、建築科を専攻してたんですよ。でも、やっぱ本当にやりたいことじゃないから熱くなれなくて」

――難しいよね、18歳くらいで人生の進路を決めろと言われてもね。私も、大学の時に目指してた未来と、今とはまったく違った道を歩んでいたりするし。

「そういうもんすよね、人生なんて。でも、俺は、バンドだけはやっぱどうしても諦めきれなくて。で、大学2年の頃に本格的にバンド始めて」

――大学は卒業したの？

「一応。学費も出してもらって、親には感謝してるけど、〝なんの為に？〟って考えちゃうとね。いまだに、大学に行った意味ってあったのかな？って思っちゃうというか」

――でも、人生って、本当に無駄がないと思うから、いつか、〝あの時の時間はここに繋がってたんだな〟って思えるときが来ると思うよ。

「なんですかね。まだ分からないんですけどね。俺、何ごとに関してもなんだけど、結果が伴わないことって、好きじゃないんですよ。学校の評価にしてもそうだったし、バンドに対しても。大学でサークルに入って、バンドやったりもしたんですけど、やっぱそれもコピーで、学園祭とかでやるライヴが楽しかったらそれでいいよね、的な感覚だったんで、長続きしなかったんです。いい結果でも悪い結果でも、やってる意味を感じられないなら、ぽっかりと残念な気持ちだけが残ってしまうんです。ノリでバンドやるっていうのが無理なんですよね」

――その感覚、すごく分かるけどね。大学2年の頃に始めたバンドが華族？

「そう。知り合いの人にメンバーを紹介してもらって、在学中にライヴとかもやるようになったんです。契約とかはしてなかったんですけど、すごくお世話になってた事務所もあって。でも、結局、いろんな事情で長続きしなくて。行き違いもあったりして、バッシングを受けたりしたこともあったんですけどね……」

――揺紗はその頃から作詞をしてたの？

「ううん。前のバンドのときは、ギターのヤツが作詞も作曲も自分がやりたいっていうスタンスだったから、手伝ったりくらいで、全部自分でやるようになったのは、ＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥになってから。メインコンポーザーがバンドを引っ張っていくというスタイルよりも、バンドのメンバー全員が曲を作れる方が、絶対に振り幅も広がっていいと思ってるから。今、ＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥも、俺とユウダイくんが中心になっちゃってるから、もっと全員で作っていけたらいいなって思っているんですけどね」

――なるほどね。じゃぁ、大学を卒業する時には、バンドもなかったの？

「そう。なんか、それがすごくつまんなかったんですよ。バンドが解散することは、いろいろな事情でしかたなかったから、そこにすがりつこうとは思わなかったんですけど、バンドがなくなっちゃったっていう事実に、すごい空虚感があって。そこで改めて、自分にとってバンドっていう存在が、どれほど大きなモノなのかっていうことを知ったんですよね。ホント、何をしていいか分からなくなっちゃったんですよ」

――すぐバンドをやり始めようとは思わなかったの？

「思いましたよ。でも、やっぱ慎重になりますよね。本気でやりたいから。いろんな人から、いろんな人を紹介してもらったりもしたんだけど、なかなか一緒にやりたいと思える人が居なくて。で、いろいろと話した結果、華族で一緒だったユウダイくんしか、一緒にやりたいって思える人が見つからなくて。そんなこんなしながら、必死でメンバー見付けて。で、ＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥの結成まで辿り着いて。でも、結果的に、前のバンドの解散からあまり時間を開けずにＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥをスタートさせられたのは、すごくラッキーだったと思いますけどね。でも、またそこからいろいろと自分達の思いどおりには事が進まなくて、苦労したんです。今の事務所に入る前にも、たくさんの方にお世話になったんですが、その方々のやり方とどうしてもソリが合わなくて。言ってしまえば、まったく正反対の考え方だったんですよ。ただ、お互い目指すゴールは一緒だったし、お互い一生懸命だっただけに、とても難しくて。意見の行き違いばかりで、上手く事も運ばなくて。宣伝とか、楽曲のことなんですが、何か一つ決めるのにどれだけやり取りしたことか」

――自分たちのバンドだから、自分たちの思った通りに運んでいけるのが一番いいとは思うし、ちょっとだけ話を聞き齧っただけではなんとも言えないけど、その方の意見は一理あると思うよ。ＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥは楽曲もすごくメロディアスで聴きやすいし、楽曲で十分勝負出来ると思うし、その人も高く買ってくれていたからこそその言葉だったんじゃないかな？って思うけどね。

「それは嬉しいんですけど、どれだけいい曲作っても、誰が歌ってるのかが分からなかったら意味がないと思うんですよ。まずは、〝誰？ この人たち？〟っていうところから興味持ってもらって、曲聴いてみたら、いいじゃん！って感じに持っていきたかったっていうか。見た目から入るのが悪いとか、アイドル的に見られるのが嫌とか、そういうのって逆にどうでもいいんですよ。とにかく、まずはＴＨＥ ＫＩＤＤＩＥっていうバンドを知ってもらうところからなんじゃないかなって思ったから」

――そこまで割り切って考えられるってことは、逆に、楽曲に自信があったからこそだったのかもね。見た目から入ってくれても、音で説得する自信があるってことでもあるもんね。じゃぁないと見た目から入られることを拒絶すると思うし。

「どういう形で興味持ってもらってもいい。まず存在を知ってもらいたかったんです。で、最終的に、曲や歌がいいって思ってもらえたらって。だから、自分たち的には、まだまだ十分なスキルがあるとは思ってないんですよ。もっともっと頑張るべきだと思っているし、去年の12月2日に赤坂ＢＬＩＴＺでやったライヴも、すごい楽しかったし、みんなも楽しんでくれてたと思うけど、完璧だったとは思ってないんです。だから、いろんな人から、厳しい意見とか感想貰ったのも、全部納得出来たし、自分たちでも分かってたとこだったんですよ。若干落ち込んでたメンバーもいたけど、その落ち込みも反省も大事だと思うし。俺自身、このままじゃダメだってのも分かってる。けど、もう今、危機感に埋もれてるってわけではないん[illegible]」

――どうして？

「やりたいことが明確に[illegible]だから、そこに向かって[illegible]るだけだと思ってるんで[illegible]壁は求めてないっていうか。今、す[illegible]ごくいい環境で、ノビノビ[illegible]バンド活動が出来ていることも[illegible]ので、そこは幸せに思って[illegible]ね。生温い考え方をしてる訳じゃ[illegible]くて、やりやすい環境だからこそ、そこに甘えることなく、自分たち自身が頑張っていかなくちゃいけないなと思ってるんですけどね。さっき言ったみたいに、俺とユウダイくんだけじゃなく、佑聖も、淳くんも、そらおも、全員が曲をどんどん作れるようになっていくことで、バンドが今以上に大きくなっていけると思うので。甘える事なく、楽しんでいけたらいいなと思ってるんですよね。自分たちのペースで」

蝴蝶网
hudie.com

揺紗（THE KIDDIE）

Personal feat.

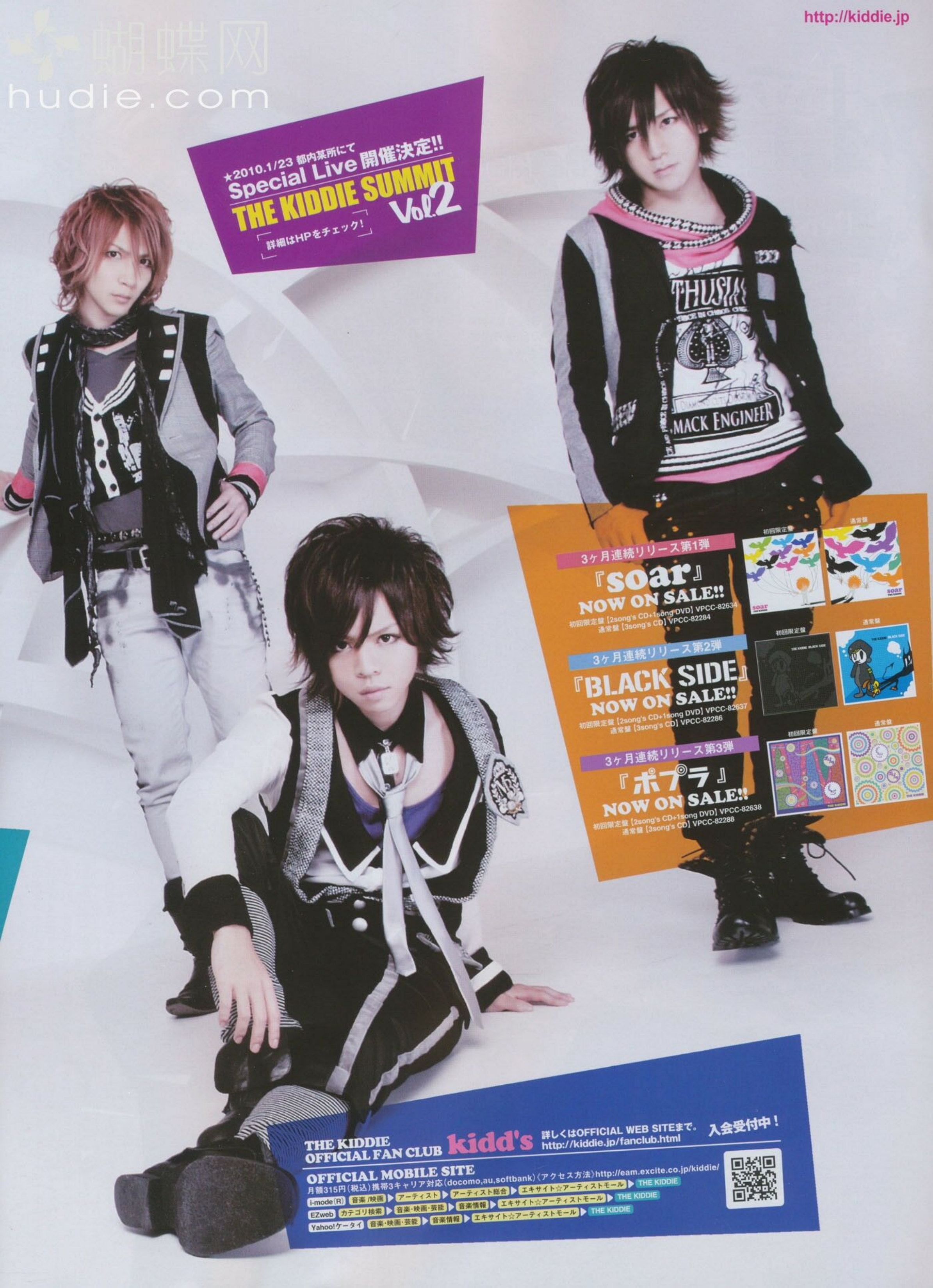
2009年の12月2日。THE KIDDIEは赤坂BLITZのステージに立った。そこは、8月20日の渋谷O-WESTでのワンマンライヴの次のステップとして選んだ場所。彼らは、そこで何を手にし、何を感じたのだろう？ 音源リリースも多かった2009年。活動を本格的に開始した1年でもあった昨年、どんな思いで突っ走ってきたのだろう？ ここに至るまでの自身の過去を振り返り、今、感じるすべてを、ヴォーカルの揺紗に語ってもらった。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA/Interview:NAOKO TAKEICHI
Stylist:TOMOMI OHBUCHI Hair&Make-up:MANAMI TANAKA
衣装協力：H＞FL△CT△L（☎03-6804-6298）/GO SLOW（☎03-3403-3943）/LILA（☎03-3467-9901）

【ライヴスケジュール】●THE KIDDIE TOUR2010「Hi-FiVE」3/17福岡DRUM SON、3/19OSAKA MUSE、3/20名古屋ell.FITS ALL、3/22Hook SENDAI、3/31LIQUIDROOM ebisu●「THE KIDDIE SUMMIT Vol.2」2010/1/23都内 [illegible]
(問) 〒162-0831 [illegible] TR神楽坂Bld
☎03-3268-88[illegible]4（平日12～18時） http://kiddie.jp/

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



THE KIDDIE
LIVE SCHEDULE
2.13(sat)
【T-PARTY】原宿ASTRO HALL
2.15(mon)
名古屋E.L.L
2.22(mon)
LIQUIDROOM ebisu
詳細は HPをチェック!
蝴蝶网
hudie.com
THE KIDDIE ONEMAN TOUR 2010
Hi-FiVE
2010年3月31日(水) 東京・LIQUIDROOM ebisu
OPEN 17:30 / START 18:30 前売券¥3,000 当日券¥3,500
・チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 (Pコード:343-724)
・ライカエジソン東京店 店頭販売+電話予約 03-3369-3708
・ローソンチケット http://l-tike.com/ 0570-084-003 (Lコード:79364)
・CN プレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応)
・e+(イープラス) http://eplus.jp
※発売日初日は電話予約のみ
・ZEAL LINK 渋谷店 03-5784-9666
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
1/30(土)より前売券発売開始!
2010年3月17日(水)
福岡・DRUM SON
OPEN 18:00/START 18:30
前売券¥3,000 当日券¥3,500
・ローソンチケット 0570-084-008 (Lコード:86742)
・チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:343-520)
問合せ キョードー西日本 092-714-0159
2010年3月19日(金)
大阪・OSAKA MUSE
OPEN 18:00/START 18:30
前売券¥3,000 当日券¥3,500
・ローソンチケット 0570-08-4005 (Lコード:52333)
・チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:343-699)
・e+(イープラス) http://eplus.jp
問合せ キョードーチケットセンター 06-7732-8888
2010年3月20日(土)
名古屋・ell.FITS ALL
OPEN 17:30/START 18:00
前売券¥3,000 当日券¥3,500
・ダイレクトセンター 052-320-9000
・チケットぴあ+SPOT 0570-02-9999(Pコード:343-477)
・ローソンチケット 0570-084-004(Lコード:41564)
・TANK! the WEB http://www.sundayfolk.com
問合せ サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
2010年3月22日(月)
仙台・HooK SEND
OPEN 16:30/START 17:00
前売券¥3,000 当日券¥3,500
・ローソンチケット 0570-084-002(Lコード:25270)
・チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:343-540)
問合せ キョードー東北 022-296-8888

零乃

怜我

蝴蝶网
hudie.com

ViViD

Across The Border

"超越"するパワー

2009年11月17日に、結成から僅か8ヶ月たらずで、バンドの登竜門とも言える渋谷O-WESTでのワンマンライヴを、見事ソールドアウトさせ、大成功のうちに収めた、若手ナンバー・1注目株バンドViViD。そんな彼等が、3rd SINGLE「AcrossThe Border」を2月17日にリリースする。"超越する"の意を持つタイトル通り、そこには今までを遥かに超越(成長)した、彼等の"音"を感じる事が出来る作品となっている。今回は、そんな「Across The Border」について語って貰った。

Interview:YUKA SUGIE

――シングル「Across The Border」ですが…制作に関して、これまでと何か変化はありました？

零乃：今回は、今までよりも曲にかける時間が少なくて…シビアでした（苦笑）。

Ko-ki：ただ、その割にはっていうか…むしろ一番良いものができたよね。

零乃：個々の力量なり、アレンジ力なり、バンドとしてのスキルが上がったからかなとは思うんですけど。メンバー同士の意思疎通も、すごくスムーズだったし。

Ko-ki：表題曲は、最初零乃が1コーラスしか作ってなかったんですけど、そこから全部セッションで作っていって。

零乃：そうやってみんなでアレンジを考えたのは、初めてだったよね。

――だからか、ソリッドなバンド感が出ていて、押し引きのバランスも良いなと。

零乃：そうなんですよね。そういう押し引きにしても、これまでの経験でみんな勉強できたからなのかなと思います。

Ko-ki：表題曲は俺、ワンテイクだけですからね。それが逆に、グルーヴ感が出たのかなと思うし。

零乃：リズム隊とギター隊で分かれて録ったんですけど、リズム録りではギターも仮で一緒に録って。それも良かったね。

イヴ：みんなで録るのは前回もやったけど、スピードも速くなったし。みんなのフィーリングが合ってきたのかなって。

怜我：俺は最初、リズム隊と3人で録ろうとしたらウマくいかなかったんですけど、その後に零乃と2人でギターだけ録ったら、納得いく音で、ほとんど1発録りできたんで。結果的に良かったなって。

Ko-ki：ま、俺は怜我と一緒に録れなくて哀しかったけどね（笑）。でも、今回は今までで一番、音が良い自信がある。

――楽器それぞれの音がちゃんとわかるし、粒立ちが良いと思います。

Ko-ki：そうなんですよ。ミックスの段階で、初めてゾクっとしました。

――タイトルや歌詞には〝乗り越える強さ〟が滲みますが、思うところがあって？

シン：タイトルはまさに〝超越する〟っていう意味なんですけど、一つの意味として3月に恵比寿リキッドルームでのワンマンを控えてる状況で、自身にとっても、乗り越えないといけない壁はあると思っていて。また別の意味で〝イロノナイWORLD〟には人種の壁を超えたいっていうことだったり、〝オトノナイWORLD〟にはジャンルを超えてどこまでも進みたいっていう意志を込めていますね。自分たちのやってるミクスチャーな音楽って、見る人によっては中途半端に映るかもしれないんですけど、俺らはそれに信念を持ってやっているし、どんなジャンルにも負けないと思ってるんで。

――そんな表題曲とは異なる良さを持つのが、怜我さん作曲の「夢ノミチシルベ」で。しなやかなポップ感が心地良いです。

怜我：こういう曲を書きたかったんです。選曲会に何曲か持って行ったんですけど、こういう方向に偏ってましたね。

零乃：で、その持ってきた曲全部を、1曲にまとめた感じになったよね（笑）。

――楽器陣にしても、その歌心を最大限に活かすプレイで彩っていますしね。

Ko-ki：曲に合うかなと思って、サビはシンプルな四つ打ちにしてみました。四つ打ちは個人的にはあんまり好きじゃなかったんだけど…やっていくうちに好きになったかもしれない（笑）。

イヴ：俺はすごくグルーヴ感のあるベースラインにしました。

――歌うようなベースライン、素敵です。

零乃：俺、イントロ特に好き。

イヴ：ありがとう（笑）。歌メロとかギターを意識して、リズムの気持ちいいフレーズにしたりとか…すんなりできました。

――ディレイ・ギターもまた、曲にマッチしていますよね。

零乃：Aメロは俺で、Bメロは怜我が弾いてて。ディレイでずっと弾くのは初の試みでしたけど、曲と合ったかなと。フレーズ的には自己満足的に細かく動いてるんですけど、やってて楽しかったです。

イヴ：俺は、アウトロのギターソロが、「星ノ雨」に次いで最強だと思った。

零乃：チョーキングのところは、顔でも弾いてるんで（笑）。

怜我：俺は、1回目のサビが終わった後のギターソロを弾いてるんですけど、最初メロディックに弾こうと思ったら全然ウマくいかなくて（苦笑）。でも、弾きたいように弾いてみたら、イイ感じにできました。この曲のソロで、自分はこういうのが好きなんだって、再確認できたし。

――ブルージーなソロ、響きますよ。

零乃：俺も、あれを聴いたときは、〝コイツやるな〟って思いましたよ。スキルが急激に上がったと思ってビックリしたし。嬉しさと共に、闘争心に火が点いたしね。

怜我：俺は俺で、先に零乃のアウトロのギターソロを聴いてたんで。

――お互い、刺激を与え合えるなんて素晴らしいです。歌詞には、シンさんのリアルな恋愛観が見える気がしました。

シン：これまで女の子目線の歌詞が多かったんですけど、全部失恋ソングだったんで、そろそろ純愛モノも書いてみたいなと。もし好きな人がいたら、俺だったらどう思うんだろうっていうことを…ひたすら妄想して書きました（笑）。

――初回盤Bのみに収録される「feast of the moon」はシンさん作曲ですが…ヨコノリの感じが新しいなと。

シン：もともと、カッコ良い感じのカップリング曲ができればいいなと思っていて。各パートのソロ回しがあったり、今までにない曲にしたいなというところで、零乃と一緒に作っていきました。

零乃：確かに、新しい面が見せられたよね。ソロ回しは初の試みでしたけど、ライヴで盛り上がったらいいなと思いつつ。

――しかし歌詞は…「夢ノミチシルベ」を書いた人とは思えないほどアブない世界観で、一瞬驚きました。

シン：そうとらえてもらえると嬉しいですね。もともとはダンスパーティーなイメージで書こうかと思ったんですけど、去年社会問題になったようなことも織り交ぜつつ。結果的に、曲の雰囲気とはすごくマッチしたと思います。

――そして、通常盤のみに収録されるイヴさん作曲の「トワイライト」は…和情緒をまとってメロウに貫くかと思ったら急にヘヴィに展開するので、驚きました。

Ko-ki：それがViViDです（笑）。

イヴ：デモの段階よりも、バンドでアレンジしたことで重さが出たし、カッコ良くなったなって。みんなのおかげです。

零乃：デモに、イヴが打ち込んだ速弾きソロが入ってたんですよ。しかも、ギターソロなのに転調するし（笑）。でも、最後まで飽きないんでやってて楽しかったです。あと、1回目のサビ終わりの怜我のアームを使ったギターソロ、あれも〝やりやがった！〟って思った（笑）。

怜我：最初はアーム使うつもりなかったのに、気がついたら手が伸びてた（笑）。

零乃：やるねぇ！ 嬉しい[illegible]俺も（笑）。

Ko-ki：俺的にも、今回の[illegible]ルの中で一番楽しい曲でもありますね。好きなようにやれてるし、[illegible]コ良いなって思えるドラム[illegible]です。

――そういう曲で、シンさんの描く詞は実に叙情的で…詩人だなと思いました。

シン：曲を聴いて、なんて[illegible]なんだと思って。和テイス[illegible]うな季節の移り変わりを描きつつ、環境問題も提起したいなと。〝夢を[illegible]サマデネムリタイ〟と〝[illegible]ミトア眠りたい〟っていう一[illegible]けど、それは鳥の言葉なんで[illegible]よ。カタカナの部分はまだ夢の中で[illegible]気汚染される前のキレイな世界を指してて。〝夢を見たまま眠りたい〟ではその夢から目覚めてしまうんですけど、〝夢の中にいつまでもいたかったな〟っていう気持ちが、そこにあります。

――歌詞自体は短いですけど、言葉数以上のドラマがあると。にしても、4曲それぞれ、曲調も歌詞もまるで多重人格のようなバラけぶりが面白くもあります。

シン：確かにそうなりましたね。でも、何かしらの統一性を持たせたくて。4曲すべてに、太陽に関連する言葉を入れてるんです。なんで、そういう部分でも発見してもらえたら嬉しいですね。

――さて、3月30日にはリキッドルームでの2回目のワンマンライヴが控えていますが…今はどんな心境ですか。

零乃：ライヴタイトル『SIGNET TO THE FUTURE』は〝未来への印〟っていう意味なんですけど、ViViDにとってのターニングポイントになるライヴだと思っていて。ここで真価が問われるだろうし、未来を左右するライヴになるだろうなと。相当な意気込みではあります。

――しかし、結成から1年経たずして、この活動密度の濃さといったら…生き急いでいる気がしてなりません（笑）。

零乃：はは…確かに辛いときもあるけど、そのぐらいじゃないとダメかなって。

Ko-ki：居心地良いところで止まったら終わりなんで。負けず嫌いだしね。

零乃：一見バラバラに見える5人ですけど、そこは統一されてるんで。

Ko-ki：みんな肉食系男子だからね（笑）。ガツガツいきます！

【ライヴスケジュール】●ONE MAN LIVE「SIGNET TO THE FUTURE」2010/3/30LIQUIDROOM ebisu●1/24宇都宮HEAVEN7S ROCK VJ-2、1/30横浜SUNPHONIX HALL in YOKOHAMA ARENA、2/4高田馬場CLUB PHASE、2/13高田馬場AREA、2/21高田馬場AREA、3/6高田馬場AREA
（問）PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.　〒168-0064　東京都杉並区永福3-41-9-2F　http://www.indie-psc.com

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
ViViD
PS COMPANY PRESENTS ViViD ONEMAN LIVE
SIGNET TO THE FUTURE
03.30(火)恵比寿LIQUIDROOM
OPEN 17:30 / START 18:30 前売¥3,700 / 当日¥4,200(税込) / Drink代別¥500
01/30(土)よりチケットぴあ/ローソンチケット/e+/CNプレイガイドにて全国一斉発売開始 / Info.DISK GARAGE 03-5436-9600
Live Schedule 01/24(日)宇都宮HEAVEN'S ROCK VJ-2 / 01/30(土)横浜SUNPHONIX HALL / 02/04(木)高田馬場CLUB PHASE / 02/13(土)高田馬場AREA / 02/21(日)高田馬場AREA / 02/22(月)恵比寿LIQUIDROOM
03/06(土)高田馬場AREA
Instore Event 02/17「Across The Border」初回盤A・B同時購入者対象
02/20(土)新宿ZEALLINK info:03-5379-7155 / 02/27(土)渋谷ZEAL LINK info:03-5784-9666 / 03/07(日)自主盤倶楽部 info:03-3371-3851/ 03/14(日)BRAND X info:03-3980-6780 ※参加方法に関する詳細は各SHOPにお問い合わせください。
インターネットネットラジオLIVECAST「ボクら、せいいっぱいイキてます。」第1・第3月曜 20:30〜21:00 ON AIR http://livecast.jp/
【TOTAL INFORMATION】PS COMPANY Co.,Ltd.／Indie PSC.
〒168-0064東京都杉並区永福3-41-9-2F TEL:03-5355-3822(平日12:00〜18:00)※ファンレターにはメンバー名を必ず明記の上お送り下さい。
また、お問合せに関してはメールではなく直接お電話でお願いします。
■ローディー募集 条件〜18歳以上の男性、要普通免許(ペーパードライバー不可)、関東在住の方は履歴書をお送りください。
PSmobile
Indie PSC.メルマガ配信登録希望の方はコチラ
OFFICIAL WEB SITE http://www.indie-psc.com/vivid

蝴蝶网
hudie.com

http://www.zoro-web.com/
2010/3/3 3rd NEW SINGLE
【GOLD CARD】
RELEASE!!
【初回限定盤】
CD3 曲収録
品番：DCCA-9026
¥1,365(tax in)
【通常盤】
CD 初回限定盤 2 曲 + ボーナス 1 曲収録
品番：DCCA-1014
¥1,365(tax in)
名阪 ONE MAN TOUR【CRASH】
10年3月5日(金) 名古屋・ell.FITS ALL
場 18:30/ 開演 19:00 前売：¥3,150（税込・立見・D 代別）
般発売日：2010 年 1 月 30 日 (土)
ーソンチケット 0570-084-004(L コード :40038) 問)enter brain 052-760-2477
10年3月14日（日）大阪・難波 ROCKETS
場 18:00 / 開演 18:30 前売：¥3,150（税込・立見・D 代別）
般発売日：2010 年 1 月 30 日 (土)
ケットぴあ :0570-02-9999(P コード :341-558) ローソンチケット：0570-084-005(L コード :54619)
) キョードーチケットセンター 06-7732-8888
10年3月21日（日）LIQUIDROOM ebis
場 17:30 / 開演 18:30 前売：¥3,800（税込・立見・D 代別）
行発売日：ZEAL LINK 渋谷店 ／ライカエジソン東京店
般発売日 /2010 年 1 月 30 日 (土)
ケットぴあ：0570-02-9999(P コード :342-980) ローソンチケット：0570-084-003(L コード :73900)
ープラス http://eplus.jp 問) ホットスタッフプロモーション 03-5720-9999
o/MAVERICK 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 2-8-12 3F ※ファンレターは必ずメンバー名を明記してください。
ZORO
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
LIVE INFORMATION
01 月 22 日 (金) 高田馬場 AREA
02 月 19 日 (金) 名古屋 E.L.L
03 月 05 日 (金) 目黒鹿鳴館
03 月 25 日 (木) 高田馬場 AREA
04 月 05 日 (月) Shibuya O-Crest
全国カップリングツアー決定
Friend Ship 2010
01 月 17 日 (日) 高田馬場 AREA
01 月 18 日 (月) 浦和ナルシス
01 月 20 日 (水) 仙台 HooK
01 月 21 日 (木) 新潟 JUNK BOX
01 月 23 日 (土) 西九条 BRANDNE
01 月 24 日 (日) 名古屋 dHISALL
01 月 26 日 (火) 岡山 PEPPERLAN
01 月 27 日 (水) 広島並木ジャンクシ
01 月 29 日 (金) 博多 DRUM SO
東名阪ツアー決定！！
びじゅけい presents
Revolutions
- 四面楚歌 TOUR 2010-
04 月 03 日 (土) 名古屋ハートラン
04 月 04 日 (日) 大阪 MUSE
04 月 28 日 (水) 高田馬場 AREA
OPEN: 18:00 / START: 18:30 ADV:¥2500 / DAY:¥3000 (+1 drink fee
(問) 高田馬場 AREA/TEL:03-3361-106
TICKET ： 2009.9.5(土) より全国一斉発売開始
・ローソンチケット (L コード :72006) ・ダウナー会場物販 ・ ZEAL LINK ・ AREA 店
※会場物販 /ZEAL LINK/AREA 店頭に限りピクチャーチケット仕
入場者全員に無料 DVD 配布！ 会場限定 CD 発売！ 重大発表あり
2月 11 日 (祝) 高田馬場 AREA ワンマン決定！
NEW SINGLE 1 月 27 日 ON SALE
ホワイトステレオスノー
¥1.050(税込) / 2 Type / 各 2 曲入り 品番 :DWNR-0007A/ DWNR-0007
TYPE A: 01. ホワイトステレオスノー 02.H1→5PEEDER 5mix
TYPE B: 01. ホワイトステレオスノー 02. 肺魚槽
※ワンマン連動企画！全プレ・スペシャル応募券封入！詳しくは、 封入応募券をご覧くださ
ホワイトステレオスノー
ダウナー
ホワイトステレオスノー
ダウナー
ダウナー
OFFICIAL SITE:
http://www.d-o-w-n-e-r.com
TOTAL INFORMATION:
downer_info@yahoo.co.jp

蝴蝶网
hudie.com

Live Schedule

SCAPEGOAT主催イベント

『渋谷絶叫選択-シブヤゼッキョウセレクション-vol.3』

1月26日(火) 渋谷O-Crest

2月07日(日) 高田馬場AREA
2月11日(祝・木) OSAKA MUSE
2月13日(土) 名古屋HeartLand

3rd Maxi Single発売記念主催イベント

2月22日(月) 高田馬場AREA
先行発売有り

1st Mini Album発売記念東名阪主催ツアー

3月17日(水) 高田馬場AREA
先行発売有り
3月23日(火) OSAKA MUSE
3月25日(木) 名古屋Heart Land

4月16日(金) 渋谷BOXX
5月08日(土) 盛岡Club Change
5月09日(日) 青森Quarter
5月10日(月) 秋田Club SWINDLE
5月12日(水) 仙台MACANA
6月12日(土) 渋谷RUIDO K2

"1st.Mini Album発売記念東名阪主催ツアーファイナル
結成1周年記念 3rdワンマン

新宿冠水区域
-シンジュクカンスイエリア-

2010年4月29日(祝・木)
高田馬場AREA

※御来場者特典有り

OPEN/18:00 START/19:00 ADV/¥2500(D代別) DAY/¥3000(D代別)
チケット:2010年1月26日(火)〜発売
・SCAPEGOAT物販「プレミアムチケット」(整理番号1〜100) ・ローソンチケット(Lコード:72248)(整理番号101〜200) ・バンド予約有り
※当日17:00よりバンド予約者のチケット引き換えを行います。(整理番号201〜)
入場順:1,SCAPEGOAT物販 2,ローソンチケット 3,バンド予約 4,当日
お問い合わせ 高田馬場AREA03-3361-2569

Mail : info@scapegoat-website.com チケット予約 : ticket@scapegoat-website.com http://www.scapegoat-website.com/

蝴蝶网
hudie.com

SCAPEGOAT

3rd Maxi Single 2010.02.24 Release!!

「カタストロフィ-catastrophe-」

D.T.R-027 3SONGS ¥1575(tax in) 限定1000枚 ※会場限定盤有り ※会場でご購入の方にスペシャルDVDプレゼント)

1st Mini Album 2010.03.31 Release!!

「パラダイムサァカス」 封入物あり

D.T.R-028 5SONGS ¥2625(tax in) ※会場限定盤有り ※会場でご購入の方にスペシャルDVDプレゼント)

1st Maxi Single
「FUTURE END」
S.D.R-198 ¥1,575(tax-in)
3SONGS 限定1000枚

2nd Maxi Single
「光彩エンドロール」
S.D.R-206 ¥1,575(tax-in)
3SONGS 限定1000枚

RELEASE INFORMATION：《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 TEL 03-5386-5828 SPEED DISK HP http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/
FAN LETTERS：東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802 D.T.M Entertainment内 SCAPEGOAT事務局

E.L.L&SPEED DISK PRESENTS

Shinrabanshow

in Mid Side 6days at 名古屋E.L.L

2月15日(月)
Cast : ダウト /Ap(r)il
Guest : 愛狂います。/ アンド
THE KIDDIE/Virgil

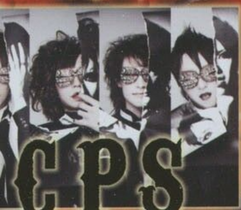
2月16日(火)
Cast : UnsraW/R 指定
Guest : アヲイ /Wizard/Sel'm
DEATHGAZE/born

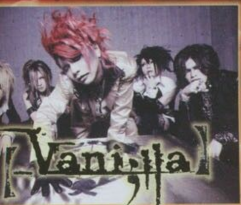
2月17日(水)
Guest : 人格ラヂオ /DuelJewel

2月19日(金)
Cast : Administrator
Guest : ALiBi/Zip.er
ジュリエット / ダウナー
DOGinTheパラレルワールドオーケストラ
HERO/Lycaon

2月20日(土)
Cast : VANESSA
Guest : CPS
シリアル⇔NUMBER/SKULL
SEX-ANDROID/「東京指定」
東京ミカエル。/【_Vani;lla】

2月21日(日)
Cast : NightingeiL
Guest : amber gris/Dali
DecoLa Hopping/xTRiPx
【_Vani;lla】/boogieman

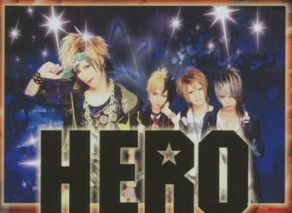


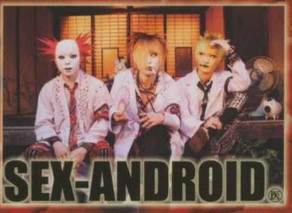


前売り 3.000 円 / 当日 3.500 円
2月15日、19日、20日
開場 16:00/ 開演 16:30
2月16日、21日
開場 [illegible]/ 開演 17:00
2月17日
開場 18:30/ 開演 19:00

http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

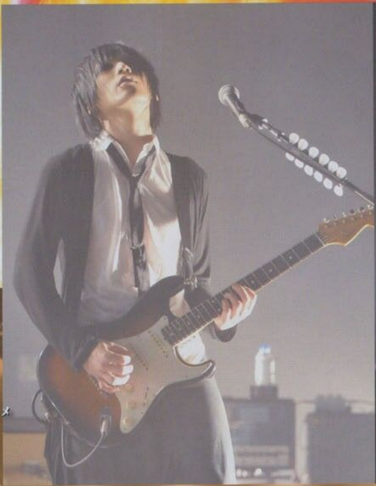
蝴蝶网 hudie.com





蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



【set list】

1.ハロー!
2.オレンジドラマ
3.クローバー
4.蜃気楼
5.公園ララバイ
6.夕焼けと子供
7.恍惚
8.チャールズ
9.星の声
10.ディープ
11.雨と喫茶店
12.レム
13.明日へ。
14.パレード
15.ワールドノート
16.ヘヴン
17.ツタツタ
18.翼

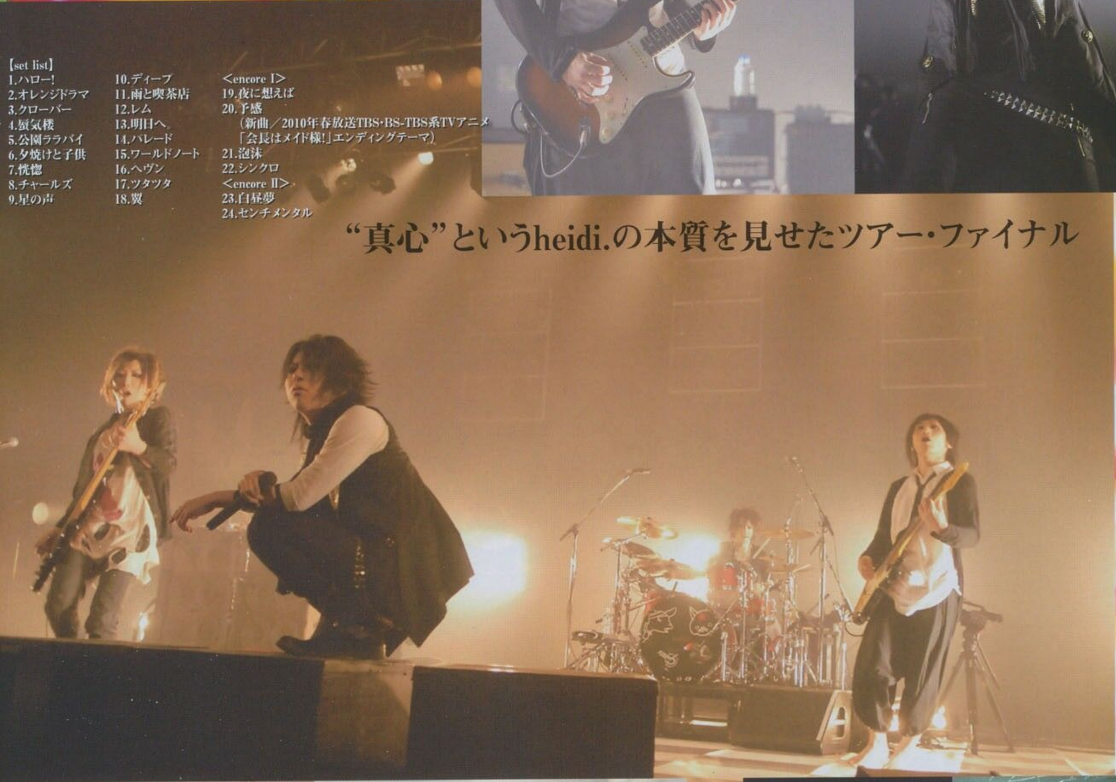
<encore I>

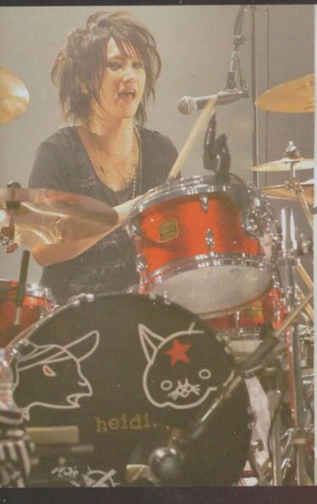
19.夜に想えば
20.予感
（新曲／2010年春放送TBS・BS-TBS系TVアニメ「会長はメイド様!」エンディングテーマ）
21.泡沫
22.シンクロ

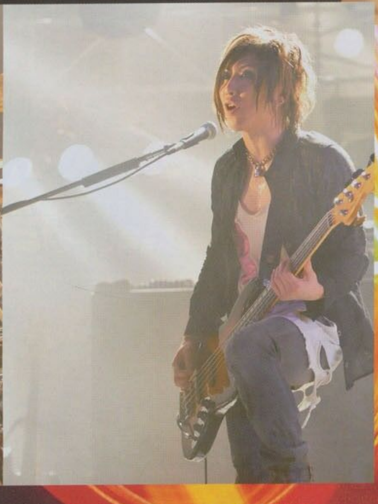
<encore II>

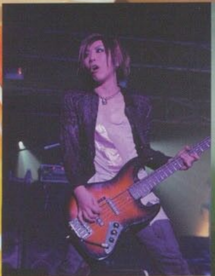
23.白昼夢
24.センチメンタル

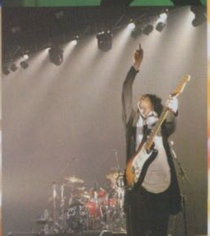
“真心”というheidi.の本質を見せたツアー・ファイナル











蝴蝶网
hudie.com

heidi.

Live Tour 2009 パノラマ FINAL

2009.12.29 SHIBUYA C.C.Lemon Hall

純度の高い音楽は、そこに癒しや温かな気持ちを生みだしてゆくものだ。2009年12月29日、heidi.は1年ぶりの渋谷C.C.Lemonホールのステージに立った。アルバム『パノラマ』の発表を受け、バンド史上最長の規模で行なわれた22本のワンマン・ライヴ[LIVE TOUR 2009 パノラマ]を経て、ファイナルを迎えた彼らが聴かせたもの。それは、きっと音楽という名の真心だった。

Photography:SAWAE HARA Report:YUKI SUGIE

素朴で素直で、その分ちょっとだけ不器用。でも、heidi.というバンドの魅力は、ヘンに飾り立てたり、いたずらに虚勢を張ることとは無縁な、そのナチュラルなスタンスからこそ多く醸し出されているように感じる。

仮にも、この界隈でずっと頑張って来ている彼らに対して、〝飾らないところが良い〟だなんて、軽く逆説的な見解を述べるのは、もしかしたらおかしな話なのかもしれない。けれど、昨年末に行なわれたツアー・ファイナルの内容をひとつとってみても、そのことはより浮き彫りとなって来ていたのだ。

2009年12月29日、彼らは約1年ぶりの渋谷C.C.Lemonホールのステージ上に立った。[LIVE TOUR 2009 パノラマ]ファイナル。バンド史上最長となった計22本のワンマンを経て、この場に辿り着いた彼らの成果は、まず力強い音というかたちで我々に届けられた。

『全員、拳あげて行こうぜ！』

ヴォーカリスト・義彦が口火を切るように叫ぶと、最初に始められたのは最新アルバム『パノラマ』の収録曲「ハロー！」。文字通り挨拶代わりのこの1曲は、heidi.のワンマンではすでに定番となりつつある、市松模様をしたフロアパッチの上で高らかにハジける。

アルバム発売後に行なわれたツアーの、ファイナルだけあって、当然この夜のライヴで中心となっていったのは、この後も『パノラマ』に入っている曲たち。heidi.ならではの叙情的なメロディ展開が心地よい「オレンジドラマ」にしても、子守歌のような優しい空気感がホール内を温めた「公園ラバイ」にしても、彼らの紡ぐ音というのはどれもオーガニックフードのようにピュアで癒しさえ感じる味わいだ。

とはいえ、中には「恍惚」のようにロックバンドとしての醍醐味をアグレッシヴかつ率直に聴かせるタイプの曲もあったりして、heidi.のライヴは良い意味での振り幅が大きい。新譜からの曲のみならず、「レム」を筆頭として従来ライヴで育ってきた曲たちもセットリストにはエントリーされており、まさに今現在の等身大なheidi.の姿が、今回のライヴでは顕著に表現されていたのではなかろうか。

そんな中。この夜、本編後半に入ったあたりでこんな出来事が起きた。コースケの指弾きベースがアクセントとなっている、メッセージ性の強い「明日へ。」を歌い終えた後、義彦がMCに入ったところで泣き出してしまったのである。

『みんな、ありがと。えーっと、なんか…涙が止まりません。（中略）えっとね、嬉しいんです。今回は初めて22本というたくさんのワンマン・ツアーを廻らせていただいたんですけど、全国で応援してくれるみんなのおかげで、今日もここに立ててると思うと、ホントに感謝しています』

彼はこみあげて続ける嗚咽を抑えながら、こうも続けた。

『こんな風にMCもろくに喋れないし、heidi.に出来るのは良い曲を作って、良い歌を歌って、みんなの役に少しでも立てるような音楽を作っい行くことだけです。来年も頑張っていくので、これからも応援よろしくお願いします！…ってことで、こっから後半戦行くぞ!!』

半ば強引な（笑）煽りの後に続いた「パレード」でも、義彦が声を詰まらせてしまう場面は見受けられた。しかし、この時の彼は、それでもきっと魂で〝歌って〟いたのだと確信する。その様子を見守るように、後ろで確かなリズムを刻み続けていた桐、ギターソロではお立ち台にあがって見せ場をつくったナオ、バンドのグルーヴを根底から支えていたコースケ。彼ら楽器隊がしっかりと義彦をバックアップしていた図からは、heidi.としての絆を感じることも出来た。

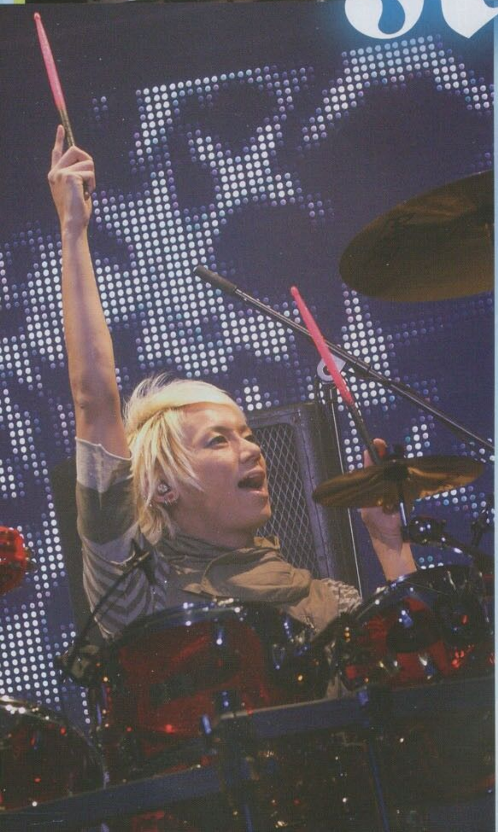
その後、本編ラストでの「翼」や、アンコールで初披露された新曲「予感」では、このところの彼らに改めて備わってきた、外に向けての強い解放感を感じさせる曲たちも提示され、これらのくだりでは今後に向けてのheidi.の姿というものも、感じ取ることが出来たように思う。

ダブル・アンコールの最後で、集った観衆の大きな歌声が響いた「センチメンタル」を聴きながら。こんなにも純粋で朴訥としたところのあるheidi.というバンドが、これからも健やかに育ち続けていくことを心底願った。彼らの真心を、これからもずっと聴いていきたい。

【ライヴ・スケジュール】1月29日・柏PALOOZA、2月5日・名古屋E.L.L、11日・博多DRUM Be-1、12日・岡山イマージュ、14日・心斎橋ビッグキャット、16日・新潟ジャンクボックス、18日・仙台ジャンクボックス、19日・浦和ナルシス、20～21日・札幌クラップスホール、26日・渋谷AX。 http://www.heidi-net.com

蝴蝶网
hudie.com

Kra



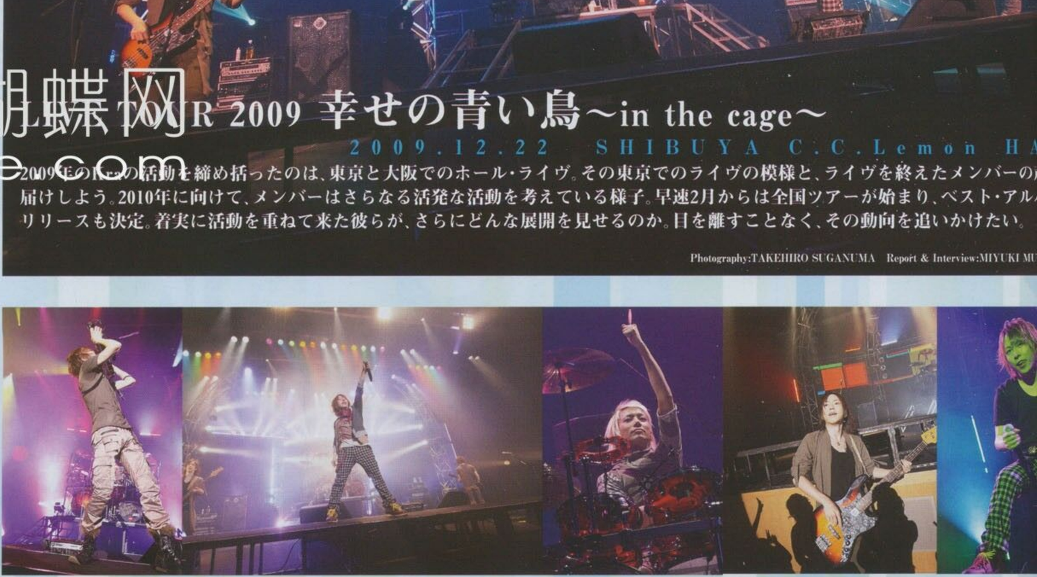
蝴蝶网
hudie.com

R 2009 幸せの青い鳥～in the cage～

2009.12.22　SHIBUYA C.C.Lemon HA

2009年のKraの活動を締め括ったのは、東京と大阪でのホール・ライヴ。その東京でのライヴの模様と、ライヴを終えたメンバーの声をお届けしよう。2010年に向けて、メンバーはさらなる活発な活動を考えている様子。早速2月からは全国ツアーが始まり、ベスト・アルバムのリリースも決定。着実に活動を重ねて来た彼らが、さらにどんな展開を見せるのか。目を離すことなく、その動向を追いかけたい。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA　Report & Interview:MIYUKI MU



『幸せの青い鳥～in the cage～』と題された東京公演は、同年2月以来、3度目となる渋谷C.C.Lemonホール。その会場に、おなじみのSEが流れ出すと、少しずつ興奮が高まって行くのが手に取るように分かる。ライヴのスタートを味わう至福の瞬間が訪れた。

メンバー4人が揃ったところで、〝行ってみようか！〟と景夕が高らかに声を上げ、ライヴの幕が華々しく切って落とされる。しかし、そこで始まったのは「鎮魂歌」。重苦しく行き詰まるようなサウンドに圧倒されて、観客は凍りついたように動かない。意外とも言える幕開けから、続く2曲目は「天の川逃避行」。星空の映像が4人の背景を彩り、それは次の「少年と空」で、雲が流れる青空に変わった。伸びやかな明るい空気と気持ち良さそうに歌う景夕の声は、「Yell」へと続いていく。ノビノビとしつつも、会場全体を引っ張る存在感を放つ景夕と、バンド然としたまとまりのあるプレイを見せる3人だったが、実はかなり緊張していたと後から耳にした。けれども、ステージを見ている限り、そういったことを感じさせることはなく、その姿は堂々としたものだった。

MCも相変わらず絶好調。〝年末だから全部言ってやる！〟とばかりに、景夕の毒のある発言も全開。それに対し、舞と結良は若干スベり気味（？）。たっぷりと自由奔放に喋り倒した後は、〝この話題の後にこれか〟と苦笑しつつも、「伝えたい言葉」。歌詞だけでなく、優しく暖かいサウンドからも、平和で幸せな時間が続くようにという願いが広がり、観客の心を温めた。「モノクローム」でまさに白黒のシックな世界を描くと、「街の灯」でムーディに夜の雰囲気を漂わせ、曲ごとにステージ全体の表情は次々と色を変えていく。

次のMCでも、喋ることがないと言いながら、それでもとりとめのないお喋りは続く。4人全員で繰り広げられるトークは、普段の彼らを彷彿させるかのように自由そのもの。そんな素の様子も気負うことなく見せてしまえるのもまた、彼らの魅力のひとつかもしれない。次の曲に向けて、片足を上げて鳥のように腕を羽ばたかせ、フリの指導をすると、次は「bird」。そんなフリをする4人をイメージした骸骨のアニメーションと、白い鳥

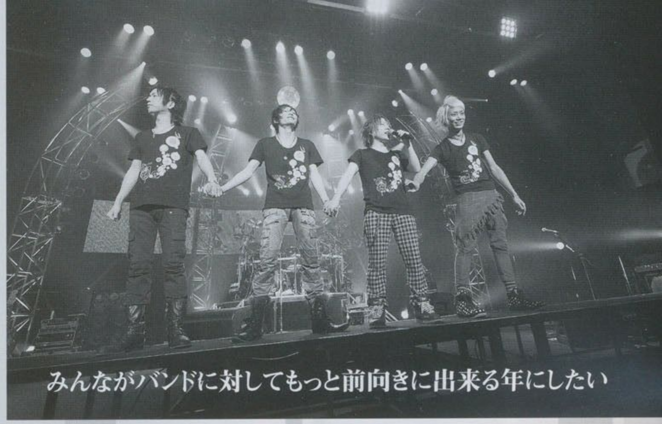
ル そして曲のイメージを印象づける

観客も、可愛らしくちっちゃく羽ばたいて、各々が曲を味わうと共に、曲をしっかりと盛り上げた。

そんな温かな空気もここまで。怪しげな口上から「サァカス」が始まれば、少しずつ会場の空気は色を変えて行く。〝もっと行こうか！〟と「artman」が始まり、加速していくと、靖乃の一打一打が力強く響く。身体が自然に動き出して、思わずハネてしまいそうになるほど、そのサウンドは直接身体に伝わって来る。荒々しい景夕の叫びと共に、舞のシャウトも観客をさらに焚きつけた「ヌン」の後、そんなメンバーに応えるように、「Cab.D」が始まると、観客は通路まではみ出して、左へ右へ大きく動いて自由に楽しむ。さらに激しさを増した「明日屋」では、今度は結良がステージを降りると、観客の中へ。最高潮の熱気と共に、本編最後の「ショータイム」が始まった。音と音とがぶつかり合うように会場いっぱいに響き、それに負けないほど観客の声もその大きさを増していく。Kraのライヴおなじみの光景ではあるが、MCなどで見せる柔らかい雰囲気や心温まるような歌とのギャップは相当なもの。そんなKraらしい、Kraならではの魅力をおおいに発揮して、本編は終了した。

それだけにとどまらず、この日のアンコールはさらに6曲とボリュームたっぷり。ますます激しく、夢の世界に誘うように、次々と曲を繰り出すと、最後はちょっぴり真面目な様子で景夕から2010年の活動に向けて決意の一言が語られた。そして最後は「ブリキの旗」。ミラーボールの光が降り注ぎ、観客の合唱が響く。ステージの後方には、大きな声で歌う観客の笑顔が映し出される。その表情を見ていると、この瞬間を楽しむファンの想いがひしひしと伝わり、バンドとファンとの固い絆に心が温まるように感じた。2009年の東京最後のライヴは、そんな温かい空気の中、幕を下ろした。

終演後、2月からの全国ツアーを告知する映像が流れると、最後を飾ったのは、「また春に会いましょう！」の文字。ツアー・ファイナルは、4月3日、日比谷野外音楽堂。桜が咲いているであろうその頃に想いを馳せつつ、会場を後にした。



みんながバンドに対してもっと前向きに出来る年にしたい

et list】
鎮魂歌
天の川逃避行
少年と空
ell
伝えたい言葉
無才の鳥と果実
モノクローム
街の灯
9.水風船
10.bird
11.サァカス
12.artman
13.ヱン
14.Cab.D
15.LOST NUMBER
16.明日屋
17.ショータイム
<encore>
18.$\alpha\tau o\mu o\varsigma$
19.雨の告白
20.MH
21.世界で一番頼りない恋の歌
22.エキストラキングダム
23.ブリキの旗

——先日の渋谷C.C.Lemonホールでのライヴはいかがでしたか。

景夕：僕は緊張しました。ボイトレの先生が来てたんで（苦笑）。その他の緊張は特にはなかったんですけど…もう、そこに尽きましたね。

——ちゃんと歌わなきゃ、みたいな？

景夕：そこにしか注意が行ってなかったですね。先生が厳しいんで、これで大丈夫かな？とか、これでどうだろう？とか、今のとこ後で怒られるかなとか、常にそっちに集中してましたね。

——舞さんも緊張してたそうですけど、それはどういう理由で？

舞：何か力んじゃってて、集中できてなかったですね。楽しみ切れなかったです。

——結良さんはどうでした？

結良：僕も、先生ですかね。景夕からよく話を聞くんで。ヴォーカルのことだけじゃなくて、ちゃんと全体を見てるんですよ。全体のまとまりとかについてもよく聞くんで。最初の4曲は緊張の連続でした。

靖乃：先生が来ている話をステージに上がる5分前ぐらいに聞いて、さらに景夕から1曲目の頭をこうしたいんだけど…みたいな提案も直前にあって、いろいろ考えすぎたところがありましたね。1曲目に自分自身のミスがあって、最初のほうがドタバタしましたね。ただ、ある意味引き締まったって言うか、緊張感と集中力を持って挑めた気はします。冷静になりすぎたかなっていうのがなくもないですけど、すごく集中したライヴだったんじゃないかと思います。

——セットリストに関しては、久しぶりの曲も織り交ぜていましたが、どういう流れを作ろうと考えていたんでしょう。

景夕：今までの形をちょっと変えたかったんですけど、いちばん入れたかったのが「無才の鳥と果実」ですね。〝鳥〟だからっていうだけなんですけど（照笑）。大阪は、〝～in the sky～〟なんで「空」を入れて、そこは対比させて入れておこうって。あとは、〝空〟とか〝羽〟とかそういう単語が出て来る曲を入れていきましたね。

——最近の曲と以前の曲と、実際にプレイして違いを感じることもありました？

結良：昔の曲のほうが難しいですね、久しぶりだから（苦笑）。最近やってる曲は結構楽なんですよ。レコーディングの前もみんなで結構合わせてたから。でも、「無才の鳥と果実」とか「天の川逃避行」とか「鎮魂歌」とかは難しいです。「鎮魂歌」にいたっては、たぶん日比谷（野外大音楽堂）以来やってないと思うんですね。

景夕：去年（2008年）の4月以来ですね。

結良：まず曲が思い出せないんですよ。今回そういう曲が多かったですね。特に大阪のほうが懐かしい曲が多くて。「誰の為に鐘は鳴り響く」の間奏なんて全く思い出せなくて（苦笑）。

景夕：リハで、ドか[illegible]んですよ。その間奏のとこに行った途端、ノッティ（靖乃）はちゃんと叩いてるんですけど、この2人（舞と結良）がピタッと止まるんですよ。舞[illegible]にいたっては、よく分からな[illegible]所弾[illegible]るし。

靖乃：全然[illegible]う曲になってたな（笑）。まぁ、綺麗に[illegible]れるよね。

hudie.com

舞：リハの時は、みんなが言ってたようにすっぽり抜けちゃってるようなところがありましたね（苦笑）。でも、何回かリハに入って、ゲネ入って、本番の時はプレイ面では全然問題なかったです。

——セットリストとしては、これまでの集大成的な内容になったと思うんですけど、これで2009年を締め括ろうといった気持ちもあった？

景夕：ライヴ中はそういう気持ちはあったんですけど、セットリストを決める時はあんまりなかったですね。だから、ライヴやってて、〝これで2009年の東京が終わるんだ…〟って思ったら、すごい物足りない気がして。もっといろんな曲歌いたかったなって。

靖乃：曲数的には、いつもよりちょっと多いかなって感じやったけどな。アルバム発売のツアーとかとは違うので、縛りが少ないじゃないですか。そういう意味で自由度はいつもより高かったですよね。

——バランスがいいと言うか、現在のKraというバンドが分かる内容になっている印象でしたね。

靖乃：昔から俺らを知ってくれてる人ほど分かりやすかったんじゃないかって気がしますね。最新の新譜と、例えば「ブリキの旗」みたいないちばん最初からある曲と、ウエイトが一緒になってますからね。

——さて、2009年を振り返ると、どういう1年でしたか。

結良：結構のんびりしてましたね。ライヴも少なかったし、制作もあまり力が入ってなかったし。ライヴがあったほうが、いろいろ浮かぶんですよね。自宅作業だとサボっちゃうんですよね（苦笑）。

景夕：音源もそこまで出さなかったので、忙しすぎるってことはなかったですね。その分いろいろ考えることが多くなった1年だったと思いますね。やっぱり停滞感もあったし、2009年の最初と後半で、CDを出した時の宣伝とかも違ったから、この先どういう風にすればもっと良くなっていくかいろいろ考えて、人付き合いとかが多くなった年だと思います。

——音源では、新しいものを打ち出したということはあったんじゃないですか。

靖乃：この何年か続いてた制作スタイルを変えて、結構ストレートになったので。でも、ひょっとしたら第三者の方ほど、ないかもしれないです。びっくりするほど変わった印象は個人的にはなかったですね。

——大きな転換ということではなく。

景夕：それはないですね。

靖乃：より先に変わらなあかんものが見えたと言うか。そっちのほうが大きい感じですね。だから、新しいエッセンスを入れるのに、今まで喋ることのなかった人と出会ってみたり、足を踏み入れることのなかったとこへ向かってみたり…みたいなことを、各々がやってたかなって。バンドの活動に直結することって言うより、各メンバーが自分を見つめ直して、幅を広げてって、それを持ち帰るための行動を起こした1年だったのかなって気がしますね。

——舞さんにとってはどうです？

舞：音に関して、自分らで全部ジャッジしてやるっていうのが大きかったんで、それを2010年はクオリティを上げていけばいいんじゃないかと思います。2009年はそうするようになって、それで見えた面もあるんで、すごく良かったと思いますね。

——2010年の活動としては、まずツアーからですね。

靖乃：景夕さんの誕生日の2月26日から。その日は、今まではずっとファンクラブ・ライヴっていう形やったけどね。

景夕：今回、ファンクラブ・ライヴはやめます。そろそろファンクラブでやれるネタがないんで（苦笑）。今回は、普通のライヴをやらせてもらいます。それから全国ツアーなんですけど、本当に久しぶりなんで。地元の静岡も行けるし。札幌は2年ぶりぐらいだし、2月から楽しみなことが広がってるんで、いい年になればなって思います。

靖乃：前回は晴天に恵まれた野音で土砂降りとかにならなければ。往々にしてあるので（苦笑）。

結良：夏とか秋とかもまだ何も決まってないですけど、もっとライヴを増やせたらいいかなって思いますね。

——どんどんライヴをやりたい気持ち？

結良：勢いが止まっちゃう感があるんですよね、ライヴをしてないと。ライヴをやると、バンドも上手くなりますしね。ツアーの初日とファイナルは全然違うバやったほうがいいし。

景夕：いちばんの宣伝でもありますからね。地方の人も、その土地に行けばライヴ来てくれますから。

舞：久しぶりのツアーだし、ツアーに出ちゃえば余計なこと考えないんで、ツアーで何か掴めればいいなって感じですね。

景夕：バンドとしてまとまりを出して行きたいし、みんながバンドに対してもっと前向きに出来る年にしたいですね。曲についてもこういうテイスト入れたらいいだろうとか、いろんなメディアに出る時に、撮影にしてもこういうのやりたいんですって話し合えるようにしたいです。

結良：ライヴがたくさん出来て、たくさん曲が出来ればいいと思います。

靖乃：個人としては、バンドの中だけじゃない部分で、今まで知り合いだった人たちとの間がもっと深くなって自分にとってプラスになることが得られてるので、それを有意義に活かしていきたいですね。それでKraがステップアップしていって、メンバー4人各々が自信を持って先に進められればいいなって思います。

舞：いろいろ楽しめることが増えたらいいなって思いますね。何でもいいんですよね。やる前に止めちゃうことが多いんで、そういうことをちょっとずつ楽しめたらいいなって思います。

イヴ・スケジュール】2月26日・渋谷O-WEST、3月2日・新横浜サンフォニックスホール、6日・さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3、11日・静岡サナッシュ、13日・名古屋ボトムライン、18日・博多DRUM Be-1、20日・梅田AKASO、
日・神戸VARIT.、25日・札幌クラップスホール、27日・仙台ジャンクボックス、4月3日・日比谷野外大音楽堂。 http://www.pscompany.co.jp/kra/

ARENA37℃ SPECIAL 2009年7月号 vol.58

RUKI（the GazettE）
表紙＋巻頭40ページ

ルキの中に潜む"DARKNESS"をとらえた有終の美を飾るにふさわしい鮮烈なグラビア、"近況""今回の撮影のテーマ""表現する上で一番大切にしていること""プロとしてのプレッシャーは?""ライブとは?""自分で自分をどういう人間だと思う?"etc.の20000字超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

超新星 10ページ "「超新星 Fes. Vol.2」・「超新星 1st Fan Meeting」の感想""マイブームは?""今後の目標"etc.をインタビュー、2009.5.6"超新星 Fes Vol.2 Six Shooting Star ~Dream~"LIVE at 五反田ゆうぽうとホールレポート

FTIsland 10ページ／T-MAX 8ページ／SMASH 8ページ
alma 4ページ／ON/OFF 4ページ／Mnet PRESS Vol.3
韓国版「花より男子～Boys Over Flowers」記者会見&イベント取材

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）+送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年5月号 vol.56

戒（the GazettE）
表紙＋巻頭40ページ

"閉鎖的ではないが、孤独感のあるもの"をモチーフに据え、"ポジティヴで努力家"のイメージを持つ戒が真の"孤独"の意味を表現するグラビア、胸のうちに思う"孤独"・the GazettEのこと・戒自身のことetc.を超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末18ページ
"10分間の逃亡者"を追い・追われるシューティングのグラビア、"Gackt Job"10年目の真実に迫るインタビュー、"Requiem et Réminiscence Ⅱ ～再生と邂逅～"ツアーも大詰め、そしてアリーナツアーもスタート間近なGacktの近況インタビュー

河村隆一 10ページ／GiFT／alma／古川雄大
中河内雅貴／リュ・シウォン／Mnet PRESS

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）+送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年4
vol.55

葵（the Gazett
表紙＋巻頭40ページ

常に"魅せる"ことを意識してい
が9種類の衣装を纏っていろいろ
情を見せるグラビア、"今回の写真"
アッション""ライヴパフォーマンス"
タリストとして""ギター"etc.の
ングインタビュー、ポラ日記、100
Q&A

Gackt 巻末12ページ
Single『Journey through the Decade』のミュージッククリップ撮影の模様、
ライダーディケイド」で門矢士役を演じる井上正大とのツーショットインタビュー

リュ・シウォン 10ページ／中河内雅貴 8ページ／FTIsland 6ペ
GiFT 4ページ／alma 4ページ／宮野真守 4ページ

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）+送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合がありますので、御了承下さい。
お近くの書店に在庫がない場合には、その書店へお申し付け下さればお取り寄せ頂けます。御自宅へ直送希望のお客様は当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、
切手代用、現金書留、または郵便振替（口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社）にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。
音楽専科社オフィシャルウェブサイト　http://www.ongakusenkasha.co.jp/　アクセスして下されば当社発行の現在在庫のある全アイテムを御覧頂けます。
宛先　㈱音楽専科社　〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F　TEL.03-3574-0201　FAX.03-3574-8548

---

back number

㊟この欄に掲載されているアリーナ37℃のバックナンバーにつきましては、付録のポスターが無い場合（在庫切れ）もありますので御了承下さい。

〈2009年　3月号〉
①表紙＋巻頭特集＝UVERworld…入魂の4枚目のアルバム徹底特集！
②シド…冬の定番曲&バレンタインデーの思い出について直撃取材！
③Acid Black Cherry…ニューシングルインタビュー！
④咲人（ナイトメア）…Sexyショット！
⑤ガゼット…シングル・インタビュー！
⑥雅…1月3日武道館を終えて！
⑦Gackt…ライブレポート！
⑧Kra…アルバムインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年　4月号〉
①表紙＋巻頭特集＝東方神起…ニューシングルインタビュー&本誌独占PV撮影密着取材全20ページ！
②ガゼット…ニュー・シングルをルキが語る！全10ページ！
③柩（ナイトメア）…パーソナル取材6P！
④高見沢俊彦＋アリス九號.（将、ヒロト、虎）のスペシャル対談！
⑤雅…PS COMPANYからの独立を語る！
⑥ムック…アルバム『球体』インタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年　5月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Gackt…3誌合同企画のラストを飾る大特集！爆笑キーワードインタビュー！
②ナイトメア…PV撮影独占密着＋アルバム速報インタビュー＋ライブレポートの豪華3本立てインタビュー全10ページ！
③BREAKERZ…シングルインタビュー！
④ガゼット…幕張メッセレポート！
⑤雅…ARENA37℃初登場当時の記事を振り返って語る！
⑥シド…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年　6月号〉
①表紙＋巻頭特集＝ナイトメア…パーソナルインタビュー＋集合インタビュー&歌詞の魅力に迫る！全20ページ！
②GLAY…メンバープロデュース・ライブ完全レポート！全14ページ！
③アリス九號.…クラブチッタ川崎を完全密着レポート&インタビュー！
④雅…日比谷野外大音楽堂レポート！
⑤Kra…「ラブラボ」PV密着レポート！
⑥LM.C…シングルインタビュー！
⑦女雅…カグラの女雅ソロ連載！
★定価880円（税込）＋送料140円

①表紙＋巻頭特集＝GLAY…究極のベストアルバムをメンバーに聞く&パーソナル・キーワードインタビュー（全22ページ！）
②GACKT…新曲のカップリング曲に込められた想いとは？涙なしでは読めないロングインタビュー！全10ページ。
③麗（ガゼット）…ニューアルバムレコーディング中の近況を聞く（全6ページ）
④VAMPS…フルアルバムインタビュー！
⑤ナイトメア…ライブ密着取材！
⑥虎×チキン＋Naoの大冒険の2本立て！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年　8月号〉
①ガゼット…アルバム&パーソナルインタビュー全20P！
②東方神起…シングル&パーソナルインタビュー！
③GACKT…シングル&企画インタビュー！
④Acid Black Cherry…「優しい嘘」インタビュー！
⑤Ni～ya（ナイトメア）…パーソナル！
⑥Alice Nine…「華」インタビュー！
⑦シド…アルバムインタビュー！
⑧SuG…4人になった新生SuG！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年　9月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Acid Black Cherry…衝撃のアルバムを徹底解剖、全20P！
②Coming Century…ファーストミニアルバムを音源インタビューとパーソナルインタビューで取材！8P！
③東方神起…東京ドーム公演完全レポート！8P！
④GACKT…シングルインタビュー！
⑤ガゼット…市川市文化会館ライブ！
⑥仙台貨物…千葉インタビュー！
⑦THE KIDDIE…夏大好き！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年　10月号〉
①表紙＋巻頭特集＝V6…「GUILTY」インタビュー&パーソナル＋カミセン・ライブレポート！
②ナイトメア…シングル&YOMI×Ni～yaのパーソナル&全員Q&A！
③ジェジュン&ユチョン（東方神起）…2人にインタビュー！
④GLAY…ビッグイベントレポート！
⑤雅…渋谷C.C.Lemonレポート！
⑥ガゼット…新曲インタビュー！
⑦Alice Nine…国際フォーラム！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年　11月号〉
①表紙＋巻頭特集＝UVERworld…ニューシングル徹底インタビュー&ホットな撮り下ろし全30P！
②[illegible]
③仙台貨物…『凸～デコ～』の本誌オリジナルストーリー！
④Alice Nine…原宿スタイルコレクション&有明コロシアムライブ！
⑤Kra…シングルインタビュー
⑥SuG…2カ月連続リリース第1弾！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年　12月号〉
①表紙＋巻頭特集＝GACKT…神威楽斗の音楽革命、ジパングロックとは？
②堂本光一…横浜アリーナライヴレポート！
③シド…シングルインタビュー&国立代々木第一体育館ライブレポート！
④RUKA（ナイトメア）…パーソナル取材。
⑤Alice Nine…ライブDVDインタビュー！
⑥THE KIDDIE…「ポプラ」インタビュー
⑦SuG…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年　1月号〉
①表紙＋巻頭特集＝LANDS（赤西仁）…映画『BANDAGE バンデイジ』に登場するロックバンド・LANDSのボーカリスト、赤西仁インタビュー。小林武史×赤西仁対談。
②GACKT…2010年もGACKTは止まらない！
③山下智久…横浜アリーナライブレポート！
④UVERworld…初のベストアルバムリリース！
⑤戒（ガゼット）…パーソナルスタート！
⑥ナイトメア…『ジャイアニズム』リリース！
★特別定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年　2月号〉
①表紙＋巻頭特集＝GACKT…ハードボイルドGACKT。キーワードインタビュー他3本立て大特集！20P
②ナイトメア…YOMI&咲人インタビュー！
③葵（ガゼット）…パーソナル企画第2弾！
④虎（アリスナイン）…虎パーソナル企画第1弾は虎が「陰陽師」に大変身だ！
⑤THE KIDDIE…赤坂ブリッツレポート
⑥SuG…祝・メジャーデビュー！
⑦彩冷える…メジャーファーストアルバムインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

お申し込みご希望の方は、最寄りの書店にてお申し付け下さるか、もしくは小社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用または現金書留でお送り下さい。まとめて4冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。

宛先▼㈱音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
☎03（3574）0201
FAX 03（3574）8548

SHOXX & ARENA37℃ バックナンバーフェア実施店

《札幌》グルグルアルシュ店（011）251-4480／旭屋書店札幌店（011）209-5181／三省堂書店札幌店（011）209-5600／ジュンク堂書店札幌店（011）223-1911
《仙台》ブックスみやぎ（022）267-4422　《秋葉原》書泉ブックタワー（03）5296-0051　《神保町》書泉ブックマート（03）3294-0011　《新宿》ライカエジソン東京店（03）3369-3119／タワーレコード新宿店（03）5360-7811　《原宿》山下書店ラフォーレ原宿店（03）3475-0447　《渋谷》文教堂書店渋谷店（03）5468-2431　《吉祥寺》Booksルーエ（0422）[illegible]-5677　《豊橋》精文館書店（0532）54-2345　《名古屋》星野書店近鉄パッセ店（052）581-4796／ライカエジソン名古屋店（052）229-8211／白樺書房西店（052）774-722[illegible]　《京都》ブックストア談京都店（075）255-0654　《大阪》ライカエジソン大阪店（06）6252-6262／ヤマハミュージック大阪（06）6831-6776／ジュンク堂書店千日前店（06）6635-5330／紀伊國屋書店バンドスコアハウス店（06）6373-0748　《姫路》楽学書館Begin（0792）33-8888
《東広島》フタバ図書ゆめタウン黒瀬店（0823）81-2662　《北九州》福家書店リバーウォーク北九州店（093）573-1701　《福岡》リーブル天神（092）713-1001／福家書店福岡店（092）721-3267　《大分》明屋書店セントポルタ店（097）532-4343　《宮崎》旭屋書店イオン宮崎店（0985）60-3881

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

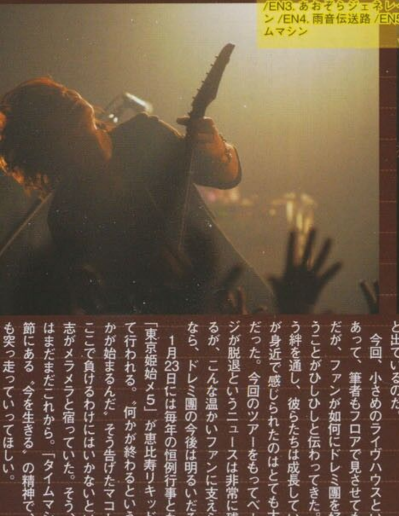
ドレミ團

Live at 表参道FAB 2009.12.26

2009年12月26日、東京・表参道にあるライヴハウス、表参道FABにてドレミ團のワンマンライヴが行なわれた。この日は、メジャーデビュー＆アルバム発売記念ワンマンツアーのファイナル公演だっただけに、たくさんの人が足を運んだ。アンコールを含め、全23曲、3時間近くに渡って繰り広げられたライヴの様子を、駆け足ではあるが、ここにレポートしていこう。

Photography:MIWA OHYA／Report:ERI MIZUTANI

【セットリスト】1. タイムマシン/2. ナミダ雲/3. 黒イ華篭ト一縷ノ望ミ/4. トラヴェラー/5. トワイライトミックスジュースブギ/6. 夢幻洋灯～まぼろしらんぷ～/7. 別離唄/8. エンドロール/9. 恋ごころ/10. 彼岸花/11. 銃声/12. ブラインド アンドロイド/13. スイミン天国/14. ワカバノキヲク/15. 青春ロールオーバー/16. 懸想遊戯/17. ミライノヲト/18. パレエド/EN1. 希望都市/EN2. ハロー!! ブランニューデイ/EN3. あおぞらジェネレイション/EN4. 雨音伝送路/EN5. タイムマシン



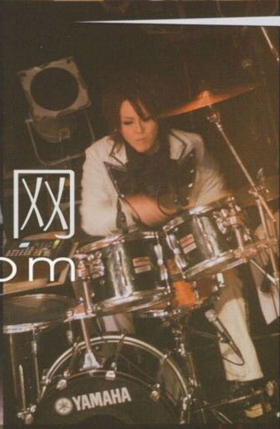
結成から8年、現メンバーになって5年目で、遂にメジャーデビューを果たしたドレミ團。その出来事は、ファンならずとも、関係者の私たちでさえ喜んだ。ドレミ團の音楽が世の中に広く知ってもらえる、これほど嬉しいことはない。それだけに、デビューアルバムとなった『ドントレットミーダウン』は会心の出来と言えよう。ドレミ團の良さであるレトロ感のあるサウンドが、現代の風潮と実にマッチしているからだ。風刺の利いたニューミュージックの形がそこにある。

だからこそ、昨年12月26日に表参道FABで行われたメジャーデビュー＆アルバム発売記念ワンマンツアー『タイムマシンにのって』のファイナル公演はとてもまとまりのあるライヴとなった。『ドントレットミーダウン』を軸として構成されたセットリストは、ヴォーカルのマコトが、本編中に何度も〝今日は時間が過ぎるのが早い〟と言ったほど。それほどまでに、均整の取れた内容に仕上っていた。中でも、オープニングの「タイムマシン」、中盤を飾った「恋ごころ」や「銃声」などは、過去に提示してきたドレミ色を残しながらも、新しい一歩を踏み出す新しさを感じた。KENと龍のバランスの良さは言うまでもなく、ギタリストと見間違うほどのアグレッシブなノリでベースを操るシンジ、そして、全体を大きな動きでまとめていく零華、これら楽器陣の後押しがあってこそ、マコトの歌声も活きてくるというものだ。もちろん、ここにはファンの熱い声援も必要だ。「トワイライトミックスジュースブギ」では思う存分暴れまくり、「パレエド」では、曲の持つ力強さを感じながらどっしりと聴きに入っている。メンバーの求めているノリがしっかりと出ているのだ。

今回、小さめのライヴハウスということもあって、筆者もフロアで見させてもらったのだが、ファンが如何にドレミ團を好きかということがひしひしと伝わってきた。音楽という絆を通し、彼らたちは成長している。それが身近で感じられたのはとても大きな収穫だった。今回のツアーをもってベースのシンジが脱退というニュースは非常に残念ではあるが、こんな温かいファンに支えられているなら、ドレミ團の今後は明るいだろう。

1月23日には毎年の恒例行事となっている「東京姫始メ5」が恵比寿リキッドルームにて行われる。〝何かが終わるということは何かが始まるんだ〟そう告げたマコトの目には、ここで負けるわけにはいかないという熱い闘志がメラメラと宿っていた。そう、ドレミ團はまだまだこれから。「タイムマシン」の一節にある〝今を生きる〟の精神で、これからも突っ走っていってほしい。

【ライヴスケジュール】●「東京姫始メ5」2010/1/23LIQUIDROOM ebisu
(問)「青空倶楽部」〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル3F



-OZ-

Natsuki
Aki
Tama
Nao
Zukki

「A FACT OF LIFE」— Third Dimension —

STANDING ONEMAN'09 FINAL
2009.12.28 SHIBUYA O-WEST

2007年の12月28日、目黒鹿鳴館のステージには、涙を流す-OZ-のメンバーの姿があった。そして2009年12月28日。渋谷O-WESTのステージで、彼らは充実感いっぱいに満足そうな笑みを浮かべていた。ここで彼らは新たな道へとスタートし、それはこれからずっとずっと続いて行く。まずは2月24日にマキシ・シングルのリリースも決定。次の“12月28日”に向けて、再び彼らは走り出した。

Repoer:MIYUKI MURAYAMA

3回目となる12月28日のワンマンに、オズが選んだ会場は渋谷O-WESTだった。目黒鹿鳴館で迎えた2年前のあの日から、着実に歩みを進めて来た成果がここに表れる。大きな期待を寄せて、開演を待った。

ライターの灯りが瞬く美しい幕開けから、1曲目に始まったのは「LAST Shell」。いきなりバラードで始めたところからも、5人のこのライヴにかける想いと、自分たちの力への自信が感じられるようだった。渾身のプレイで一気にオーディエンスを引き込むと、そのまま慎重なプレイで、落ち着いた滑り出しを見せる。そして、「Public Speaker」から、勢いづいて行くステージと会場。オーディエンスは熱い掛け声と拳しで応え、序盤から手応え十分の反応でメンバーを盛り立てていく。メンバーからは若干の緊張が感じられたものの、決して浮き足立つことなく、そのプレイは確実そのもの。そんな姿は頼もしくさえあり、スピーディな展開はライヴを数多く重ねて来た証でもあるだろう。

AkiとTamaのアルペジオからギターをたっぷりと聴かせ、「MIGRANT」へと持っていく流れや、緊張した面持ちながらダイナミックなドラミングで見せたZukkiのドラム・ソロなど、見せ場たっぷりな中盤から、クライマックスへとラストスパートをかけると、会場全体に熱気が渦巻く。オーディエンスは無我夢中になる一方、メンバーはますますプレイに集中する。一切の迷いなくその音に酔いしれるたくさんの姿が溢れた。本編最後を飾った「FILMY」では、流れるような美しいメロディと共に、メンバーの晴れやかな表情が充実感を物語っていた。集中力を途切れさせることなく、きっちりと聴かせた16曲の本編からは、入念に準備してこのライヴを迎えたことがはっきりとうかがえた。

アンコールでは、この日のために作られたという「White Pallet」が披露され、さらには懐かしい「Misty」も飛び出す。ひたむきにプレイする姿には清々しさが漂い、彼らがこれまで一歩一歩重ねて来た活動と、このステージにかける想いを顧みると、ぐっと胸に来るものがあった。そしてもちろんメンバーの表情からも、感激と感動が隠し切れないように浮かんでいた。

そんな想いを込めて、彼らはこれからも永遠にファンに音楽を届けてくれることを誓ってくれた。決してスピードは速くないかもしれないが、止まることなく進み続けた2年間を経て、辿り着いた渋谷O-WEST。その歩みが止まらないことを信じて、これからも彼らを見つめ続けたい。

【set list】
1.LAST Shell
2.MirroR
3.Public Speaker
4.BLAZE
5.Needle
6.VENOM
7.Reservation
8.MIGRANT
9.RAZE
10.Resemblance
11.Breath trees
～Dr.Solo「GENOCiDE」(Inst)～
12.Nerve［less］
13.M.D.M.A
14.Blot
15.IN RUBBISH
16.FILMY
<encore I>
17.White Pallet
18.Misty
19.CRY the crime
<encore II>
20.ATHENA
21.Shangrila
22.DETOX
<encore III>
23.Butterfly

【-OZ-情報】マキシ・シングルの発売決定!! 2月24日に『wisteria』、5月5日に『viridian』。ライヴ・スケジュールは、2月8日・高田馬場エリア、14日・OSAKA MUSE、16日・博多ビートステーション、17日・広島並木ジャンクション、18日・松山サロンキティ、20日・名古屋ハートランド、23日・仙台HOOK、24日・新潟ジャンクボックス、27日・高田馬場クラブフェイス、3月5日・川崎クラブチッタ。 http://www.territory-oz.com/

蝴蝶网
hudie.com

強くなれるさ 魔法のメイクを君にしてあげる。
最新シングル『makemagic』ドロップアウト!!

jealkb

いくらメイクしても、内面が汚れていたら美しくはなれない。

2005年にヴォーカルのhaderuとドラムのelsaを中心に結成されたヴィジュアル系ロックバンドjealkb。彼らは2007年10月にメジャーでビューし、今作の「makemagic」はメジャー6枚目のシングル。映画『10thアニバーサリー　劇場版　遊☆戯☆王』の主題歌でもある勝負曲だ。結成から5年。真剣に音と向き合い、jealkbとしての個性を作り上げてきた彼ら。ここに至るまでの想いと、今作の制作秘話をじっくり語ってもらいました。

Interview:NAOKO TAKEICHI

—SHOXXは久々の登場ですよね？

haderu：メジャーデビューの「誓い」のときにお世話になって。やっぱり最初、このシーンのファンやバンドさんからは、〝芸人がふざけてやってるバンド〟っていう見られ方をしていたと思うんですよ。でも、僕たちとしては、本当に真剣にやっているので、そう思われるのが一番辛いことだから、とにかく我武者らにここまで頑張ってきましたね。

—その結果、今ではいろんなバンドとの交流も深くなってるし、ヴィジュアルファンにも認められてますよね。バンドの在り方も楽曲も、唯一無二だし。

haderu：ですね。去年は、dunchがカラスに誘ってもらったり、moftoがニンジャマンジャパンのPVに参加させてもらったり、V-ROCKフェスティバルに出させてもらったり、『JACK IN THE BOX』（ムック、シドなどが所属するMAVERICK DCグループ主催のイベントライヴ）にも参加させてもらって、徐々に認めてもらえてきてるのかなと。

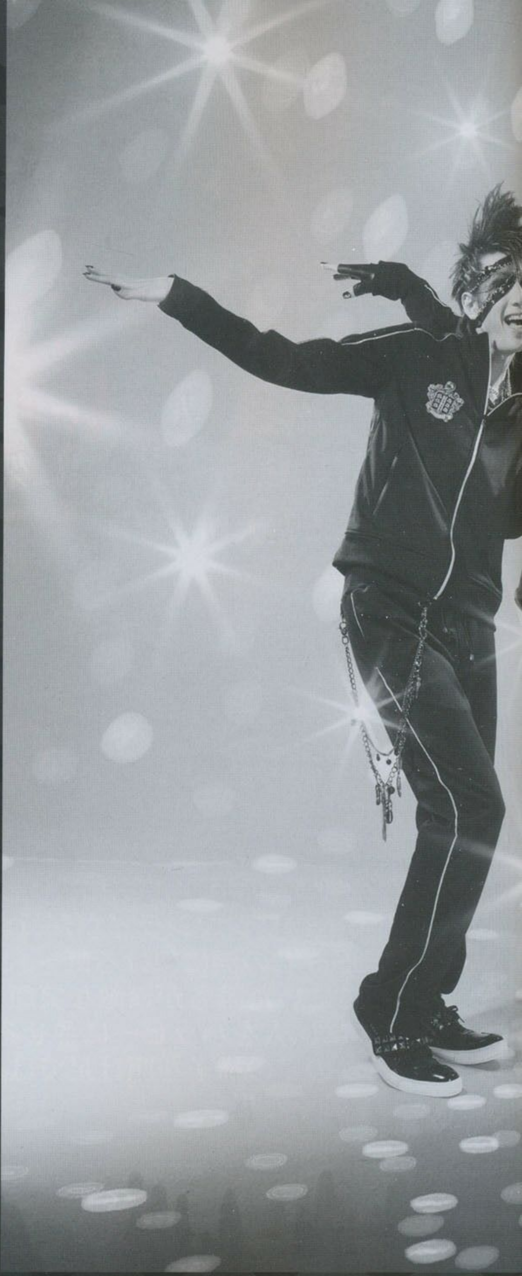
—そんな中、メジャー6枚目となるシングル「makemagic」がリリースされる訳だけど、今作はかなりの挑戦曲なのでは？

haderu：今回は、ライヴで、みんな一緒に踊れる曲が欲しくて作った曲だったんです。自分たちにしか出せないヴィジュアル系の色を出していけたらいいなと思って、新たな試みをしてみたんです。俺たちがこういう曲を出したら、どんな化学反応が起こるのかな？　って。

dunch：やっぱり、いままでは、ロックというだけに、激しくないとダメだっていう思いが強かったんですよ。

haderu：どこか、自分たちの中では、〝ナメられたくない〟〝認められたい〟っていう思いもあったんだと思うんです。それもあって、V-ROCKフェスティバルでも、特に激しい曲調ばかりを選曲してセットリスト組んだりしてて。でも、他の先輩バンドさんのライヴ見てたら、激しい曲はもちろん、お客さんと一緒にちゃんとライヴを楽しめるようなセットリストが組んであって。それで、自分たちの曲を改めて見つめ直してみたんです。

蝴蝶网 hudie.com



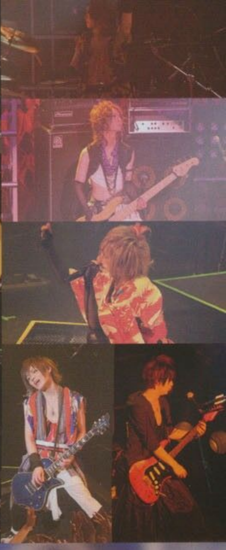
作ってみようよ！ってことになって。
mofto：性分でもあるんでしょうけど、みんなを驚かせたいっていうヤツ等の集まりなんですよ、ウチら。裏切ってなんぼ、ってとこありますからね。ま、これもひとつ。裏切りの形なのかなって。
haderu：カッコイイこと言ってる風だけど、よく分かんねぇから（笑）。
mofto：あははは。ま、つまりは、いい裏切りを、ここらで見せてってもいいんじゃないかな？ってことになって。ダンス曲、いいね！って。そこはメンバー7人、一致の意見でしたね。
――なるほど。でも、いままでドラムのe-saがメインコンポーザーになって作ってたのに、今回敢えて外部の作曲家に楽曲を依頼したのは何故？
haderu：e-saが曲を作ってきたことで、jeal-kbの個性が確立したとも思うんですけど、もっと出来ることを増やしていけたらいいなと思って、メンバー全員で話してみたんです。そこで、じゃぁ、おもいきって、外からの風を入れてみようかってことになって。
dunch：かなり冒険でしたけどね。だからこそ7人で話し合って、〝こういうダンス曲が欲しい〟ということを明確にして、楽曲を作ってもらったんです。
chaos：e-saが曲を作ってたときは、そういう話し合いをしなくても、自然とjeal-kbらしさが生まれてたんですけど、やっぱり外の人に曲を作ってもらうとなると、しっかりと伝えないと、〝らしくない〟モノが上がってきてしまうと思ったんで、慎重になりましたね。
――候補曲は何曲くらい集まったの？
haderu：15曲くらい。でも、7人中6人が、「makemagic」がいいって言ったんですよ。
chaos：ま、その反対した1人って僕なんですけどね（笑）。僕はカップリング曲の「キワダタサレタ美貌」が1番目で、「makemagic」が2番目だったんですよ。みんなはその逆だったんです。で、多数決で（笑）。僕的に、「キワダタサレタ美貌」っていう言葉のキレにすごくインパクトを感じたんで、そっちがいいなって思ったんです。
――なるほど。いままでのシングルは、表題曲がハードながらもメロディアスだったのに対し、カップリング曲は、とことんディープでハードだったけど、今回はそこまでの対比がないのは、〝ダンス曲〟という大きなテーマの元に作られた楽曲の中から選ばれていたからなんだね。でも、「makemagic」は、ダンス曲でありながらも、タメ感のあるロックサウンドでもあるしね。
dunch：そうなんですよ。やっぱり、完全にお任せ、で投げてしまった訳ではなく、7人の意見を擦り合せて発注したこともあって、ウチらしい色のあるダンス曲になったんじゃないかなと思いますね。外部の風が入ったからこそ出来たんじゃないかと思うことがいくつかあって。個人的に、同期が多い楽曲なんで、いつもよりもリズムが強くなって厚みが出てるところが気に入ってるんですよ。ベースも、プレイ的に、いままでにはない味付けが出せたと思ってるんです。
――歌詞は？
haderu：メイクをしてとびきり輝く姿にときめく心情を描いているんです。それもあって、〝メイクして変われる人〟にジャケットになって欲しいなと思って、今回、はるな愛ちゃんとコラボしてるんです。随分前に、いつか一緒に何か出来たらいいなと思ってたんですけど、タイミングよく、愛ちゃんから、〝世界一（『ミス・インターナショナル・クイーン2009』で、日本人初の優勝を手にした）になったアタシを抱いてみない？〟っていうメールが来たんで、〝抱けないけど、ちょっと手伝って〟って、今回の件をお願いしたんですよ。はるな愛は、メイクすることであれだけ自分を変えることが出来る。普段は大西賢示ですからね。自分の気持ち次第、努力次第で、そこまで自分自身を変えることが出来る、自分に自信を持てるんだってことを、描いた歌詞にはピッタリだなと。
chaos：僕たちも、ヴィジュアル系というシーンでバンドをやらせてもらうようになって、メイクしてステージに上がることで、いままでにはない自分らしさに気づくことが出来たし、自信持ってステージに立てているんですよ。
mofto：それもあって、この曲の歌詞には、すごく共感出来る部分が多かったんですよね。でも、カップリングの「キ

そのままの姿こそが美しい〟って[illegible]真逆
を歌ってるんですよ（笑）。ま、[illegible]ウチ等、
裏切ってなんぼなんで。
haderu：あははは。ま、そういう[illegible]ことじゃないんだけど（笑）、たしかに[illegible]「キワダタサレタ美貌」の方では、着飾らない[illegible]メイクしないそのままの姿こそが美しい[illegible]んだよ、もっと自信持って、って歌[illegible]るんで、相反することを歌っているん[illegible]すけど、俺としては、〝内面こそが大事〟っていう共通点を持たせていたりするんです。いくらメイクしても、内面が汚[illegible]いたら、美しくはなれないと思[illegible]らね。
――なるほど。深い。しかし、今回、いつもよりも作り込んだ歌い方してない？
haderu：そうなんです！まさに。今回、ディレクターさんに、曲調がダンスっぽいから、歌い方を逆にヴィジュアル系っぽい粘りのある感じにしたいって相談したんですよ。そしたら、その意図をくんでくれて。面白くなりましたね。
――うん。個性をすごく感じたよ。「キワダタサレタ～」の方は、シャッフル系の曲調だけど、ギターもすごくいいよね。間奏部分とか、特に引き立ってる。
mofto：ですね。ホントに難しかったです。際立たされてますよね、まさに。ediieeとの掛け合いをライヴでは見せ場にしていけたらいいなと思ってます。
dunch：ベースは跳ねた感じを出すのがすごく難しかったです。カラスの「LASTICA」もシャッフルだったこともあって、そこでの経験が役立ったんです。シャッフルってリズム隊が肝になってくるんで、かなり神経使って弾きましたね。この曲は、テンポの速いシャッフルなので特に苦労しましたね。でも、表題曲とはまた違ったダンス曲のアピールが出来たんじゃないかなと思います。
mofto：サビももちろんなんだけど、サビじゃない部分もすごく印象的な曲だと思うし、重めなロックが苦手という人たちにも、楽しんでもらえると思うんで、ぜひ聴いて、一緒に踊ってほしいです。
chaos：やっぱ冒険はしていかないとね。これからも、徐々に自分たちの振り幅を広げていけたらいいなと考えているので、ぜひ、よろしくお願いします！

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

DaizyStripper



『赤坂CIRCUS～君の涙に架ける虹～』

Live at 赤坂BLITZ
2009年 12月13日(日)

鮮やかに彩られた大切な場所。

2009年12月13日、赤坂BLITZにて、DaizyStripperのワンマンライヴが行われた。『赤坂CIRCUS～君の涙に架ける虹～』というタイトルに相応しく、ここにいた誰もが素敵な笑顔を届けてくれた。彼らのライヴには人をハッピーにさせる力がある。だからこそ、この日の様子を駆け足ではあるが、お伝えしていこうと思う。

Report:ERI MIZUTANI

【SET LIST】

M1.Dearest
M2.ベイビーキングダム
M3.ジュリエットのナイフ
M4.自慰的ショータイム
M5.リリカルナイト
M6.白蝶乱舞
～White Butterfly～
M7.endorphin.
M8.Black DROPPer
M9.Dirty Brightness
M10.ダンデライオン
M11.七色の花束を
M12.Farewell Line
M13.星空と君の手
M14.茜空に咲く
M15.TRUTH
M16.MR.UNCHAIN
M17.Little Ballerina
M18.decade
——encore1——
En1.SMILE WORLD
——encore2——
WEn1.色彩ヴィヴィッド
WEn2.Dearest

「赤坂CIRCUSへ、ようこそ！」高らかに叫んだヴォーカルの夕霧。その声は、"これから始まるライヴに向けて、君たちはどんな笑顔を見せてくれるのだい？"という問い掛けのようにも聞こえた。それに応えるようにして、会場にいた大勢の観客は、口々にメンバーの名を呼び、手を高く上げていく。この日は2階席までうまっていただけに、その様子は迫力満点。そうして気合いの入ったところで、バンドの底力を見せ付けるべく、ハードなナンバーが立て続けに落とされていった。

その中でも「#13」は格別で。こちら、1曲目に演奏された「色彩ヴィヴィッド」同様、11月にリリースされた、ファースト・ミニ・アルバム『THE BEAUTY』に収録されている曲なのだが、アプローチが異なるだけに、バンドの幅の広さを改めて感じさせられた。普段はおっとりとしているが、ギターを持つと人が変わったようになるまゆ、パートは違うがステージに立つと競い合うように音を重ね、観客をゾクゾクさせるなおとRei。そして、風弥のドラミングと夕霧の歌声が乗ることで、Daizyの曲は味わいを増しているのだろう。

この後には、「ルード・ボーイ」をアコースティックバージョンで披露したり、クリスマスプレゼントと称してファンをステージに上げてクリスマスソングを合唱したりと、ライヴ好きの彼らならではの嬉しいサプライズが用意されていたことも補足しておきたい。

「本当に、今年1年、支えてもらってここまで来られました。みんなは、俺らの宝物です。ありがとう！」その言葉とともに、この日のライヴは終わりへと近付いていく。大ラスに演奏された「decade」では、会場にいた全員が自然と笑顔になるほど、彼らの演奏は1人1人の心に届いていった。きっとこれから、DaizyStripperは、更に勢いを増して突き進んでいってくれるに違いない。「来年も一緒に歩いていけるか？」それは、今後に控えているニューシングルのリリースとワンマンツアーのことを指し示していた。虹の後に見える

蝴蝶网
hudie.com

—SET LIST—

SE.Requiem aeternam
01. VIRGIN (Requiem ensemble)
02. New Code
03. GHOST IN THE SHELL
04. SYNDROME
05. frontier
06. Carmen
07. Replica
08. Terra
09. VISION
10. Concord
11. MAKE YOUR HEAVEN
12. Lost
13. MASQUERADE
14. THE WHITE LOVE
15. LUMIERE

—encore—

16. MELT DOWN
17. Mirror
18. EDEN
19. replay

Aoi

「Romanesque ~Virgin Blue D'Hiver~」

Live at 新宿MARZ 2009.12.12

暖かな感謝の気持ちを込めて…

ソロアーティストとしての活動、KAZUYAとのユニットであるBOUNTYとしての活動。そして国内にとどまらず、勢力的にヨーロッパを中心とした海外のフィールドに出向いて活動を行ってきた彼が、2009年を総括するワンマンライヴを12月12日新宿MARZにて行った。ステージは完成度の高い完全鉄壁なAoiワールドの中にも、スタッフの粋なサプライズ企画もあったりと、Aoiとファンとの心の距離感の近い温もりのあるライヴであった。

Report:YUKA SUGIE　Photography : YOSUKE KOMATSU(ODD JOB)

ぎらせる青い炎。ステージで絶え間なく表現欲を湧き上がらせるＡｏｉに重なったイメージは、まさにそれだった。

黒いマントをなびかせてステージに姿を現わした彼だが、首周りには黒い羽根飾りが揺れて、とにかく身のこなしが優雅。ロック畑でこうした気品高い存在感を放つ人は、そうそういないのではないだろうかと、まず目を見張った。

ところが、「VIRGIN (Requiem ensemble)」のイントロ、鋭いギターリフで幕を開けるやいなや、ダークでゴシックな世界観に一気に熱情が添えられる。容姿こそ陶器を思わせる美しさをたたえているが、力強い歌声、動きは驚くほど研ぎ澄まされているし、その射るような目力は動物的にも感じる。

「GHOST IN THE SHELL」では、ギターソロで一瞬ステージが暗転、再びライトに照らされるやいなや、マントを脱ぎ去り一気にステージ際ギリギリまで奇襲。やはりこの人はロックヴォーカリストなのだ、とつくづく思う。

一転、「frontier」では華麗なターンを見せつつしなやかな歌声を聴かせてくれたし、「Carmen」ではその声で、動きで、表情で、葛藤悲劇『カルメン』のドラマを鮮やかに描写。「Replica」では、静けさと激しさのコントラストでフロアをグイグイと惹き込んでいく。

そんな中、オーディエンスによるサプライズ演出が起こったのは、「Terra」でのこと。イントロでＡｏｉがいったんステージからハケた隙にサイリウムを準備し、再び登場した彼を無数のブルーライトで出迎えたのだ。後のMCで、この粋な計らいに内心すごく驚いたとＡｏｉが本音を漏らしたが、そこにはオーディエンスのありったけの愛が満ちていた。

ちなみに、再登場した際にまとっていたのは、袖や裾、襟元に豪華なシルバーの刺繍が施された黒いロングコート。これをスマートに、華麗に着こなせるのは、ヨーロッパ貴族か彼しかいないのではないだろうか。実際、疾走感あふれる「Concord」を歌う彼は、まるで闇を黒馬で駆ける王子のように見えた。

かと思えば、「MAKE YOUR HEAVEN」では、イントロでいきなり咆哮。攻撃性オる様はとても扇動的だ。ハイテンポな「Lost」ではますます感情的に、鋭利に突き刺さる歌と動きで圧倒した。

それでいて、「MASQUERADE」では妖艶に思えるほどの美しい声と立ち居振る舞いで翻弄しつつ、「THE WHITE LOVE」ではサビのファルセットに神々しささえ漂わせ、優しく温かな包容力で包んでくれた。

こうしてみると、まるで多重人格者のようにさまざまな表情を見せてくれる彼だが、そのどれもが偽らざる姿。ただただ、貪欲な表現者であるだけなのだ。

本編最後のMCでは、ファンやスタッフに対しての感謝の気持ちを丁寧に述べ、深々と一礼。律儀な人柄を滲ませた。

そんなＡｏｉの脇を固めたサポートメンバーがまた、実に豪華。ex.SIAM SHADEのギタリスト・遠藤一馬。大塚愛、絢香などのサポートでも活躍中のベーシスト・道太郎。ex.SADSのメンバーでもあり、数多のサポートもこなすドラマー・牟田昌広という、ヨーロッパツアーでもＡｏｉを支えた3人に加え、この日初参加となったのは元La'cryma Christiのギタリスト・HIRO。彼らの生むバンド感やグルーヴ感は並のバンドを超越していたし、Ａｏｉの描く美しく奥行きのある世界観を、より肉感的に彩ってくれたように思う。

アンコールでは、Ａｏｉのソロ活動2周年をお祝いするケーキがスタッフよりサプライズ贈呈。本気で予想外の展開だったのか、いつもクールに見える彼が大きな目をさらに大きく見開いて驚きつつも、喜びを噛みしめた。ファンのみならず、スタッフにも愛されている彼なのだ。

そして、その歌力といえば、最後まで衰え知らず。ヴォーカリストとして、表現者として、終始スキを見せることはなかった。

春にはフランス、フィンランド、ドイツをまわるツアーを開催し、8月7日には渋谷O-WESTにて2回目のワンマンライヴに挑むＡｏｉ。活動2年にしてすでに〝完璧〟を思わせる彼だが、きっと次もまた、こちらの想像を超える世界を見せてくれるに違いない。不敵すぎる彼に、思わず期待も高まる。

本当の“始まり”の気持ちから——

-ZEROdb

“ゼロ”カラノスタート!!

強力な新人バンド・-ZEROdbが本誌初登場。力強いバンドのグルーヴ感に、未来を感じさせるデジタル・サウンドを融合させ、独自の個性を放つ彼らが、まずはミニ・アルバム『ゼロカラノスタート』をリリースする。1月30〜31日には高田馬場クラブフェイズにて、いきなりの2daysワンマン・ライヴを敢行。“ゼロから”という新鮮な気持ちを胸に、シーンに一気に躍り出て来てほしい。

ヒロキ(Vo)

Interview : MIYUKI MURAYAMA

——結成のキッカケを教えて下さい。

TAKEswiy：最初は、新しいバンドを組みたいとかの考えはなかったんですけど、Marsa-l-lとかヒロキとかと会ってるうちに、自然にもう1回バンドをやってみよう、みたいな気持ちになって。だから、(バンドのために)メンバーを集めたわけじゃないし、ベースもまだいないんですけど、どうしてもやりたいメンバーが出て来るまでは無理に探さなくてもいいんじゃないかなということで、とりあえずサポートで始めたんです。

——みなさんは、以前からのお知り合いなんですか。

TAKEswiy：ヒロキとは10年近い付き合いなんです。Marsa-l-lは、僕がギターのお医者さんみたいなことをしてるんですけど、そこにギターを直して下さいって持って来たお客さんで。修理した後に、一緒に音を出しながらやってるうちに、やってみるかって。二人とも、どういう音楽が理想かっていうのが一緒やったのが大きかったりもして。

——一緒にバンドをやろうと決まったのはいつ頃?

S@TT-ON：TAKEswiyが書き溜めてた曲があったんで、10月に〃中村屋〃って名義で、その曲のライヴをやったんです。

TAKEswiy：ヴォーカリストをヒロキとKIBAさんとかにお願いして。

S@TT-ON：それがなかなか面白かったんで、1回きりで終わるのもな…って思ったんですよね。そこが始まりですね。

——バンド名はどういうところから?

TAKEswiy：バンドを結成しようと思った時に、〃ゼロ〃って言葉が妙に頭の中にあって。

——それは、〃今から始めるんだ〃というところを意識して?

TAKEswiy：そうですそうです。今までの自分がやって来たことを利用したり、過去にすがりながらやっていくんじゃなくて、1回白紙に戻してスタートする、みたいな。

——S@TT-ONさんもそういう気持ちはありましたか。

S@TT-ON：20何年前はゼロから始めたんですけど、やっていくうちにそうこでまた、音楽が好きだ、ライヴが好きだ、バンドが好きだっていう本当の始まりの気持ちから始められるなって思ったんですね。TAKEswiyから〃バンド名にゼロって言葉を入れたいんだよね〃って言われた時に、俺もそんな気がするって思って。心機一転と言うか、新人としていけたらいいんじゃないかなって。

——音楽性については、バンド・サウンドとデジタル・サウンドの融合みたいなところがまずはポイントになるんですか。

Marsa-l-l：前にやってたのはこういうサウンドのバンドじゃなかったんですけど、僕も大好きなんで。TAKEswiyさんと出会って、それが出来るって思いましたね。

ヒロキ：デジタル系のロックって未来を想像させるんですよね。過去を振り返るものじゃなくて、常に前を向いて行ける音楽っていうイメージがあって。前を向いて行きたいなって気持ちから、そういうジャンルをやりたいなって思うんです。

——それが念頭にあって、みなさんで曲を作って行くんですね。

ヒロキ：全員で作ってます。

TAKEswiy：今回の音源では、全員の曲を入れたくて。

ヒロキ：イメージ的には、全員がクリエイターでありたいなって。それってバンドにとってすごく強いことじゃないですか。

——今回の音源も、各々の個性が出てますもんね。

一同：(笑)

ヒロキ：それが最終的にひとつの形になればいいかなって。どんどんバンドのカラーが強まっていって、ひとつのジャンルになればいいなって思ってます。

——ヒロキさん作曲の「Sky Fish」はポップでキャッチーで聴きやすいですけど、「ONI」はデジタル色の強い曲ですね。

ヒロキ：ヴォコーダーがとにかく大好きなんですよ。不思議じゃないですか。50年も60年も前に作られた機械なのに、人間の声を通すと未来を覗いてるような気がするんです。僕的にはヴォコーダーの入ってる曲は外せないなって思って、「ONI」はすごいデジデジになっちゃいましたけど、それは-ZEROdbのカラーっていうことでいいのかなって。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

S@TT-ON(Dr)

Marsall(Gt)

TAKEswiy(

は「Qooswiy」ですね。
TAKEswiy：クジラって名前のチワワを飼ってまして、タイトルはそのニックネームなんですけど、それを曲にしてみようかなって。犬からの視線で歌詞を書いてるうちに、僕からお客さんに対する気持ちとリンクしたところがあって、どんどん歌詞が出来ていきました。

——犬の立場からということで、歌い方も工夫してますよね。

ヒロキ：犬になったつもりで、なり切って。また、（TAKEswiyが）上手いんですよ、乗せるのが。
TAKEswiy：自分の部屋に日曜大工的な感じでヴォーカルブースも作って、自分がディレクションとかエンジニアも全てやって録ったんです。

——S@TT-ONさん作曲の「ムキムキMEN」は、スピード感いっぱいで、パワフルなドラムが印象的ですね。

S@TT-ON：僕、元々フォークシンガーなんで（笑）、フォーク的な曲になってしまうんですけど、それではライヴが見えないなって思って。音源はライヴのための教科書だと思うんで、ライヴが見えるようにバンド・サウンド的なのを書いたんですよね。歌詞は、あまり深く考えもせずメール打つような感じで書いて送ったら、そのまんま採用になったんです。メロディと歌詞がスッと入って来るような曲が作りたいなって思って。フォークシンガーですから（笑）。
TAKEswiy：ほんまに、アレンジしてくれへんかって、フォークギター弾きながら歌いましたから（笑）。
S@TT-ON：ロックにして〜って。

——そしてロックになったと。Marsallさん作曲の「Feel」は、歌詞もメロディも素直でポップな曲です。

Marsall：僕、実家がすごく田舎なんですよ。コンビニに行くにも1時間半ぐらいかかるぐらい。でも、そこに久しぶりに帰ると、昔より緑がなくなってたりするんですよ。寂しいし、何か出来んかなって考えて、こういう歌詞になりました。
TAKEswiy：エコな感じな。
Marsall：超ストレートなんですけど、自然を大切にしたいなって。

——そこにMarsallさんらしさが出ているんですね。

TAKEswiy：「ONI」と「Feel」のギター・ソロは、Marsallが弾いてるんですけど、スタイル的には速いフレーズとかが得意で、メロディな感じのソロは自分が担当して、上手く役割分担してます。

——デジタルを取り入れてても、ギター・ソロが印象的なところからは、ロックバンドという印象を受けますね。

TAKEswiy：昔ながらのロックがすごい好きなんです。王道のロックみたいなのにデジタル音を入れたらどうなるかなっていうのに興味があったんですね。自分の中にあるギターヒーローはこんなギターを弾いてるかなっていうのを自分でやってみようと思って弾きました。

——初めての作品と思えないぐらい、バンドとしての個性がしっかり出てますね。

S@TT-ON：老兵ですから（笑）。まずは名刺代わりですね。
ヒロキ：挨拶の一発やね。

——そしてライヴですが、いきなりワンマンを2デイズでやるとか。

S@TT-ON：人間ね、甘えたらいかんのですよ。いきなり大きい課題があるほうが、そこに向かって頑張れるんじゃないかなって思って、敢えて2デイズにしてみました。

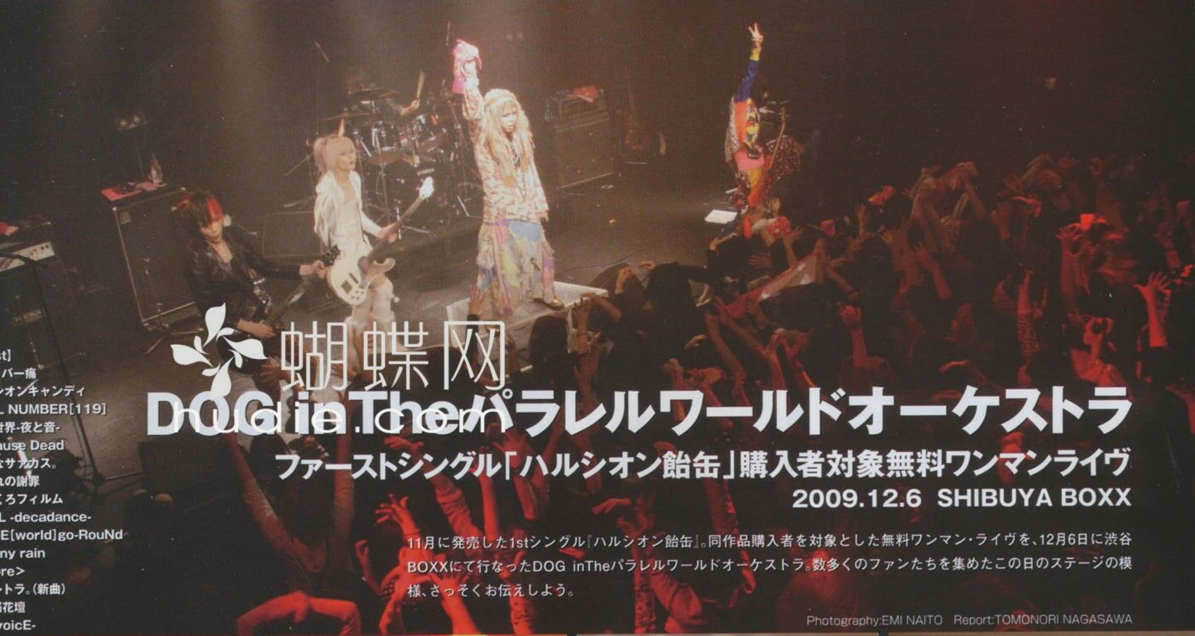
——プレッシャーもあります？

Marsall：今（取材は12月中旬）からもう緊張してるんですけど（苦笑）。10月の〝中村屋〟のライヴの時に、自分に足りないものも分かったんで、それを思い切りぶつけてやりたいです。
ヒロキ：ヴォーカルって、バンドの顔じゃないですか。他のメンバーにコイツがヴォーカルで恥ずかしいなって思わせないように、観てる人をノックアウトしたい。観てる全ての人に圧倒的な力を見せ付けられるように、今練習してます。
一同：（笑）

——その後の展開としては？

S@TT-ON：主催イベントを2、3、4月とやります。仲のいいバンドさんたちとイベントをやって。
ヒロキ：夏ぐらいにはアルバムもね。
TAKEswiy：イベントでステージを経験して、それから東名阪なり、全国なり廻れるようになったらいいなと思ってるんで。ひとつひとつコツコツと、足元を固めながら行けたらいいですね。

【ライヴ・スケジュール】1月30〜31日・高田馬場クラブフェイズ、2月25日・高田馬場クラブフェイズ。 http://www.0-db.jp



st]
バー痛
ンオンキャンディ
L NUMBER[119]
世界-夜と音-
ause Dead
なサァカス。
れの謝罪
くろフィルム
L -decadance-
E[world]go-RouNd
ny rain
re>
トラ。(新曲)
脳花壇
voicE-

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ

ファーストシングル「ハルシオン飴缶」購入者対象無料ワンマンライヴ

2009.12.6 SHIBUYA BOXX

11月に発売した1stシングル『ハルシオン飴缶』。同作品購入者を対象とした無料ワンマン・ライヴを、12月6日に渋谷BOXXにて行なったDOG inTheパラレルワールドオーケストラ。数多くのファンたちを集めたこの日のステージの模様、さっそくお伝えしよう。

Photography:EMI NAITO　Report:TOMONORI NAGASAWA

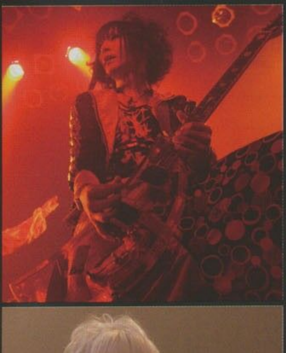
この日のライヴへ足を運んだのは、1stシングル『ハルシオン飴缶』の購入者のみ。つまり、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ（以下DOG）に魅力された人たちばかりと言うわけだ。もちろん、何となく興味本位でとか、友達に無理やりつれられて来たという人は皆無だけに、冒頭から最後まで、場内には嬉しい盛り上がりの空気が満ち満ちていた。

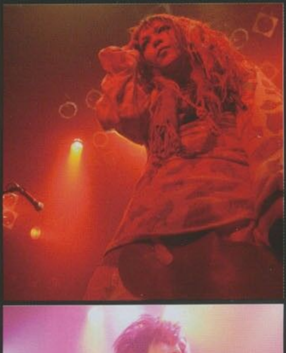
〝飛べ〜！〟1曲目、「ハルシオンキャンディ」の演奏が始まると同時に、春の煽りに身も心を預けるように、観客が一斉に左右へ手を振り、思いきり飛び跳ね出した。性急なデジタルビートとヘヴィにウネる楽曲とが描く興奮のアンサンブルが、会場中を熱狂という空気の中へ、早くも導き出した。

DOGのライヴの主軸になっているのは、興奮を呼び起こす体感性に溢れる楽曲たち。誰もが手にしたタオルを思いきり振り回した「CALL NUMBER［119］」のように、無条件で興奮の世界へ導く楽曲もあれば、「参千世界-夜と音-」のような激しさが描かれる歌もある。まるで奇妙な舞台劇を観ているような感覚を与えてくれた、ブギーでサイケデリックな「あなくろフィルム」。さらにこの日は、1月に発売した最新シングルの中から、表題曲「アルトラ。」と「EVOL -decadance-」もいち早く披露。この時点では、誰もが初めて聴くにも関わらず、体感興奮度の高い曲という理由もあり、誰もが自然と、心地良さそうにリズムの渦の中へ身を預けていた。

カオスな音の洪水が押し寄せた「電脳花壇」や、ダンスロック・ナンバー「Because Dead」のように、スタイルは様々なれど、体感的な高揚を与えてゆく楽曲を中心に構成した、この日のライヴ。中には、本編最後を彩った「Rainy Rain」のような、雄大な景観を描き上げるミッドスロー・ナンバーもあったとはいえ、今のDOGがライヴを通じて魅力にしているのは、無条件に恍惚な異世界へ導いてくれる楽曲たち。そうそう、この夜最後に奏でられた「声-voicE-」を通した想いのやり取りにも、互いに熱い信頼関係

新曲もいち早く披露！"音"にあふれたワンマン・ライヴ





【ライヴ・スケジュール】2月20日・渋谷WOMB(主催イベント)、3月20日・原宿アストロホール。
http://dog-lavo.com/

東京ミカエル。
ハピネス
初回盤
(CD+DVD) SCL-079/080 ¥1,890 (tax in)
通常盤
(CD) SCL-081 ¥1,260 (tax in)
ツアーファイナル ワンマン
「2401」
4.04(sun) 高田馬場AREA
OPEN 17:30 / START 18:00 Ticket : adv.¥3,000 (D代別) / day.¥3,500 (D代別)
2.03高田馬場AREAイベント終了後物販にて先行発売(1～100シャッフルにて)
2.14(sun)よりローソンチケット、自主盤倶楽部にて発売
自主盤倶楽部(101～150)
ローソンチケットLコード73106(151～)
※バンド予約なし
(問) AREA 03-3361-1069
東京ミカエル。主催3マンツアー
「トライ、トライアングル、アングル」
3.03(wed) 静岡Sunash
出演 : 東京ミカエル。、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ、PANIC☆ch
(問) 静岡Sunash 054-288-0880
3.05(fri) HOLIDAY NAGOYA
出演 : 東京ミカエル。、ジュリエット、カル・ヴァリ
(問) HOLIDAY NAGOYA 052-249-2161
3.06(sat) 心斎橋CLUB DROP
出演 : 東京ミカエル。、A&D M
3.09(tue) 横浜7thAVENUE
(問) 横浜7thAVENUE 045-641-2484
3.11(thu) 仙台HooK
出演 : 東京ミカエル。、MoNoLith、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
(問) 仙台HooK 022-716-8633
3.12(fri) 浦和Narciss
出演 : 東京ミカエル。、Hi:BRiD、ジュリエット
(問) 浦和Narciss 048-824-8771
3.17(wed) 池袋サイバー
出演 : 東京ミカエル。、R指定他
(問) 池袋サイバー 03-3985-5844
※各会場限定配布あり
全会場 OPEN 17:00 / START 17:30
Ticket : adv.¥3,000 (D代別) / day.¥3,500 (D代別)
※チケット販売について
詳しくはオフィシャルサイトをごらんください。
バンド予約受付(scube@abox23.so-net.ne.jp)
池袋緩菜狩り
3.16(tue) 池袋サイバー
OPEN 17:00 / START 17:30 Ticket : adv.¥3,000
Information
S'CUBE
〒106-0032
東京ミカエル。Web Site http://tokyo-michael.jp/
蝴蝶网
hudie.com

平成22年1月3日
初東名阪単独公演巡業任務
ツアーファイナル
Live at渋谷CLUB QUATTRO

アンド
-ECCENTRIC AGENT-

2010年の指針となるべくワンマン・ライヴ緊急レポート!!
ファーストフルアルバム『-&-』も好評な“ECCENTRIC AGENT”アンドが、1月3日、渋谷クラブクアトロにて、初東名阪単独公演巡業任務ツアーファイナルを行った。バンドコンセプトである“Sympathy&nostalgia(共鳴と郷愁)”がよく味わえた2時間半。その様子を、これから始まる“7大任務”の報告も兼ねて、お伝えしていこう。

Report:ERI MIZUTANI

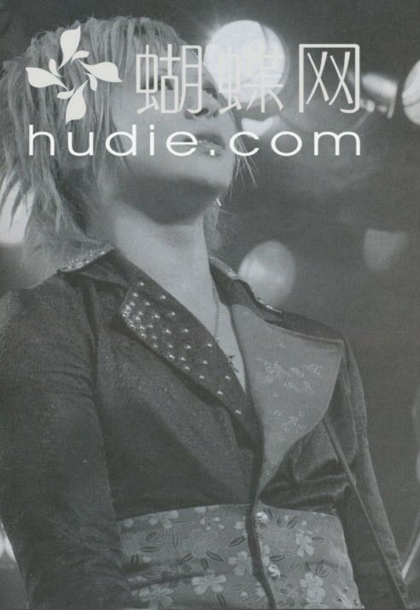
早いもので2010年の幕が開いた。と同時に、アンドの初の東名阪単独公演巡業任務のツアーファイナルが、ここ、渋谷クラブクアトロで行われたのである。正月も何も関係なく動いてしまうのが、実に、AGENTらしいではないか。ちなみに、当日は、通常の開演時間よりも早めのスタート（何と、16時の定刻きっかりに演奏開始）となったわけだが、フロアを見渡してみると、人、人、人。何とも縁起の良い大入り具合だったわけだ。とは言え、そこで普通の始まり方を見せるほど彼らはヤワな奴等ではない。

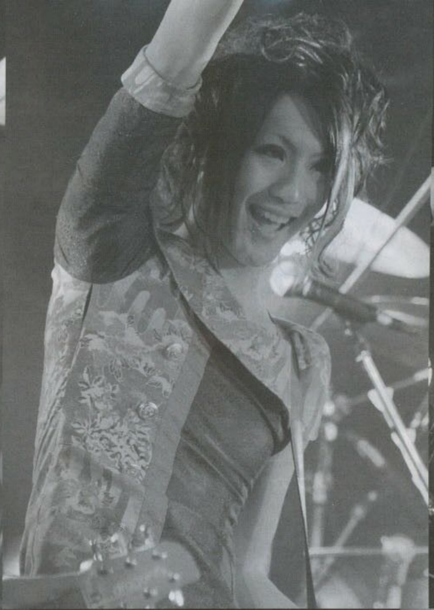
まずは、昨年発売されたファーストフルアルバム『-&-』に収録されているSE「-Security-」でフロアの様子を伺うも、簡単には姿を現さない。辺りには緑色のスモークが立ちこめ、赤いサイレンランプが物々しく鳴り響く。思考回路がかき乱だれたところで、ようやく5人がステージ上へとやってきた。それを見て、AGENTたち（ここではファンのことを指す）は、半ば半狂乱になりながら出迎えたのだった。

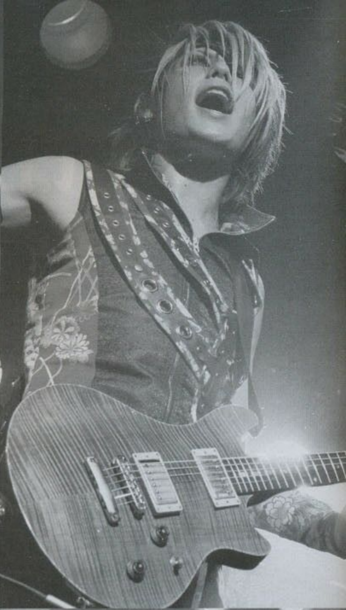
「クアトロかかってこい!」これでもかと言うぐらい、眼をギラつかせて叫ぶ郁磨。この眼こそ、任務に対して絶対の自信を持っている証だ。ということは、今日はいつもとは一味違うライヴになるはず。もちろん、その予感は的中した。そこから先の煽りナンバーは、鈴音のパワフルなドラミングを中心に、弦楽器が後に続いていく。激しくも繊細な音を次々と奏でる、キリ・PECO・け[illegible]は確実に、2009年のアンドとは違っていた。とにかく、感情の持っていき方が早い。よく、主人公の気持ちになりきって…とあるが、彼らが見せたの[illegible]それで、しかもそれが、ヴォー[illegible]ならず、楽器陣までもが曲の世界観に入りむとは驚きだ。「共栄会」では、[illegible]知らずのところを存分に引き出し[illegible]「カラノカラダ…」では、行き場の[illegible]感情を表現豊かに演奏に乗せた。5人の感情が一緒の方向を向いたことで、[illegible]の持つ怒りや悲しさが強くなり、[illegible]は違う味わいが出た。だからこそ、AGENTも、心の底から主人公に共感できたに違いない。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com







【セットリスト】
1.CODE「B」
2.ブラック アウト
3.共栄会
4.犠
5.ジャック・ザ・リッパー
6.偽りの笑顔…偽りの向こう…
7.疑心暗鬼
8.蜘蟲
9.命ノ鐘ハ鳴リ響ク
10 カラノカラダ…
11.蜥蜴-トカゲ-
12.恋スル@BOY
13.—不人道—
14.ギャング 5〔five〕
15.Sobut
——encore1——
EN-1.シグレ
EN-2.D.D.T
——encore2——
WEN-1.あやめ
WEN-2.MAD DOG
WEN-3.宣戦布告

これも彼らの任務の特徴だ。その言葉どおり、「蜥蜴-トカゲ-」「恋スル@BOY」「-不人道-」といった過去曲が皆の度肝を抜いていくことに。ラストには、フロアが縦横無尽に暴れまくる「Sobut」を。これを見て、今ツアーで彼らが収穫したものの大きさを感じなかったAGENTはいないはずだ。

その後、2回に渡ってアンコールが行なわれた。そのときの彼らときたら、実に良い表情をしていた。ツアーが無事にファイナルを迎えたから、という前に、ここに集まってくれたAGENTの1人1人があまりにも楽しそうな顔をステージに向けていたからなのだろう。その、作り物ではない姿に、彼らは感動し、〝素〟を出して喜んだのだ。子供のように無邪気な姿、それは、見ているこちらまで嬉しくなるほどだった。そうそう、嬉しくなるといえば、これから始まる、〝7大任務〟についても知らせておかねばならない。

まず、Mission.1として、この日の様子を収めたDVD「任務報告録」が発売される。彼らの成長の過程を知りたいのならば、是非。そして、Mission.2は、ニューシングル「煉獄（レンゴク）」の発売が決定したとのこと。更に、Mission.3では、都内某所にて限定丸秘任務が行われる。3月は忙しくなるなと思った矢先、またしても5月ニューシングルを発売してしまうのだ。これがMission.4。そんな新作を引っ提げ、6月には初の5大都市単独公演巡業任務が決定。とまぁ、発表できるのは、このMission.5まで。残りの2つは、今は秘密だそうだ。

「これから始まる7大任務、1人も欠けることなく付いてこいよ!」そう告げた郁磨の眼は潤んでいた。これからの進み方がわかったツアーとなっただけに、感慨深いものがあったのだろう。たくさんの拍手で締めくくられた初の東名阪単独公演巡業任務ツアーファイナル。可能性を感じたライヴだっただけに、彼らがこれからどこまで伸びていくのか、もっともっと追い掛けていきたくなった。

…そう、任務はまだ始まったばかり。ここで満足している場合ではないのだ。

MIX LEMONed JELLY 2009 ★feat.hide Birthday Party!!★」

2009/12/13 Live at KAWASAKI-CLUB CITTA'

年末恒例、hideのおもちゃ箱が今回も賑々しくオープン!!

2009年12月13日。川崎クラブ　チッタにて年末恒例hideの『MIX LEMONed JELLY 2009』が行われた。
今回もジャンルにとらわれることなく、バラエティーにとんだ面々を集めて賑々しく行われた。
ステージ上が楽しいのはもちろん特殊メイクのブースもあったりして、会場全体がワンダーランド化した夢の空間。
そカオスな空間をレポートします。

Report:YUUSUKE KATOH
Photography:OSAMU OGAWA (Monkey photo)、RYOUMA IGA (Monkey photo)

蝴蝶网
hudie.com

【Who The Bitch】

M-1 HI! Jack!
M-2 My style
M-3 sadistic
M-4 リベラル
M-5 Rest
M-6 DICE
M-7 Super sta

【heidi.】

M-1 TELL ME (hide)
M-2 ヘヴン
M-3 レム
M-4 泡沫
M-5 ツタツタ
M-6 翼

1996年、千葉マリンスタジアムでスタートした〝MIX LEMONed JELLY〟も回を重ねること14回目。しかも今回はhideのバースデーパーティーも兼ねているということで、参加アーティストは例年以上に、hideが立ち上げたコレクション〝LEMONed〟のキーワードである〝コワいい〟顔ぶれが集まっていた。オープニングを飾った女性ツインボーカルの3ピースバンド、Who The BitchはPUFFYがメロコアバンドをやったらきっとこんな感じになるんだろうな的な熱さとユルさを同時に感じさせるライヴで会場を温め、〝ボクサーパンツを履いた大西ライオン〟（笑）ことMURATORIXは、hideのナンバーを自らアレンジしたオリジナルのカラオケに合わせて8弦ギターを弾き倒す超絶テクと、〝軽いギター漫談だと思って見てくだされば〟といった軽妙なトークでオーディエンスをグイグイ自分の世界に引き込んで行く。

結成25周年を迎えたニューロティカも日本を代表する〝コワいい〟バンドとのひとつ。25年間変わらないピエロのメイクで、プライベートでは町内会の副会長であることを暴露しながら（笑）、スタンドに立てたシンバルを飛び蹴りで鳴らすボーカルのアっちゃんのコミカルなステージングと、〝みんなで歌おうパンクソング　みんなで騒ごうニューロティカ〟というキャッチフレーズ通りのハッピーなパンクソングでフロアにモッシュを巻き起こすと、続いて登場したDJ-INAはzilchヴァージョンの「DAMEGE」などレアなトラックを回しながら「MISCAST」や「TELL ME」でオーディエンスをDJブースに上げてエアギター大会を開催。次々にブースに上がろうとするオーディエンスに先に上がっていたオーディエンスが手を貸すフリーでアットホームな光景は、hideが目指していた〝オーディエンス参加型イベント〟そのものだった。

hideゆかりのアーティストはINAだけではなかった。hideに〝お助け怪人〟と呼ばれていたPATAに加えhide with Spread BeaverのDIEも正式メンバーに加わっ

蝴蝶网
hudie.com

【ニューロティカ】

M-1 ドリンキンボーイズ
M-2 サル手品
M-3 気持ちいっぱいビンビンビン
M-4 ライブハウスモンスター
M-5 嘘になっちまうぜ
M-6 チョイスで会おうぜ
M-7 絶対絶命のピンチに尾尻を高く上げろ!

【DJ-INA】

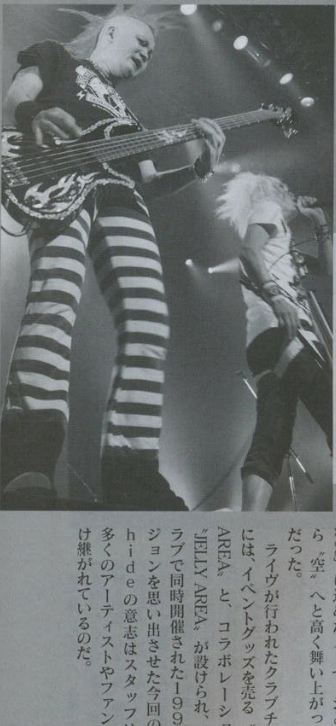
M-1 禁断のピンクスパイダー/hide with RIZE
M-2 DAMAGE/zilch version
M-3 FISH SCRATCH FEVER[GO FISH BOYS!!!!]/hide with Spread Beaver
M-4 Space Monkey Punks From Japan~Beauty & Stupid
M-5 ever free(スペシャルメドレー)/zilch~hide~hide with Spread Beaver
M-6 MISCAST/hide
M-7 TELL ME /hide with Spread Beaver
M-8 MISERY/hide

【MURATORIX】

M-1 ピンクスパイダー(hide)
M-2 ever free(hide)
M-3 TELL ME(hide)
M-4 ROCKET DIVE(hide)
M-5 hiroshi

【Ra:IN】

M-1 Circle
M-2 Happy
M-3 Crying
M-4 Psychogenic
M-5 Puzzle
M-6 Wish
M-7 Withユn You



【hide】
『hide Special CLIPS SHOW』

M-1 MISCAST
M-2 DICE
M-3 BACTERIA
M-4 EYES LOVE YOU
M-5 Beauty & Stupid
M-6 ELECTRIC CUCUMBER(zilch)
M-7 Junk Story
M-8 TELL ME
M-9 ever free
M-10 ピンクスパイダー ~13回忌告知~
M-11 ROCKET DIVE

【金角VS銀角(Chirolyn & DIE)】

M-1 奇跡が起きるまで
M-2 君の中の少女
M-3 可愛いあの娘
M-4 FIVE
M-5 POSE(hide)
M-6 ナチュラルボーンオナニスト
M-7 君は変わっちまった

重厚なアンサンブルで壮大なネイチャー・ドキュメンタリーを見ているかのような世界を表現。そのDIEと、同じくhide with Spread BeaverのChirolynとのユニット、金角vs銀角は、hideのソロライヴで演奏されていたDIEの「ナチュラルボーンオナニスト」やChirolynの「君は変わっちまった」で、まるで1996年の〝PSYENCE A GO GO〟にタイムスリップしたかのような感覚を味わせてくれた。

2番目に登場したheidi.も、直接面識はなかったもののhideの事務所の後輩であり、2008年5月4日に味の素スタジアムで行なわれた〝hide memorial summit〟に出演するなどhideゆかりのバンド。1曲目に「TELL ME」のカバーを持って来てファンと一緒にhideの誕生日を祝うと、その声を続く「ヘヴン」で〝空〟へと届けて行く。「今日はこんなに素敵なイベントに出させてもらえて光栄です。最後まで飛ばして行こうと思うので、最高の1日にしましょう!」

義彦のMCに続いては、ラウドなバックと和風なメロディとのコントラストが印象的な「レム」と、よりロック色が増した「泡沫」でheidi.らしさをアピール。ナオとコースケと桐は演奏中何度も目を合わせて笑い、義彦も「ツタツタ」でナオと1マイクで歌とコーラスのかけ合いをしたり、コースケに寄り添って肩を抱いたりと、心からこの場を楽しんでいる。そしてラストの「翼」は、hideが「ピンク スパイダー」や「ever free」に込めたメッセージと重なりながら〝空〟へと高く舞い上がって行ったのだった。

ライヴが行われたクラブチッタの周辺には、イベントグッズを売る〝LEMONed AREA〟と、コラボレーションBar〝JELLY AREA〟が設けられ、4カ所のクラブで同時開催された1997年ヴァージョンを思い出させた今回の〝MLJ〟。hideの意志はスタッフはもちろん、多くのアーティストやファンに確かに受け継がれているのだ。

SHOCK WAVE アポロ Vol.33

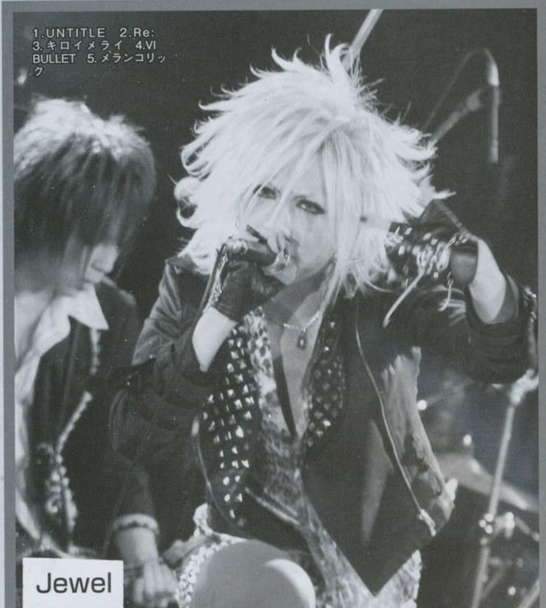
Live at 高田馬場 AREA 2009.12.18

毎月18日に、高田馬場AREAで開催している「SHOCKWAVE アポロ」。年内最後となった12月18日に出演したのは、ALiBi/Zip.er/Jewel/exist†trace/カル・ヴァリ/SKULL/spive statesという豪華な面々。クリスマス前の華やいだ時期に彼らがお届けした熱狂の模様を、お伝えします。

ALiBi

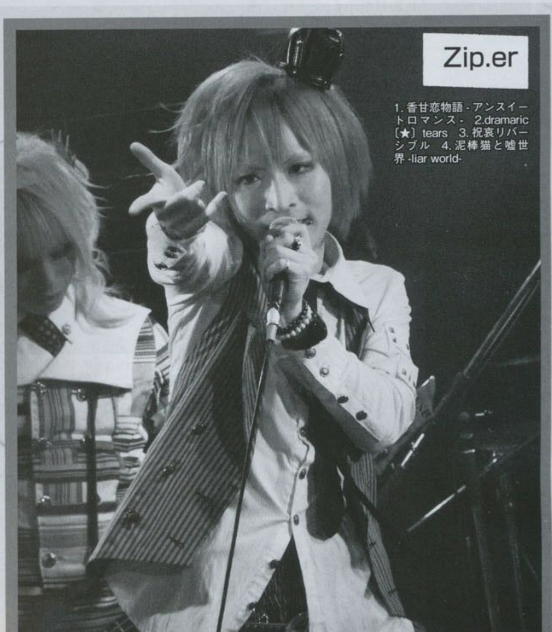
1. レッドチェリーパイ 2. チャオ★ 3. バイオレットパンサー 4. イエローバナナサーフィングー

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:TOMONORI NAGASAWA



Jewel

1. UNTITLE 2. Re: 3. キロイメライ 4. VI BULLET 5. メランコリック



Zip.er

1. 香甘恋物語 -アンスイートロマンス- 2. dramaric〔★〕tears 3. 祝哀リバーシブル 4. 泥棒猫と嘘世界 -liar world-

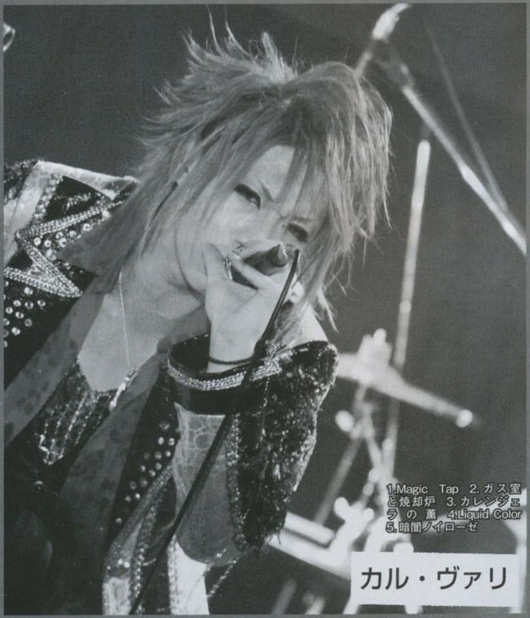
幕が開いたとたん、会場に一気に花が咲き誇ったようだ。歪んだギター音が視神経を刺激しながらも、軸にあるのは彩り豊かなポップワールド。「レッドチェリーパイ」を通したALiBiの演奏が弾けると同時に、それまでモノクロ色だった会場に、カラフルなパンチ振りまいた極彩色な音の花が咲き誇り出した。思わずニヤニヤ笑顔浮かべてしまう、「チャオ★」へ触れたときの胸のときめき。一転、激烈メロ作「バイオレットパンサー」を通した熱で揺れ、ロマンチック歌「イエローバナナサーフィングー」まで、会場中を派手に染め上げてくれた。

カラフルな色へ滲んだ輪郭が現われた。優等生の顔の裏に隠されたヤンチャな男心。そんな親しみやすくもプチ不良な印象を与えてくれるZip.er。「香甘恋物語-アンスイートロマンス-」など、まさにホロ甘い、身体揺さぶる楽曲だ。胸キュンするほど大好きだけど、でも閉まっておきたい心のB面ソング「dramaric〔★〕tears」。タオル振りまわしパーティ気分を満喫した「祝哀リバーシブル」。「泥棒猫と嘘世界-liar world-」を通した熱狂など、ヤンチャな姿に何時しか誰もが惚れ込み、思いきり熱狂していった。

これまでのカラフルな彩りから、一転。地の底からズンズン響きを上げるように否応なく身体揺さぶる轟音ナンバーを叩きつけたのがJewel。メロディックな面もあるとはいえ、身体をバイオレントな感情へ導き入れてゆくバンドなのは間違いない。まだまだ演奏面では爪の甘さはあるが、そこはむしろ勢いでカバー。泣きメロと激なウネリがミックスアップした、「トロイメライ」。このバンド、リズム隊の重厚な音導き出す高揚性が大きな魅力。「VI BULLET」のよう煽り曲では、否応なく感情を昂らせてゆく。その姿に心地好く圧倒された。

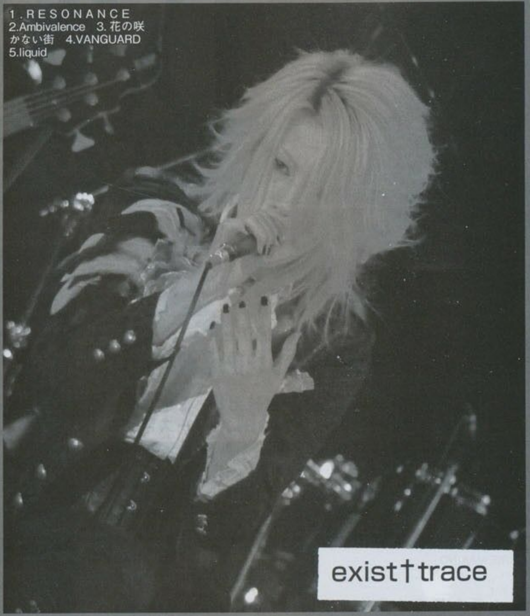
麗しき男装の麗人たち…と思ったら、とんでもない。昂る感情吐き散らし、激烈な音を叩きつけ、観客たちを奈落のカルナバルへ導いてゆくexist†trace。暗鬱耽美／激烈高揚歌「RESONANCE」。魔境な宴描き出す「Ambivalence」など、荒れ狂う激な演奏劇を作り上げるが、

蝴蝶网 hudie.com



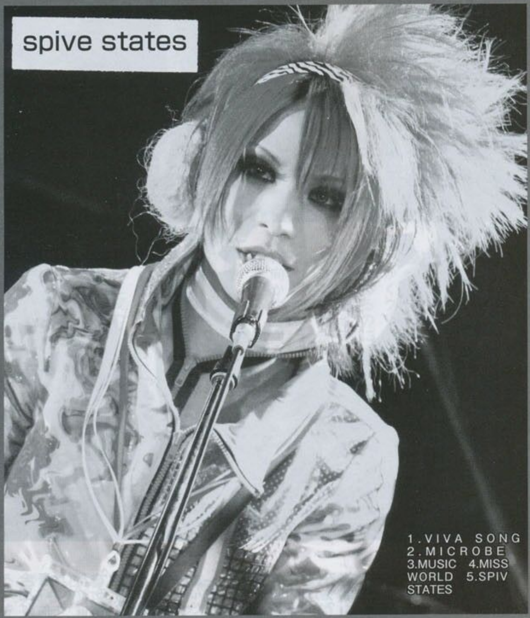
カル・ヴァリ

1.Magic Tap 2.ガス室と焼却炉 3.カレンジェラの薫 4.Liquid Color 5.暗闇ノイローゼ



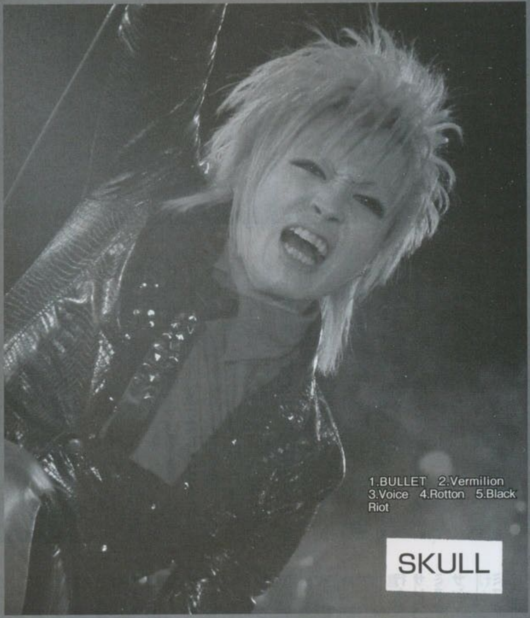
exist†trace

1.RESONANCE 2.Ambivalence 3.花の咲かない街 4.VANGUARD 5.liquid



spive states

1.VIVA SONG 2.MICROBE 3.MUSIC 4.MISS WORLD 5.SPIV STATES



SKULL

1.BULLET 2.Vermilion 3.Voice 4.Rotton 5.Black Riot

女性だけに線の細い歌声だけはカバーしようがない。しかしそこは繊細さとして彼女達の武器でもある。幻影耽美な独自世界を描き出している艶劇なバンドだけに、異質な黒花へ強烈に惹かれてしまった。

スタイリッシュ&メロウな歌と演奏響かせる「Magic Tap」からの幕開け。だが次第に楽曲は、耽美でヒステリカルなムードを織れ織り始めた。秘めた狂気を、妖艶な表情に包み込み届けたカル・ヴァリ。続く「ガス室と焼却炉」から、高揚のアクセルを徐々に強く踏み始めた彼ら。一転、むせび泣く感情のままに唄いあげた幽玄歌「カレンジェラの薫」。幕は、ふたたび開放の調べへ。「Liquid Color」が聴き手の感情を晴れやかに空へと導けば、「暗闇ノイローゼ」では、狂気と狂騒の坩堝の中へ観客たちを落とし込んでいった。

やべぇ～よ！　とても重厚なのに、すっごい鋭利な音だよ。まさに「BULLET」というタイトルに相応しい、身体貫く撃鉄振り降ろした剛健な楽曲を撃ち放ってきたSKULL。血が逆流するほどアドレナリンを沸騰させていくのは、重いウネリの中でも、しっかり歌が心を突き刺していくからだ。スクリーム&メロ／緩急ドラマ構築しながら嘆きの恍惚へ誘った「Vermilion」。ミッド&ヘヴィな加圧グルーヴの中へ、絶頂のドラマを描いてゆくSKULL。掻きむしる感情の高揚を描くうえで必要なのは、いかに魂をバックドラフトさせるか。その意味を彼らが身を持って教えてくれた。

ex.PhantasmagoriaのJUNと伊織が結成したspive states。ステージ上に上がったJUNや伊織を観たときは、X JAPANのhideが舞台上に甦った錯覚を覚えてしまった。しかもステージ上から弾き出されたのが、オモチャ箱をひっくり返したようカラフルで遊び心満載／SONIC BEATな歌の数々。脳幹掻きまわすマジカル／フリーキーなバブルロック歌「MICROBE」など、その音楽に触れているだけで恍惚のままトリップしていける。こんなにも心がBOOSTした感覚は久しぶりだ。この衝撃、シーンに絶対ヤバい恍惚の一撃を放っていくぜ！

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX MODE

SHOXXが厳選してお届けする最新情報!!

ヒトツメ

とりあえず、今の自分たちを出し切ろう。

に1年以上もの間、音源リリースの途絶えていたヒトツメ
ら、ようやく新作が届けられる! 2月3日にリリースされる
ぜ、ろ』では、"ゼロになろう"という意味合いのもとに作られ
というだけあって、現時点の…それ以上に成長したヒトツ
の姿を見せてくれている。3月7日に行なわれる主催イベン
では、何やら重大発表も予定されているとか…2010年のヒ
ツメは今までよりもパワーアップしているようですよ!!

erview:RIE MAKINO

SHOXX VOICE!!

―今作『ぜ、ろ』は、新曲4曲に加え、再録された過去音源2曲が収録と。

ミスター：過去音源はライヴでよくやってる2曲で、新曲に関しては、10曲以上ある中からライヴ向きの曲を集めました。実際にライヴでよくやってるのは「色の無い世界」くらいなんですけど（笑）。

景：だから、アレンジしながら録っていかなきゃいけなくて、レコーディングは結構大変でしたね。でも逆に、再録のほうが苦労したかも。過去音源を持っている人に対して、期待を裏切らないと再録する意味がないんで。頭を悩ませました。

―聴き比べてみたらかなり違いました。

景：違ってました？ よかったです。

―新曲も含め、全体的にキレがよく、各楽器の音のバランスもよくなってて。あと、複雑なアレンジの中でもより分かりやすくなってきたかなって。

景：そうですね、引き算と足し算がうまくなってきたかもしれない。ただ、レコーディングは勢いで録りました。カチカチしてるとつまんないんで。ね、カイリ?

景：ほぼ一発録りくらいの勢いだよね。

サンジ，：この中で唯一聴かせる曲の「泥濘」は、意識分けしてやりましたけど。どれだけムードが出せるかっていう。

―ミスターさん、歌に関しては?

ミスター：歌ったものを聴いた時に、声がちょっと変わったなって思って。あと、前は出なかった声がよく出るようになって。多少は成長してるんだなって思いました。

―歌詞は、相変わらずネガティヴな、救いのない感じですねぇ（笑）。

景：そういう人たちが集まってますからねぇ。

―「色の無い世界」以外、ほぼ恋愛の歌詞ですけど、ミスターさん、プライベートで何かあったんですか?

ミスター：いや、何かあったわけではないです!（笑） 今回、歌詞はすごい悩んで、全然書けなくて……（苦笑）。

サンジ，：ミスタースランプですか?（笑）

ミスター：ええ、ミスタースランプだったんですよ（全員爆笑）。

―そのミスタースランプに陥ってる中で

ミスター：今までは"この曲の歌詞を書こう"と思ったらポッと出てきたんですけど、今回は全く出てこなくて……。

景：俺がだいたい"こういう歌詞にしてよ"ってキーワード的なものを言ってたしね。"車に跳ねられればいいよ"とか"走ってる電車に頭ぶつければいいよ"とか。

ミスター：今回は景さんから"ちょっと悲しい感じの歌詞を書いて"って言われて。今まではだいたい人が死んでたんで、それをなしにして悲しい歌詞ってどういう歌詞なんだろう?と思って。

―あぁ、確かにネガティヴな中にも悲しさがありますねぇ。

景：今回は誰も死んでないの?

ミスター：そう……ですね、死んでないです。"死ねばいい"って言ってるだけで殺してはないですね。今まで"どういう意味だろう?"って思われることが多かったんで、今回は分かりやすくしようと思って。且つ、感情移入しやすい歌詞を書きたかったんですよね。「幻惑」は、カイリさんが初めて作詞をしたんですよ。ただ、全く意味が分かんなかったんで、Aメロだけ残して僕が書き直して。

カイリ：良くしてもらいました（苦笑）。これは夢のない世界のことを歌ってますね。夢というか理想というか……

ミスター：主人公の過去に何かあって、それがずっと忘れられないっていう。カイリさんの言葉を訳すとそういう感じです（笑）。

―『ぜ、ろ』というタイトルの意味は?

ミスター：完全にB'zのマネです。「ZERO」という曲が好きだったんで（笑）。

―ホントに!?（笑）

サンジ，：B'zは関係ないにしても、意味的には"ゼロになろう"っていう感じで。とりあえず今の自分たちを出し切ろうと。

景：別に解散するわけじゃないですよ?（笑）

サンジ，：今回は僕ら以外の人の手が加わってる作品なんですけど、よりパワーアップしてると思うのでぜひ買ってほしいですね。

―2月に名阪でツアーが行なわれますね。

サンジ，："寺子屋"レーベルに所属してる3バンドが同時に音源を出して、合同でツアーを廻るんですよ。だから正直、負けらんねーなっていう。いいライヴにして、いちばん印象に残して、いちばんCDを売りたいなって（笑）。

―3月7日にはヒトツメ主宰イベントも行なわれるそうで。

サンジ，：そこで重大発表があります!

ミスター：何ですか? 重大発表って。

サンジ，：何にする?

―ここで決めないで～!（笑）

ミスター：そこで○○○○が発表されるので来てください!

**―まだここで言っちゃあダメでしょ!!（全

イヴ・スケジュール】2月23日・名古屋ELLsize、25日・大阪ブランニュー、3月7日・新宿マーズ。 http://www.hitotume.jpn.ch/

西暦2010年。
5回目のバースディは何の予感!?

たくさんの作品とライヴを残し、充実した活動と共に成長を重ねた2009年のネガ。もちろん2010年も、その勢いは止まりそうにない。年明け早々に全国ツアーをスタートさせ、3月20日渋谷RUIDO-K2にてツアーファイナルとなるワンマンライヴ、4月30日渋谷O-WESTにて主催イベントを行う。5周年を迎える2010年を占うためにも、ぜひこの日は会場に足を運んでほしい。2010年、さらなる進化を遂げる彼らの片鱗が目にできるはず。

Interveiw:MIYUKI MURAYAMA

SHOXX VOICE!!

ネガ

04200921580406177042

——09年は、リリースが多かったですね。

優：でも、ライヴも多かったんですよね。

Ray：ライヴ行ってレコーディングしてライヴしてレコーディングして、ずっとその繰り返しでしたね。

ル：夏にフルアルバムを出したい気持ちがあって、皆がアルバムに向けて、自分達が今出来ることを精いっぱいした一年でしたね。

SAN：個人のパートごとに、08年と比べると進化したと言うか、変わって来たっていうのを感じますね。僕はギターはかなり変わったと思います。07、08年辺りは、単純なバッキングとソロみたいなのが多かったんですけど、そういうのをやめて、リードプレイに徹した感じですね。ライヴでも印象的なフレーズとかリフを入れて、弾いててコピーしたくなるようなのを意識して考えたりしました。

優：SANちゃん、すごく変わったと思いますよ。今はすごくライヴを楽しんでる感が伝わって来ますね。

SAN：楽しむことが出来るようになったと言うか。変にキャラを作るんじゃなくて、ありのままだと思うし、そういうのは出せるようになったと思います。2010年はそこから自分のスタイル、ネガのSANって言ったらこういう人やろっていわれるように頑張ろうと思います。

——他の方が変わったところは?

優：僕は全然変わりましたね。08年はとにかくクリックを聴いて、全体の演奏をまとめるのに必死で、自分のプレイスタイルを忘れてたところがあって。09年に入って、自分はこういうドラマーになりたいっていうのを思い出して、今はそれに向かって突き進んでます。迷いはなくなったし、ドラム以外にSEとかピアノとか、個人でもすごいって認められる人になりたいって野望もありますね。

Ray：表現の仕方とかは基本あんまり変わってないんですけど、皆が向かって行くひとつのものが見つかったんで、精神的に変わったなって思います。リーダーとしても、もっとより皆をまとめて行くっていう意識が強くなりました。

ル：ライヴの表現としては、いろいろブレてた部分とかを一回りして、初期に思い描いてたようなヴォーカリストを目指してると言うか、本当に曲に入り込んで溶け込むような。音源制作のときでも、皆で作り上げて、より深いところまで行けたと思うし、メンバーが自分を理解してやりたいようにやらせてくれてると思うんで、それは嬉しいですね。

——そんな活動の中で09年の一大事件と言うと何でしょう?

優：11月の大阪のワンマンで、1曲目でMTRが壊れてしまって、絶望的な気分になりました。そのワンマン中、そのことしか頭になくて、最悪でした。

ル：本編はそっちに気を取られて入り込めなくて、アンコールで、俺は正直にそれを言ったんです。納得行かなかったって。そこでファンに逆に支えられて、アンコールはすごいいい形で締めくくれたんです。ファンとの絆とかKISAKIさんやメンバーとの絆とかを感じて、こういうライヴもあるんだなって思いました。

——音楽以外の面で何か事件は?

ル：新潟のホテルとか（苦笑）?

優：ツアーで行ったときに、国体があってホテルが全然取れなかったんですよ。Rayさんが見つけて来たホテルが、ホームページではすごい豪華なんですけど、いざ行ったら、どう見ても廃墟なんですよ。家族でやってるみたいな感じで、ご飯食べててもそこの家の子どもが見に来るんです（笑）。

Ray：家族総出みたいな感じで向かえてくれて。優もテンションが下がって。

優：風呂もめっちゃヤバくて、俺わざわざ外に入りに行きましたからね。でも、最後は家族に情が出て来て、感動的な別れになったんです。

Ray：ウルルン滞在記みたいな（笑）。

優：2月にもツアーがあるんですけど、どうしようかなって。

ル：行くの?

一同：（笑）

——2010年は、まずツアーからですね。

ル：勝負を賭ける一年のスタートになりますね。

Ray：5周年の年なんで、今までで一番攻めて行こうかと思ってます。3月20日のワンマンは、今までのワンマンの中でも一番重要になると思います。

SAN：いいスタートが切れるようにしたいですね。

hudie.com

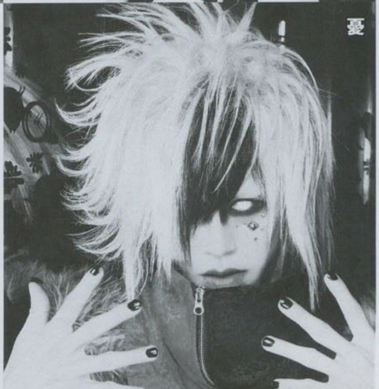
VANESSA

SHOXX VOICE!!

プリミティブ・マイ・マインド

ニューマキシシングル「プリミティブ・マイ・マインド」は、前作「ワールド・イズ・マイ・マインド」との連動作となっている。"始まり"を描いた前作、"終わり"を描いた今作、それを頭に置いて聴き比べてみるのも面白いだろう。じわじわと浸透し始めているVANESSAパンデミック、それが今後どのように拡大されるのか気になるところだ。
（ギター・鴇はインタヴュー欠席です）

Interview:ERI MIZUTANI



―新作ではどのようなことを打ち出したかったのでしょう?

元規：これは、前作「ワールド・イズ・マイ・マインド」との連動作として捉えてもらいたいんです。新世界の誕生を描いた前作、そして、破壊を描いているのが今作で。簡単に言ってしまうと、始まりと終わりをこの2作で表したかったんですよね。ただ、今作に関しては、選曲会の時点で10曲以上あったので、そこから選ぶのが大変でしたけど。

―それで選ばれたのが、この3曲。

元規：これだ！と思ったものを並べてみました。1曲目の「胎動」は僕が作り、2曲目の「Shirley」と3曲目の「world end」はハルキが持ってきたんですけど、どれも異なる色だけに面白いものに仕上ったと思います。

―まさか、「胎動」のような雰囲気重視の曲がオープニングを飾るとは思いませんでした。

憂：ですよね、俺もそう思いました（笑）。

元規：でも、僕としては、これをどうしても1曲目にしたくて。やっぱり、前回の流れを考えると、この曲しかないだろうと。それだけに、「ワールド～」が出来上がる前から構想は練っていたんです。

ハルキ：俺は、その時点でコンセプトを聞いていたんですよ。で、そこまでしっかりと固まっているんだったらやってみようよって言ったのを覚えてます。

―まさに、挑戦ですね。

恋一：僕としては、新しいことをやっていきたいと思っていた矢先だったので、この曲はすごく入りやすかったです。

―そうそう、新しいと言えば、「Shirley」も。

ハルキ：これ、サビは結構大きく変わったんです。でも、リード曲狙いで作ったというわけではないんですよね。

―かなり、耳に残りますけど。

元規：とりあえず、ノリの良い曲を作ろうよってことだったからね。

憂：そうだね。ま、そこら辺はお手の物ってこともあり、レコーディングは順調でした。

恋一：けど、大変なこともあったんですよ。これ、ベースラインがかなり動いているじゃないですか。そこは周りの人たちのせいなんです。

憂：えっ、俺、言ってないよ。

ハルキ：それはきっと、黒いギター持った人（鴇）のせいでしょう（笑）。

恋一：（笑）。でも、それがあったからこそ、自分のやりたいことが見えてきたので良かったです。

元規：僕も自分と戦いましたね。これ、キーが高かったんですけど、そこに負けずに歌っていきました。やっぱり、そこを変えてしまうと曲の持ち味がなくなってしまうと思ったので。

―ひとつ違うだけでも、印象はがらりと変わってきますからね。

ハルキ：結果、こういう形になって良かったと思います。

―そして、ラストの「world end」もハルキさんの曲ですが。

ハルキ：前作の最初を飾った「new world」との流れを組んで作ったんですけど、明るさと暗さをうまいこと提示できたのではないかなと。

元規：これ、最初に聴いたときからかっこよさを感じていて。で、今作に入ることになると決まった瞬間、詩のイメージがバーッと浮かんできたんですよね。なので、書くのは早かったですよ。最初にも言ったように、ここでは終わりを表しています。

憂：とは言え、ドラムの音に関しては、詩を意識して組み立てていったというわけではないんですよね。曲を聴いて思ったものを出していったという感じなので。それで、基本的なリズムを出してみたんですけど、意外と難しかったです。けど、それを気付けたのは良かったですね。

恋一：個人的には、勢いのある感じで弾いていきたいと思ったので、ガツガツした音を目指しましたね。なので、そこを聴いてもらいたいと思います。

ハルキ：きっと、この曲こそ、ライヴで化けるんじゃないかなぁって。

―そこは、これから期待しておけよ、ということですね。

元規：そうですね。1月16日には主催イベントがあるので、まずはそれを期待しておいてもらいたいです。そして、もっとみんなのことをパンデミックさせていきたいと思っていますので、ここから楽

イヴスケジュー　●1/26渋谷BOXX、2/3高田馬場AREA
）東京都新宿区高田馬場3-3-8-609

nudie.com

R指定

SHOXX VOICE!!

拝啓、薔薇色な日々よ

R指定のニューマキシシングル『拝啓、薔薇色な日々よ』は、3月24日にリリースされる1stフルアルバム『人間失格』のことを考えながら作ったものだそう。ということは、このシングルはアルバムへとつながる大事な鍵。それだけに、アルバムへの期待度が高まるところだが、アルバムの話はまた追々。まず先に、シングルについて解剖することにしよう。

Interview:ERI MIZUTANI

――シングルは、今春発売されるアルバムのことを考えて作ったとのことですが。

マモ：はい。それで、一癖あるものを作ろうって思ったんですよね。

――ここに収録されている3曲は、全てマモさんが原曲を持ってきたそうで。

七星：聴いたときは、こう攻めてきたかって思いました。けど、それも予想の範疇だったんですけどね（笑）。

マモ：自分の中では〝哀愁系〟というイメージがあったので、詞もそこに基づいて書いていったんですよ。もちろん、レコーディングでも、無駄な音を入れないようにしていきました。

Z：でも、1曲目の「拝啓、薔薇色な日々よ」は、こんなにストレートでいいんだっていう驚きはありましたけど（笑）。

楓：それで、ここはやりすぎたなって思ったら、もっとシンプルでいいんじゃないか、っていう話し合いをしながら進めていったんです。

マモ：その甲斐あって、イメージどおりのものになりました。

――〝哀愁系〟というところがよく出ていると思いますよ。

宏崇：僕としては、絶対に、歌を邪魔しないってことが目標でもあったんで、シンプルなドラムが叩けて良かったと思います。

マモ：それにより、曲のテーマである、女の執念が引き立ったのではないかなと。

――ですね。ところで、この曲は、アルバムからのシングルカットということですけど、アルバムを出す前にこういった形で提示してくるとは何とも珍しいことですよね。

マモ：そうですね。でも、アレンジ面で言うと、今までの曲よりはさらっといったんですよ。俺からも、みんなに注文付けずに済みましたし。

――ということは、前まではあれこれ言っていたと。

マモ：割と（笑）。

――さて、お次の「未練哀愁歌」についてはいかがでしょう。

マモ：これは、R指定にとって初めての冬の歌になるんです。鍵盤の音色が入っていたりすることで、冬のキラキラとしたイルミネーションをイメージさせられたらなと。

――歌詞は恋愛ものですけど、ここにはマモさんの恋愛観も含まれているのですか？

マモ：うーん、少なからずは（笑）。

楓：曲的には今までのR指定にはなかったものだけど、俺としてはすんなりと入り込むことができたんですよね。だから、アレンジもスムーズにいったし、良い雰囲気が出せたんじゃないかなと思います。

Z：確かに、ギター隊の2人で打ち合わせしていても、ここはこういう雰囲気でいった方がいいっていうのが明確に見えてきたんですよね。それは、感覚で見えたというか、一緒にいる時間が長かったからこそ理解できたことなんじゃないかなって。

マモ：そういうのもあって、すごく歌いやすかったですね。素直に歌えたらいいなと思っていたんですけど、そこはきっちり出せたと思います。

――また、1・2曲目とは対照的なのが、3曲目の「盲目ブギー」。

マモ：毎回、シングルを作るときに、ライヴ向けの楽曲を作ろうっていうのがR指定流なんです。それで今回、こんな曲ができあがりました。ここでこんな風にお客さんにノッてもらいたいなっていうことを意識しながら作っていったんです。

――ずいぶんと過激ですよね。

マモ：サビの頭で「変態」ってくるのはなかなかないぞってエンジニアさんからも言われました（笑）。まぁ、1曲目で女の執念を描いたので、ここでは男の執念を描いてみようかなと。

Z：そういえば、これって、録り早かったよね。

七星：リズム隊に関しては、15分ぐらいで録り終えました。

宏崇：そうそう。いかに勢いを出せるかってことを重視して録っていったよね。

楓：それに、この曲では、Aメロ、Bメロ、サビの全てで音色が違うんで、聴いていて面白いと思います。

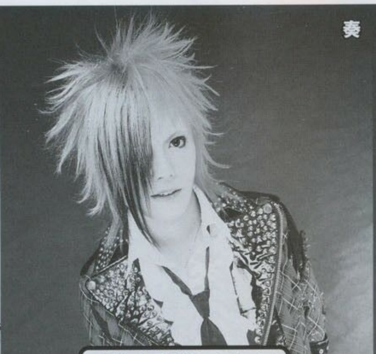
――そして、ここからアルバムにつながってくるわけですね。

七星：過去に出したシングル曲も含まれるんですけど、只今、絶賛制作中です。

マモ：『人間失格』という作品タイトルにしたんですけど、かなり良いものになるんじゃないかなと思います。

【ライヴスケジュール】●1/24渋谷O-crest、1/25渋谷RUIDO K2、2/5高田馬場AREA、3/2高田馬場AREA　（問）東京都新宿区高田馬場3-3-8-609

MIROKU


奏

コウスケ

yu-ma

Sin

SHOXX VOICE!!

α:Vout

SCAR EDGE

新生アヴァウトになってからというもの、積極的にリリースを重ねる彼ら。その原動力たるや、一体どこからくるものなのか。そして、ニューマキシシングル「SCAR EDGE」（1月27日リリース）はどのような作品になったのか。そこを訊くべく、ヴォーカルの奏、ギターのMIROKU、ベースのyu-maに集まってもらった。2010年のアヴァウトは、どうやらすごいことになるらしい。

Interview:ERI MIZUTANI

──新作「SCAR EDGE」は、いつから制作に取り掛かっていたんです？

MIROKU：「ギルティー」の頃にプリプロはやってましたね。

奏：けっこうバタバタでした（笑）。ちなみに今回の作品は、ライヴをやっていて思ったことを音にしたんです。アヴァウトのライヴでは、来てくれたお客さんから、動きたいという声を聞くんですよね。だから、そこを最大限に活かした曲を集めてみたというか。

──ということは、前作を踏まえて、というわけではないと。

奏：そうですね、そこは考えていなかったです。

──けれども、今回は伸び伸びと歌っているじゃないですか。そこは、前作を経て見えたものがあるからなのかなと思ったのですが。

奏：確かに意識することはありました。現メンバーになって2作目、コウスケが加入してからというもの、改めて、自分がヴォーカルになったんだなぁと実感したり。やっぱり、前作では探り探りな部分もあったので。なので、ギタリストからヴォーカリストに転向したことで見えたものは多かったですね。

──今の目標というと？

奏：前も今も、hideさんが目標です。だからこそ、普通のヴォーカリストではいたくはないっていう気持ちで今回の作品は作っていきましたね。

──なるほど。今回、奏さんが書いた曲は「SCAR EDGE」と「Sally」だそうですが。

奏：どちらもギター片手に作っていきました。「SCAR EDGE」はリード曲狙いで作っていったんですけど（笑）、Sinさんからのプレッシャーが大きかったんですよ。早く作れ、早く作れって。

──（笑）。それはyu-maさんにも？

yu-ma：僕にも言ってきますね。

奏：それはきっと、完璧に叩いてほしければ、早く持ってこいってことなんですよ（笑）。そんなことがありつつ、この曲ができあがったんですけど、1曲目に相応しいものになったのではないかなと。

yu-ma：最初に聴いたときは、奏ちゃんぽいけど変な曲だなって思いましたけ

MIROKU：俺は、先にタイトルを見たんですけど、これは絶対、ドロッとした重いものになるだろうって。けど、結果的に、こうした明るい曲になりました。

──この曲、コウスケさんとの相性もばっちりですね。

MIROKU：彼は、俺が持っていないところを足してくれますからね。そこはすごいなと思います。

──そして2曲目の「Sally」は、これまた奏さん曲ということですが、キャラが出ていますね。

奏：あ、ほんとですか！

yu-ma：これもちょっと変な曲だからね（笑）。でも、親しみがある感じなのでやりやすかったです。ただ、気をつけるところとしては、曲が曲だけに、単純に聴こえないようにするってことだったんですよ。なので、イメージを崩さない程度におかずを入れてみたりと気を配りました。

MIROKU：俺としては、自分の手癖に近い曲だっただけに、サクッと録り終わったんですよね。後は、コウスケとのバランスを考えてやっていきました。

奏：俺もこれはすんなりでしたね。自分の中でイメージが固まっていただけに。これはもう、自分の持っているロックを詰め込んだ感じです。

──ラストの「Sorrowful Destiny」も力強い曲ですけど、こちらはyu-maさんが作ったそうで。

yu-ma：コウスケが入ったことだし、ギターの2人にソロ対決させたいなっていうのがあってできた曲なんです。まぁ、やってくれましたね。2人とも。

MIROKU：願ったり叶ったりです。聴いた瞬間からやりたいって思ったし。

yu-ma：ライヴでは、2人がお立ち台に立って弾いてくれたらいいんじゃないかなって思います。

──1月22日にはイベントライヴもありますしね。

奏：2010年は、応援してくれている人たちに恩返しをしていきたいと思っているんです。だから、今は、しっかりとしたアヴァウトを見せていきたいと、う気持ちでいっぱいですね。

MIROKU：だからこそ、このライヴ

イ　スケジュール」●2010/1/22渋谷RUIDO K2、2/13四谷OUTBREAK、3/6渋谷RUIDO K2　（問）D.T.M Entertainment　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802　http://avout.net

蝴蝶网
hudie.com

xTRiPx

Innovation[re]isM

2月3日にリリースされるトリップのニューシングル「Innovation[re]isM」は、彼らが以前から打ち出している“フリースタイルミクスチャー”の部分がよく表れている。収録曲どれもがリード曲というだけあって、自由な感覚で聴けることだろう。そこで今回のインタヴューでは、この作品の概要について触れてみることに。このメンバーだからこそできたこと、そこに迫る。

Interview:ERI MIZUTANI

SHOXX VOICE!!

弥斗

K

将吾

ena

ruchi

——新作もトリップ節全開ですね。

弥斗：活動の拠点を東京に変えたからといって音楽のスタイルを変えるのではなく、今まで提示してきたフリースタイルミクスチャーを貫き通そうかなと。

——そんな中、重要視したことは?

ena：今は、歌のことを1番に考えていますね。もちろん、楽器隊が見せ場を作るのも大事ですよ。そうじゃないとバンドサウンドとして成り立たないんで。ただ、弥斗がヴォーカリストとしてスキルアップした分、俺ら4人はそこに合わせていくのが大事なんじゃないかって。それで、凝縮した音が出せればいいなって思ったんですよね。

——確かに、歌は以前に増してうまくなっていますものね。

弥斗：いやぁ、そんなことないですよ（笑）。でも、ほんと、今回は歌をメインに考えていきました。

——レコーディングは東京で?

弥斗：いえ、地元でやりました。ちょうど1週間前に福岡の実家に帰って録ってきたんですよ。みんなで共同生活しながらのレコーディングはやりやすいですね。思い付いたときに音が出せるし。

ena：なので、作り方に関しては以前と全く変わってないです（笑）。

——そこが、さっき言っていた、フリースタイルミクスチャーを作る上で大事になってくるところだと。

ena：結果、納得のいくものができたと思います。

——SEから始まるだけに、ライヴを意識して作っていったのかなと思ったんですけど。

将吾：個人的には、CDのできあがりのことを考えた音作りをしていきました。

——今までだったら、ライヴ向けとして作っていたところもありましたよね。

将吾：そうですね、自分の好きなものを出すっていう。けど、それだけだと足りないかなって思ったんです。

K：今回、早弾きのソロとかあるんですけど、そこも敢えてなんですよ。俺らがやったら、え!?ってなるかなって（笑）。

将吾：自分は元々、早弾きはできたんですけど、バンドに必要ないかなって思ってたんですよね。けど、「glitter」はアニメソングを彷彿とさせる曲だったので、ならやってみるかって。

ena：今回、ギターチームは相当練習したよね。

将吾：そうだね～。キッズ心に火付けられたから（笑）。

弥斗：そのおかげでダサかっこいい曲になりました。

——そこが実にトリップらしいです。らしいといえば、次の「Free☆Style☆Anthem」も。

弥斗：これは、ライヴハウスをクラブに変えることができる曲になっていると思います。

ena：トリップになかったテンポの曲だけに四苦八苦したところもあるんですけど、シンプルなだけにドラムの熱さが出せた曲だなと感じますね。

——そうかと思えば、「I+miss+U」のようなバラード曲も入っていて。

弥斗：これは、言ってしまえばJポップですけどね（笑）。それだけに、ジャンルの壁とかにとらわれずに聴いてほしいなって。ほんと、至極のバラードになったなと自負してます。でもそれは、楽器隊がきっちり対応してくれたのが良かったんだと思います。このメンバーならやれるって思って作った曲だけに、そこは大きかったですね。

——面白いなと思ったのは、ここに収録されている曲の全てがリード曲というところなんですよね。これは意図的に?

弥斗：作品タイトルをリード曲にしてしまうと、他の曲がB面的な扱いになってしまうというか。そうなるのは自分としてもすごく嫌なんですよ。だから、そこは敢えて避けて、マキシシングルでもミニアルバムのような仕上りにしたんです。

ruchi：全体を通して、やりたいことやったなって感じです。今までは、作品ができあがっても、ここをこうしておけば良かったなとか思うんですけど、今回はそういうことが一切なくて。これ以外は考えられないってできあがりになりましたからね。

——それだけに、これからのトリップがどのように歩んでいくのか楽しみです。

弥斗：これからも新しいことはどんどんやっていきますよ。それに、新年早々にはワンマンもあるので、頑張りたいと思います。

【ライヴスケジュール】●1/31新宿MARZ（ワンマン）、2/26福岡Drum B[illegible]（ワンマン）
（問）http://www3.to/xtripx

hudie.com

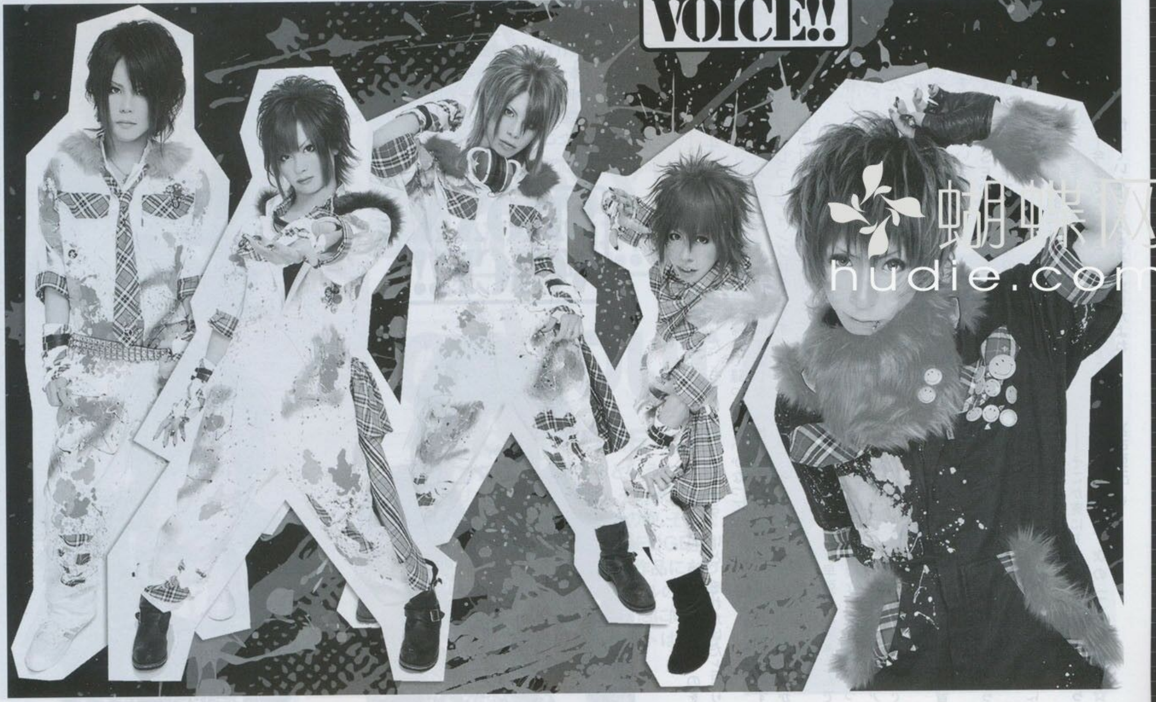
季節感たっぷりの最新チューンをご堪能あれ!!

ダウナー

「5×SPLASH IMAGINATION」シリーズを展開中のダウナー。12月にマキシ盤『Candy〔A〕diveR』を。1月27日にも、マキシ盤『ホワイトステレオスノー』を発売。現在行っている全国ツアーを経て、最後に2月11日の高田馬場AREAでのワンマンを通し、このプロジェクトをひとまず完結させていく。今回、ヴォーカルの杏がインフルエンザで。ベースのカゴメが諸事情で欠席。そのぶん3人が、思いっきり熱く語ってくれた。

SHOXX VOICE!!

Interveiw:TOMONORI NAGASAWA


蝴蝶网 hudie.com

――2nd×IMAGINATIONとして、12月にマキシ盤『Candy〔A〕driveR』を。4th×IMAGINATIONとして、1月27日にもマキシ盤『ホワイトステレオスノー』を発売します。かなり順調に進んでるよね。

凛音：でも、完成までの道のりには何度も壁がありました。それぞれの制作の合間にはツアーが入ってたり、バンド内にインフルエンザが流行り、ミウと杏が制作中に病に倒れて2人ともライヴに参加することが出来ないというアクシデントもあったり。

ミウ：そんな逆境もありつつ、この2枚の作品を作ったことで、バンドの進むべき音楽性が固まり、次への扉を開けるきっかけをつかめたのは、間違いないです。

凛音：時期によってはプリプロを演る時間さえなく、本番で煮詰めながらなんてこともあったけど、むしろそれが怪我の功名じゃないけど、曲として求めたい姿を明瞭にしてくれた面もあったんですよ。

ミウ：先にデモ音源をメンバーに配っていたので全体像を見据えながら、限られた時間の中で適材適所に必用な要素のみを加え制作しました。結果、贅肉を削ぎ落としスッキリまとめあげた楽曲を、各歌ごと成立させることが出来ました。もちろん、歌心を楽曲の芯に据えつつ、各メンバーも必用最小限のところで主張したことが、歌も、曲も、各メンバーの個性も活かす結果に繋がっていきました。

――まずは、『Candy〔A〕driveR』の魅力から、教えてください。

蝶-hirari-（以下・蝶）：冒頭を飾った『日向上昇論』は、これまでの中でも一番のポップチューン。でも、しっかりギターでも主張しているように、歌を活かしたうえでのロック曲になりました。

凛音：そうだね。ドラムはもちろん、他の演奏メンバーみんなそうなんだけど、歌詞を読みながら各自の演奏を聴いてもらえたら、それぞれが〝歌に寄り添うプレイ〟をしているのが伝わるはずだから。

ミウ：むしろ『日向上昇論』のようなキャッチーでメロディアスな楽曲を頭に据えられたからこそ、『トワイライトドリーマー』では〝哀愁味を持った激しさ〟を描き出せたし。『M.S.I.～モノラルシンカーインサート～』では、ライヴで活きる表情を求めていけたんです。

凛音：『M.S.I.～モノラルシンカーインサート～』では、ラップやスクラッチなど、リズム系でも攻めな表情を描き出したからね。そういう面では、こちらの作品は、〝らしさと新しさ〟が同居した内容だけど。むしろ1月に出る『ホワイトステレオスノー』のほうが、新しいダウナーの色が濃く出ていると思う。

ミウ：『ホワイトステレオスノー』へ収録した3曲には、あえて〝新しいバリエーション〟を強く求めたからね。

蝶：僕、1曲目へ収録した『ステレオスノー』は、これまでダウナーが作りあげた楽曲の中でも、僕は一番好きなんです。とくにサビの明るいメロを聴いてるだけで、気持ちがイッちゃいますから。

ミウ：今のダウナーが演りたい音楽性を詰め込んだのが、『ホワイトステレオスノー』なんですよ。以前までは、ライヴ感を意識するあまり、シャウト系の楽曲も作ってたんだけど。杏の歌声を一番イカす上では、やっぱし〝歌心〟を持った作品で勝負していくべきなんですよ。むしろそのほうが、他のバンドさんとの明確な差別化にもなっていくし。『ステレオスノー』が導き出す、あの哀愁味を持ったイントロや歌を聴いたら、絶対に酔いしれてしまうと思ったからね。『エ┆↓5SPEEDER 5mix』よう、ライヴで活きる楽曲も入れてるとはいえ、『肺魚槽』など、多彩な要素を盛り込んだ、こういう未来のダウナーを予感させる彩り豊かな作品にも注目して欲しい。

蝶：今回制作した2枚のマキシ盤を通し、「これからのダウナー」の姿を提示できたからこそ、2月11日に行う高田馬場AREAでのワンマンでは、さらに進化したダウナーの未来を魅せれる自信がある。しかもこの日は、新衣装のお披露目だって待ってますからね。

ミウ：今回の「5×SPLASH IMAGINATION」シリーズは、結果的に〝ダウナーの進むべき未来を提示してゆく〟道を示す場にもなりました。

凛音：主催イベントも、毎回満員御礼になってるし、進化しながらも、しっかりとファンの人たちの心へ傷痕を残しているので、ワンマンでは、決して拭い去れない深い傷痕を刻み込んでやりますよ!

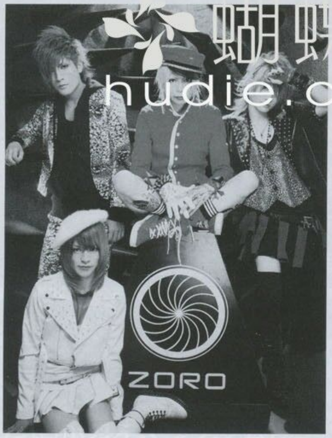
SHOXX INFO!!

ゾロ

シングル・リリース、緊急決定!!

3月3日に、2010年一発目の作品となるマキシ・シングルのリリースが決定した!!
【タイトル】GOLD CARD
【初回限定盤】DCCA-9026　¥1,365（税込）/3曲収録
【通常盤】DCCA-1014　¥1,365（税込）/初回限定盤収録の2曲+ボーナストラック1曲収録

また、ワンマン・ツアー【CRASH】も決定!!
3月5日（金）名古屋ell.FITS ALL
3月14日（日）難波ロケッツ
3月21日（日）恵比寿リキッドルーム
その他のライヴ・スケジュールは以下の通り。
1月23日・柏PALOOZA
1月30日・横浜サンフォニックスホール。
シングルについては次号にてインタビュー掲載予定なのでお楽しみに!!
http://zoro-web.com/



蝴蝶
hudie.com

Aoi

『Monthly Aoi』の第4弾アイテムを発表！

大好評のAoiとLike an Edisonラフォーレ原宿店とのコラボ企画『Monthly Aoi』。シリーズ最後のプレゼントアイテムが"Aoi特製ヘアブラシ"に決定!!　スタートは2月2日(水)からLike an Edisonラフォーレ原宿店で、商品をご購入された方先着222名様にプレゼントします！これが最後のアイテムです。お見逃しなく!!

そして、Aoiのファンクラブイベントが決定！　ファンクラブ会員のみのプレミアム夜。是非参加してね。また夏のワンマンライヴも決定。こちらも早めにチケットをゲットして準備せよ!!

ライヴ情報
★Aoiファンクラブ"MAXIM"限定イベント実施!!
日程:2010年2月13日（土）
会場:池袋 Black Hole
開場:17:30
開演:18:00
料金:前売¥3,000（ドリンク別・税込）
チケット販売方法:ファンクラブ会員のみになります。
（問）スピードハウス　☎03-5771-4139

★Aoi国内2nd ワンマンライヴ実施決定!!
日程:2010年8月7日（土）
会場:Shibuya O-WEST
開場:17:30
開演:18:00
チケットはAoi出演のライヴ会場にて先行発売中!!！
※詳細は随時、Official Home Pageにてお知らせいたします。

アヲイ

東京ワンマンライヴはもうすぐ！　急げっ!

骨太なサウンドと確かな唄（メロディー）で大阪を中心に精力的に活動を続けているアヲ
のツアーファイナルが東京表参道FABであるぞ!!　ゆるくて甘ったるいサウンドにうんざりの
タナ。緩んだヒップに一撃を食らわす超バンカラな彼らのサウンドに触れてみはいかが？
winter tour2009『ZACROnic new world』
TOUR FINAL ONEMAN
01/29　表参道FAB
開場 18:30 / 開演 19:00
前売 ¥3,000 （D別）/ 当日¥3,500（D別）

チケット発売場所:ライカエジソン新宿店 / 渋谷ZEALLINK /
ローソンチケット（Lコード:75225）/ チケットぴあ（Pコード:341-976）にて発売中。

Jully

初のベスト・アルバム発売決定!!

近頃は、怒濤のようなライヴ・ツアーといった活動が目立っていたジュリィーだが、2010年
に結成5周年を迎えるにあたり、初のベスト・アルバムのリリースが決定した！
【タイトル】『響曲集』
【発売日】3月3日
【価格】3,000円（税込）
【品番】WDL-016
詳細については、次号本誌にてインタビュー掲載予定。

また、5th ANNIVERSARY TOUR "響攻突破"も決定!!　スケジュールは次の通り。
3月7日（日）表参道FAB
■レコ発。SEX-ANDROIDとの2マン。
3月25日（木）札幌コロニー
3月27日（土）仙台マカナ
4月3日（土）名古屋E.L.L
4月4日（日）ESAKA MUSE
4月8日（木）神戸スタークラブ
4月9日（金）博多DRUM SON
4月10日（土）岡山ペパーランド

http://www.jully-web.com/

貴重盤～通常盤まで色々あります

(PC＆携帯 共通)

http://lucyspocket.com

販売＆買取 ヴィジュアル系中古CDショップ

Lucy's Pocket
ルーシーズ ポケット

http://lucyspocket.com

販売&買取

TEL 011-223-4666
lucyspocket@mac.com

ヴィジュアル系 お売りください！

【買取送料は無料】すぐに査定&入金です。まとめてお売りください！

lynch.	cali≠gari	Plastic Tree	シド
D'espairsRay	ダウト	ViViD	DIR EN GREY
THE KIDDIE	the GazettE	9GOATS BLACK OUT	-OZ-
愛狂います。	vistlip	DELUHI	キャンゼル
ギルガメッシュ	emmuree	新興宗教楽団NoGoD	cooklobin
摩天楼オペラ	陰陽座	Versailles	ゾロ
X JAPAN	SuG	ゴールデンボンバー	アンド

上記アーティストのCD・DVD・会報・パンフ・グッズ・物販写真 (貴重盤は特に高評価)

高価買取例 (リスト以外の商品も高く買います)

初回・通常・貴重盤 CD・DVD・グッズ買います

lastic Tree『あおむしドロップ(本)4千』『カメラ・オブスキュラ(DVD付き写真集)7千』『WORLDTOUR2006[chandelier]通販限定真集(8千)』忘却モノローグ(DVD付き本)4千』『ネガとポジ・シャンデリア・シロクロニクル・Cell.・Puppet Show(初回)各3千』『二次元ヲルゴール2(初回DVD)3千』Strange fruits(初回CD)5千』 **Plastic Treeに関する物は特に高く買います！ガゼット**『Verwelktes Gedicht(CD+本)5千』』『STANDING LIVE TOUR 006 NAMELESS～(初回DVD)6千』『十四歳のナイフ(配布CD)5千』『泥だらけの青春(会場限定CD)5千』『午前0時のとらうま～(CD)7千』『鬼畜教師～(CD)7千』別れ道(初回7千・2nd 8千)』**ガゼットに関する物は特に高く買います！ ViViD**『Take-off(CD)3千』、**アンド**『特攻 神風大作戦 -任務秘録-(DVD)6千』、**シド**吉開学17歳(無職)初回2万・2nd 5千』『流通盤(CD)5千』『憐哀・星の都(初回CD各3千～5千)』『『センチメンタルマキアート』(初回)3千』『Play(初DVD付き)2千』『Side B complete collection(初回)2千』**シド関係特に高く買います！ SHULA**『What's up(CD)7千』『Shu-la-tic(CD)1万』、**uG**『I SCREAM PARTY(初回)3千』『BL⇔Rock Party MonstAr(通販限定DVD)6千』、**lynch.**『underneath the skin(CD)3千』『greedy dead souls(CD)4千』『Alice(配布CD)1万』、**cali≠gari**『第5実験室(初回CD)5千』『再教育(CD)1.2万』『ブルーフィルム(初回)3千』、**D'espairsRay**『murder Day(通販版DVD)5千』蜘蛛(初回)3千』『眩惑(初回CD)2千』、**X JAPAN**『I'LL KILL YOU(レコード)2万』『ラルム(香水)未使用1.5万使用済も買取可』『スターライトヨシキ各種』、**hide**『ぬいるみ&フィギュア各種』『ミュージアム限定グッズ各種』『トライバルぬいぐるみ(7千)』、**L'Arc-en-Ciel**『『FIVE LIVE ARCHIVES(DVD-BOX)1.5万』、**ナイトメア**『トレSP&ヘン顔各種』『缶バッジ』**Janne Da Arc**『ツアーグッズ、会報、DVD各種』、**DELUHI**『Surveillance(CD)5千』、**La:Sadie's**『objexxx(配布CDS)1.5万』

各アーティストのツアーグッズ、会報、抽選プレゼント品、物販写真
貴重盤・通常盤・CD・DVD・配布モノ・会場限定など色々買わせていただきます
特典付きで売ってください(査定アップ) 大量処分も大歓迎

V系高く買います

同一アーティストをまとめてお売りいただくと +αの査定です

遠方の方は宅急便で 買取商品を着払で送ってください

送料は当店が負担させていただきますので、宅急便（佐川以外で）または、ゆうパックの着払いで1つの箱に入れて送って下さい。
送る時は必ず名前にフリガナをふって下さい。査定後、電話連絡の上すぐに送金させていただきます。分からない事がありましたら電話して下さい

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西1丁目 宮本ビル6F

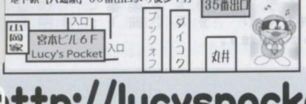
ルーシーブポケット

営業時間12:00～19:00頃

TEL 011-223-4666

問い合わせメール lucyspocket@mac.com

店頭にも売りに来てください！



http://lucyspocket.com (PC＆携帯共通)

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

Chaos System

オトガデッド

己龍

Chaos System(カオス・システム)

【メンバー】:狂華(キョウカ/Vo)TOMO(トモ/Gt)RUI(ルイ/Gt)TOMOKAZU(トモカズ/Dr)
【結成日】2009年
【主な活動場所】世界
【アイテム】
2010年2月17日　オムニバスアルバム「THIRTEEN FILE Vol.1」一曲参加
【問い合わせ】「THIRTEEN　MUSIC」　東京都台東区浅草橋4-5-2　5F
「THIRTEEN　MUSIC」　mail:info@13music.net HP:http://www.13music.net

己龍(キリュウ)

【メンバー】唯のヴォーカル　黒崎眞弥/痛絶ノスタルジック代弁第壱人者兼ギター
【メンバー】酒井参輝/ギター　九条武政/ベース　一色日和/ドラムス　遠海准司
【結成日】2007年9月
【主な活動場所】東京都内
【アイテム】2010年1月27日発売　フルアルバム「明鏡止水」、2010年3月10日発売
ライブDVD「龍驤虎視～二〇〇九年十二月七日渋谷オーウエスト単独公演～」
【問い合わせ】B.P.Records　〒651-2224　神戸市西区秋葉台1-18-16
http://www.kiryu-web.net/　info@kiryu-web.net

オトガデッド

【メンバー】Zen-ゼン-(Vo.)/伶希-リョウキ-(Gt.)/桜澤祐稀-サクラザワユウキ-/IV-フォー-(Ba.)/
由希-ユキ- (Dr.)
【結成日】2009年2月
【主な活動場所】都内近郊
【アイテム】2009年7月22日　1st MAXI SINGLE「clockwork oblivion」/2010年2月24日
2nd MAXI SINGLE「Asterisk」
【問い合わせ】http://www.otogadead.com

Chaos System

混乱と喧騒の中で、戦慄のデビュー!!

狂華(Aliene Ma'riage/Deflina Ma'riage)を中心に、TOMO(Deflower/Deflina Ma'riage/199X)、TOMOKAZU(龍神199X)の3人によってスタートした、第三期Chaos System。現在は、新ベーシストにRUIが加わり、4人で活動を行っている。彼らの音源に触れるなら、2月17日に発売となるオムニバス盤『THIRTEEN FILE vol.1』へ触れてくれ。そこからは、時代に流されない嬉しいカオスな衝動音楽があふれ出てくるはずだ。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――相棒にTHIRTEEN MUSICのHEADであり、元Deflina Ma'riage(以下Deflina)のTOMO、元199XのTOMOKAZUという盟友を迎え、第三期Chaos System(以下Chaos)が正式活動をスタートさせました。

狂華: Deflinaを活動休止させる以前も以降も、僕自身は水面下でChaosの活動をズッと続けていたんですよ。

TOMO:もともとメンバーみんな掛け持ちで始めたDeflinaだったけど、バンド自体がメンバーの予測以上に大きな動きを見せ始め、個々の動きにいろんな制約や制限が生まれてしまったんです。それでDeflinaは、突然活動を止めてしまったという背景が過去にありつつ。今回の活動に至るうえで、僕自身は最初、みずから立ち上げたレーベルのプロデューサーとしてChaosに関わり始めたんですよ。でも僕が触れたときには、メンバーはすでに狂華しかいなかった。僕はもちろん、昔から一緒にバンドを続けてきたTOMOKAZUも、ちょうどフリーの立場であり、狂華のことをよく知っていたことから、最初はセッション的に参加。一緒に音を合わせてくうち、「Chaosとして求めたい世界観へ各メンバーの持ち味を融合し、さらにスキルアップすれば、ものすごく個性の強いバンドになる」と確信したんです。3人になってから半年以上の時間をかけ、納得いく形になった時点で表へ浮上しようと決意し。レーベル第一弾となるオムニバス盤『THIRTEEN FILE VOL.1』へ参加する形を表明しながら、正式に活動の狼煙を上げたという流れなんです。

――Chaosの音楽性の軸を担っているのは、狂華さんなんですか?中には、TOMOさんらの色も強く感じたもので。

TOMO:狂華は漠然としたイメージしか言わないので、その想いを受け止めたうえでデモ音源を作り、そこから徐々に、煮詰めてくという流れなんですけど、どんな曲調だろうが、狂華の歌声が乗ると〃らしく〃なるので、そこを活かすことをメインに考えて、その上で、TOMOKAZUのメタルっぽいドラムがあったり、リフ系から綺麗な音や民族的な音など、いろんなエッセンスを盛り込みながらも、〃カオスでバイオレンス〃な[illegible]体を包み込みました。そして、さらに〃メロ〃を活かしてくという形で作っ[illegible]す。とくに狂華の歌の存在感は、[illegible]すごく際立っている。オムニバス[illegible]Deflinaの過去の音源も入れてるんだけど「今の狂華の歌声で聴か[illegible]と思い、唄い直しをしたくらいだか[illegible]

――収録した楽曲がまた、それぞれの[illegible]ツを感じさせながらも、しっかり今の時代に則した作りが施されています。

TOMO:過去の経験や記憶[illegible]れらを受け入れつつ、2010年と[illegible]時代から未来へ向け進んでゆく以上、今の時代性を柔軟に取り入れていくのは当然のこと。と言っても、個々に「曲げられないものは曲げてない」けどさ(笑)

TOMOKAZU:そこのさじ加減をみんなわかっているからこそ、バンド内でも柔軟に対応していけるんですよ。

狂華:やっぱり、自分の表現したいことが一番大事だし。今のChaosも、そこを理解してもらったうえで、それぞれの味をミックスしているよう、好きなスタイルを追求しているのは確かなんで。

――3人とも、人間的に深く繋がっているからこそ、わかりあえた関係ですからね。

狂華:音楽が大事なのはもちろんだけど、それを演るうえでも、人間関係こそ、何よりも一番大事じゃない。

TOMOKAZU:一緒に居て楽であり、刺激があり。でも、なぁなぁな友達関係ではなく、シビアに真剣に物事へ向かって進んでいける。だから、いいんですよ。

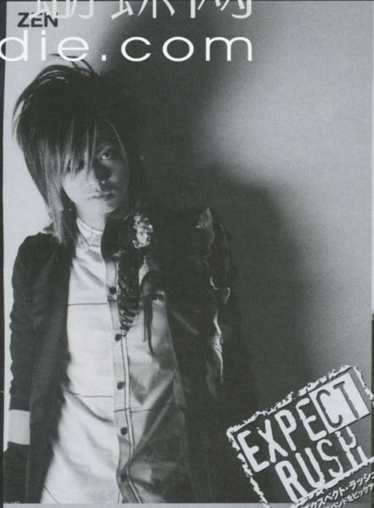
――ここからChaosは積極的に露出し、ライヴ活動も行っていくんですか?

TOMO:今回オムニバス盤へ収録した楽曲は、デモとして作った10曲くらいの中から美味しい要素を抽出しミックスアップさせた楽曲。俺らの中には、メロコア/ロックンロール/ヘヴィメタル/ヒップホップなど、まだまだ多彩な要素が渦巻いてる。それらを抽出し、納得した形で楽曲化できたときに、また音源化しようと思っているよう、いくらまわりの期待が高ぶろうが、音源/ライヴともに焦って動くことは辞めようと思ってる。

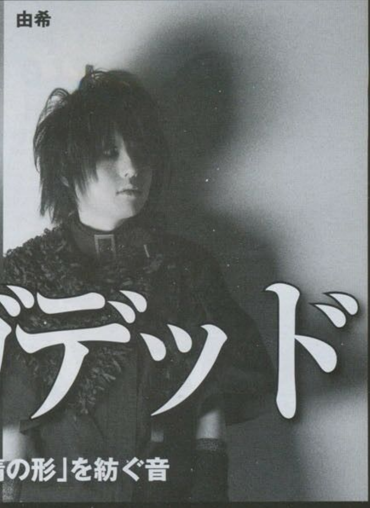
狂華:ゆっくり長く、焦ることなく濃い音楽を形にし続けていきたい。本気で仕掛けるのは、まだまだ先でいいんだよ。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com


ZEN

Ⅳ


由希

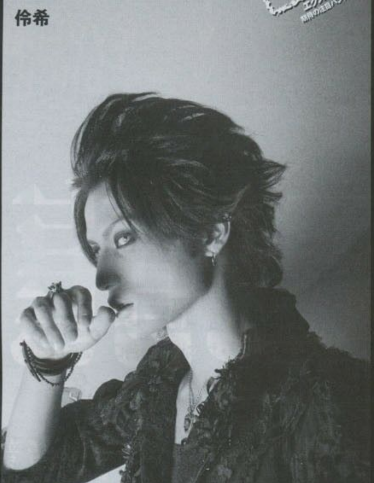
EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

オトガデッド

「人」の「感情の形」を紡ぐ音

Vo.Zen(ex.Vanilla)を中心に、Gt.伶希(ex.KuRt)・Gt.桜澤祐稀(ex.Suzzy&Caroline)・Ba.Ⅳ・Dr.由希(ex.HeaRt)の5人で、2009年2月に結成されたオトガデッド。本誌初登場の今回は、結成の経緯を中心に、2月24日にリリースされる2nd MAXI SINGLE「Asterisk」に込められた想いも語って貰いました。人間の感情の深い部分を、独特の世界観で表現している彼等。一度、彼等の世界に触れてみて下さい。そこから、忘れかけていた何かに気付けるかも…。

Interview:YUKA SUGIE


伶希

桜澤祐稀

――〝オトガデッド〟というバンド名には、いくつか意味が含まれています?

Zen：いや、単純に〝音が死ぬ〟っていう意味の造語なんです。俺の親友が下北系のギターロックバンドをやってるんですけど、もともとはそいつが自分の作るバンドにつけようとしてた名前なんですよ。それを使わなくなったんで、俺がバンドをやるときにカッコイイ名前だからもらって。自分的に、音がデッド＝音がなくなった瞬間って、自分自身とか相手の存在を確かめられるときだと思っていて。あと、静まり返ってる中で針を落としたりすると、すごく音が響くじゃないですか。そういう感覚も符合したんで。

――聴けばしっかりと何かを残してくれる音像、世界観は、その感覚に起因しているんでしょうね。バンドとしては、どういう志の下、集っていったんですか?

桜澤祐稀（以下祐稀）：最初は、Zenくんのサポートとして集まったんですよ。そのときはⅣ様はまだいなかったんですけど、ライヴ後に〝この感触楽しいね、ライヴが終わった後に美味しいご飯が食べられるって幸せだね〟って思えたんで、じゃあバンドとして始めようかって。

――〝楽しい〟って、シンプルですけど一番大事なところかもしれません。

Zen：うん、基本に忠実っていうか。そもそも音楽が好きだったハズなのに、いつしか結果ばかり求めるようになっていたことに気づいたんですよ。でも、まずは自分たちが楽しく音楽をできる、そういうメンバーに巡り合えたんで。

由希：Zenくんとはもともと知り合いだったし、みんな楽しい人間たちなんで。すごくやりやすいし、話ができますよ。

伶希：Zenさんのソロワークス時点から、普通なら難色を示されそうなほど好き勝手にギターアレンジをしてたんですけど、それでもOKだったんです（笑）。そうやって自分のやりたいことをやれて、みんなも納得してくれて、良いライヴができて、その後で美味しいご飯を食べられたら、ホントの意味で音楽だなって。

――予想外なアプローチだとしても、それもまたバンドの醍醐味として、お互いに楽しめてもいるんでしょうね。

Zen：俺が持ってない要素を伶希は持ってるし、それは全員に言えて。それに、仮に違和感を感じたとしても、その中に良い要素も秘めているかもしれないし。

――案外、最初に拒否反応を覚えたものほど、後々好きになったりしますし。

Zen：最初しっくりこなかったけど、今では大好きな曲もあるし。はなから拒絶せずに、新しい自分を知るチャンスだと思って、ニヤニヤしながらやっていったほうが面白いものはできると思う。

――ちなみに、Ⅳさんはどういった経緯で加入されたんですか?

由希：彼とは長い知り合いなんですけど、俺のセッションでベースを弾いてもらうことも多くて。プレイもヴィジュアルもカッコイイですからね。彼しかいないと。

祐稀：ただね、全然お酒呑まないんですよ、彼。このバンドは基本的にアルコールでできているのに（笑）。

伶希：だから、最初の印象は真面目そうだと思ったら…ビックリだったけど（笑）。

祐稀：スタジオでいきなりマラカスみたいなのを持ち出してきたりね。

伶希：センスがブッ飛んでるんだよね。彼は意外と変態ベーシストですよ（笑）。

由希：たぶん、ヴィジュアル系の感性じゃないですよね。だから、俺たちにはすごくトリッキーに感じるというか（笑）。

Ⅳ：Ⅳ様の中では普通だったんだけど…ま、そのマラカスを振ってる様は変かなとは思ってたんですけど（笑）。

――そういう感性が、良い意味でバンドの幅を広げていくことでしょう。さて、2月発表の2ndマキシ「Asterisk」ですが、どんな作品にしたいと?

伶希：1枚目の「clockwork oblivion」は、〝こういう曲たちをやってますよ〟っていう名刺代わり的な作品でしたが、今回は〝オトガデッドの歌モノといったらこれだよね〟っていう表題曲がある上で、ライヴで活きる曲や聴かせる曲を入れたくて。

Zen：表題曲は、録りの直前に伶希が出してくれたギターフレーズに引っ張られて、俺も感情がバーっと出てきて。涙こらえながらでも、走るのをやめずに走っているような感じがする、背中を押せる曲というか。ここまで誰かに何かを伝えたいと思ったのは、初めてかもしれないんで…聴く人にとってもそういう曲であってほしいと思います。

【ライヴスケジュール】●2/14高田馬場CLUB PHASE

噂のニューカマー初登場!!

己龍

“和製ホラー”をバンドコンセプトにした新感覚ヴィジュアル系がここに出現! 黒崎眞弥(Vo)、酒井参輝(Gt)、九条武政(Gt)、一色日和(Ba)、遠海准司(Dr)の5人からなるバンド、己龍。和に対して徹底したこだわりっぷりを見せるだけに、ファーストフルアルバム『明鏡止水』にも期待が寄せられている。そこで、アルバムのリリースを控えた彼らに初のインタヴューを試みた。

Interview：ERI MIZUTANI

――どなたが中心となってこのバンドを立ち上げたのですか?

酒井参輝（以下：参輝）：俺と武政の2人で立ち上げました。最初、地元の静岡でバンド活動をしていたんですけど、やっぱり東京に行って活動したいという気持ちがあったので、上京することに決めたんです。それで、ドラムの遠海准司（以下：准司）に声をかけ、3人揃って東京に出てきました。そこからは、色々なライヴを見に行ったり、人の紹介を受けて、このメンバーが集まったという感じです。

――今の流れを聞いて、思わず、昔話「桃太郎」を思い出しました（笑）。

黒崎眞弥（以下：眞弥）：あはは（笑）。俺は、彼らと友人の紹介を通じて知り合ったんですけど、デモ音源を聞いた瞬間、どうしてもこのバンドでやりたいって思って。それで、かなり必死になって自分のことをアピールしていきました。とは言え、最初はまるで相手にされていませんでしたけど…。

参輝：それは、俺が人見知りだからじゃない（笑）? でも、それだけあって、眞弥からはすごくやる気が伝わってきたんですよ。俺、音楽って生物だと思うんです。なので、行動を起こしたかったというか。地元に甘んじて活動しているよりも東京に出てきて自分たちの力を試したい、やるからには1番になりたい、そういう思いを抱いて出てきたので、眞弥のやる気はぴったりだなと。

九条武政（以下：九条）：僕ら、真剣にぶつかりあえるメンバーがほしかったんですよ。

参輝：そうそう。極端に言ってしまえば、向上心さえあれば、例え技術面が不足していたとしても、後々の努力で補えると思っていたからね。

――なるほど。ちなみに、准司さんと日和さんにはどのように声をかけていったのです?

参輝：准司とは結構付き合いが長いんです。俺、彼以外にも色々なドラマーを見てきたんですけど、彼よりテクニックが上な人を見たことがなくて。それで、一緒にやれば間違いないなって思い、声かけました。

准司：まぁ、僕も東京に行きたいって気持ちは以前からあったので、何の迷いもなく2人に付いていきました（笑）。

一色日和（以下：日和）：僕は、気付いたらこのバンドにいたっていう感じです（笑）。地元が静岡ってこともあり、自然と溶け込めたんですよね。

眞弥：となると、地元が違うから俺は相手にされていなかったのか…。

参輝：まだ言うか（笑）。

――で、バンド名の由来はというと?

九条：意味合いは特にはないんですよね。どちらかと言うと、響き重視なんで。

参輝：確か、最初は表記が英語だったんですよ。でも、そこから、“和製ホラー”というバンドコンセプトが固まり、表記を漢字にしたんです。

准司：それに、周りにもここまで和を押しているバンドがいなかったこともあり、これは良いんじゃないかって。

――インパクトありますよ。バンド名やステージネームはもちろん、曲タイトルも全て和というこだわり具合ですから。

参輝：そこは当然です。なので、1月27日に発売されるファーストフルアルバムは『明鏡止水』というタイトルにし、徹底的に和に重きを置いていきました。再録の曲も含め、12曲入りの作品になっているんですが、今までにはないバラード曲もあり、非常に聞き応えがあるのではないかなと。

眞弥：詞は、僕と参輝が。曲は、参輝と九条が書いているんですが、どれも面白いものになっているんじゃないかなって思いますね。

准司：俺は感性のみで録っているので、そこを感じながら聞いてもらいたいです。

日和：苦労した曲もあったけど、[illegible]て出来上がってみると、どれも良い曲になったかな。自分自身、このレコーディングはとても勉強になりました。

九条：九条さんからの厳しいアドバイスもあったしね～（笑）。

――そして、2月からはこのアルバムを引っ提げた単独巡業も始まるそうで。

参輝：六大都市で行うことが決まりました。3月5日にはWESTで最終公演を行うので楽しみにしていただきたいなと。

――ここでは無料配布もあるそうですし。

九条：あれは先輩バンドのですよ。己龍のではありません。

眞弥：（笑）。そこも含め、お楽しみに!

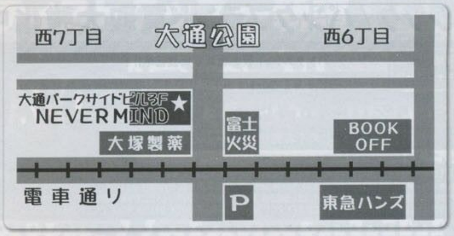
蝴蝶网
hudie.com

ビジュアル系中古&RAREアイテム専門店

NEVER MIND

ネバーマインド

〒060－0061
北海道札幌市中央区南１条西７丁目
大通パークサイドビル３Ｆ
TEL：011-272-9220
mail：info@nevnev.com
営業時間 12：00～20：00 (毎週水曜定休)



在庫充実! ネバーマインドのHPはこちら!
http://www.nevnev.com
(PC版/携帯版共通)

入手困難な貴重盤はもちろん、発売されたばかりの新譜や懐かしの旧譜等、最新の入荷情報をリアルタイムで更新しております。

ビジュアル系中古専門店ならではの納得査定で

高価買取します!

即日査定・即送金でお待たせしません!!

今月の買取強化アーティスト！

シド、Plastic Tree、ガゼット、ナイトメア、DIR EN GREY、LM.C、boogieman、cali≠gari、ムック、lynch.、ギルガメッシュ、DEATHGAZE、D'espairs Ray、D[ディー]、サディ、SCREW、SuG、ゾロ、イロクイ。、アンド、born、キャンゼル、ダウト、vistlip、THE KIDDIE、DOG in The パラレルワールドオーケストラ、DaizyStripper、ViViD、愛狂います。、-OZ-、アヲイ、NoGoD、DELUHI、摩天楼オペラ、9 GOATS BLACKOUT、cocklobin、emmure'e、KYOKUTOU GIRL FRIEND

上記アーティストの発売1年以内のアイテムを5点以上含むと査定 10%UP!!
発売半年以内のアイテム5点以上含むと査定 20%UP!!

高価買取例 ●シド 「吉開学 17歳(無職)」(初回・¥20,000、2nd・¥5,000)、「流通盤」(廃盤CD・¥5,000)、「憐哀(初回)」(廃盤CD・¥3,000)、「星の都(初回)」(マオ・¥6,000/明希・¥4,000/Shinji・ゆうや・各¥3,000)、「センチメンタルマキアート」(初回CD各種トレカ付・¥3,000)、その他CD、DVD、会報、グッズ各種・・・**シドのアイテム品薄のため特に**買取強化！ ●SHULA 「What's up」(廃盤CD・¥6,000)、「Shu-la-tic」(廃盤CD・¥10,000) ●Plastic Tree 「奇妙な果実」(廃盤CD・初回¥3,000)、「WORLDTOUR 2006 [chandelier]」(絶版写真集・¥8,000)、アルバム初回盤各種¥2,000、「二次元ヲルゴール2」(初回DVD・¥4,000)、その他CD、DVD、パンフ、会報、グッズ・・・**プラのアイテム品薄のため特に**買取強化！ ●有村竜太郎 「カメラ・オブスキュラ」(写真集・¥5,000)、「あおむしドロップ」「忘却モノローグ」(単行本・¥4,000) ●ガゼット 「別れ道(初回・¥7,000、2nd・¥8,000)」「鬼畜教師(32才独身)の悩殺講座(¥8,000)」「午前0時のとらうまラヂヲ(¥8,000)」(廃盤CD各種)、「泥だらけの青春」(会場限定CD・¥6,000)、「十四歳のナイフ」(配布CD・¥5,000)、「Verwelktes Gedicht (CD付)」(写真集・¥6,000)、「NAMELESS LIBERTY SIX GUNS」(初回3枚組DVD・¥6,000)、その他CD、DVD、会報、写真、グッズ各種買取強化中！！ ●lynch. 「greedy dead souls」(廃盤CD・¥4,000)、アルバム初回盤各種¥2,000、DVD各種 **特に**買取強化！ ●ベリィ 「ブラッドプール」(配布CD・完品で¥5,000)、「白痴」(廃盤CD・¥5,000) ●サディ 「SADIE～UNDEAD13+2～」(初回CD・¥3,000) ●ギルガメッシュ 「Glamorous Sky」(配布CD・¥3,000)、その他CD、DVD各種 **特に**買取強化中！ ●ViViD 「Take-off」(廃盤CD・¥4,000)、その他CD各種買取強化中！ ●THE KIDDIE 「Little SENOBI(初回、2nd)」(廃盤CD・各¥2,000)、その他CD各種買取強化！ ●キャンゼル 「NeO PRESENCE E.P.S」(廃盤CD曲解説パンフ付・¥3,000)、その他CD各種買取強化！ ●アンド 「特攻 神風大作戦-任務秘録-」(DVD・¥6,000)、「蜘蟲-2010-」(配布CD・¥4,000) ●陰陽座 「幽玄霊舞(初回)」(通販、会場限定DVD・¥8,000) ●cali≠gari 「再教育」(上下セット袋付・¥10,000)、その他CD、DVD各種買取強化！ ●人格ラヂオ CD、DVD各種買取強化！ ●ムック 「アンティーク(各種)」(廃盤CD・¥4,000～)、「COVER PARADE」(配布CD・¥5,000) ●DIR EN GREY FC限定DVD各種高額買取！、その他CD、DVD各種買取強化！ ●京 「自虐、斂葬腐乱シネマ」(絶版詩集・¥5,000)、「前略、お元気ですか～」(絶版詩集・¥4,000) ●La:Sadie's 「objexxx」(配布CDs・¥15,000) ●JZEIL(DAIGO) 「GLITTER'S VOX」(廃盤CD・¥5,000)、「Tension 250」(廃盤CD・¥5,000)、「THE VERY BOTTOM」(廃盤CD・¥5,000) ●DAIGO(インディーズ時代のソロ音源) 「The space toy」「The space kiss」「The space age」(廃盤CD・各¥6,000) ●ナイトメア 「ナイトメアBOX」(通販限定BOX・¥5,000)、CD、DVD各種買取強化！ ●D 「Alice」(配布CD・¥10,000) ●D'espairs Ray 「モノクロになった最期の日」(配布CD・¥5,000)、その他CD、DVD各種買取強化！ ●Duel Jewel 「Lapidary」「Noah」(廃盤CD・各¥8,000) ●SuG 「I SCREAM PARTY(初回DVD、差し替えジャケ付)」(CD・¥3,000)、「『☆★☆BL⇔Rock Party MonstAr☆★☆」(通販限定DVD・¥6,000)、その他CD、DVD各種買取強化！ ●摩天楼オペラ 「alkaloid showcase」(廃盤CD・¥3,000)、その他CD、DVD各種買取強化中！ ●DELUHI 「Surveillance」(廃盤CD・¥5,000)、その他CD各種買取強化！ ●emmuree 「an acute(再録)」(配布CD・各¥3,000)、その他CD各種買取強化！ **●デモテープ買取強化中！珍しい物どんどん送って下さい！ "掲載例以外のアイテムも高く買います！（※在庫状況や傷、汚れ、帯の有無により買取価格は変動します）"**

～宅配買取大歓迎！もちろん送料着払いでOK！～

遠方の方、大量処分をお考えの方は宅配便、ゆうパック等での宅配買取をご利用ください。売却希望アイテムを割れないよう梱包したうえでダンボール箱などにひとつにまとめ着払いでお送りください。その際、住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・メールアドレス・希望の送金方法と振込先を明記したメモを同封してください。

〒060－0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目大通パークサイドビル3F ネバーマインド

廃盤・配布・会場限定、FC限定アイテム等の貴重盤は特に高く買わせていただきます! 他に新譜を中心としたCD・DVDやパンフ、FC会報、写真等も買取強化中!!
[※ポスター、雑誌の買取はしておりません]
もちろん、店頭へのお持込も大歓迎！

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ

Closet Child

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
BPN / ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
Angelic Pretty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Emily Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene

ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

http://closetchild.ocnk.net

リニューアルオープンしました!!携帯電話でもお買物いただけるようになりました!!

インフォメーション

ゴシック/パンクブランド買取大強化中!!

期間限定 買取キャンペーン

ゴシック/パンクブランド秋冬物買取大強化中!!

対象ブランドの秋冬物を指定着数お売りいただくと

査定額5%UP 10点以上で査定額 **10%UP**

秋冬物まとめてお売りいただくとお徳です!!

買取キャンペーン内容の詳細はHPにてご確認下さい!!

※状態の悪い物/デザインの古いものは対象外となります。

OZ ATELIER-PIERROT MIHO MATSUDA EXCENTRIQUE BPN VISIBLE MARBLE MA gouk Qutie Flash Millefleurs
rlequin Jean Paul GAULTIER StiGMATA Na+H despair 危機裸裸商店 Deorart OZZ on
NS Hysteric Glamour candy stripper RNA MEDIA WORLD WIDE LOVE PEACE NOW PUTUMAYO LISTEN FLAVOR
SH SEXY DYNAMITE LONDON CHOICE SEX POT ReVeNGe HIDE ROCK Design HELL CAT PUNKS GEORGE COX D.r.Martens

買取/宅配買取のご案内

ご不要になられた洋服/アクセ/靴・鞄を買取致します。買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項（氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名・支店名・口座番号・口座名義人名（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。

※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!

商品到着後一週間ほどで確認のお電話をさせていただき、了承をいただきましたら、ご指定の銀行口座へ入金させていただきます※振り込み手数料はお客様負担となります。(ぱるるはご利用いただけません)
キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023西新宿7-10-20ワセダSTビル5F
クローゼットチャイルド ショックス 9.10月号宅配係
TEL 03-3365-6361 webtakuhai@closet-child.com

宅配買取用段ボールご用意致します

宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします★ご希望のお客様は webtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

今月の超高価買取アイテム!!

Emily Temple cute

ビスケット&チョコ
★オフホワイト・ピンク
ノースリーブワンピース9000円買取

プードル
★グリーン・パープル・クロ
ノースリーブワンピース 8000円買取

音符&ネコ
★オフホワイト・ピンク・パープル
ワンピース/ノースリーブワンピース10000円買取

トランプネコ
★生成
ワンピース / ジャンパースカート 18000円買取
★ピンク
ワンピース / ジャンパースカート 15000円買取

アリスパレード
★生成
ワンピース13000円買取
ジャンパースカート12000円買取
スカート8000円買取

時計ウサギ刺繍
★オフホワイト・クロ
ジャンパースカート18000円買取
スカート 10000円買取

ワンダーランドフロッキー
★オフホワイト・ピンク・クロ
別珍ワンピース10000円買取
タック衿ワンピース10000円買取

クッキー
★クロ
ジャンパースカート9000円買取
★クロ・ピンク・ミント
ウエストおリボンスカート 5000円買取

◆ Angelic Pretty 高価買取アイテム一覧 ◆ コレクション高価買取表

Star Night Theater
★クロ ワンピース14000円買取 ジャンパースカート14000円買取 ベアトップジャンパースカート15000円買取

Melty チョコレート
★ミント×チョコ・ピンク×チョコ
ワンピース20000円買取 ハイウエストジャンパースカート20000円買取 ミニ柚ジャンパースカート20000円買取

TOY PARADE
★全色 ワンピース/ジャンパースカート30000円買取

ドリーミィドールハウス
★ミント・ラベンダー
ワンピース13500円買取 ラウンドジャンパースカート15000円買取 ミニ切替ジャンパースカート15000円買取
★全色 サロペット8500円買取

デザートコレクション
★クロ ワンピース/ジャンパースカート15000円買取

マリオネットGirl
★全色 ワンピース/ジャンパースカート12000円買取

カーニバル
★全色 サロペット8500円買取

シャンデリア
★全色 ワンピース・ジャンパースカート 18000円買取

パペットサーカス
★シロ・ワイン・クロ ワンピース・ジャンパースカート 25000円買取

◆BABY.THE STARS SHINE BRIGHT高価買取アイテム一覧 ◆

Vampire Requiem
★エンジ ロングジャンパースカート・ジャンパースカート 12000円買取

ジュエルツリーブーケ
★全色 ワンピース・ジャンパースカート 9000円買取

Lovely Sweet Room
★全色 ベビードールジャンパースカート・ジャンパースカート 9000円買取

なかよしくみゃちゃん
★全色 ジュディジャンパースカート 10000円買取
★全色 ソフィージャンパースカート 10000円買取

みるくちゃんとゆきいちご
★全色 リボン/ベビードールジャンパースカート 9000円買取

alice and the looking Grass of time
★全色 ワンピース・ジャンパースカート 9000円買取

◆Moi-meme-Moitie秋冬物買取20%アップキャンペーン!! 高価買取アイテム一覧◆

2005 S/S
●ゴシックアーチ
白/黒
◆ジャンパースカート 55000円買取
◆ミニ丈スカート 28000円買取
黒/白
◆ジャンパースカート 52000円買取
◆ミニ丈スカート 27000円買取
黒/青
◆ジャンパースカート 50000円買取
◆ミニ丈スカート 25000円買取

2006 S/S
●アイアンゲート
白/黒
◆ワンピース 45000円買取
◆ジャンパースカート 48000円買取
◆スカート 27000円買取
黒/白
◆ワンピース 44000円買取
◆ジャンパースカート 47000円買取
◆スカート 25000円買取
黒/青
◆ワンピース 43000円買取
◆ジャンパースカート 46000円買取
◆スカート 24000円買取

2009 A/W
●ホーリークイーン
BKN
◆ジャンパースカート 16000円買取
◆スカート 9500円買取
BLV
◆ジャンパースカート 25000円買取
◆スカート 12000円買取
BKW
◆ジャンパースカート 12000円買取
◆スカート 6500円買取

2009
●X'mas限定
◆ミニドレスネイヴィー 15000円買取

2000 S/S
●薔薇十字プリント
黒/白
◆ワンピース 38000円買取
◆ジャンパースカート 38000円買取
◆スカート 18000円買取
白/黒
◆ワンピース 35000円買取
◆ジャンパースカート 35000円買取
◆スカート 16000円買取

2009 S/S
●青薔薇シフォンワンピース
◆青 26000円買取

2000 A/W
ゴブランコート 30000円買取

2001 A/W
フリルドールコート 24000円買取

2002 A/W
バッスルコート（ファー有） 22000円買取

2008 A/W
ラビットファー衿プリーツコート
黒 20000円買取

2008 A/W
パラコサージュ付フリルコート
黒/ネイヴィー 21000円買取

2009 A/W
●薔薇フロッキー サイズ2
ジャンパースカート
ネイヴィー17000円買取
ブラック 9000円買取

2008A/W
●刺繍ベルベット帽丈
◆グリーン 17500円買取
◆黒 16000円買取

査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も高価買取中!!

alice auaa秋冬物買取20%アップキャンペーン!!! alice auaa

'08a/w luster
●ヴァンパイアエナメルコート
クロ(MENS/LADYS) 16000円買取

04aw 個人崇拝
●ファーコート
ブラウン 18000円買取

06aw obsession
●フリルロングコート
ブラウン 18000円買取

'08a/w luster
●鴉ハラコジャケット
クロ 17000円買取

02aw collaps
●変形ジャケット
クロXレッド 12000円買取
●コルセットファージャケット
クロ 10000円買取

03ss hanging garden
●ボリュームワンピース
ブラックXレッド 14000円買取

03aw erode
●ベルトイレギュラーワンピース
ブラック 13000円買取

02aw collaps
●コルセット変形ワンピース
ブラック 10000円買取

03ss hanging garden
●フリルチュールスカート
ブラック 11000円買取

07a/w progress
●鴉スカート
ブラック 10000円買取

09 S S wire to wrap wire
●フレアーロングスカート
ブラックXストライプ 10000円買取

※ご注意 査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も高価買取中!!

VivienneWestwood高価買取致します

80年代モノのレアなヴィンテージ～希少価値の高いオーブライター等のレアモノ～アーマーリング等のオーブモチーフ定番モノを初めとしたリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より5割～リーズナブルな新品…常時800点以上を展開!!ヴィヴィアンマニア・ビギナーまで満足いただけるショップです!!

品が全て揃った、外傷なしのキャンペーン適用後の買取金額となります。予めご了承お願い致します。

を何処よりも高額で買取させていただきます。
売値の30～50%が目安となります。サイズ・キズ・傷み等によって査定額は変動いたします。ご了承お願い致します。
ディガン買取大強化中!!バッグ&財布等小物類高価買取中!!レオパード柄アイテムは特に高額にて買取いたします!!

移転しました!!

楽天 ICHIBA

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

Classical Lolita

Jane Marple

シャンデリア
★ジャンパースカート
10000円買取

オールドライブラリー
★ジャンパースカート/ワンピース
10000円買取

ロイヤルコレクション
★ジャンパースカート/ワンピース
10000円買取

おもちゃ柄
★ジャンパースカート
10000円買取

楽器柄
★ジャンパースカート
10000円買取

白雪姫柄
★ジャンパースカート
10000円買取

Innocent World

森の収穫祭
★チェストナッツ / ストロベリー ショコラ
ジャンパースカート 9000円買取

マルグレーテ
★ミルクティ x ショコラ
ワンピース / JSK 7000円買取

森の音楽隊
★グリーン
ワンピース 7000円買取 JSK 9000円買取

ロッタ
★ノルディックブルー
ジャンパースカート 9000円買取
スカート 3500円買取

ポンパドゥール
★全色
ジャンパースカート(バッスル含) 6800円買取

ロカイユトランプ
★全色
ジャンパースカート 5200円買取

Victorian maiden

ロココブーケ
★ロココピンク / ロココブルー
フリルワンピース 8500円買取

ロココブーケ
★ロココピンク / ロココブルー
リボンドレス 8500円買取

ボーレット フリル
★ロココピンク / ロココブルー
ワンピース 9000円買取

ロココ
★ロココピンク / ロココブルー / ロココミント
クラシカルドールドレス 9000円買取

アンティークドール
★ブラック / ブラウン / レーズン
ワンピース 7500円買取

Mary Magdalene

アデラローズ
★オフシロ / ルビー
ワンピース / ジャンパースカート 10000円買取
★ピーコックグレー
ワンピース / ジャンパースカート 8000円買取

ローズボーダー
★生成 / ピンク
ジャンパースカート10000円買取

ミルローズ
★生成 / ミント
ワンピース / ジャンパースカート 10000円買取

アラベルローズ
★ローズ
ワンピース10000円買取
★ブラック / ベージュ
ワンピース9000円買取

ローズスカラップ
★ストロベリー / オフ
ワンピース 10000円買取

フェリシアローズ
★ブルー / ピンク
ワンピース 10000円買取

クラシカルフルール
★ブラックティー / チョコビスケット
ワンピース 10000円買取

ローズメランジェ
★エクリュ
ワンピース10000円買取
★ショコラ
ワンピース9000円買取

アンジェリカ
★長袖 ネイビー / アメジスト / ブラック
ワンピース 9000円買取
★袖なし ドットブラック
ワンピース 9000円買取

セントクレア
★全色
ワンピース 9000円買取

ホワイテリーフ
★全色
ワンピース(全型) 9000円買取

エレオノール
★ミルクショコラ / シュガーローズ / ミルクティー
コート 17000円買取

アマンディーヌ
★ミルクショコラ / シュガーローズ / ミルクティー
コート 17000円買取

※ご注意 こちらの金額は買取キャンペーン適用後の査定金額となります。

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

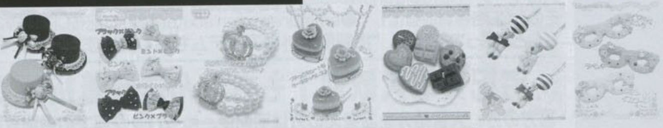
なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテム
ルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中!!
マニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです!!

://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

クロリータブランド古着オンラインショップ

TO/BABY,THE STARS SHINE BRIGHT/Moi meme Moitie/Emily Temple cute
・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!
約完売品 今期物 定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

://closetchild.ocnk.net



スィーツアクセサリー・ロリータ雑貨オンラインショップ

スィーツ/ロリータをテーマとした雑貨オンラインショップオープン!!
人気のスィーツモチーフアクセサリーを中心にカワイイ小物を取り揃えました!!

ミニハット★リボン★カチューシャ★スイーツアクセサリー★キャンドル★マグカップ

http://www.rakuten.ne.jp/gold/chocomint/

closet child

日本一の在庫量!ユーズド～貴重盤～アーティストグッズ～新譜

超高額買

クローゼットチャイルドオンラインショップ!!

クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

メールでも在庫確認が出来ます☆

モバイルシ

発売されたばかりの新譜がリーズナブルに,入手困難な貴重盤が,そして
ライブ会場やファンクラブ限定のアーティストグッズ...がお買い物いただけます!!
更に、お宝アイテムのオークション&新譜の予約も可能になりました!!!

closetchild_cd@closet-child.com

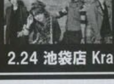
http://closetchild.j

ピックアップアーティストキャンペーン!!

2.10 横浜店 シド「SIDNAD Vol.4 ～TOUR 2009 hikari」リリース記念キャンペーン!!

蔵出し在庫＆全店舗の在庫をキャンペーン時に大放出します!!

2.10 横浜店 シド　2.24 池袋店 Kra「Twinkle star BEST 2006-2009」リリース記念キャンペーン!!



2.24 池袋店 Kra

池袋店 移転しました!!

旧店舗より徒歩

サンシャイン通り(ヤマダ電機横
スターバックスの入居している
ABCマートが向かいにあります。

東京都豊島区東池袋1-20-5七

2.1-2.28 期間限定買取査定額大幅アップキャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ViViD vistlip Versailles THE KIDDIE ギルガメッシ
DELUHI DEATHGAZE DOGinThe PWO 摩天楼オペラ ly

＜ 中古CD/DVD/アーティストグッズ/貴重盤 買取表 ＞

アーティスト	タイトル	形態	買取額
ア行			
愛狂います。	心臓。(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
秋葉原少年団電脳ロメオ	PHYSALIS	CD+DVD	¥1800
アヲイ	ZACRO	CD	¥1200
アンティック-珈琲店-	アンティック-珈琲店-(BEST ALBUM)	2CD	¥1800
アンド	-&- [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
【_Vani:lla】	平成二十年度提出漏春夏秋冬狂声聴視覚集	DVD	¥1500
ViViD	Take-off	CD	¥2500
ViViD	THE ViViD COLOR(初回盤)	CD+DVD	¥1800
vistlip	THEATER -visiter [CD+DVD]	CD+DVD	¥2000
ヴィドール	Monad [初回限定盤]	CD+DVD	¥2500
Versailles	JUBILEE [初回限定盤]	CD	¥2000
Versailles	Philharmonic Quintet【写真集】	GOODS	¥2000
Versailles	CHATEU DE VERSAILLES	DVD	¥3500
カ行			
ガゼット	鬼畜教師(32歳独身)～、午前０時のトラウマ～	CD	¥7500
the GazettE	TOUR -DIM SCENE- FINAL AT SAITAMA [初回]	3DVD	¥4800
cali≠gari	再教育　会場限定盤セット(封筒入り完品)	2CD	¥12000
cali≠gari	cali≠gariの世界【初回限定盤】	CD+DVD	¥2500
cali≠gari	従 [初回生産限定]	3DVD	¥4000
THE KIDDIE	NOAH / elite STAR+	CD+DVD	¥ 900
THE KIDDIE	Plastic Art、サヨナラセツナ	CD	¥ 700
キャンゼル	NeO PRESENCE E.P.S./ NeW WINDOWS E.P.	CD	¥1200
KYOKUTOU GIRL FRIE	勝手にしやがれ	CD	¥1700
己龍	明鏡止水 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
ｷﾞﾙｶﾞﾒｯｼｭ	第二投下『開戦宣言』 - 企画型円盤 -	CD	¥2500
ｷﾞﾙｶﾞﾒｯｼｭ	NOW [通常盤]	CD	¥1800
ｷﾞﾙｶﾞﾒｯｼｭ	CRAZY CRAZY CRAZY	2DVD	¥2500
ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝﾎﾞﾝﾊﾞｰ	ザ・ゴールデンベスト～Pressure～ [初回限定盤A]	CD+DVD	¥1700

アーティスト	タイトル	形態	買取額
サ行			
SuG	BL⇔Rock Party MonstAr	DVD	¥4500
Sadie	「SADIE」～UNDEAD13＋2～(初回/銀ｽﾘｰﾌﾞ)	CD+DVD	¥2800
Sadie	『MASTER OF ROMANCE』 at SHIBUYA-AX2009	DVD	¥6000
Zip.er	MiLKinG	CD	¥1600
シド	流通盤	CD	¥4000
シド	センチメンタルマキアート[初回限定盤/ｶｰﾄﾞ2枚付	CD+DVD	¥2500
シド	Side B complete collection～ [初回限定盤A&B]	CD+DVD	¥2000
シド	SIDNAD Vol.3～TOUR 2008(初回限定盤)	2DVD	¥3000
シド	SIDNAD Vol.4～TOUR 2009 hikari	DVD	¥3000
SHULA(ｼﾄﾞVo.ﾏｵ在籍)	Shu-la-tic	CD	¥10000
人格ラヂオ	証拠 (通常盤)	CD	¥1700
ゾロ	「COSMO」・ステンレスミュージック(通常盤)	CD	¥1700
ゾロ	CORE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
タ行			
ダウト	ZIPANG(初回CD+DVD)	CD+DVD	¥2600
D	ALICE	CD	¥15000
D	TOUR2008 Alice in Dark edge FINAL	DVD	¥2500
DaizyStripper	「CROSSTRIP」 2008.0909.LIVE	DVD	¥1600
D'espairsRay	モノクロになった最後の日(配布CD)	CD	¥5000
D'espairsRay	murder Day 2004.9.23(限定盤ｽﾘｰﾌﾞｹｰｽ仕様)	DVD	¥4000
D'ESPAIRSRAY	IMMORTAL	CD	¥1400
DIR EN GREY	AVERAGE BLASPHEMY	DVD	¥2800
DIR EN GREY	DESPAIR IN THE WOMB (FC限定)	2DVD	¥5000
DIR EN GREY	IN WEAL OR WOE (FC限定)	2DVD	¥5000
DEATHGAZE	THE CONTINUATION	CD	¥1800
DELUHI	Surveillance	CD	¥5000
DELUHI	ユグドアライヴ	CD	¥1600
DOG in The ﾊﾟﾗﾚﾙ～	メルトトルカカトル	CD	¥1200

アーティスト	タイトル	形態
ナ行		
9GOATS BLACK OUT	20090411 Shibuya-Boxx live in Bright Garden	DVD
ハ行		
BugLug	SUPER NOVA [初回盤]	CD
Plastic Tree	パレード(初回限定スリーブケース仕様)	CD
Plastic Tree	シャンデリア(初回限定DVD付仕様)	CD+D
Plastic Tree	二次元オルゴール②	DVD
Plastic Tree	黒テント(DVD)	DVD
Plastic Tree	テント [通常盤]	DVD
有村竜太朗	あおむしﾄﾞﾛｯﾌﾟ(帯付)	GOO
ペリィ	白痴	CD
ベルベット	暴動区域【C】渋谷革命 限定円盤	CD
born	-Abnormal Head Machine-	CD
ポワトリン	ポワレツ大百科	CD
マ行		
摩天楼オペラ	alkaloid showcase	CD
摩天楼オペラ	GILIA(初回限定盤DVD付)	CD+
摩天楼オペラ	ANOMIE (通常盤)	CD
摩天楼オペラ	COUPLING COLLECTION 08-09	CD
摩天楼オペラ	DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	DVD
ラ行		
LAREINE	Fleur (BEST ALBUM)	CD
Lycaon	Royal Oder [初回限定盤]	CD+
lynch.	『THE SHADOW IMPULSE』 FINAL 2009.09.06	2DV
lynch.	THE BURIED [初回限定盤]	CD
lynch.	SHADOWS [初回限定盤]	CD+
少女-ロリヰタ-23区	:BeSt	CD+
V.A.オムニバス		
V.A.	裏貴族「日本耽美革命」ドキュメンタリーDVD	DVD

もちろん、掲載品以外も買取してます！

＜配布アイテム買取の際はその時のライブなどのチケット半券と共にお持ち下さい。上記の買取額は実際の査定時の在庫状況、人気、状態などにより変動いたします。査定後のキャンセルもできますのでご了承下さい。＞

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

遠方のお客様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
段ボール等にCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
(**必ず佐川急便にて着払いでお送り下さい**) ※混雑状況により1～2週間程お時間をいただく事がございます。
★ 買取の際に必ず身分証をご持参下さい、宅配買取の際は身分証のコピーを同封下さい。
★ 氏名/住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義/フリガナを記入した紙を同封下さい。

→発送先住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild([illegible]) 宅配買取 SHOX]係 宛

宅配キットご自宅までお届けしま

梱包用ダンボール・佐川急便送付状
をご自宅までお届けいたします!!
ご依頼方法 メール・電話
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-631

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网 ...die.com

カエジ 限定販売
月24日 Maxi Single
...ies for Myself ¥1,050

最新情報と楽しいコンテンツが盛り沢山！
ライカエジソンの携帯サイト！
ライカエジソン公式携帯サイト「Like an Edison.com」では、商品情報やオリジナル特典情報、インストアイベント情報等の情報はもちろん、簡単に商品の予約や通信販売の申込が出来ます！
さらにメルマガ会員になると最新情報をいち早くメルマガにてお届けします！
さらに携帯サイトラジオ番組『どこラジ』やここでしか観られないアーティスト動画、着うた、アーティスト特集企画等コンテンツが盛りだくさん！是非一度アクセスしてみてください！
全キャリア着うた配信中！

カラス
Vo.達瑯(ムック)
Gt.ヒロト(Alice Nine)＆美月(Sadie)
Ba.dunch(jealkb)、Dr.ケンゾ(彩冷える)
月27日
Maxi Single LASTICA ¥1,890

シド
2月10日
LIVE DVD ¥6,800
SIDNAD Vol.4 ～TOUR 2009 hikari
3月3日 Maxi Single
sleep 初回限定盤A・B(DVD付き) ¥1,700
通常盤(CDのみ) ¥1,250

Angelo
2月17日
Maxi Single 光の記憶
初回限定盤(PV DVD付き) ¥1,900
期間限定盤(「光の記憶」anotherVer.収録) ¥1,300
通常盤(ボーナストラック収録) ¥1,300
メーカー特典:ロトステッカー

Phantasmagoria
月10日 2タイトル同時リリース
Maxi Single Diamond Dust ¥2,625
Mini Album Seeds of Brain ¥2,100

Kannivalism
3月17日
Full Album helios
初回盤A(PV＆ドキュメントDVD付き) ¥3,800
初回盤B(LIVE DVD付き) ¥3,999
通常盤(ボーナストラック収録) ¥3,000

D
3月24日
Full Album 7th Rose
初回限定盤(PV DVD付き) ¥3,800
初回限定盤(豪華フォトブックレット付き) ¥3,999
通常盤(ボーナストラック収録) ¥3,000
封入特典:トレカ

龍
イベントあり
Maxi Single 明鏡止水 ¥3,675
ジナル特典:メッセージDVD／封入特典:トレカ
LIVE DVD 竜驤虎視
～二〇〇九年十二月七日渋谷オーウエスト単独公演～ ¥4,980

SuG
Maxi Single
1/27 gr8 story
初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,575／REBORN!盤 ¥1,050
★通常盤／REBORN!盤 初回封入特典:トレカ

3日 ★寺子屋3バンド同時リリース！
…そく
Single ¥1,575
のハコブネ」
ヒトツメ
Mini Album
「ぜ、ろ」 ¥2,100
全てを飲み込むフカモカ
Maxi Single「22052407」 ¥1,575

xTRiPx
Maxi Single ¥2,100
2/3 Innovation[re]isM

…MATIC GUARDIAN
Single TYPE-A・B ¥1,575
桜モノクローム

オトガデッド
Maxi Single
2/24 Asterisk ¥1,800

…coLa Hopping
日 CLIP DVD
…s movie～えほんの世界へようこそ！～ ¥1,575

Hi:BRiD
1月27日 Maxi Single
glider ¥1,575

…rn
日 Maxi Single
…D HOT COBRA ¥1,260

ANUBIS
2月17日 Full Album
MYTH～神々の調べ～ ¥3,360

ライカロリーポップ ディストリビューション
強力プッシュ２大アーティストが1stフルアルバム リリース！
スペシャル企画は次号にて発表！

キャンゼル
3月24日
Full Album
Invite S.P.
¥3,360 ＊初回盤のみアルバムガイドブック付き

Lycaon
3月24日
Full Album
Royal Order
初回限定盤(PV+オフショットDVD付き) ¥3,300
通常盤(ボーナストラック収録) ¥3,000

…e an Edison.com ラフォーレ原宿店イベント情報

…LiBi 3日(土)PM2:00～ …ーク＆4ショット撮影会	Administrator 1月24日(日)PM5:00～ トーク＆握手＆5ショット撮影会
…ガマソ …7日(水)PM6:00～ 内容未定	花少年バディーズ 1月31日(日)PM2:00～ 『鬼才！ミネムラアキノリのステキ大人哲学』＆握手会
…LiBi …6日(土)PM2:00～ …ーク＆4ショット撮影会	MASQUERADE 2月7日(日)PM3:00～ トーク＆握手＆サイン会
…冷える …4日(日)時間未定 …:ラフォーレミュージアム 内容未定	Versailles 2月14日(日)PM5:00～ 会場:ラフォーレミュージアム 握手会

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
ライカエジソン通販改革！
さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！
PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400円！！
＊代金引換の場合は手数料が別途300円です。

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

蝴蝶网
hudie.com

Like an Edison Release Information

※価格はすべて税

ヴィドール
1月20日
Full Album **Monad**
イベントあり
初回限定盤(LIVE DVD付き) ¥4,980
通常盤(ボーナストラック収録) ¥3,150
オリジナル特典:(初回限定盤)カレンダーカードセット
(通常盤)メッセージDVD／メーカー特典:B2ポスター

Versailles
イベントあり
1月20日
Full Album **JUBILEE**
初回限定盤(DVD+ブックレット封入) ¥3,500／通常盤(CDのみ) ¥3,150

彩冷える -ayabie-
1月27日
Full Album **彩-irodori-**
イベントあり
初回限定盤A(LIVE DVD+ボーナストラック収録) ¥3,50
初回限定盤B(密着映像DVD+ボーナストラック収録) ¥3,50
通常盤(スペシャル写真集+ボーナストラック収録) ¥2,800
オリジナル特典あり／封入特典:彩冷えるminiパネル(別

12012
2月24日
Maxi Single **TATOO**
イベントあり
初回盤A(PV DVD付き) ¥1,500
初回盤B(ボーナストラック収録) ¥1,200
通常盤(Instrumental収録) ¥1,000
オリジナル特典あり／メーカー特典:ポストカード

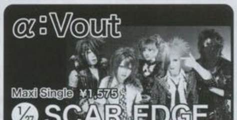
LM.C
3月3日
Full Album **WONDERFUL WONDERHOLIC**
初回盤A・B(LIVE DVD付き) ¥4,725
通常盤(CDのみ) ¥3,150
封入特典:(初回盤B)シリアルナンバー入り特典応募抽選券

ダウト
3月10日
Full Album **CARNIVAL浮世**
イベントあり
～大～:初回限定盤A(PV+オフショットDVD付き) ¥3,67
～吟～:初回限定盤B(ボーナスCD+写真集付き) ¥3,67
～醸～:通常盤(CDのみ) ¥3,150
メーカー特典:(通常盤)着せ替えジャケット

R指定
Maxi Single ¥1,575
イベントあり
1/20 拝啓、薔薇色な日々よ
★オリジナル特典:コメントDVD

DIS★Marionette
Best Album
1/20 FIVE★STAR??? ¥3,150

VANESSA
Maxi Single
1/20 プリティブ・マイ・マインド ¥1,575
イベントあり
★オリジナル特典:コメントDVD



α:Vout
Maxi Single ¥1,575
1/27 SCAR EDGE

EAT YOU ALIVE
Maxi Single
1/27 Coke-in a vein ¥1,

サンドイッチで120分?
Maxi Single
1/27 キノドクなシアワセ ¥1,575

ジュリエット
イベントあり
Maxi Single ¥1,600
1/27 WORLD WONDER LOVE

BugLug
Mini Album 初回盤 ¥2,940／通常盤 ¥2,520
1/27 SUPER NOVA

ValettA
Maxi Single
1/27 性欲ヘルパー ¥1,575

メガマソ
イベントあり
1/27 Maxi Single MEMORIE
初回限定盤A ¥1,890／初回限定盤B ¥1,680／通常盤 ¥

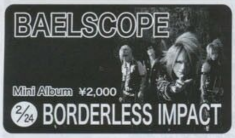
chariots
Best Album
2/3 package
イベントあり
TYPE-A ¥4,200／TYPE-B ¥3,150

MASQUERADE
Maxi Single ¥1,260
2/3 99kiss
イベントあり
★メーカー特典:トレカ、(予約特典)アーティストフォト

CODE7203-KineSicS
Maxi Single
2/10 コトノハ TYPE A ¥1,575 TYPE B ¥1,575

シンディケイト
Maxi Single TYPE-A・B ¥1,365
2/10 濱NIGHT☆CITYBOY

LuLu
Maxi Single
2/10 ウイルス ¥1,260
★オリジナル特典:メッセージDVD



BAELSCOPE
Mini Album ¥2,000
2/24 BORDERLESS IMPACT

NoGoD
Best Album ¥3,800
3/3 INDIES BEST SELECTION 2005-2009

東京ミカエル。
Best Album
3/3 ハピネス 初回盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260
★メーカー特典:W購入でドキュメントDVD

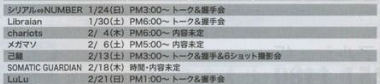
0801弐209336
Mini Album ¥2,100
3/17 元カノからの逃れ方。

ClearVeil
Maxi Single 連続リリース
3/17 Black Belvet TYPE ¥1,
4/21 White Satin TYPE ¥1,

★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

VELGREED	1/23(土)	PM5:00～ 6ショット撮影会
Wizard	1/23(土)	PM7:00～ トーク&握手会
サディ	1/24(日)	PM5:00～ トーク&握手会
彩冷える	1/27(水)	時間・内容未定
ヴィドール	1/30(土)	PM2:00～ トーク&握手会 ※会場:南大塚ホール
メガマソ	1/30(土)	時間・内容未定
MASQUERADE	2/ 7(日)	PM12:00～ トーク&握手&サイン会
花少年バディーズ	2/ 7(日)	PM1:00～『恐怖!稲川タクミの本当にあった怖い話』&撮影会 衣装Ver.1
chariots	2/ 7(日)	PM7:00～ 内容未定
VANESSA	2/11(木)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会
R指定	2/13(土)	PM6:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
SOMATIC GUARDIAN	2/17(水)	時間・内容未定
12012	2/27(土)	時間・内容未定
LuLu	2/28(日)	PM3:00～ トーク&握手会
己龍	2/28(日)	PM6:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
ダウト	3/10(水)	時間・内容未定
ジュリエット	3/11(木)	時間・内容未定
Dacco	5/ 9(日)	PM3:00～ トーク&握手会

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)



シリアル⇔NUMBER	1/24(日)	PM3:00～ トーク&握手会
Libraian	1/30(土)	PM6:00～ トーク&握手会
chariots	2/ 4(木)	PM6:00～ 内容未定
メガマソ	2/ 6(土)	PM5:00～ 内容未定
己龍	2/13(土)	PM3:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
SOMATIC GUARDIAN	2/18(木)	時間・内容未定
LuLu	2/21(日)	PM1:00～ トーク&握手会
彩冷える	2/21(日)	時間・内容未定
ALiBi	2/27(土)	PM1:00～ トーク&4ショット撮影会
ジュリエット	2/28(日)	時間・内容未定
12012	3/ 7(日)	時間・内容未定
ダウト	3/29(月)	時間・内容未定
Dacco	5/ 3(月)	PM3:00～ トーク&握手会

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

サディ	1/21(木)	PM6:00～ トーク&握手会
シリアル⇔NUMBER	1/23(土)	PM3:00～ トーク&握手会
愛狂います。	1/23(土)	PM6:00～ トーク&握手&5ショット撮影会
花少年バディーズ	1/24(日)	PM12:00～ 頂き笑い其の二!『イワイヒロシのスーパーイリュージョンTHE FINAL』&サイ
カル・ヴァリ	1/24(日)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会
chariots	2/ 3(水)	PM6:00～ 内容未定
メガマソ	2/ 7(日)	PM5:00～ 内容未定
己龍	2/11(木)	PM3:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
ジュリエット	2/12(金)	時間・内容未定
LuLu	2/13(土)	PM6:00～ トーク&握手会
SOMATIC GUARDIAN	2/19(金)	時間・内容未定
彩冷える	2/20(土)	時間・内容未定
Libraian	2/21(日)	時間・内容未定
ALiBi	2/25(木)	PM5:00～ トーク&4ショット撮影会
Wizard	2/27(土)	PM6:00～ トーク&握手会
12012	3/ 6(土)	時間・内容未定
ダウト	4/24(土)	時間・内容未定
Dacco	4/30(金)	PM6:00～ トーク&握手会

高額査定中！

盤、ブランド古着、音楽雑誌、ツアーグッズ、
ーパンフ、ファンクラブ会報…
は、お問い合わせ下さい！

蝴蝶网 hudie.com

ストト

初回 CD 3,000円
ップ』本 3,000円
R2006[chandelier]』通販限定写真集 7,000円
グ』DVD付き本 3,000円
回CD 3,000円
』初回CD 3,000円
初回CD+DVD 3,000円
』初回CD+DVD 3,000円
ル』初回CD 3,000円
3,000円
ール2』初回DVD 4,000円

（無職）』2ndMD 6,000円
3,000円
3,000円
CD 2,000円

CD 10,000円
うまラヂヲ』CD 8,000円
オ独身）の悩殺講座』CD 8,000円
フ』配布CD 5,000円
春』会場限定CD 4,000円
edicht』初回CD付き写真集 4,000円
IVE TOUR 2006 NAMELESS LIBERTY SIX GUNS TOUR FINAL AT BUDOKAN』初回DVD 5,000円

全国に即日発送いたします！

全国一律 700円 送料+代引手数料

ポスターが付く場合、ポスター箱代200円が別途かかります

送料全国一律500円 代引手数料200円
10,000円以上ご購入の場合は送料無料！

＊月末一括発送＊
まとめ発送 毎月最終日発送

商品を複数注文されている方は、毎月月末に一括発送しちゃいます。（同月発売の商品のみです） 発送を急がない人で、送料を節約したい方や、給料日後に一括購入したい人は、是非利用してね！
※途中での変更は出来ませんので、よく検討してから申し込んでね！

●●●●●● 通販方法 ●●●●●●

1.代金引換
商品を即日発送いたします。商品到着時に、商品代+700円(送料代引き手数料)の合計金額を、配達員にお支払い下さい。送料代引き手数料は全国一律700円です。関東はもちろん、九州、沖縄まで送っちゃいます。

2.現金書留
在庫確認の上、商品代と送料(500円)の合計を現金書留で送金下さい。お金が届きましたら、商品を発送いたします。

3.銀行振込（1週間以内の振込でお願い致します）
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方→インターネットで24時間365日お振り込みができます。ジャパンネット銀行間の手数料は52円とってもお得です。
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちでない方→通常の銀行からのお振り込みになります。
オンラインによる管理ですので、24時間リアルタイムで確認いたしますので、振込確認次第、即発送しちゃいます！
オーダーフォームより、お申し込み下さい！

約3500アイテムを網羅
CD、DVDの他
貴重盤、ファンクラブ会報
ツアーグッズ、ツアーパンフ
ブランド古着も
取り扱ってます！！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU 検索

http://www.guruguru.co.jp/

GURU GURU

待望のニューアルバム発売！！

彩冷える -ayabie- 彩-irodori-

生産限定盤A CD+DVD 価格¥3,500
LIVE映像 2009/10/26の渋谷AX公演の模様と舞台裏の表情などの見逃せない内容！」（収録分数55分） 彩冷えるminiパネル（Type A）封入。

生産限定盤B CD+ DVD 価格¥3,500
映像3本立て 1.彩冷えるの台湾滞在日記 2.レコーディングに完全密着！ 3.ライブ完全密着！」を収録予定。（収録分数50分） 彩冷えるminiパネル（Type B）封入。

盤 CD+写真集 価格¥2,800
み「そこまで見せる！？豪華56Pスペシャル写真集」付き。パネル（Type C）封入。

ートークCD+イベント参加券（1/31 18：00～ cube garden）

01.27 on sale 完全限定生産

カラス LASTICA

◆ CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「LASTICA」のPVとオフショットを収録。

ムックの逹瑯(Vo)、Alice Nineのヒロト(G)、Sadieの美月(G)、jealkbのdunch(B)、彩冷えるのケンゾ(Dr)という、ネオヴィジュアル界の精鋭5人が結集したユーパー・ユニット、カラス。1stシングルリリース！

03.24 on sale 3種同時発売

D 7th Rose

◆初回生産限定盤A CD+DVD 価格¥3,800
DVDにはPVを収録予定。トレーディングカード封入。

◆初回生産限定盤B CD+フォトブック 価格¥3,999
初回生産限定豪華三方背スリーヴケース仕様。B5サイズ豪華フォトブックレット付き。トレーディングカード封入。

◆通常盤 CD 価格¥3,000
トレーディングカード封入。

GURUGURU特典 交渉中！

02.17 on sale 3種同時発売

ViViD Across The Border

◆初回盤A CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「Across The Border」のPVを収録。

◆初回盤B CD+ブックレット 価格¥1,890
最新撮りおろし12Pブックレット付。

◆通常盤 CD 価格¥1,575

GURUGURU特典 ポストカード

02.24 on sale ベストアルバムリリース！

Kra Twinkle star BEST 2006-2009

◆CD 価格¥3,000
最新シングルである「bird」はもちろん、「ラブラボ」や今回CD初収録になる「烈火」などをも含めた全11曲収録。

ヴィドール Monad

回限定盤 CD+DVD 価格¥4,980
」「EVE」を含む全10曲収録！
「VIDOLL TOUR 2009～20flight of stairs～FINAL "Exucution"11渋谷AX」のライブ映像約120分収録予定。

常盤 CD 価格¥3,150
ストラックを含む全11曲収録！

GURUGURU特典 ポスター+コメントDVD

3種同時発売 03.10 on sale

ダウト CARNIVAL浮世

◆～大～初回限定盤A CD+DVD 価格¥3,675
DVDにはPVとオフショットを収録予定。大吟醸スリーブA仕様。

◆～吟～初回限定盤B CD+写真集 価格¥3,675
自画自賛写真集（完全撮り下ろし/約48P）付き。大吟醸スリーブB仕様。

◆～醸～通常盤 CD 価格¥3,150
着せ替えジャケット封入。

GURUGURU特典 イベント参加券（4/1 マルチスペースエフ）

3種同時発売 01.27 on sale

SuG gr8 story

◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「gr8 Story」のPVを収録。

◆通常盤 CD 価格¥1,575
3曲収録。初回のみトレカ封入。

◆REBORN！盤 CD 価格¥1,050
2曲収録。初回のみトレカ封入。

01.27 on sale

己龍 明鏡止水

◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥3,675
DVDには「明鏡止水」のPVを収録。初回プレスのみ「己龍トレカ15種類のうち3枚」「己龍裏デーブイデー其ノ四-引換券」封入。

03.10 on sale 龍驤虎視～二〇一〇年十二月七日 渋谷オーウエスト単独公演～
◆DVD 価格¥4,980
2009年12月7日@SHIBUYA O-WESTでの単独公演の模様を収録

01.27 on sale 3種同時発売

メガマソ MEMORIES

◆初回盤A CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「MEMORIES」のPVとメイキングを収録。

◆初回盤B CD+DVD 価格¥1,680
DVDには"赤坂秘儀～SWEET CORONATION～" 2009/9/10@赤坂BLITZより「ザワールドイズマイン」「ohimes」を収録。

◆通常盤 CD 価格¥1,050
ボーナストラック収録。

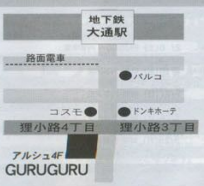
GURUGURU特典 交渉中！

2010/01/25 ミニコミ「発掘盤。」009 BOOK ¥1050 表紙巻頭特集：ViViD
2010/01/27 BugLug「SUPER NOVA」初回盤 CD+DVD ¥2940
2010/01/27 BugLug「SUPER NOVA」通常盤 CD ¥2520
2010/01/27 Decola Hopping「fairy's movie～えほんの世界へようこそ！～」DVD ¥1575
2010/01/27 EAT YOU ALIVE「Coke in a vein」CD ¥1300
2010/01/27 HiBRiD「glider」CD ¥1575
2010/01/27 the Vamble.「PLACE」CD ¥1260
2010/01/27 ValettA「性欲ヘルパー」CD ¥1575
2010/01/27 α:Vout「SCAR EDGE」CD ¥1575
2010/01/27 サンドイッチで120分？「キノドクなシアワセ」CD ¥1575
2010/01/27 ジュリエット「WORLD WONDER LOVE！」CD ¥1600
2010/01/27 ダウナー「ホワイトステレオスノー」A-TYPE CD ¥1050
2010/01/27 ダウナー「ホワイトステレオスノー」B-TYPE CD ¥1050
2010/02/03 chariots「package」初回限定盤 CD+DVD ¥4200
2010/02/03 chariots「package」通常盤 CD ¥3150
2010/02/03 xTRiPx「Innovation[re]isM」CD+DVD ¥2100
2010/02/03 えんそく「銀のハコブネ」CD ¥1575
2010/02/03 ヒトツメ「ぜ、ろ」CD ¥2100
2010/02/03 日々全てを飲み込むフカモカ「22052407」CD ¥1575
2010/02/05 ミニコミ「h'evn 046」BOOK ¥1050 表紙巻頭：THE KIDDIE
2010/02/10 CODE7203-KineSicS「コトノハ」TYPE A CD+DVD ¥1575
2010/02/10 CODE7203-KineSicS「コトノハ」TYPE B CD ¥1575
2010/02/10 Droog「Droog」CD ¥1800
2010/02/10 LuLu「ウイルス」CD ¥1260
2010/02/10 シド「SIDNAD Vol.4～TOUR 2009 hikari」DVD ¥6800
2010/02/10 シンディケイト「濱NIGHT☆CITYBOY」TYPE A CD ¥1375
2010/02/10 シンディケイト「濱NIGHT☆CITYBOY」TYPE B CD ¥1375
2010/02/17 Angelo「光の記憶」期間生産限定盤 CD ¥1300
2010/02/17 Angelo「光の記憶」初回限定盤 CD+DVD ¥1900
2010/02/17 Angelo「光の記憶」通常盤 CD ¥1300
2010/02/17 ANUBIS「MYTH～神々の調べ～」CD ¥3360
2010/02/17 DAMIJAW（ka-yu、Janne Da Arc）「タイトル未定」初回生産限定盤 CD+DVD ¥1890
2010/02/17 DAMIJAW（ka-yu、Janne Da Arc）「タイトル未定」通常盤 CD ¥1260
2010/02/17 MoNoLith「さえずり」CD ¥1260
2010/02/17 SOMATIC GUARDIAN「桜モノクローム」TYPE-A CD+DVD ¥1575
2010/02/17 SOMATIC GUARDIAN「桜モノクローム」TYPE-B CD ¥1575
2010/02/17 V.A.「XII FILE Vol.1」CD ¥2415 Defina Ma' riage/Chaos System/弾丸少女/CROSS BREED/ElDorado（ゲスト）/パニックch/カルヴァリ/SaTaN/ballad.（四国）/DISH/L'eprica/朱鷺（群馬）/Schwein（名古屋）収録
2010/02/17【_Vanilla】「蠟集」CD ¥2100
2010/02/24 12012「TATTOO」初回盤A CD+DVD ¥1500
2010/02/24 12012「TATTOO」初回盤B CD ¥1200
2010/02/24 12012「TATTOO」通常盤 CD ¥1000
2010/02/24 BAELSCOPE「BORDERLESS IMPACT」CD ¥2000
2010/02/24 D'ERLANGER「13e cross intoxication（仮）」DVD ¥6000
2010/03/03 LM.C「WONDERFUL WONDERHOLIC」初回盤A CD+DVD ¥4725
2010/03/03 LM.C「WONDERFUL WONDERHOLIC」初回盤B CD+DVD ¥4725
2010/03/03 LM.C「WONDERFUL WONDERHOLIC」通常盤 CD ¥3150
2010/03/03 NoGoD「INDIES BEST SELECTION 2005-2009」CD ¥3800
2010/03/10 V.A.「Japanesque Rock Collectionz Aid DVD「Cure」Vol.9」DVD ¥2980【収録バンド】DEATH GAZE 他
2010/03/17 ClearVeil「Black Belvet」TYPE A CD ¥1365
2010/03/17 ClearVeil「Black Belvet」TYPE B CD ¥1365
2010/03/24 9GOATS BLACK OUT「TANATOS」CD ¥2990
2010/03/24 amber gris「少女のクオレ」CD ¥1500
2010/03/24 Lycaon「Royal Order」初回限定盤 CD+DVD ¥3300
2010/03/24 Lycaon「Royal Order」通常盤 CD ¥3000
2010/03/24 キャンゼル「Invit S.P.」CD ¥3360
2010/04/21 ClearVeil「White Satin」TYPE A CD ¥1365
2010/04/21 ClearVeil「White Satin」TYPE B CD ¥1365

GURU GURU

〒060-0063
札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸ order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00

会社 グル・グル



全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」 ON AIR

毎週火曜23:00 FMアップル 76.5MHz
※札幌圏のみの放送になります。

インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streaming_apple.html

Kagrra,白水と女雅の道産子牧場
ヴィドールの真夜中の美人館 放送中！！

バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio.html

BugLug
★'10/1/27発売「SUPER NOVA[初回盤]」CD+VD¥2,940
★'10/1/27発売「SUPER NOVA[通常盤]」CD¥2,520
※オリジナル予約特典付！イベント2/28開催決定！

kannivalism オリ特：交渉中！
-helios-
3/17発売！ 初回盤-A- CD+VD¥3,800
3/17発売！ 初回盤-B- CD+VD¥3,999
3/17発売！ 通常盤 CD¥3,000
大好評予約受付中！

彩冷える -ayabie-
待望のNEWアルバム、発売決定！！
☆'10/1/27発売CD+VD「彩-irodori-初回限定盤A」¥3,500
☆'10/1/27発売CD+VD「彩-irodori-初回限定盤B」¥3,500
☆'10/1/27発売CD+BOOK「彩-irodori-通常盤」¥2,800
※オリジナル予約特典等、詳細はWebにて！

DOG inThePWO
「ドッグゼロスター」
★好評発売中！ M-CD+VD 初回盤 ¥1,890
★好評発売中！M-CD 通常盤 ¥1,260
※オリジナル予約特典付！イベント2/6開催決定

Lycaon
☆'10/3/24発売 CD+DVD「Royal Order-[初回限定盤]」¥3,300
☆'10/3/24発売 CD「Royal Order[通常盤]」¥3,150
インストアイベント&オリ特交渉中！
詳細ははweb siteにて！

東京指定
▼3/24発売「DJ PLAYER」
M-CDs¥1,890
◆オリ特やイベント詳細はWebにて！

9GOATS BLACK OUT
▼3/24発売
「TANATOS」CD¥2,990
◆オリジナル予約特典交渉中！

東京ミカエル。
▼3/3発売M-CD+VD¥1,890「ハピネス[初回盤]」
▼3/3発売M-CDs¥1,260「ハピネス[通常盤]」
オリジナル特典など、交渉中！
詳細はWebにて！

rice
待望のNewM-CDsリリース決定！
☆3/10発売 M-CDs+DVD「LOVERS[初回限定盤]」¥1,890
☆3/10発売 M-CDs「LOVERS[通常盤]」¥1,260
オリジナル特典交渉中！

シンディケイト
'10/2/10発売
・濱NIGHT☆CITYBOY[TYPE A]M-CD¥1,365
・濱NIGHT☆CITYBOY[TYPE B]M-CD¥1,365
※オリ特付！Webにて！

Shinko syukyo Gakudan NoGoD
INDIES BEST SELECTION 2005-2009
3/3発売 ¥3,800
オリジナル特典交渉中！

chariots
▼2/3発売「package[初回盤]CD+VD¥4,200
▼2/3発売「package[通常盤]CD¥3,150
インストアイベント開催決定！
2月6日(土) PM7:00～
※各タイトルに購入特典あり！

KYOKUTOU GIRL FRIEND
【勝手にしやがれ】
大好評発売中CD¥3,150
3大オリジナル予約特典
ラヂオ風コメントCD＋直筆サイン色紙＋アーティストカード

待望のフルアルバム発売決定！
▼'10/3/24発売「タイトル未定」CD¥未定
オリジナル予約特典、イベント開催など交渉開始！

TOON-FACTORY
-トゥーン工場-
【Innocent】
★発売中 CD+VD ¥2,625
オリ特：コメントDVD+α付！
大好評予約受付中！
2010年4月イベント開催！

MASQUERADE
「99kiss」
▼2/3発売 M-CDs¥1,260
インストアイベント開催決定
2010年2月5日PM7:30～
サイン＆トーク＆握手会!

HERO
☆「Oh My HERO」
発売中 CD¥3,200
オリ特：コメントDVD付！
'10/1/24(日) PM7:00～イベント開催

C4
▼発売中「-Crusaded 4-」
CD+FULL LIVE DVD¥4,800
オリジナル特典：スペシャル4枚組DVD！
～Clover of 4 leaf～＋アーティストカードセット

xTRiPx
Innovation[re]isM
▼2/3発売 CD¥2,100
※オリジナル予約特典等、考案中！
詳細はWEB SITEにて！

カルヴァリ
[Liquid Puzzle]
発売中 CD¥3,150
オリジナル特典付き！
インストアイベント開催決定！
'10/1/22(金)PM7:00～

愛狂います。
★発売中 CD+VD 限定盤 ¥2,100
★発売中 CD 通常盤 ¥1,575
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント'10/1/16開催

ClearVeil
2か月連続リリース決定！
▼'10/3/17発売
・Black Belvet[TYPE A]M-CD¥1,365
・Black Belvet[TYPE B]M-CD¥1,365
▼'10/4/21発売
・White Satin[TYPE A]M-CD¥1,365
・White Satin[TYPE B]M-CD¥1,365
※オリ特、イベント等、詳細はWeb siteにて

the GazettE
待望のLIVE DVD発売決定！
・LIVE DVD TOUR09 -DIM SCENE-FINAL AT SAITAMA SUPER ARENA
[初回生産限定盤] DVD ¥9,765
・[通常盤]DVD¥6,090
オリジナル特典：ツアーデータ入りパンフレット！

己龍
連続リリース決定！
☆1/27発売 CD+DVD¥3,675「明鏡止水/初回盤」
オリ特付！イベント開催決定！
☆3/10発売 DVD¥4,980「龍驤虎視」
～二〇一〇年十二月七日 渋谷オーウエスト単独公演～

Phantasmagoria
☆3/10発売M-CDs+DVD¥「Diamond Dust」
※オリ特：KISAKI氏にお
☆3/10発売CD¥2,10
Rare Tracks Mini Albu「Seeds of Brain」
※オリ特：KISAKI氏にお
大好評予約殺到中！

メガマソ
▼1/27発売「MEMORIES」
★限定盤A M-CD+VD ¥1,890
★限定盤B M-CD+VD ¥1,680
★通常盤 M-CD ¥1,050
3種同時購入特典付！

▼インストアイベントや、オリジナル予約特典の詳細などは当店web siteにて！
大好評予約受付中！

現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！

現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！

ViViD
■待望のNEWシングル発売！
【Across The Border】
▼2/17発売！
★【初回限定盤A】CD/VD¥1,890
★【初回限定盤B】CD/VD¥1,890
★【通常盤】M-CDs¥1,575
◆3タイプ同時予約購入者にはスペシャル特典をプレゼント！
◆インストアイベント開催決定！
・3月14日(日)ホワイトデー企画
詳しい詳細はWeb siteにて！

Brand X

ダウ
待望のフルアル
「CARNIVAL
☆3/10発売「大」
☆3/10発売「吟」
☆3/10発売「釀」
各タイプオリジナル予約
※詳細はWeb Si
インストアイベント開
日程調整中！WebSi

現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！

現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！

ヴィドール
-『EVE』-
★発売中限定盤A M-CD+VD ¥1,800
★発売中限定盤B M-CD+VD ¥1,800
★発売中 通常盤 M-CD ¥1,260
※3種同時購入特典付！

-『Monad』-
★'10/1/20 限定盤 CD+VD ¥4,980
★'10/1/20 通常盤 CD ¥3,150
※オリジナル予約特典付！
※インストアイベント開催決定！
ヴィドール

12012
2010年待望の新作！
▼2/24発売 M-CD+VD¥1,500 [TATOO/初回盤A]
▼2/24発売 M-CDs¥1,200 [TATOO/初回盤B]
▼2/24発売 M-CDs¥1,000 [TATOO/通常盤]
※オリ特等交渉中！

XOVER
【LIVE DVD】
▼'10/2/24発売決定！
様々な経歴を持つVocal.shauraと現Everlasting-K、ex.LaputaのKouichiの2名による業界震撼させる超強力ユニット！
オリジナル予約特典、イベント開催など交渉開始！！

超絶人気！
不良品種 花少年バディーズ
■待望のNEWシングル発売！
【乙女桜】大好評発売中！
★【初回限定盤A】M-CD¥1,500
★【初回限定盤B】M-CD¥1,500
◆各タイプにスペシャルな内容のDVDを特典としてプレゼント！
◆インストアイベント2月7日(日)開催決定！
激しい詳細はWeb siteにて！

SuG
祝！メジャーデビュー決定！
待望の新音源発売決定！
【gr8 Story】'10/1/27発売
・限定盤¥1,800・通常盤¥1,500
オリ特など詳細はWebにて！

アンド
待望の新音源発売決定！
☆3/10発売 M-CDs+DVD¥1,890「煉獄 A-TYPE」
☆3/10発売 M-CDs+DVD¥1,890「煉獄 A-TYPE」
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
3月13日(土) PM6:00～(人数制限あり)

GZ
2010年連続リリース決定
・2/24発売M-CDs+DVD¥2 [wisteria]
・5/5発売M-CDs+DVD¥2, [virdian]
各タイプにオリジナル予約特
考案中！内容充実予定
さらに、各タイプでイベント開催

PICK UP ITEM

D
待望のNEW ALBUM、発売決定！
☆2010/3/24発売
「7th Rose」
詳細は当店Web Siteにて！

※自主盤制作の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！

Brand X webshop

通信販売をご希望の方へ

通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換（着払い）と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。

①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人！！

TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下されば、すぐに商品をお送り致します。(FAX／ハガキの場合は第2希望まで明記してください。)※予約の場合は、商品が入荷次第ご発送致します。

▼

商品到着時に商品代金＋送料(全国どこでも¥800)を配達員にお支払い下さい。商品の到着は、ご注文から1日～2日です。※予約の商品は当店に入荷してから1日～2日でお届け致します。

②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人！！

TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお申し付け下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようにご送金下さい。

▼

現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金＋送料(¥500)をお送り下さい。
※予約の場合も同じです。

郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金＋送料(¥500)を下記の口座にお振り込み下さい。
※予約の場合も同じです。
口座名：(株)ブランドエックス
口座番号：00130-9-147670
※振込手数料は、お客様のご負担となります。ご注意下さい。

銀行振込(webshopご利用の
当方から送信される受注確
ご確認の上、下記口座に指
振り込み下さい。
銀行名：イーバンク銀行 タン
口座種別：普通
口座番号：7009021
口座名：(株)ブランドエックス
※振込手数料は、お客様のご負
ご注意下さい。

▼

入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日～2日でお届け致します。

ブランドエックス
http://www.brand-x.jp

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サ... プラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休

通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け下さい。

蝴蝶网 hudie.com

号Vol.206予告
（ぽっくんの主張：遠い記憶の瞳の巻）

2月20日全国一斉発売！

12月31日。年末恒例のカウントダウンイベント「Over The Edge 09」に今年も行ってきました。このイベント、関係者は何かしら楽屋に差し入れするのが仕来たりになっているのですが、去年ご乱心のロックンローラーが続出して、楽屋が無法地帯になったのが問題になったのか、今年は主催側から“お酒の差し入れはご遠慮願います”とのこと。なので、今回は大量のうまい棒を差し入れした。ただ、1本10円のうまい棒。中途半端な量だと、セコイ奴だと逹瑯になじられると思ったので、奮発して850本を楽屋に搬入してやった。そして楽屋テーブルに置かれたSHOXX編集部差し入れのうまい棒。さすがに850本は置ききれず、ほんの一部（といっても100本ぐらいはあった）をテーブル上のカゴに入れて、残りはテーブルの下にしまって置かれていた。そしてシナリオ通り逹瑯が寄ってきた。

逹瑯「編集チョー。天下のSHOXXの差し入れがうまい棒って一体どういうことですかぁー」。

ぽっくん「まぁ、まぁ、絶対たっつん（逹瑯）がそう言うと思って半端じゃない数買ってきたから」。

といって机の下に隠してあったうまい棒を奴に見せる。逹瑯はその大量のうまい棒を見て見ぬフリをしていたけど、ちゃっかり、しっかり、うまい棒を食べていたよ。来年はよっちゃんイカを2年分ぐらい差し入れしようかなー。

■逹瑯が人をイジル時には必ず“中学生の目”になる。あの独特の目（表情）は言葉では説明することは出来ない。でも中学の時にクラスにあんな目をした奴が確実にいた。雑誌のグラビアやステージで逹瑯の“中学生の目”を見る事は決してできない。あの目に遭遇できるのは逹瑯にイジられた事のある者のだけの特権（？）なのだ。

■お正月。アンティック-珈琲店-の武道館公演に行く。会場は超満員。大いに盛り上がる！　やっぱ最高。なんで活動休止なの!?　6年前。彼らのライヴを初めて見た時の感想。「演奏が超ヘタッピーでどんな曲を演奏しているのかよく分からないっ！」。けど、そのパフォーマンスはどっかで見たことのある借り物のスタイルじゃなくて、既に紛れもなくアンカフェ・スタイルだった。シーン登場当初、アーティストを含む、関係者などの間では、V系の伝統に縛られないなんでもアリ的な彼らのスタイルに対する風当たりは強かった。そして2010年。周りを見回すと今のV系のバンドの中に“アンカフェモード”を沢山探すことが出来るよ。ただ、ステージで“ニャッピー o(≧∀≦)と煽る、みくからは沢山のフォローワーを生んだ絶対的なカリスマ性の微塵も感じさせない（笑）。それが、また良し。

来月の表紙&巻頭特集は
SHOXX　Vol.206

Alice Nine

今年は寅年。虎を直撃！　今年はお前の年だっ!!　お楽しみに。

右記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、切手代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターが付いてない場合もあります。ご了承ください）。
また、近くの書店でVol.206（2月20日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

Vol.204
10年2月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマソ■人格ラヂオ■宇宙戦隊NOIZ■KISAKI

Vol.203
10年1月号 ¥980

■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■un SCAR NERVE 夢のセッションバンド撮り下ろし特集■椏×Ni～ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

バック・ナンバーのご案内

Vol.198
09年8月号 ¥980

■シド巻頭&表紙20ページ大特集■沙我(Alice Nine)■Plastic Tree■X JAPAN■ナイトメア■アンティック-珈琲店-■ヴィドール■ムック■D'espairsRay■Versailles■12012■heidi.■Dolly■boogieman■ギルガメッシュ

Vol.199
09年9月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■Alice Nine■千葉(仙台貨物)■アンティック-珈琲店-■Psycho le Cému■Plastic Tree■ナイトメア■ムック■Kagrra,■ヴィドール■Kra■D■Sadie■ギルガメッシュ■龍寺(ゾロ)■姫苺■メガマソ■アンド■Versailles

Vol.200
09年10月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■虎(Alice Nine)■有村竜太朗(Plastic Tree)■アンティック-珈琲店-■D'espairsRay■Mix Speaker's,Inc.■仙台貨物■舞(Kra)■彩冷える■摩天楼オペラ■キリト(Angelo)■KISAKI■PENICILLIN■Aoi

Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良(Kra)■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女～ロリヰタ～23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

Vol.202
09年12月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.193
09年3月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙24ページ大特集■PS COMPANY Peace & Smile Carnival■ムック■Kra■アリス九號.■Plastic Tree■アンティック-珈琲店-■Dolly■D■ヴィドール■D'espairsRay■Versailles■12012■boogieman■Kagrra,■heidi.■Sadies■陰陽座■少女～ロリヰタ～23区

Vol.194
09年4月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■咲人&Ni～ya(ナイトメア)■ムック■ヴィドール■D'espairsRay■D■アンティック-珈琲店-■12012■Plastic Tree■LM.C■宇宙船隊NOIZ■Sadie■Mix Speaker's,Inc.■the studs■Wizard■ドレミ團■ゾロ■Aoi

Vol.195
09年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■ヴィドール■LM.C■Kagrra,■Mix Speaker's,Inc.■カノン(アンティック-珈琲店-)■アリス九號.■Angelo■Kra■ドレミ團■少女～ロリヰタ～23区■SCREW■SuG■ギルガメッシュ■メガマソ

Vol.196
09年6月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■ヒロト(アリス九號.)パーソナル企画■有村竜太朗(Plastic Tree)■ナイトメア■ムック■シド■アンティック-珈琲店-■LM.C■彩冷える■雅-miyavi-■Angelo■heidi.■ギルガメッシュ■宇宙戦隊NOIZ■ゾロ■BOUNTY

Vol.197
09年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙18ページ大特集■YOMI & 椏(ナイトメア)メンバー内対談■Nao(アリス九號.)パーソナル企画第2弾■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■雅-miyavi-■シド■LM.C■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■Mix Speaker's,Inc.■heidi.■ギルガメッシュ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶園
hudie.com

シド・マオ
第五十回
ステキコラム。

「日本人なんだからクリスマスなんて関係ないじゃん」と言いながら、街で奇麗なイルミネーションやクリスマスツリーを見かけると、ついつい足をとめて見とれちゃう、典型的な日本人です。で、おなじみのマオです。

え？　もう今年最後の号？ 早っ。リアルに去年最後の号を半年前ぐらいに書いた記憶なんだが。一年、早かったな。特に今年は。

バンドにとっても怒涛の年だった。ツアーにしてもリリースにしても、その全てが中身がギュッと詰まった濃いものになった。

さて、毎年この時期は年末の振り返りコラムやクリスマスネタで締めくくってたと思うから。今年はちょっと違うネタで。最近ネタでいこう。

こないだ（12月前半）に地元の友達が東京に遊びにきたんだけど、その期間はお休みをもらって、ひたすらそいつと遊んでた。

東京に住んでもう長いんだけど、地元の友達がこっちに遊びに来るってことは初めての経験だったから。数日前から妙にドキドキしてた。

初日はそいつの希望で「東京のライヴハウスが見てみたい！」とのことだったんで、恵比寿リキッドルームに連れて行った。ちょうど事務所の後輩バンドの出るイベントがやってたから。どのバンドもエネルギッシュで刺激的なライヴだったんだけど、特にすごかったのが宇宙戦隊NOIZ！　昔、広島で共演したことがあり、ちょっとした顔見知り程度のバンドさんなんだけど、完璧な世界観、笑いあり感動ありのステージ、相変わらず音もかっこよくて魅了されっぱなしだったな。

2日目は東京観光。渋谷、原宿、青山と。田舎者（おれもそうだったから笑）が目ん玉飛び出しそうなぐらいの人混みを見せたくて。昼間のスクランブル交差点や竹下通りを歩いたのも何年ぶりかな。逆におれのほうがドキドキしてたかも。2人して方言丸出しで騒いでたらファンの子に声をかけられて恥ずかしかったな笑。

夜はおれん家で朝まで焼酎片手に語り合った。「おまえは頑張れよ」と「おれはもっと頑張んなきゃな」の繰り返しで朝がきて。

絆が深い友達、男同士っていいなって。今更ながらあらためて思った2日間だった。
友達ってさ、血の繋がりがないぶんもっともっと濃い時間を過ごそうとお互いが求め合うから。その付き合いが長ければ長くなるほど、かけがえのない存在になっていくんだなって思う。
大事にしましょ。

よいお年を。

**SHOXX Vol.204
「シド・マオのステキコラム。」の
掲載ミスに関するお詫び**

先月発売のSHOXX Vol.204（12月21日発売）の「ステキコラム。」において、編集のミスによりSHOXX Vol.202に掲載された原稿を再度掲載してしまいました。今回のこの記事は本来Vol.204で掲載されるべき原稿を掲載させていただきました。関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。今後このような事がありませんよう、スタッフともども誠心誠意努力をしてまいります。

アンティック -珈琲店-
ピーポ君は役立たず

最終回
第六十三事件簿
アンティック-珈琲店-の回

【みく】
みくです。いよいよこうして、コラムも最終回を迎えてしまうわけですね。何でも終わりって寂しいもんですね。これを読んでいる方々や、ショックスのスタッフのみなさん、メンバー、スタッフ、そしてカフェっ仔で一緒に掴み取った日本武道館。まさかここまで俺達が来るとはバンドを始めた当時は思ってはいませんでした。今でも信じられません。
日本武道館での結婚式。【今まで散々、ライブはデートと言ってきたので、日本武道館は一つのゴールとして結婚式と言わせてもらいます。】楽しかったの一言じゃ語れない。というより楽しい気持ちよりも違う気持ちの方が大きかったです。会場の声援が胸を締め付けるように苦しかった。痛かった。やっぱり活動休止は辛いですね。綺麗事なんて言えない。また戻ってくると言っても、お別れじゃないと言っても、ちょっとは距離が出来ちゃうもん。ゴメンなさい。俺達が勝手に活動休止って言いだしたのに。「人生に一度きりでいいや。」なんて日本武道館をやる前は思ってたけど、またあの景色をみんなで見たくなりました。絶対に見せてやるから。だから待っててよ。カッコ良くなって帰ってくるからさ。寂しい気持ちはきっと拭い去れないとは思う。けどこの気持ちは強さに変わる。
今年の俺の目標は自信を持つことだ。自分を信じれること。すなわちそれが自信だ。自信を持てるように頑張ります!!またみんなに会いたいからさ。だからしばらくアンカフェのみくはByeByeです。今まで支援してくれたみなさん、6年間ありがとうございました。

【カノン】
こんにゃくちゅわー。なんと「ピーポ君は役立たず」最終回です（オロロンオロロン）。今回は思い出を振り返りつつ名言なんかさりげなく残せたらいいなぁ
なんて、言いつつ振り返ってみよう。学生時代から愛読していたSHOXXで連載を持てた時は本当に嬉しかったでござる。どこの雑誌でも連載なんてやったことがなかったので嬉々としていました。タイトルは丁度連載が始まるちょっと前に、なんと!!!　機材車が車上荒らしにあったのです。その機材車のバックミラーには警視庁のマスコットキャラクター『ピーポ君』がブラブラと飾られていたのにです。ピーポ君の監視の目があったというのに車上荒らしにあった、という事でメンバー内で「ピーポ君は役立たずだ」って蔑んでいたら連載の話が来たのでタイトルにしちゃいました。
まさか、こんな長期に渡る連載になると誰が予想したでしょうか。ピーポ君63回も侮辱しまくってゴメンよ(>_<)ピーポ君は役立たずじゃない!!

【takuya】
ショックスさんではたくさん表紙を飾らせてもらったんですが、一番印象に残ってるのが富士山での撮影ですね〜。色々大変やったけど、とにかく寒かった。メイクさんの汗が凍るくらい（笑）。ほんま色んな事が体験できた撮影でした。また凝った撮影してみたいですね！
それではまた会える日を楽しみにしてます。

【ゆうき】
ゆうきです、今回の武道館ライヴで活動休止を迎えました！　スタッフやカフェっ仔やメンバーや、その他にも沢山の人たちに支えられて無事武道館ライヴを成功させることができました！　今思うと加入して約2年半、あっというまに過ぎたように感じましたが、沢山の思い出や経験が増えました。これからも沢山の経験をつみ、再びアンカフェとして出れる日まで頑張ります！　ありがとうございました！

【輝喜】
川辺で撮った僕らの写真が、UP TO DATEに掲載されて大喜びしたあの日が懐かしいです。そんな僕らもいつの間にか、表紙を飾らせてもらえるまでになりました。音楽を通じてたくさんの人と出会い、笑い、泣き、支えられた6年間でした。僕達と出会って下さったみなさんには、本当に感謝しています。どうもありがとうございました。

彩冷える 葵 の ヒナタごっこ 第46回

010年もあっと言う間に一ヶ月が過ぎよう ています今日。
皆さんいかがお過ごしですか？　この一ヶ の間で良いこと・悪いことありましたか？
僕は平坦な毎日があまり好きではなくて、 の「SHOXX」という雑誌のように日々刺 を求めていたいと思う人間なのですが（別 ャジではないですよ）そんな僕でも未だに られない「トラウマ」になった出来事が 年の末にあったんです。

東京の高田馬場というところで、僕と事 所の社長とSHOXXの某編集長と、同じく OXXの志田女史と打ち合わせをしていた のこと。SHOXXの編集長の某ぼっくんが きなり僕の手を取って僕の指を彼の唇へ。 のまま口の中へ、ぱっくんちょ。ぼっくん っくんちょ!!
・失礼、取り乱しました。そのあまりに 然の行為に僕はビックリ!!　まさにショッ っす!!!　隣で笑う事務所の社長と「またで ゃ・・」と言わんばかりの表情を浮かべる 田女史。
「こんなのうちらの仲じゃ当たり前だよな、 おい」
「どんな仲やねんっ!!!」
っくんはいつも色んな方とこういうコミュニケーションをとっているのだろうか？ 誰か他の被害者の方ご一報ください。
もともとボックンと僕の歴史を紐解くと・・意外と昔から今のままだった気がします（笑）。僕が初めてぼっくんに出逢ったのは彩冷えるの前にやっていたバンドの編集担当をして戴いた頃だったでしょうか。いや、僕が初めてこのSHOXXの誌面に出た撮り下しの時も確か担当はぼっくんでした。それは何かのオムニバスCDの特集だったと思いますが、そのオムニバスに参加されていたバンドのヴォーカルさんたちを集めてのフォトセッションとインタビューでした。
確か最初に集合インタビューを受けたのですが、僕は当初、今とは真逆で喋るのが本当に苦手でインタビューではほとんど喋ることができませんでした。色んなバンドさんたちが列ぶそのオムニバスのような機会では、本当に「出たもの勝ち」的なものがありまして、要は目立ったもん勝ちなんです。その出ばなを挫かれた僕を見てぼっくんは近寄ってきて「君、この業界は目立ったもん勝ちだよ!!　他に譲るようならやめてしまった方がいい。とにかく後悔するならまず行動に起こしてから。その後ダメなら後悔すればいい」
その言葉は今でも僕の中で1つの格言として生き続けています。その後のフォトセッションはその言葉を真に受けて・・というか、勘違いしてなぜか編集部の隅にあった消火器を持っての撮影。多分インパクト重視だったと思うのですが今考えるとまったく意味がわかりません。
でもこれが1つのきっかけとなり、バンドのヴォーカルなのに引っ込み思案で恥ずかしがり屋だった僕の中で何かが少しずつ変わり、今の目立ちたがり屋に変わっていったのだと思います。
多分ぼっくんはこのこと覚えていないと思いますが（苦笑）。

ヴィジュアル系というものに興味を持って勉強するために観ていたこのSHOXXは、当時の僕にとってまさに「バイブル」。今この雑誌を読んでいる方の中でも僕と同じような境遇の方もいると思います。そんなバイブルの表紙を飾らせて戴けるように自分がなれたのが純粋に嬉しいし、これからも頑張っていきたいって思います。

彩冷えるは今年、従来の所謂「ヴィジュアル系」バンドとはちょっと異質な活動をしていくかもしれない。それは人によっては「ヴィジュアル系」バンドとは言えないのかもしれない。だけど、僕らは気持ち的にはなんら変わりないし、他のバンドさんと同じような活動をしてもしょうがないと思うんです。

いつまでも刺激的なバンドでいたい。少しでも多くの方に知ってもらいたい。
「ヴィジュアル系」を固定疑念で聞きもしないで否定している方々にとりあえず聞いてもらえるようになりたい。「ヴィジュアル系」と言われるカテゴリの中のバンドだってしっかり音楽やってるし、それを聞いてから判断して欲しいって思うんです。だからまずは知ってもらえる活動を僕らなりにしていこうと思います。今年2010年、僕らはもっと速度をあげてこの業界を引っ掻き回そうと思っています。ぼっくんの衝撃に負けないように僕も頑張って生きてみます。

最後にいつも長々とコラム書いてしまってごめんなさい。何一つ文句言わずに掲載してくれるSHOXX編集部の皆さんに感謝します。
今年も色々あると思いますが、どうぞ宜しくお願いします。

あおい

heidi.
『ハイジのアルプス日記』
第9回：義彦

年明けましておめでとうございます！

餅は食べた？
酒はいっぱい飲んだ？笑

の正月休みは…

でゴロゴロ…

きたら日本酒…

らけてしまった休みだったけど、久しぶり 家族とゆっくり出来て楽しい正月だった

～！

…きっとこりゃ太ったな、

って、2kg太ってる…汗。

だから休みって嫌いなのよね。笑

ジム＆カラオケ行って体動かしてこようっと。

そういえば、プレミアムダムの僕らの曲「泡沫」のライヴバージョンを見てきました。笑

少し照れくさいけど、暇があったら見てみて下さい。

今月はライヴが1回しかなくて皆に逢えなくて寂しいな～。

だからこそ、ブログいっぱい書くぞ～♪笑

という訳でこれからもheidi.をよろしくです！
去年のheidi.より、もっともっと突っ走っていくぞ～!!

良い曲、良い歌をもっと多くの人に届けられる様に頑張っていきます!!

※新年早々まとまりのないコラムでごめんなさい。

義彦

THE KIDDIE 佑聖 絶頂モンスターハイゲイン
第8回

たーーい(・。・)じょんぼんじょび

あけましておめでとうございます。
ことよろー！

今年も勢いだけは負けないギタリスト目指してがんばっぞ！

さてさてこれを書いている今現在ぼくはもぐらさんになっています。

詳しく説明すると地下活動てきな事をしている。

なので食事は毎日出前をとっているわけなのですが、最近異常なくらいチンジャオロースが大好きである。

なんで今まで気づかなかったのだろうかってくらいもっと早くこの魅力に気づいていれば、俺の一生のうちに食べるチンジャオロースの量は何倍にも増えていたであろう。

なので今はそれを取り戻すべく毎日チンジャオロースを食すのだSHOXXだけに食すのだ。

ちーなーみーにー今日で3日連続ばい。

ピーマンは大人になってから急激にマイふぇいばりっとふーどになったわけだが身体にいいのかね？_教えてください。

そんな感じで先月の問題の答えは「ウニ」でした！最近ウニに敏感なギタリストです。

じゃあ今月の問題！
俺的、冬といえばなに？

うむ、今年もウニに敏感なギタリスト目指してがんばります。

じゃらば。

蝴蝶网 hudie.com

トゥーン工場 Kiss☆My★Choice

第9回目
夢叶

あけおめ&ことよろ

な感じで！

どうもトゥーン工場 夢叶（ゆの）っす！ 2010年ついに始まりました！ 今年も気合い入れていくっす！

な・の・で

皆様応援よろしくお願いします！ 今年は去年より100倍飛躍してやりますっ！

今年も頑張っっっていきましょー！

んな感じで本題のレガさんからのお題「将来について」です！

将来について…

アバウトに言うと一生音楽の制作等に携わって食っていきたいです。詳しく言うと実は僕色々とやりたいことがありまして！ もちろんバンドが一番好きなのですが、声優さんやアイドルに楽曲提供したり、有名な人のバックでギター弾いたり、編曲したり、レコーディングエンジニアしたり、バンドとかアイドルプロデュースしたり…

生きてる内に全部成し遂げたいです。それも全部やるだけじゃなくて自分が納得いく結果を出して！ そして音楽で稼いだお金をまた音楽に投資する！ んで都内に一軒家地下にレコーディングスタジオ完備みたいな家が欲しい！

一番理想に近いのはつんくさん。

シャ乱Qってバンドでブレイクして、その後にモーニング娘。をプロデュースしてヒット！ つんくさんはバンドマンで成功して、プロデュース業でも成功して、今も楽曲提供等をして曲を世に出していて。本当に憧れの方です！

あとスタジオミュージシャンでギタリストの西川進さんも好きでして！
あとあと作曲家さんだと前澤寛之さんや長尾大さんが好きです

つんくさん+西川進+長尾大さん+前澤寛之さん的な人になりたいです。

もちろんそれを実現させるには努力は不可欠！ と思いギターの練習はもちろん、2009年からはDTM（Protools）を徹底的に強化しました。やっぱり今後PC系は強くなければ絶対生き残って行けない気がするし、PC系が強ければ長い目で見たとき仕事の幅もかなり広がると思ったので2009年は兎に角お金も時間も投資しました。

今までは自分の担当しているパートギターしか基本的に見えていなかったけど、一人でドラム、ベース、ギター、メロディ、シンセ、ストリングス、アノを構築していくことによってバンドサウンの核たるものが見えた気がします！ その甲あって実力的には本当にまだまだペーペーですど2008年の自分と比べると遥かに進化出来た気します。

今年も沢山音楽面でも人としても成長出来たなって思います！ あと去年はいい出会いが沢あって、今こうして僕がここにいられるので、今も一期一会を大切にしていきたいです！

…っとまた勝手に話を広げまくっちゃいましたレガさんからのお題「将来について」の答えは

バンドで活躍しつつ、声優さんやアイドルに楽曲供したり、有名な人のバックでギター弾いたり、曲したり、レコーディングエンジニアしたり、バドとかアイドルプロデュースしたり…音楽面でルチに活動して活躍したいです！ あと都内に軒家（代官山か祐天寺あたりに）でレコスタ完備家が欲しいです（笑）。7年以内には実現させる！ 7年なんてきっとあっという間だから急いでがんらなきゃ！

続いてゆーぃちさんへのお題は
「今年の目標&意気込み&バンドへの情熱&すべらい話」
でお願いします！

ゆーぃちさん、面白い話期待してますよ(☆o☆)

夢のぐるぐる大回転 第22回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆

HIZAKI(Versailles)『映画』 ➡ JUN(spiv states)

最高のライバルで、同じ志しを持つ麗しのKayaちゃんからご紹介に預かりました、HIZAKIです。

お題は[映画]という事で語らせて頂きます。様々なジャンルの映画を暇さえあれば観ていますが、その中でお気に入りは、ダ・ヴィンチ・コード、天使と悪魔とかですね。特に信じてる神というのはいないんだけど、宗教学は大好きです。

ダ・ヴィンチ・コードでは、キリスト教の歴史的な事実、現代に受け継がれている痕跡を実に大胆に描かれていて、深く考えさせられます。

現代社会にも残ってる問題。世界では宗教戦争がまだあるし、男尊女卑のシステムは2010年を迎えても、未だ残っている。

権力者によって創られた宗教。本当のキリストの教えがどれだけあるのか今となっては解らないけれど、この時代になっても間違った教えは沢山残っている。

特に中世には、宗教による残酷な歴史もある。戦争、魔女狩り等、意味の無い殺人が数々繰り広げられて来た。

この時代になってやっと自由な思想が認められて来たけど、自分自身が強い信念を持つ事が大事だと思います。

世界で20億人を超える宗教だから、権力者達は正しい導きをしてもらいたいですね。そうすれば世界も変わって行くと思うよ。

キリスト教もそうだけど、イスラム教、仏教など様々な宗教、秘密結社にいたるまで、素晴らしい教えは沢山ある。個人的な見解だけど、神を信じるのが大事じゃなくて、神に祈る精神が大事だと思う。

自分に合った教えに出会えたらいいけど、神を食い物にする人、富ばかり考えている宗教が世の中には溢れている。

許しがたい事だけど、無くなる事はないかもしれない。慎重に選んで欲しいものです。

そして、この映画には歴史的な絵画、象徴学、実に沢山の謎が隠されています。映画を観てから本を読む事をオススメしますが、様々な謎が明かされて行くので興味深いと思いますよ。

もう一つ天使と悪魔は、正反対にあたる科学と宗教について描かれてます。これだけ文明が発達しても、まだまだ世の中は謎だらけ。

どちらも悪に使えば兵器になってしまうけれど、互いに素晴らしい所をもっと受け入れ交わって行く世の中になれば、もっと平和で愛に溢れた社会になるんじゃないかな。

そういえば、Versaillesでも相方のTERUは科学が大好きでね。よく火星の話とか、途方もない数字を調べたりしてるよ。

そっちの方は疎いから良く解らないけど、正に科学と宗教の融合のツインギター。

New Album［JUBILEE］でもその様子は感じ取ってもらえる事だと思うよ。科学と宗教、classicとmodern、digitalとanalog、様々な真逆にあるものをもっと追求して行きたいですね。

紹介するのは、最高のエネルギーを感じさせてくれるspiv statesのJUN君です。お題は［写真］です。

少女－ロリヰタ－23区 "KING" of the world!!

第二十三回 ユ≠キ

「あなたは人をいたわる気持ちを覚えなさい―」

小学三年5月。
担任のこの一言とともに期間限定で飼育係とゆう試練を与えられた。

絶対無理だ

昔電柱に繋がれてた犬を捨て犬と間違えて持ち帰った事はあったが、長い期間のペットの世話なんて経験になかった。学校で飼育しなければならないのは鶏にウサギに魚。

正直どれも食材にしか見えない。

そう思いながらも飼育係をこなしていたある日、担任に「あなたは最近頑張ってるから、これを持って帰って家でも育ててみなさい」と鶏の卵を2つ貰い飼育係の幕を閉じた。何故かすごく嬉しくて育てたいとゆう気持ちで一杯になった。

でも持ち帰ったのはいいが、肝心の卵の育て方がわからない。

思い返すと、鶏は卵の上に座って暖めてるのを思い出した。どうせ卵に座って潰しちゃった何て言うと思うだろ？

それはない。

他に暖める方法で人間的手法があるはず。
人的な暖め方は何か考えてみた。

…当時ゆで玉子なんて知らなかったし、全く興味がなくて卵事情なんて気にしたことなかった。

ここまで言えば何をしてしまったかわか ばず…。

一つは無駄にしてしまったが、まだもう一つ残ってる。きっと担任も俺の行動を読んで備として2つくれたんだと思う。最後の一は慎重にと思って約二日間は寝る間も惜しくらい集中して育てていたが集中しすぎたいか飽きてきてしまい、このままでは捨てしまいそうになった。

そんな理由を大袈裟に担任に話すと、学校の飼育所で一緒に育てていいとゆう許可が出

授業が終わったら放課後卵を持ってこう思って、それまで滅多に開けない自分のロカーにしまっておいた。肝心の授業が終わたら頭の中は遊ぶことで一杯
卵の事なんか思い出す余裕すらなかった

それから何日経っただろう。ある生徒が授中“ピヨピヨ”って声が聞こえると言い出た。“ぴよぴよ？”その瞬間脳裏に卵とゆ言葉が走った。慌ててロッカーに行き開けみると、ずっと忘れていた卵が、密室の狭いロッカーの中で無事元気なヒヨコに返っていた。

しか[illegible]以来、[illegible]たあ[illegible]は[illegible]の[illegible]

hudie.com

DéspairsRay マニアの覗き穴

第89ブレイク HIZUMI編

どーも。2010年になりましたね。ぼーっとてたら年が明けてました。笑

新年になり一発目の連載、さぞかし期待度MAXなことでしょうね。しかし！　期待を切る気MAXのHIZUMIです。笑
タもそろそろ無くなったので今回はこの辺…と言いたい感じMAXです。笑

ディスパーズレイ年始はいっつもレコーディングに追われるんですよ。しかも年始の載いつも俺だしね～。4人で回してるから然なんだけど。ちなみにこれ書いてるの絶プリプロ中だしね。笑
みんなにばれない様にこそっと書いてます。

寅年…たしかメガネが取れると強くなるうちの兄貴が寅年だった様な…。

今年はそーだなー、とりあえず音源完成させなきゃだな。まあこれが載る頃にはある程度出来上がってると思うんだけどね。今回の音源は初めて聴いた人はいつもの事だけど、これディスパーズレイ？って感じのまたまた新しい音になりそうですわ。何回も聴くと「ぼさ」が出て来ますね～。まあ楽しみにしてて下さい。

去年はいろいろ体調不良に襲われたからプライベートではパワースポット巡りしてみたいかな。屋久島とか行ってみたいしな～。取り合えず明治神宮いかなきゃな。笑
願わくば竜脈を家にひいてみたい！笑
みんなおすすめの場所あれば教えて～。

ま～今年もマイペースで行く気MAXです。
みんなも目の前に高い壁があっても乗り越える事だけを考えずくぐってみるのもありだと思います。笑
きっと新しいものが見えてくるでしょう。

ではそろそろ本気でネタがなくなってきたのでこの辺でドロンしたいと思います。

今年も一年ディスパーズレイをよろしく。

HIZUMIでした！

蝴蝶网 hudie.com

ドレミ團マコトの 月刊少年マコトピア

第71回 「2010年」の巻

皆様あけましておめでとうございます。
もう1月も終わりますが、2010年もよろしくお願いします！

さてさて、おかげさまでドレミ團結成8周年を迎えることができました。とにかく時の流れは早いですが、このバンドをつくってからもう8年も経ったなんてびっくりでですね。

せっかくなので今年の抱負というか目標でも書いておきたいと思います。
・去年よりたくさんツアーをしたい。
(去年は2回しか出来なかったのでもっとしたいな。出来るだけいろんなとこに行きたい)
・地元、大阪にもたくさん行きたい。
(ツアー以外でも頻繁にいけるといいな)
・健康でありたい。
(去年は体調はほとんど壊さなかったので今年も引き続き健康で！)
・ショックスにいっぱい載る。
(今年もよろしくです)
・去年創った作品を越えるものを創る。
(がんばろう！)
・このコラムの締め切りを守ります。
(が、がんばろう…)
・楽しく、笑顔で！
(これが一番だな)
なんか多いけど全部かなえられる筈だと思います☆

そんなわけで今年も恒例の「東京姫始メ」やりますよ！　毎年、年が明けたらすぐに開催してるのですが、今年は23日なのです。

この日、新生ドレミ團をどーんと披露しますので期待していてください！

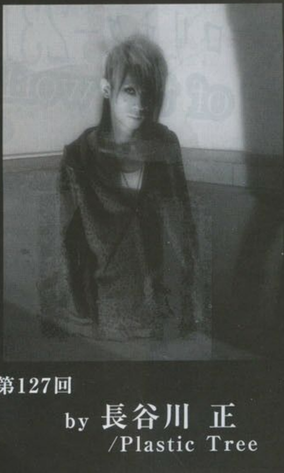
ほな、今年も応援よろしく願いします！

うしろの正面

—ただしづら—

第127回

by 長谷川 正 /Plastic Tree



皆様こんちくわ&明けましておめでとうございます！　気が付けば2000年代も10年目に突入ですね…早いものです。何はともあれ今年もステキなものを皆さんに届けたり、自分でも発見出来たりする一年にしたいと思ってますので、どうかよろしくお願いします！　さて、2009年の暮れもライヴ三昧の日々でした。まずは台湾と今回が初となる上海でのライヴ…台湾に関してはとにかく盛り上がった楽しいライヴでした！　台湾の皆さんとのコミュニケーションもだいぶ慣れて来た感じがして、いい意味でリラックスした雰囲気だったのも嬉しかったです。上海は初めて訪れる場所だったのでどんな雰囲気なんだろう?…と若干緊張した部分もあったのですが、実際ライヴが始まると集まってくれた皆さんの反応が素晴らしくて本当に感激しました…また行ってみたい場所が一つ増えた感じです。プラとしては一年の締めとなるC.C.レモンホールの二日間はメンバーやスタッフ、観に来てくれた皆さん…あの場所にいた全ての人の空気感がすごく心地よくて、去年あったいろいろな事全てがこの場所を得るために必要だったんだ…と思ってグッと来る瞬間もありましたが、素直に楽しめたステキな二日間でした。ここ数年すっかりおなじみの（笑）大晦日に行われたイベント「Over The

演で久しぶりにカバー曲を演奏したんですが…これは楽しかったなあ！　今でもいろいろなCDを聴いたりする中で、気になるものがあったら向学のために（?）一人でコピーしてみたりする事はあっても、バンド単位となるとなかなかそういう機会もないですからね…特に今回は昔から一度やってみたかったhideさんの曲を演奏出来たのが嬉しかったです。そういえばプラも始めたばかりの頃、いろいろな曲をカバーしていた事を思い出します…しかも洋楽ばかり（笑）。でもそういう経験を通じて得たものが今のスタイルを生み出す礎になっていると感じる部分もあるので、刺激となる新しいものに触れながらも、ルーツとなる部分に関しても大切にしたいと改めて思う今日この頃です。その流れで（笑）今月は「ゼム・クルックド・ヴァルチャーズ」というアーティストの、同名となるファーストアルバムを紹介しましょう。このバンド、メンバーの経歴を語るだけでかなりの強者っぷりですが（笑）、それ以上に音がグルーヴィーで、ちょっとミステリアスなところもあって、ロックが本来持っている中毒性の高さが魅力的でおススメの一枚です。という事で、2010年もマリモーランドからゆるゆるな感じでお届けして行く予定なので、どうぞよろしく（笑）。それではさよーなりー！

Mix Speaker's, Inc. seekの凡人水族園

蝴蝶 hudie.com

年始早々。レコーディングスタジオでメンバーと打ち合わせをしていた。するとロビーに八名信夫さんが入ってきた。あの「まずい。もう一杯。」としかめっ面で仰る悪役商会のお方である。唐突にスタジオスタッフの女性が「seekさん。八名さんが来られましたけど。」と言い出した。そこでハタと思い出した。僕は八名さんに仕事の依頼をしていたのだ。とりあえず八名さんを別室へと案内したが一つだけ困ったことがあった。八名さんに何をお願いしていたのかがさっぱり思い出せないのである。「代々木上原とか下北で何度かお会いしてるんですよ。」などと世間話で間を繋ごうとするが、八名さんの方は全く覚えている様子もなく僕の事を訝っているようだ。その間に鞄にある手帳で何を頼もうとしているのかを必死で探していたら。雑多な走り書きの中にこんな一文があった。「Mr.X/アテレコ/八名信夫」。「いつこんなお願いしたっけ。ていうか八名さんギャラ高いんじゃなかったけか。どうしよう。先にギャラの話しとけば良かった。うわー。八名さんめっちゃこっち見てるやん。うむむ。。。」という初夢と共に新年が明けた。

往来では晴れ着姿の家族や若者達が詣でている中。我家は溜め息が出る程とっ散らかっていた。毎年毎年大晦日をライヴハウスで過ごしているので年末大掃除とは縁遠い生活をしているとは言え何時までもこんな事では一社会人としてのグループに入れてもらえないので。新年一念発起大掃除を始めたのである。極寒の中、窓という窓を開け放ちマスクにジャージ姿の完全武装でテキパキと片付けホコリを叩き隅から隅まで掃除機を掛けまくった。舞い散るホコリを見ながら我が事ながら「よくもまあこんなに溜め込んでしまったものだ。何故もう少し早く手を付けなかったのだろう。こんな事だから毎年毎年母はおせち料理を送ってくるのだ。もう十年になる。この十年間僕は一体何をやっていたのだろう。。。にしてもこの部屋臭うな。これだけホコリが舞えば致し方ないか。っていうかこのマスク全く役に立ってねーじゃねーか。」安物のマスクに自分の十年間の不甲斐無さを重ね合わせ怒りMAXになった僕はマスクを地面に叩き付けた。するとあら不思議。さっきまでの不快な匂いが全くしなくなった。恐る恐る拾い上げたマスクは僕の口臭でクッサイ臭いをあたりに撒き散らしていたのである。部屋よりも何よりもまずは自分の身を清めなあかんがなという話である。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

ヴィドールの 美doll? 微

第七十六体目 シュンの巻

明けましておめでとうございます。
2010年も正月太りしそうなシュンです。
1年が終わるのって早いもので。
気づけば2010年。
今ちょうど実家に帰っててさ。
実家のリビングでこれを書いてるわけですけど。
こたつが暖かくてご飯が美味しくて。
食べたら寝てを繰り返す駄目正月を過ごしてまする。
いつもお正月になるとね。
一年の目標というか自分の課題を決めるんだけど。
去年のうちからすごく迷ってたんだよね。
自分がこれからどうすればいいのか。
どうしたいのか。
どうしなきゃいけないのか。
すっごい考えて悩んだりして。
地元の友達と飲みに行ったりさ。
色んな話をして。
結果、すごくリフレッシュできて。
改めて気づかされた事。
俺って今すごく恵まれてるんだなって。
みんなもっと大変だったり。
悩みを持ってたり。
親や友達やファンのみんなに応援されてる俺は幸せだなって思った。
でさ、出た結論としては。
俺は悩みとかの前にやりたい事やってんだから。
やらなきゃいけない事を全部やりつくす事にした。
すごく当たり前の事。
やらなきゃいけない事はいっぱいあるんだよね。
それを今年はやり尽そうと思う。
それが俺の今年の課題であり目標。
今までの人生の中で一番本気で頑張る一年にしたい、って思う。
自分の中で限界を超えて結果をきちんと残す2010年にする！
ヴィドールは1/20にはアルバムだして23日にはCCレモンあるし。
1月から色々忙しそうだしね。
お正月終わったらめっちゃ頑張っていきます
みんな、今年もヴィドールをよろしくねー！
ヽ(*´∀`)八(´∀`*)ノ

Moran Hitomiの 「瞳孔反射」 第22回 『L』

もしも自分の彼女もしくは奥さんが女性と浮気をしていたら…俺は問題なくOK派だ。もちろん浮気相手が男性だった場合は、かなりの嫌悪を抱くだろう。だけど、女性の場合は違うのだ。不思議と気持ち悪さを感じない。昔から俺は「男は汚いが、女性は綺麗」という固定観念に縛られていて、男性には異常なほど潔癖症であるのに対し、女性は美化し神聖化してしまう傾向にある。もしかすると自分がヴィジュアル系に惹かれた理由の一つがそれなのかもしれない。

偶然にも身近にバイセクシャルの女友達がいる。彼女をAちゃんとしよう。Aちゃんには最近とっても気になる女の子がいるらしい。彼女は嬉々としてその意中の女性Bちゃんについて語ってくれた。

初デートの日、待ち合わせ場所の映画館に向かったAちゃん。Bちゃんは既に、Aちゃんが観たがっていた映画の予約からチケットの発券までを済まし現地に現れたらしい。Aちゃんを見て「寒かったでしょう。ごめんね」と声をかけてくれたとのこと。映画を観終えて、最後の晩餐は何を食べたいかという話題で盛り上がっていたところ、Aちゃんが焼肉と答えたら、その日のディナーは焼肉に連れて行ってくれたそうだ。夜遅くなり、Bちゃんが Aちゃんの家の前まで送ってくれて、Aちゃんは部屋に戻った。その5分後、Aちゃんの携帯電話が鳴る。Bちゃんからだったので、Aちゃんが「もうタクシー乗った？」と聞くと、「まだ家の前にいるんだ。5分だけでいい、もう一度家の前まで出てきて」と言われたらしい。驚いてすぐ外に出ると、寒空の下Bちゃんはしばらく黙って目を見つめた後「ハグ！」と言って両手を広げAちゃんを一度だけ抱き締めて、颯爽と帰って行ったそう。
なんなんだ、この少女漫画みたいな展開は…。「ね、ね、すごいでしょう？　こんなの男の人にはできないよ。女の子だから女の子の気持ちがわかるし、ツボがわかるの」とAちゃんは少々興奮気味。確かに、男にはなかなか真似できない芸当だ。もし男が同じ事をやったとしても、キザだとか下心があるとか難癖をつけられるに違いない。余談だが、抱きしめた時のBちゃんは女の子ならではのとてもいい匂いがしたらしい。そして後日したキスはとても柔らかく気持ちがよかったと。女心がわかって、いい匂いがして、気持ちもいい女性…男は間違いなく完敗である。

『Lの世界』というレズビアンにスポットを当てた海外ドラマがある。R-15指定がつくほど性描写が多い作品なのだが、やはり卑猥な感じは全く受けない。そのドラマに、視聴者に絶大な人気を誇るシェーンというキャラクターが出てくるのだが、彼女がまた男顔負けのイケ女なのだ。完璧なルックスに華奢な体。女性ならではの繊細な性格。外見はボーイッシュだが、女性としての色気も十分に備え、全国のレズビアンを虜にしている。2008年に『Lの世界』のDVD発売記念キャンペーンのためにシェーン役のキャサリン・メーニッヒが初来日した際には、空港に関係者の予想を遥かに上回る約1,000人のファンが集まり、急遽到着ロビーが変更されるという混乱が起きたほど。女性の恋愛相手として、男が女性に負けるわけがない！　と思っている人は是非一度『Lの世界』を観てみてほしい。男、負けちゃうかも。

興味深いデータを見つけた。2002年3月から2003年3月までの期間にわたって、12,571人の米国人を対象に行われた面談調査の結果が報告されている。この調査では、様々な事を調べたようなのだが、目を引くのは「女性同士での戯れた経験のある女性が増えている」という調査結果。調査員が回答者に投げかける質問には、「あなたは、これまでにたとえ一度きりでも、同性との性的な行為を体験したことがありますか？」という質問が含まれていて、この質問に対してYESと答えた女性は、18歳から44歳までの年齢層において11.5パーセントに達しているのだ。10年前にも別の機関が同様な調査をしたが、そのときは18歳から59歳までの年齢層の女性のうち、YESと答えた人は、たったの4パーセントだったらしい。さらに、調査対象者の年齢層を10代後半から20代までの範囲に絞り込むと、YESと答えた人の割合は14パーセントに達したのとのことだ。10人に1人を超えている…

昨今、男尊女卑は撤廃され、男女雇用均等法を始めとする様々な女性保護の法律等が制定されることで、女性の地位はぐんと上がってきている。今まで男性しか持ち得なかったプライオリティは、もはやほとんど存在しないといっていいだろう。そして、宗教上の問題を除けば、同性愛への偏見も徐々に少なくなってきているのも事実だ。女性特有の優しさ、思いやり、清潔感、外見の美しさに加え、今まで男性固有のものであった強さや経済力までも手に入れた女性が増えてきているのだ。もはや男性の恋敵は男性のみではないのかもしれない。

そして俺たちが身を置くヴィジュアル系というジャンルは、そのヴィジュアルの美しさが大きな売りであり、特徴だ。だがしかし、どんなに男が美しさを追い求めたところで、女性には足元にも及ばないのだろう。ヴィジュアル系や草食男子といった男らしさと対極にある存在が持て囃されている最近の現象は、実は俺ら男にとっては危険信号なのかもしれない。女性、強敵です。

麺は固め!!

第140回　by 竹入隆行

2010年明けましておめでとうございます。

毎年、年末27日29日30日31日に福岡、大阪、名古屋、東京とライヴ納め的な事をやらせてもらい、くたくたになって（笑）新年を迎えます。めっちゃしんどいんですが、凄い達成感があり良い感じです。そして1月は比較的ゆっくりさせてもらうんですが。今年は1/5に地元大阪で恒例のお正月イベントに呼んでいただき（びっくりする位光栄なんです）年末からつながった感じでお正月からバタバタし[illegible]ります。思った以上に大変ですが（移動とか）なんか、さい[illegible]まりな[illegible]ています[illegible]今年は[illegible]以上に忙しくなりそうです。

ずっと唄い続けさせてもらって来て、年々、周りへの感謝の思いが膨らんできます。自然に人に感謝を出来るようになって、幸せな事ですが、今年はもっと探してでも感謝をしたいと思っています。気づかないうちに人を傷つけたり、支えてもらってたり…まだまだ絶えません。

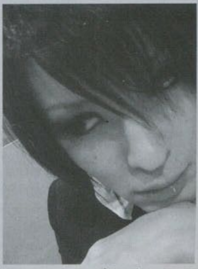
それをもっと減らし、感謝を増やしたいと思います。年をとると多趣味になると言いますが、自分は年々ライヴ以外興味が無くなって来ました（笑）。

1年も短く感じないし（笑）、ほんまに幸せな事です。

今年1年も、心より感謝を込めて日本全国、唄わせていただきます。

どうぞよろしくお願いします。

押忍！



Kain一朗の コライチ

第88回

新年明けましておめでとう御座います。2010年、まだ始まったばかりですが、いかがお過ごしですか？

ごきげんよう。Kainのベース&ダンスなど色々担当、一朗です。

年越しといえば、一昨年の大晦日は渋谷公会堂でのイベントに出演させていただき、とても楽しかったのですが、今年はKainがライヴ活動休止中のため、イベント出演などの予定はなくてさみしかったです。でも年末から始まったKain活動再開に向けてのレコーディングで、ちょうど年末年始がベース録りの時期だったので頑張っていました！この音源がいつ頃、どういう形で発売されるかはまだわかりませんが、今までとは少し違う、よりバンドらしいベースが弾けているのではないかと思うので、ぜひ楽しみにしていてください。

去年のクリスマスイヴには、Kainとは別に幸也さんがピアノやチェロ奏者の方たちとやっているユニット「garimpeiro」のライブを見に、イヴの夜の青山に行ってきました。僕も長年、クリスマスイヴにはライブをしてきたわけですが、この日は珍しく、普段は同じステージに立っている幸也さんをステージの下から見るという機会に遭遇し、色々なことを感じました。しかも、会場の南青山MANDARAは、ステージと客席の距離もそんなに遠くなく、メンバーの表情、手元までよく見えました。と、いうか、僕が近寄りすぎてた?笑

普段、ファンの皆さんから見る視点はこんな感じなのかなあ、とか、あらためて自分はファンの皆さんからどんな風に見えてるんだろう、と考えたりしながら、チェロの青月泰山くん（Moranのライヴにも出演してたよ♪）を中心にアレンジされた「garimpeiro」のメンバーが紡ぎ出す深い音の世界に浸っていました。うーん、なんて僕は贅沢なんだぁ・・って思いましたね。みなさん、いいクリスマスイヴをありがとう。

さて、その「garimpeiro」にも参加している伸作や島ちゃんが所属するバンドであり、僕らと同じTMFレコードの仲間でもある、「all-port diary」が、残念ながら解散が決定してしまい、そのラストライヴの日が近づいています。このバンドは本当に曲が素敵で、僕も大好きな曲が沢山あります。ライヴでこの曲をきいたら絶対に涙してしまうんだ、っていうくらい好きな曲が。。。それらももう聴けなくなってしまうわけで、どうかぜひみなさんにも最後に一度は聴いて欲しいと思っています。

LAST LIVE◇2010年1月30日（土）：吉祥寺Warp

ぜひ僕やTMFレコードの仲間みんなで一緒に行きましょう！そしてあのメンバーがやってきたことをしっかりと見届けよう。

——

さて、今年はどんな年にしようかな。書き初めしなきゃいけないね！

「ROCK STAR」

は、一昨年書いたから、

「・・・（数時間経過）・・・」

あぁ！わからん！どうしよう！「超美的」とか、「殺人的ナルシズム」とか、いっぱい書きたい言葉はあるんやけど、ひとつに絞らないとダメなんだよね??

・・・・

じゃあ、こうしよう。

「愛・復活!!」

これだ。

「なんだソレ!?」って思った君はもう僕の虜さ♪

なーんてね♪ 最後に重要なお知らせをするよ。

2010年2月14日（日）新宿LOFT

Kain活動再開ワンマンGIG決定！

「Flyin' Without My Silvery Wings Again」

開場17：00／開演18：00

前売¥4，000─／当日¥4，500─

チケットは1月17日（日）より発売中！

チケットぴあ（Pコード：345-217）

ローソンチケット（Lコード：71646）

イープラス（http://eplus.jp）

新宿ロフト店頭（03-5272-0382）

にて。

チョコレートたくさん持ってきてね！

アディオス♪

SHOCK WAVE アポロ Vol.35

2010年2月18日(木)高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「東京指定」/THE GLADROW /V-last/我羇道

/dizSolid/COUNTER CLOCKWISE/他

★★★

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪

毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　2月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは絶賛発売中♪詳細は、

音楽専科社 HP

[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]

携帯サイト：音楽せんか？

[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

（問）高田馬場AREA ☎03-3361-1069

SHOXX 2009年8月号増刊　創刊200号　記念特集号

ARTIST'S BOX SELECTION '09

(アーティストボックス・セレクション'09)

"ミュージシャンが作るページ"として、SHOXXでの人気コーナーを丸々この1冊に集約!!連載が終了している幻の連載や、現在連載中の人気コーナーが第1回から全てまとめて読めちゃう。更に過去に掲載された「Mission in ぼっくん」も、まとめてお届け

- ナイトメア『ZOZZY』
- 栬(ナイトメア)『猫ふんじゃった』
- アンティック-珈琲店-『ピーポー君は役立たず』
- 葵(彩冷える)『ヒナタごっこ』
- D'espairsRay『マニアの覗き穴』
- ヴィドール『ヴィドールの美徳doll?』
- マコト(ドレミ團)『月刊少年マコトピア』

A4ワイド判132ページ　定価1,350円(税込)+送料340円

SHOXX 2009年6月号増刊

COLLABOXX Vol.1

(コラボックス)

SHOXXから飛び出したビックリ企画!!　バンドの枠をこえてアーティスト
がコラボする夢の企画!!

- 有村竜太朗(Plastic Tree)×逹瑯(ムック)×みく(アンティック-珈琲店-)
- YUKKE(ムック)×seek(Mix Speaker's,Inc.)
- 逹瑯(ムック)×栬(ナイトメア)
- ギガフレア(仙台貨物)×キュー(アンジェリックカフィー)
- ナカヤマアキラ(Plastic Tree)×潤(ALvino)
- 人格ラヂオ×heidi.
- 他、企画満載!!

A4ワイド判164ページ　定価1,890円(税込)+送料340円

SHOXX2009年5月号増刊

SHOCK WAVE SELECTION 2009

2008年にSHOCK WAVEに掲載された記事からオイシイところをピックアップしたアーカイブ

the GazettE　巻頭36ページ

SHOCK WAVEのNo.8から「紅蓮」リリースインタビュー&フォトセッションを、No.11からルキ・パーソナル特集「穏やかな日常。狂気の感情とのハイコントラスト」を、No.14から「LEECH」と富士急コニファーフォレストで行われた野外ライヴのインタビューを再録

アンティック-珈琲店-　24ページ

SHOCK WAVEのNo.8から2008.1.5 "NYAPPY GO AROUND FEVER" LIVE at C.C.Lemonホールのレポートを、No.13から「夏の思い出」インタビューを No.15から「小悪魔USAGIの恋文とマシンガンe.p.」と横浜赤レンガ倉庫特設ステージで行われた野外ライヴのインタビューを再録

ムック　24ページ／L.M.C　24ページ／D　15ページ
Mix Speaker's, Inc.　15ページ／彩冷える　15ページ

オールカラー　A4ワイド判　定価1,890円(税込)+送料340円

Over The Edge
2008 Edition.1

Plastic Tree／ムック／メリー／LM.C／D'espairsRey
Mix Speaker's, Inc.／ヴィドール／12012／heidi.
ギルガメッシュ／Sadie／Kαin／少女-ロリヰタ-23区／the stu

2008年12月31日に渋谷C.C.レモンホールで行われた一大イベント"Ov The Edge 2008"を丸々この一冊に完全収録!　全14バンドが12時間に て繰り広げた白熱のライヴをパーフェクトリポート!　バックステージでの超 写真やスペシャル・フォト・セッションなど800点以上掲載!　インタビューと面 画も盛り沢山!!

A4ワイド判　116頁　ピンナップ付　定価1,980円 (税込)+送料34

HIDE　無言激

HIDEを愛したあたなに
HIDEと出会ったあなたへ
今、ここにHIDE永遠の閃光を贈る。
1992年に発表された伝説の写真集。

A4判142ページ　定価2,850円(税込)+送料450円
【仕様】A4版　全142ページ
【書籍コード】ISBN978-4-900343-32-0

hide BIBLE《OFFICIAL BOO

今だから語れるhideのすべて!

YOSHIKI・TOSHI・PATA・HEATHソロインタビュー全32ページを始め、hideと関係 深いアーティストや仕事仲間たち【George(LADIESROOM)・J(LUNA SEA)・Kiyoshi(hide with Spread Beaver)・SUGIZO(LUNA SEA)・I.N.A.(hide with Spread Beaver)・木村世治・t.o.L(LEMONedデザインチーム)・杉本圭司(バックステ ジプロジェクト)・山本広子(ヘッドワックス)】によるロングインタビューで今明かされる『hideの真実』全72ページ、さらにミュージシャン・関係者など60名以上の方々からアン ケートに答えてもらった『hideリスペクトコメント』、hideの用語満載の『hide辞典』、カラ 32ページの『hideフォトアルバム』、貴重なARENA37℃の過去の記事を全45ページ 集大成した『hideアーカイブス』、hideの生涯をまとめた『ミニヒストリー』など、見ごた 読みごたえ充実のhide本決定版!

A5判260ページ 定価2,500円(税込)+送料290円

X JAPAN メモリアル・フォトアルバム

伝説のX JAPAN豪華写真集、ここに完全復刻!
15年前、この写真集自体が伝説となった!
YOSHKI・TOSHI・HIDE・PATA・HEATH

X JAPAN初のオフィシャル豪華写真集として1994年春に刊行されるやファンの間に感動の嵐を巻き起こした『X JAPAN Memorial Photo Album』。その後、長い間絶版となっていた伝説の写真集がついに完全復刻!

全80ページに及ぶスタジオでの鮮烈なるフォトセッション+パーソナル・ロングインタビュー! さらに、1993年12月30～31日の東京ドーム公演"新型エックス第一弾 日本直撃カウントダウン"の模様を、全44ページで完全密着取材!、X JAPANの魅力のすべてがこの一冊に集結!

A4ワイド判144ページ　定価3,500円(税込)+送料450円

SHOXX 2008年6月号増

SHOCK WAVE No.10

X JAPAN　表紙+巻頭50ページ

3月28日・29日・30日奇跡の復活ライブat東京ドームをレ ート!　さらに、過去における東京ドーム公演アンソロジーを 加した、全50ページにわたる決定版超大特集!

有村竜太郎(Plastic Tree) 巻末12ページ
ロング・インタビュー
D'ERLANGER　8ページ
Album「the price of being a rose is loneliness」インタビュー
ドレミ團 6ページ／SuG 4ページ
SHOCK WAVE～アポロ～vol.12　3ページ

オールカラーA4ワイド判　定価1,260円(税込)+送料290円

ARENA37℃ 2009年2月号増刊

PS COMPANY 10周年記念公演

Peace&Smile Carnival

at 日本武道館

2009年1月3日に日本武道館にて行われた、PS COMPANY 10周年記念公演「Peace&Smile Carnival」をあますとことなく徹底取材! PS COMPANY所属の全バンドが出演した、1日だけの華麗なる競演をまるごと完全収録!

全アーティスト(雅-miyavi-・Kagrra,・Kra・the GazettE・アリス九號.・SuG・SCREW)の最新撮りおろしフォト、バックステージ密着レポート パーフェクトライブレポート、アフターインタビュー、オリジナル直筆メッセージ

オールカラー　A4ワイド判　定価1,260円(税込)+送料290円

ARENA37℃ 2008年6月号増刊 ライヴ・ドキュメンタリーブック

the GazettE in YOYOG

2008.4.19&20　国立代々木競技場第一体育
"REPEATED COUNTLESS ERROR"をバ
クステージからライヴまでパーフェクトレポート!
2008.4.13 大阪城ホールのライヴもレポートし
収録
さらに、撮り下ろしフォトや、ツアーアフターイン
ビューと盛り沢山な内容
9ヵ月に及ぶロングツアーの集大成がこの一冊に!
オールカラー　A4ワイド判　定価1,260円(税込)+送料290

ARENA37℃ 2009年8月号

the GazettE 表紙+巻頭20ページ

約2年ぶりにリリースされるニューアルバム『DIM』についてインタビュー
パーソナル・インタビュー、ポラ日記の3本立て

東方神起　12ページ

28th Single『Stand by U』について集合インタビュー、ライヴについて
パーソナル・インタビュー

GACKT 10ページ／ジョンフン 10ページ
Acid Black Cherry 6ページ／alice nine 6ページ
Ni~ya(ナイトメア)+ナイトメア・ライヴ 6ページ

A4ワイド判　特別定価930円(税込)+送料140円

ARENA37℃ 2008年11月号

the GazettE 表紙+巻頭20ページ

『LEECH』・『DISTORTED DAYTIME』・『HOLE』の3曲を完全解説す 合インタビュー、"Leech"・"Distorted"・"Daytime"・"Hole"の4つの ワードから連想されることをパーソナル・インタビュー、ポラ日記

UVERworld　8ページ

TAKUYA∞&克哉&真太郎の3人にSingle『儚くも永久のカナシ』についてインタビュー
ジョンフン 8ページ／仙台貨物 6ページ
将+アリス九號. 6ページ／you 6ページ／加藤和樹 6ページ

A4ワイド判 定価880円(税込)+送料140円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合があります(在庫切れ)ので、御了承下さい。

お近くの書店にない場合は書店にご注文いただくか、または直接当社経理部まで定価に送料を加えた金 誌名記入の上 切手代用、現金書留、
または郵便振替(口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社)にてお送り下さい。まとめて2冊以上を 申し の場合は 送料を450円とさせて頂きます
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの店頭でもお支払いできます

宛先　㈱音楽専科社　〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F　TEL.03- 74-020 FAX.03-3574-8548

hudie.com

Mission in ぽっくん
ッション イン ぽっくん

題:書き初めをよろしく!!

ましておめでとうございます。SHOXX誌面上唯一のゆる～いコーナー「Mission in ぽっ、今年もよろしくお願いいたします。2010年1発目のミッションは"創意工夫を凝らした的な書き初めを書いてください"です。しかしこのミッションを遂行してもらっているの誌の進行上12月の上旬。ミュージシャンのみんなは年末のイベントやレコーディングやバタバタ。年内にけりをつけなければいけない仕事を前に、ゆっくり書き初めを書いていじゃなかったんだけれども、そこはSHOXX。無理やりお願いしちゃいました。そしてのハイライトもやはりムックのミヤ画伯でしょう。ステージでの彼のイメージからは想ないこの画風。みなさんも堪能してください。それでは今月も賑々しくスタート!!

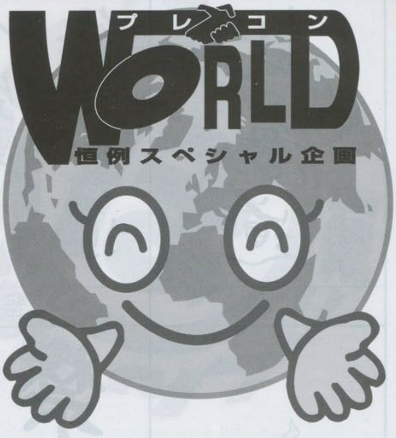
トラ年	太陽 楓弥	鬼笑円満 神楽一志	あけましておめでとう とら	ナンヒロール 43
真 (Kagrra,)	楓弥 (Kagrra,)	一志 (Kagrra,)	ミヤ (ムック)	YOMI (ナイトメア)
阪神 ラメたん番 タイガースの年?	退かぬ 媚びぬ 顧みぬ ギル	2010年 今年は もうデブライ シュン	十周年 白水	新毛
ラメ (ヴィドール)	ギル (ヴィドール)	シュン (ヴィドール)	白水 (Kagrra,)	女雅 (Kagrra,)
	邁進 靖乃	今年こそ毎日走る!	パイラジシュ ちょ	天晴 景夕
	靖乃 (Kra)	結良 (Kra)	舞 (Kra)	景夕 (Kra)

北海道 亨	今年も 総攻撃!!!! 朋	WAKE UP SugaYusuke	今年は酒を飲む 酒井だけに	刻 渉
川内亨 (12012)	塩谷朋之 (12012)	須賀勇介 (12012)	酒井洋明 (12012)	宮脇渉 (12012)
	禁煙 YUKI	TERU 火星人はいるのか?	立入禁止 HIZAKI	天下統一 神威
	YUKI (Versailles)	TERU (Versailles)	HIZAKI (Versailles)	KAMIJO (Versailles)
新年明けましておめでとう。 ガォー	A Happy ♡ ♡ New Year 2010 今年もよろしく! 涼平	あけましておめでとう 2010年 2 Happy New Year	お年玉くれ 亮	ニャー 左迅
Gou (メガマソ)	涼平 (メガマソ)	インザーギ (メガマソ)	ЯYO (ギルガメッシュ)	左迅 (ギルガメッシュ)
あけおめ 2010 ことよろ!!	-2010- 妃 今日の まとい!!	「虎」はつらいよ 伊織	とら JUN	2010.あけました。
纏 (Phantasmagoria)	KISAKI (Phantasmagoria)	伊織 (Phantasmagoria)	JUN (Phantasmagoria)	戮 (Phantasmagoria)

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま～す。欲しい人は149ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F 音楽専科社「ぽっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2010年2月20日(消印有効)です。

蝴蝶网 hudie.com



新年明けましておめでとうございます☆　いや～、明けましたよ。なんか、年末バタバタしすぎていて、年が明けたって感じがしていないぺろちゃんです。まぁ、なにはともあれ、今年もSHOXXとぺろちゃんを宜しくお願いしま～す。てな事で、記念すべき新年一発目の画伯さんは、やはりこの方！ このコーナー常連中の常連（笑）、Plastic Treeの有村画伯です♪

4 LM.C

サイン入りポスターを3名様に
※現物にはサインが入ります。

2 YOMI（ナイトメア）

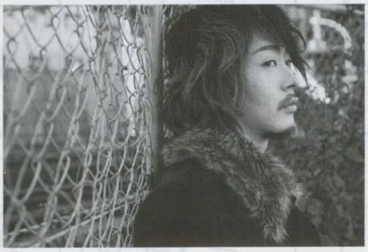
サイン入りフォトを3名様に
※現物にはサインが入ります。

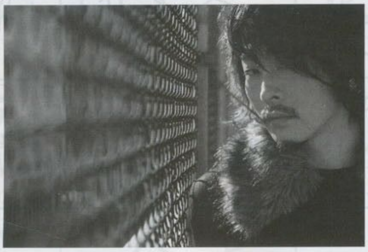
5 ヴィドール

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

3 ミヤ（ムック）

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。





1 カラス

サイン入りフォトを3名様に

⑩ オトガデッド

サイン入りポスターを2名様に

⑧ 揺紗（THE KIDDIE）

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

⑥ ギルガメッシュ

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

⑪ トゥーン工場

a. サイン入りフォトを5名様（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。
b.夢叶のピックを2名様に

b

⑨ アンド

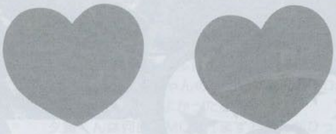
サイン入りポスター5枚セットで3名様に

⑦ Versailles

サイン入りポスターを3名様に
※現物にはサインが入ります。

⑫ アンティック-珈琲店-

1月4日日本武道館公演で使用された
ハート型紙ふぶきを1名様に



イラスト：有村竜太朗
（Plastic Tree）

プレコンWORLDアンケート用紙　VOL.205

住所	〒　TEL（　）				
氏名	フリガナ	年齢		男・女	

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（　　）（　　）（　　）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（　　）（　　）（　　）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P150～151）　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可。
●宛先は〒104-8228　銀座6－2－3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
音楽専科社　SHOXX編集部　プレコンWORLD係まで。
●締め切り：2010年2月20日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①カラス ②the GazettE ③YOMI（ナイトメア） ④The LEGENDARY SIXNINE ⑤彩冷え ⑥アンティック-珈琲店- ⑦ミヤ（ムック） ⑧Plastic Tree ⑨LM.C ⑩Kagrra, ⑪Alice Ni ⑫シュン、ギル&ラメ（ヴィドール） ⑬12012 ⑭ギルガメッシュ ⑮SuG ⑯Versailles ⑰ ⑱D'espairsRay ⑲Phantasmagoria ⑳揺紗（THE KIDDIE） ㉑ViViD ㉒heidi. ㉓K ㉔ドレミ團 ㉕-OZ- ㉖jealkb ㉗DaizyStripper ㉘Aoi ㉙-ZEROdb ㉚SHOCK WAVE ポロ ㉛DOG inTheパラレルワールドオーケストラ ㉜アンド ㉝MIX LEMONed JELL ㉞ヒトツメ ㉟ネガ ㊱VANESSA ㊲R指定 ㊳α:Vout ㊴xTRiPx ㊵ダウナー ㊶Cha System ㊷オトガデッド ㊸己龍 ㊹Mix Speaker's,Inc. ㊺メガマソ ㊻BugLug ㊼トゥーン工場 ㊽アーティストBOX ㊾早耳情報 ㊿Mission in ぼっくん 51ロックンロール日記

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX

輝く夢のヴィジュアル玉手箱
SHOXXからスピンオフ!!

glitter Pop
グリッターポップ
No.2

V系雑誌SHOXXから生まれた徹底的にヴィジュアルにこだわった新メディア『SHOXX glitter Pop』の第二弾堂々完成!!36ページのスペシャルブックとポスター10枚を封入したスペシャル玉手箱の夢のコラボメディア堂々完成!!

売切れ次第発売終了!!

全国書店にて
絶賛発売中!!

なんと!!
特大ポスター
10枚付き!!

ポスター#01
武瑠
ポスター#02
masato
ポスター#03
yuji
ポスター#04
Chiyu
ポスター#05
shinpei
ポスター#06
アンティック-珈琲店-
ポスター#07
彩冷える
ポスター#08
THE KIDDIE
ポスター#09
キャンゼル
ポスター#10
トゥーン工場

SuG
Heavy Positive Rock

最新撮り下ろし特集
Special Front 12Pages Edition

AN CAFE
アンティックー珈琲店ー
オリジナル・フォト・セッション大特集!!

★彩冷える ★THE KIDDIE ★キャンゼル
★トゥーン工場 ★「東京指定」 ★V[NEU]
輝くアーティスト目白押し!!

SHOXX2010年1月号臨時増刊号
雑誌コード04538-1　1,500円(税込)A4ワイド版
本体36ページ　オールカラー　ポスター10枚付き

hudie.com

大島暁美のロックンロール日記

イラスト：AKEMI OHSHIM

2010年、あけましておめでとう！

1月1日から、Bijuマンガblog「Go! Go!! Bijuたん」を始めました。このページでイラストを描き始めてからもう3～4年たつと思うんだけど、へたっぴでも絵を描くのが楽しくて、自分の首を絞めることはわかりつつ、スタートしちゃった（笑）。実は、漫画を描いてくれるというセミプロの人がいたんだけど、実際に描いてもらった試作品を見たらどうしてもイメージと違ってしまって、自分で描くことにしちゃった。仕事の合間に描くのであまり頻繁には更新できないと思うけど、ゆるゆる楽しんでやっていきますので、みなさん、のぞいてみてください。よろしくね～！

http://ameblo.jp/gogobijutan/

×月×日

SUGIZOのライヴを、ステラボールに見に行く。開演10分前に会場に行ったら、まだ客入れしてない。スタッフの人が「昨年は2時間押して、昨日のファンクラブ・ライヴも1時間半押したんです」と話しているのを聞いて、「まぁ、じっくり待つか」と覚悟を決める。

会場の周りには、映画館や水族館、乗り物などがあったのだが、一緒にいたHIZAKI姫がその中にジェットコースターがあるのを見つけて、「乗りましょうよ」と瞳をキラキラ。わたしはグルグル回るものが苦手なので辞退したのだが、スタッフと一緒に嬉しそうにチケットを買ってる。ん～、ライヴの待ち時間も目いっぱい楽しむ姫は、えらいかも（笑）。

終演後の中打ちで、いつになく緊張気味の表情の咲人くんと、遭遇。彼がLUNA SEAに多大な影響を受けていることは有名な話だが、SUGIZOのソロ・ライヴを見に来るのは初めてなんだって。そういえば、何年か前に、某誌で河村隆一×YOMI&咲人という組み合わせの対談をしたことがある。その時は河村隆一を超リスペクトするYOMIくんがメチャクチャ緊張して、かなり挙動不審だったのを見て笑っていた咲人くんだったが、実際にSUGIZOと話をする時にはコッチコチに緊張していた。「YOMIくんのこと笑ってたくせに、自分も同じじゃない」といったら、「そうなんですよ。あの時のYOMIの気持ちが、わかりました」と、いってたよ。でも、目をキラキラさせて、すっごい嬉しそうだったなぁ～。

昔、SUGIZOが大好きだったMORRIE（DEAD END）と初めて会った時とか、yasu（Janne Da Arc）が初めて森重（ZIGGY）に会った時とか、同じ瞳をしていたなぁ～と思ったら、なんだか微笑ましくなったよ。きっと、咲人くんに会ったら、同じ瞳をするミュージシャンがそのうちにあらわれるんだろうねっ！

×月×日

昨年、とんでもなくまずいカムジャタン（韓国のジャガイモ鍋）を食べて、「次は絶対に美味しいのを食べに行こうね！」と誓った耀くんとスタッフ嬢と、リベンジ大作戦。前回は行き当たりばったりで失敗したので、ちゃんとネットで調べて評判のいい店に行った。「これが、本物なんですね。去年とは、全然違います」と、耀くんも満足してくれて、よかった、よかった。その時、彼はUFOキャッチャーで捕獲した猫のぬいぐるみを、お土産に持って来てくれた。生まれてから一度もUFOキャッチャーで景品をとったことのないわたしは、大尊敬！　でも、あんなにカッコいい耀くんが、UFOキャッチャーをやってる姿が……想像できない……（笑）。

×月×日

虎氏の撮影&取材で、六本木のスタジオへ。来年は虎年なので、虎くんのパーソナル・インタビューをやろうという某編集K嬢の安易な（笑）企画である。陰陽師の恰好をした虎くん、カッコよかったよー。ホントにそのまま「式神」とか使えそうな雰囲気。しかも、「来年は虎年なんで、俺の年です。あちこちにひっぱりだこになって、メチャクチャ人気者になる予定です！」と、本気で力説している。思わず、「虎くん、虎年生まれじゃないよね？」と聞いたら、「んなわけ、ないじゃないですか！」と、あの大きな目でにらまれて、一括された。あ～、話のベクトルがずれてました、すいませぬ（笑）。

×月×日

2009年の仕事納めは、SUGIZOくんのインタビュー。通常のリリース・インタビューとは違って、MI JAPANのパンフレット用の取材なので、彼の生き方、ギターや音楽に対する考え方をじっくり聞いた。ん～、内容が濃かったなぁ～。1年の終わりに、エネルギーをもらった感じ。原稿を書くのが楽しみだな♪と思える取材だった。

ステラボールのワンマンの翌日に台湾に行き、ライヴを二日間やって、戻ってきてPV撮影をして、この日に至るというメチャクチャハードな日々を送っているSUGIちゃん。この日もTDを抜け出しての取材だったんだけど、もうしばらく人前に出ることがないので、好物のチョコレートを食べまくってるといってた。（チョコレートを食べ過ぎると肌が荒れるから、ライヴ前は自分で禁止令を出してるんだって）。取材が終わった後、カフェのケーキ・メニューをじっと見つめて、「おいしそうだな、食べようかな」といってる。思わず、「さっき、チョコレートを食べすぎてるっていってなかった？」といったら、「あ、そうだね。スタジオの冷蔵庫にプリンがあるから、いいか」だって（笑）。頭脳労働すると、甘いものが欲しくなるもんね～。昔とは違う意味での「パワフルSUGIちゃん」に会った気がして、嬉しかったな。

×月×日

ニンジャマンジャパンのセカンド・ワンマンを、渋谷BOXXに見に行く。今回は、DVDマガジン「緊急指令！ Bijuを救え!!～How to enjoy Visual-kei～」の発売記念も兼ねていたので、豪華ゲスト陣が総出演。おっきなBijuたんまで登場して、笑いあり、アクションあり、もちろんライヴありの楽しいステージを見せてくれた。

彼らのライヴはニンジャマンジャパンのメンバー＋黒帯衆（本職の役者、アクション俳優）と、普段でも楽屋がごった返しているのだが、この日はゲスト衆も加わって楽屋はすごい華やかだった。終演後は、その大人数が打ち上げの店まで大移動。メンバーは片付け等があるので別移動だったので、わたしはYURA-SAMAとmoftoくんと一緒に歩いて店まで移動した。だけど、途中でmoftoくんがちょっと遅れてしまって、振り返ったら交差点をおっきなカバンを持って、必死に走ってた。その様子がなんだかゼンマイ仕掛けのおもちゃみたいに可愛くて、ついつい笑ってしまったよ。

そんなmoftoくん、ホントにお酒が強い！ YURA-SAMAを誘って、最初からハイボールをいいペースで、グイグイ。メンバーも黒帯衆もライヴの手応えがよかったので、グイグイ。わたしも翌日は忘年会だったのだけれど、明日のことは考えずに、グイグイ。いっぱい飲んでしまったよ。

Bijuマンガblog
「Go! Go!! Bijuたん！」
http://ameblo.jp/gogobijutan/

×月×日

DaizyStripperのライヴを、赤坂BLITZに見に行く。とても勢いのあるステージで、ファン・サービスもてんこ盛り。あれだけいい曲を連発されて、お楽しみもたくさんあったら、来た人はみんな大満足だったんじゃないかな～。アンコールの1曲目に、「MISERY」をやってた。夕霧くんは何も説明しなかったけど、12月13日はhideちゃんの誕生日だもんね。Daizy流のアレンジも、心地よかったな。

夕霧くんは何回もMCで「ますおさんがひっくりかえるようなライヴ」といってて、最初は「最近の漫画かゲームに、そういうキャラがいるのかな」と思ってた。実は、そっちのジャンルには疎くて、ミュージシャンと話してて、しょっちゅう、トンデモ発言をしちゃうんだもの。それで、隣にいた人に「ますおさんってサザエさんのますおさんのことかな？」と尋ねたら「他にいないでしょ！」といわれた。夕霧くん、お茶目だわ（笑）。

☆Visual-kei DVD MAGAZINE Vol.4「V-ROCK SPECIAL」発売決定！

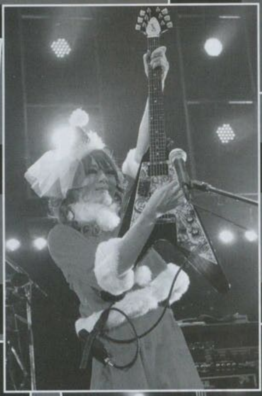
作られているVisual-kei DVD MAGAZINEの待望の4号目が、発売されることとなりました！ 番外編をのぞく3号は、日本国内での流通発売がなく、入手がかなり困難でしたが、今回は番外編に続き、国内海外ともに発売決定！ SHOXXに載ってるバンドばかり10バンド以上参加する予定で、あの日の熱いライヴとインターネット番組用のトークをダイジェストで収録します。ライヴ映像はネット放送やお正月に放映されたBSフジでオンエアされた画像とは、別カメラで収録！

発売は、3月下旬予定。詳細は、来月号のこのページを見てね～！

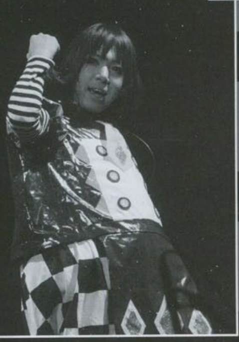
Live at C.C.Lemon Hall 2009.12.23

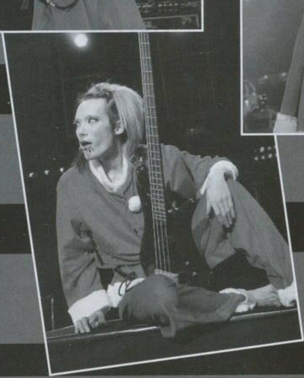
2009年12月23日。彼らは2回目となるC.C.Lemonホールに立った。
2008年4月13日に初めて立った渋谷C.C.Lemonホール。一つの通過点として目標を定めたこの場所に、彼らが再び立ったのは、1年と8ヶ月後のこと。
2009年10月22日の恵比寿リキッドルームを皮切りにスタートした全国15本のワンマンツアーのファイナルでもあったこの日。彼らがこの場所に残したモノとは？　この場所で誓ったこととは？

Photography:MIWA OHYA
Report:NAOKO TAKEICHI



【セットリスト】
1.誘ワク星リズム　2.CRAZY TRAIN A GO! GO!　3.ガムシャLaLa　4.GREEN　5.時代が生み出した悲しきウソのバタフライ　6.続く世界　7.MUSIC STAR　8.僕。三日月　9.AYAソロ　10.YUKIソロ　11.BIG BANG MUSIC! ～青春ウォーカー～　12.PINKY ADVENTURE　13.ロミオのメロディー　14.13JUNP　15.神生Game　16.Crash Clover　17.little star　EN1.My wish［Horror］X'mas　EN2.JUNK STORY　EN3.MONSTIME ～ long Ver ～　EN4.YOU♪愛♪メッセージ





ウサギ列車に乗り込み、宇宙の旅に出たところからストーリーが始まったMix Speaker's,Inc.の2ndストーリー。そんな2ndストーリーのグランドファイナルでもあった2009年12月23日の渋谷C.C.Lemonホールでのライヴは、エンタテイメントなステージを個性とする彼らのこだわりと、このバンドにかける想いの深さを感じたライヴだった。

初めて彼らがこの場所でライヴをしたとき。彼らはアンコールのMCで、SHOW的要素とバンドを融合させたバンドの在り方、見せ方の難しさを痛感し、ここに至るまで、何度も足を止めようとしたことがあったという赤裸裸な胸の内をオーディエンスに打ち明けた。が、しかし、手放しで楽しんでくれていたオーディエンスで埋め尽くされたC.C.Lemonホールの客席の景色は、確実に彼らの力となったのだ。その景色があったからこそ、彼らは再び、このステージに帰ってくることが出来たと言っても過言ではないだろう。あれから1年と8ヶ月。

2009年12月23日。彼らはこの日、全国15本のワンマンツアーのファイナルとして、再びこのハコに帰って来たのだ。『【BIG BANG MUSIC】～線路は続くよどこまでも～』と名付けられたライヴは、メインステージの奥に作られた、上段のステージから、楽器隊が揃って登場するという、意表をつかれたところから始まった。1曲目は「誘ワク星リズム」。YUKIとMIKIがメインステージで歌いだすと、客席一面に咲き乱れたヒマワリがリズムに乗って動き出した。この景色あってこそのライヴ。彼らのライヴの力はここにあると改めて確信した。しかし、どこまでもポップに行き切った景色を、早くも2曲目の「CRAZY TRAIN A GO! GO!」で覆すと、そこからは、一気にロックバンドとしての底力を見せつけてきたのだ。印象的なkeijiのギターをイントロに置いた「GREEN」は、ライヴではすっかり定番曲となっているが、さすが、15本というツアーのラストであると言える迫力を、しっかりと宿した、この日ならではの勢いを感じた1曲となっていた。その後、間髪入れずに届けられた「時代が生み出した悲しきウソのバタフライ」でも、seekがド頭からスラップでまくしたて、MIKIは、この曲のディープな空気感に、身を沈めるように歌を絡めていった。そこから「輝く世界」へと繋がれていったのだが、MIKIが詩を朗読し、その後ろでYUKIが薄らと歌を沿わすという独特の世界観も、実に素晴しい塩梅で届けられたのだった。

なんと言っても、他のバンドには絶対に真似出来ないのはここからだ。彼らはインスト曲「MUSIC STAR」を挟み込み、そこからのライヴの流れをガラリと変えたのだ。2ndストーリーの流れが、スクリーンを使って語り継がれた後、完全打込みのオケで歌われた「僕。三日月」を届けた。バンドのライヴなのに、楽器隊が居ないステージでヴォーカルが歌を歌うとは斬新である。そんな演出からも、彼らがバンドでありながら、サウンドにもしっかりとしたこだわりを持ちながら、エンタテイメント性に深いこだわりを持っていることが伝わってくる。それを証拠に、ここから始まったのは、ソロコーナーを交えた寸劇だったのだ。

ソロと言っても普通のソロである訳がない。なんと、ギターのAYAがヴォーカルのお立ち台に上がり、ヴォーカルであるMIKIとドラマーSをチアリーダー代わりに後[illegible]振り付け付きのド派手曲で盛[illegible]というモノ。まさに。他のバ[illegible]真似出来ない一幕である。

かとおもいきや、寸劇の中の[illegible]リーと絡め、なんと、seekの[illegible]がビデオレターで登場するといった[illegible]も。そして。極めつけは6人全員がマイクを持ち、花道で踊りなが[illegible]ヴォーカルを取る「BIG BANG MU[illegible]春ウォーカー～」で締めくく[illegible]

芸のためならばどこまでも。そんな体当たりなエンタテイナーっぷり[illegible]見せつけられた中盤ブロックを[illegible]壊し、バンド魂を見せつけ[illegible]を半戦にも、度肝を抜かれた。会[illegible]左右に分け、ジャンプ対決に持ち込んだ「13JUMP」をはじめに、「神生Game」「Grash Clover」で、散々会場を熱くした後、彼らは、初日でも本編のラストに選んでいた「little star」を届けたのだった。

そしてアンコール。この一年間、ファンと共に温め続けて来た「You♪愛♪メッセージ」を合唱し、この場所から、もっと大きく羽ばたくことを約束し、2009年の幕を閉じたのだった。

【ライヴスケジュール】●2/10・11大阪RUIDO、2/13・14名古屋[illegible] FITS ALL、2/21・22渋谷-WEST、7/3日比谷野外大音楽堂
(問)Mix Speaker's,Inc.　東京都港区北青山2-12-28 青山(SEIZAN)ビル2F　☎03-3475-7420(平日11:00～19:00)

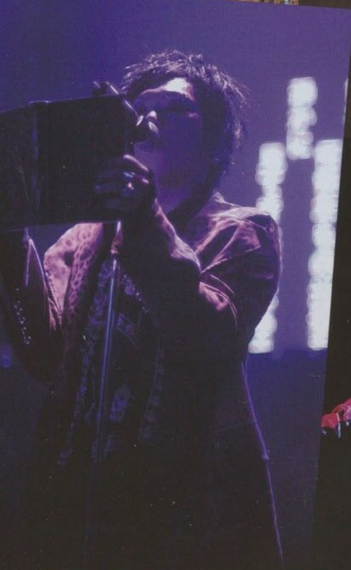
蝴蝶网
hudie.com

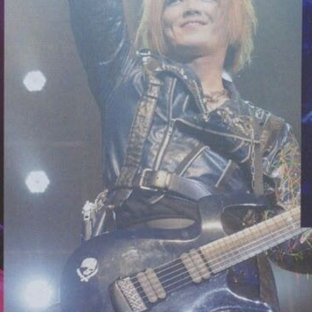
蝴蝶网
hudie.com

Mix Speaker's,Inc.

ミックススピーカーズインク

2nd Story GRAND FINALE [BIG BANG MUSIC!] ～線路は続くよどこまでも～





“切なさ＝メガマソ基準”がここに完成。

蝴蝶网
hudie.com

2010年新春。最新シングル『MEMORIES』リリース！

で考えたのは、どんなことでした?

涼平：前作の『chimes』からメガマソを知った人に、ああいう路線じゃない曲もあるんだよっていうのがわかるのが一番大事かなって思ってました。「chimes」とは違う雰囲気があって、でも「chimes」と同じで切ない部分を押し出したくて。切なくて、メガマソのロックな部分が一番色濃く出てる曲を選びました。

―「MEMORIES」は、切ないっていう言葉がぴったりな曲ですよね。

涼平：基本的にどの曲も切なさは出したいなと思ってるんです。歌詞のテーマが別に恋愛じゃなくても、聴いたときに胸がキュンとなる気持ちが、メロディーとかにあったらなって。

―ただ、切なさはあるんですけど、涼平君が言うようにロックな部分もあって。

涼平：テンポ的にはメガマソの曲としては遅いんですけど、そのわりには疾走感とか軽やかな感じが出てますね。

インザーギ：ギターも刻んでるし、ベースもすごい疾走感のある動きをしてるし。

Gou：落ち着いてる感じの曲調じゃないですか。そこでロック感をどう出そうかなって考えて、フレーズとかリズムでメガマソのロックを出せたらいいなって。それが上手く出たかなと思ってます。

―歌はどんな風に歌おうと?

インザーギ：女の子の歌詞なんで、女の子に忠実に擦り寄った感じの歌い方と、ちょっと中性的な感じと、歌詞は女の子目線なんですけど男の歌い方と、っていうのがあったんですけど、それのいいとこ取りをした歌い方をしてますね。

―歌詞は、女の子の切ない恋愛感情を歌ってますね。

涼平：『MEMORIES』っていうタイトルは、3曲通じて、記憶だとか思い出をテーマにしたくてつけたんです。「MEMORIES」は一番入り口になりやすいように恋愛の歌詞にして。「sweet change」はインザーギが作詞作曲なんですけど、インザーギから見たメンバーとファンとの記憶で、「クンクタトル乱舞」は僕らがファンの子とこれから作って行く、まだ出来てない記憶がテーマになってます。

―男性の立場としては、こんな風に女の子から思われるとぐっと来そう?

と来ます（照笑）。二人はどうなの?

インザーギ：可哀そうになって来ちゃうよ。抱きしめたくなっちゃいますよね。

涼平：そうか。なら、まんまと術中にハマってるよ。

インザーギ：これ、計算だったらね（苦笑）。

―それ、怖い女の子ですね（苦笑）。

涼平：Gouちゃんは?

Gou：いや、全然。

―Gou君、クールです。女の子が聴いたら、すごく感情移入しそうですけど。

涼平：でも、これって男にもある感情だって、僕は書きながら思っていて。男の子が聴いても共感できるんじゃないかな。

Gou：深層心理としてあるよね。

インザーギ：本当に好きになっちゃったときに、こうなる男の子はたくさんいると思う。

涼平：誰か好きになったときは、誰でもわかる気持ちですよね。

―ぜひたくさんの人に聴いて感じてもらいたいですね。カップリングの「sweet change」は、インザーギ君の曲です。

インザーギ：切なさっていうのは僕も好きなんで、そういう曲を作りたいなって思って作りました。

―この曲は、やっぱりベースソロがポイントですよね。

涼平：アレンジした時点で、ベースソロを入れようかなって思って。

Gou：それでやってみますって感じでやったんですけど、大変でした（苦笑）。今までにない感じのベースソロになったなって思います。すごい勉強になったし、こういうアプローチの仕方もあるんだなって思いましたね。

涼平：曲を聴いたときの印象が、浮遊感がある感じだったので、ベースソロでそこをさらに足したらなと思って。なので、ちょっと空間系のエフェクターがかかって、フワフワした感じになってます。

―ギターに関しては?

涼平：アレンジを任せてもらったんで、僕の手癖をまんま出してます。作詞作曲がインザーギだから、そうやってもまんねりにならずに行けたのかなって。

―歌い方はまた違いますよね。

インザーギ：こっちは男っぽい感じの歌い方で。歌は最初から頭の中で出来上がってしたね。歌詞の世界観とかは曲の後に出来たんですけど、これはデビューしてからすぐにレコーディングしたんで、そのときの率直な気持ちが入ってますね。今まで培ったファンとの想いだとか、メンバーとの想いだとか、そういうのを詰め込んでみました。今までやって来たことの回想じゃないですけど、これからもっともっと強くなって行こうねっていう。

僕は好きです！　僕だったらぐっと来ます!!

1月27日に、メジャー2ndシングルとなる『MEMORIES』をリリースするメガマソ。メンバー自らジャケットにもこだわった3タイプは、見どころ十分なDVDやメガマソ色の濃いところを押し出した曲などが加わり、各々見逃せない内容になっているだけに、3枚コンプリートは必至? 3月からは全国ツアーも決定、ファイナルは4月6日の渋谷AXと、2010年の活動にますます期待したい。

Interveiw:MIYUKI MURAYAMA
Photograghy:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Hair & Make-Up:KANAKO FURUHASHI

涼平：記憶（MEMORIES）から、いい方向に変わる（change）ってことだよね。

―この2曲にプラスDVDなどが付いて、3タイプ発売されるんですよね。

涼平：AタイプがPV付きで、Bタイプにはライヴ映像が付きます。

―PVのシックな映像からも、切なさが伝わって来ますね。

涼平：ジャケットもそうなんですけど、前作が白っぽいイメージだったんで、シックな中にビビッドな3人がいるっていうのを強く押し出したかったんです。ジャケットのアートワークも凝ってるんで、見てほしいですね。そういうことも僕らが積極的にこだわって作ることで、アートワークがグッズとして揃えたくなるようなものにしたいなって、今回からすごい思って関わりましたね。

―DVDの見どころは?

インザーギ：ライヴでしか見せないメンバーの表情もあるし、ライヴの雰囲気がわかると思います。

Gou：Aタイプに付く、メイキング映像がかなりボリューミーなんで、これを観たらね、メンバーの印象が変わるね。

涼平：素が出てます（笑）。

Gou：面白いですよ。真面目に撮ってるPVとのギャップを楽しんで下さい。

―それは楽しみです（笑）。通常盤では、もう一曲「クンクタトル乱舞」が収録されますが、不思議なタイトルですね。

涼平：ラテン語で、のろまとかぐずっていう意味ですね。

―涼平君らしい言葉使いですが、他の2曲とは違うものをって考えたんですか。

涼平：それはもちろんあったし、1、2曲目に関しては、僕らも意識して、新しく入る人にも聴きやすくて、今までのファンにも楽しい曲なんだけど、3曲目は、いうのもありかなって思って。

インザーギ：裏メガマソみたいな。

涼平：そうそう。ある意味、ライヴに来たら表なんだけど、音源だけ聴くと、こんなのあるんだって思うと思う。僕らとしては得意分野と言うか、いつもやってることなんですけど。ライヴだとモッシュとかになるのかな。左右移動とかもありそうだね、テンポ的には。

―結構激しいノリになりそうですよね。

涼平：インザーギとかも結構あおりまくる曲になりそうだし。うちの場合、激しい曲でも、メロディックなところは残すっていうのがテーマとしてあって、これもサビはメロディアスにしてますね。Gouちゃんとか何も考えないで弾いたんじゃない?

Gou：そんなことはないけど（苦笑）、ノリで弾いた曲です。重さを大事に激しく。

涼平：僕は何も考えてないですね。ボーっとしてても思いつくようなフレーズで。

―歌も自由に歌った感じ?

インザーギ：歌詞の主人公になり切って、暗い部分を抜け出したい、負の力を一気に解き放つような歌い方をしてます。だから、ほぼ一発ですね。

―のろまとかぐずっていう、この言葉はどこから?

涼平：古代ローマにいたハンニバルっていう強い将軍を追い詰めたファギウスっていう人のあだながクンクタトルだったんです。そういうあだなをつけられて、最初はバカにされてたんですけど、それが称号になるんです。だから、僕らにとっても、そういう言葉が称号になればなって思って。ファンの子と一緒にじっくり熟成していくのもありじゃないって。

―なるほど。さて、今後の活動としては、3月にはツアーも決まっていますね。

涼平：ライヴをがんがんやって行って、全国のファンを増やしたいなって。ライヴを観たら、好きになってもらえる自信があるから。アルバムも作り始めてるんで、アルバムを引っ提げて回ります。

―ファイナルは渋谷AXです。

インザーギ：久しぶりなんで、そこでどれだけ見せられるか、楽しみですね。

Gou：ひたすら頑張るだけです。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

フラストレーションに満ちた1st作『SUPER NOVA』完成!!

聴くたびに新しい発見が

蝴蝶网
hudie.com

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

**先月号本誌にて全貌が明らかになったニュー・バンド=BugLug(バグラグ)が、1stミニ・アルバム『SUPER NOVA
1月27日にリリースする。ここに至るまでに彼らが感じたフラストレーションをフル爆発させたというこの作
BugLugへの期待感はますます高まるばかり。未知なる"超力"を秘めたBugLug、新時代の起爆剤となるか!?**

一聖：BugLugとして、"初めましての1枚"になるので、曲を作っている段階から、"前に出よう、前に出よう"というアグレッシヴさは意識していました。ただ、それは4人で話し合ったわけでもなくて、自然とみんながそういうモードになっていたんです。だから、コンセプトに沿ったと言うよりは、自然とこういう作品になった印象がありますね。

優：今回は、バラードとかは違うだろう…というのがあって。作ろうとすらしなかった（笑）。ギターに関しては、ギターの在り方をすごく考えました。このバンドは同期を多用するので、どこまでギターのダビングを少なくするかを考える必要があって。今回は、基本的に1本で弾けるギターを意識しました。

一樹：1枚目ということもあったし、衣装のヴィジョンも明確だったので、派手にいこうと思って。今回は、それぞれの曲の個性を、より際立たせるギター・アプローチを採りました。

燕：「SUPER NOVA」は、個性的な曲が揃っているので、ベースも楽曲重視でいきました。ベーシストとしての個性をアピールするよりも楽曲のカラーを強調したほうが、いい結果を生むなと思ったので。いろんなスタイルを見せられてよかったし、中でも「Dream Rush」は、いいベースが弾けたかなと思います。この曲は、最初にデモを聴いたのが、みんなでカラオケ屋に行って選曲会的なことをした時だったんです（笑）。

一同：そうそう（笑）。

燕：場所がなくて、カラオケ屋ならCDが流せるよね…ということで（笑）。一聖が作ってきたこの曲のデモを流した時に、これはすごくいいと思って。その時点で、弾きたいベースのフレーズも浮かんできたんです。それくらい気に入って、メンバーに"この曲は、絶対やろうぜ！"とゴリ押しました（笑）。

一聖：これは、すごくピュアな曲ですよね。本当に正直で、"純潔"みたいな感じで。それを意識して作ったわけじゃないんですけど、自然とポップな曲が出て来たので、そのままストレートに作りました。そこに、どういうメッセージを与えようか考えてて。本当にピュアな曲だな…というところから、大人になるにつれて大事なものを失ってきたかもしれないなと感じて。そう思って過去を振り返ってみると、幼かった頃はすごくピュアで。そういう時の自分からのメッセー[illegible]

優：俺は、印象に残っている曲を挙げるとしたら「Mr.アリゲイター」ですね。この曲は、悪ふざけの延長みたいな要素も活かしてて。三味線の音とか和太鼓の音、お囃子の鐘の音も入っているんです（笑）。大丈夫かなと思ったけど、いっちゃえ！みたいな感じで（笑）。でも、正解だったなと思っています。

一聖：イントロとかのギター・メロディがあるじゃないですか。あれは、ドリフターズの「8時だョ！全員集合」の舞台転換の時のイメージだったんです（笑）。そういうところから作っていって、形になった時に、エスニックな感じを受けて。[illegible]

いですか。"パクッ"と食べられて終わり…みたいな（笑）。それで、アホっぽいメロディと、弱肉強食の滑稽な世界が結びついて、「Mr.アリゲイター」という曲になったんです。

一樹：俺が印象に残っているのは、「Y×Y×M×E」かな。デモの段階から、サビ・パートのオーケストラみたいなヴォーカル・アレンジも見えてて。すごく面白いし、新しいなと思って。それに、この曲のギターは、全編気に入っています。特にいいなと思うのは、サビですね。自己満足的なギターを弾いているんですけど（笑）。最初に浮かんだものが、そのまま[illegible]

ングは結構手こずったんですけど。でも、そのフレーズじゃないと納得できないので、頑張りました。

優：実際、この曲を作るにあたっていちばん意識したのは、サビ・パートでした。コーラスの掛け合いみたいなアイディアは最初からあって、デモテープにも女の人の声を入れていたんです。女性コーラスがあって、その後に一聖の声が入ってくるパターンがいいなと。それが完璧な形で仕上がって満足しています。

燕：この曲は、もうノリノリでレコーディングしました（笑）。さり気なくスラップをしたり、ヒップホップっぽいパートでハイ・フレットのフレーズを入れたりしていますけど、全体的にベースはシンプルですね。ライヴの時に、細かいことを考えないで、ノリノリで弾きたいというのもあったので（笑）。

一聖：この曲の歌詞に関しては、自分をプロモーションしようというのがあって。人間というのは、多面体じゃないですか。いろんな自分がいて、まだ見たことのない自分が絶対にいると思うんです。そういう自分を引き出すことをテーマにして、すごくバカ正直に書きました。それに、あちこちで韻を踏んでるんですよね。それが、ダジャレじゃないですけど、アホっぽい響きになったらいいなというのがあって。

——ヒップホップっぽい乗りがカッコいいです。一聖さんは、印象に残っている曲を挙げるとしたら？

一聖：僕は、インストの「超新星～2010 A Space Odyssey～」と…

一同：オオッ！　まさかのSEか（笑）。

一聖：いや、この曲は、かなりこだわったから（笑）。"SUPER NOVA"というテーマがあったので、世界の幕開けを思わせるものにしたいなと思って、いろいろ手を掛けて作っていって。それに、その後ろに、心臓の音が入っているんです。"BugLug"と言ってるじゃないですか。誰も気づいてくれないんですけど（笑）。そういう、誰にも気づいてもらえない頑張りがある曲なので（笑）。もう1曲は、「[AB] Cosmic」です。この曲は、サビで"ABC"というコーラスがあるんですけど、カッコいい言葉なんていくらでもある中で、敢えて"ABC"でいいでしょう、みたいな（笑）。作りながら、"ABC"でもカッコよくなるんだと思って。原題は"コズミック"だったんですけど、それこそタイトルも"ABC"で[illegible]

描いてる世界は、いかれた宇宙だったり、宇宙戦争だったりするので。"アブノーマル"という言葉があるように、"アブ"が付くことで"異常"という意味になるじゃないですか。そういうところから、"AB"を付けたんです。それに、歌詞を縦に読むと"オッ？"という言葉が入っていることが分かるので。それも楽しんでもらえれば……と思います。

——やりますね。「SUPER NOVA」は、BugLugのスタートを飾るに相応しいアルバムになりました。

一樹：勢いのある曲に絞ったうえで、多彩さを出すことが出来てよかったです。聴き始めたら一気に惹き込まれて一瞬で終わる、みたいな。そういうアルバムを作れたことに満足しています。

優：あっという間に終わる感じのアルバムですけど、隠し要素がいっぱい入っているので。聴くたびに新しい発見があることも楽しんでもらえると思います。あとは、ここに至るまでに俺たちが感じたフラストレーションを爆発させた勢いも入ってて。レコーディング中は、"レコーディングが初めてでもないのに、何で俺こんなに頑張ってガッツ弾いちゃってるんだろう？"と思うことが多くて（笑）。キャリアのあるメンバーが揃ったバンドでいながら、熱さや新鮮さも出すことが出来たので。1枚目としては、すごくいいアルバムだと思っています。

燕：「SUPER NOVA」は、BugLugというものが詰まった1枚です。このバンドがやりたいことやメッセージが、1枚で伝えきれているアルバムなので。だから、聴き流さずに細かく聴いてほしいですね。音と歌詞をしっかり味わいながら聴いてもらうと、いろんな情景が浮かんできて楽しめると思います。

一聖：優も言ったように、このアルバムにはフラストレーションとかも詰まってて。このアルバムを作ることでスッキリしたというか、出しきれた感じがありますね。今は、やりたいことをやれた充実感が、すごくあって。歌詞にしても、プレイのアプローチにしても、いろんなものが入っているし、"これから、どうなっていくんだ？"という期待感も感じてもらえると思います。それに、出しきったことで空っぽになるんじゃなくて、逆にやりたいことがまたいくつも出てきた。「SUPER NOVA」を聴いてもらいつつ、これから先のBugLugも楽しみにしてて欲しいです。

【ライヴ・スケジュール】3月6日・渋谷クラブasia（無料ワンマン）。　http://buglug.jp/

雫

ひかる。

蝴蝶网
hudie.com

Year of attack

蛹から蝶へと…今、羽ばたかん

2009年。結成1年の新人バンド・トゥーン工場は、とにかく我武者らに、自分たちの出来ることをやった1年だったように思う。本人達も"充実した1年だった"と感じているように、まさに、この1年は地固めの年だったと言っても過言ではない。しかし、スタートはここから。彼らが、本格的に動きだし、多くの人に、トゥーン工場の名前を知ってもらい、その実力を認めてもらうのは、2010年である。スタートラインに立った彼らに、今の想いを訊いてみました。

Photography:MASAKAZU KOBAYASH（SHOXX）
Interview:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:CHIYO TAKAHASHI

―まさに。2009年はトゥーン工場にとって、目新しいことばかりの1年だったんじゃない？ 2009年は何から始まった1年だった？

夢叶：2月のレコーディングかな？

雫：ツアーの方が先じゃなかった？

レガ：違うよ！ 1月は、正式にドラムを入れようってことで、必死にドラマー探しをしてたんだよ。

一同：そうだそうだ！

―あまりにも馴染んでて、ゆーいちが加入したことを忘れてた（笑）？

ひかる。：はい（笑）。すっかり忘れてました。ずっと昔から居てくれてる感じがしてるので（笑）。

レガ：でも、そう思えたのも、事務所の社長が、とにかく、このメンバーでツアーに行って来いってアドバイスくれて、まずツアーに行ったんですよ。

夢叶：そのツアーがあったおかげで、すごく打ち解けれたというか、ずっと昔から一緒にバンドやってたみたいな感覚になって。やっぱり、社長は、実際にバンドを経験してる人なんで、分かってるんだなって思いましたね。

ひかる。：そう。急激に仲良くなったもんね、あのツアーから。すごいなって思いましたね。

ゆーいち：俺、最初、雫のこと怖かったっすからね、まったく喋んないから（笑）。この子、俺のこと嫌いなんじゃないかな？って（笑）。

雫：んなことないっすよ！

―雫は、ひとつのことに夢中になると、喋り方忘れちゃうんだよね。一番最初にインタビューしたときもそうだった。自分の紙コップに絵を描くのに夢中になってて、インタビューをまったく聞いてなかったっていうね……。ま、その紙コップは、その号の読者プレゼントになってたけど…。

ひかる。：あははは。そうでしたよね！ ホント、自由人なんですいません（笑）。

レガ：でも、今思うと不思議なんですよね。ゆーいちくんとは、運命的だったんじゃないかなって思うんですよ。ゆーいちくんと出逢う前にも、いろんなドラマーの人と会って、音合わせしたりしてたんですけど、なんかしっくりこなくて。でも、ゆーいちくんは、会って5秒くらいに、こっちも、ゆーいちくんも、〝一緒にやろう！〟って即決したんですよ。

ゆーいち：俺、2年くらいずっと正式メンバーになれるバンド探しながらサポートでドラム叩いてたんですよ。正直、もう見つかんないのかなって諦めかけてた時に、トゥーン工場を知り合いに紹介されて。なんか、〝ここだ！ ここしかない！〟そう思ったんですよね。瞬間的に。まだ一緒に音を出す前くらいの勢いでしたからね。一緒にスタジオ入って、ちょっろっと合わせただけで、ライヴも音源も、ちゃんと聴いたことも見たこともない状態で、本当にインスピレーションだけで決めた感じだったんです。

レガ：運命だなって思ったんですよ。

ゆーいち：だってね、初めてみんなに会った日、3回歯磨きして、ファンデーション塗ってたんだもん。第一印象大事だなと思ったんで、おめかししてったんですよ、俺。

一同：（爆笑）。

―おめかしも良かったんだろうね（笑）。2009年はいろんな経験をした年だったと思うけど、この1年で変化したこととかあった？

夢叶：はい。2ヶ月連続リリースがあったりしたおかげで、僕はすごく曲作りに意欲的になりましたね。必要な機材とかを買いそろえて、とにかく楽曲作りに専念した1年でもありました。

レガ：それまでは雫が中心に曲作りをしてたんですけど、夢叶くんが曲を作るようになって、振り幅が広がったんじゃないかなって思いますね。

ひかる。：そこの変化って大きかったと思いますね、バンド的には。

雫：老けたっすね。

一同：（爆笑）。

―そうそう1年じゃ老けないから……。

雫：老けたっすよ！ でも、まぁ、老けた方がいいこともあったりしませんか？

―たしかにね、深みのある音を出せたり、唄に説得力が出たり、とかね。

雫：そうっすそうっす。

ひかる。：あ、でも僕、それはすごく感じてますね。ハタチになったこともあって、これからは、説得力のある歌詞と唄を歌えるようになっていけたらいいなって思っているんで、いい老け方したいです。

夢叶：でも、そういう意味では、若いうちにしといた方がいい経験というか、

ゆーぃち

レガ

夢叶

蝴蝶网
hudie.com

トゥーン工場

失敗も2009年はいっぱいあったから、それを、今年、しっかりと自分たちのモノにしていけたらいいなと思ってますね。

雫：そうだね。なんか、本当にいろんなことがありすぎて、1年がアッというまだったんですよ。生まれてからいままでで一番早く過ぎた1年だったっすもん。正直、ツアーも去年は3本やったんですけど、最初の頃はとにかく我武者らだけだったんすけど、だんだん分かってきたっていうか。いろんなことのバランスが分かってきたって感じっすね。あと、いろんな面で体力付いたっすね。

レガ：まだまだだと思うんですよ、長くやってるバンドさんから比べたら。でも、自分たちなりのペースで、いろんなことが分かってきてる感じがしますね。

ゆーぃち：俺は新たに加入したってこともあって、とにかく馴染むことに頑張った1年でしたね。やっぱ、バンドが変わるとここまで違うんだなって思ったというか。本当に0から初めた1年でしたからね、去年は。そういう意味で、2010年は、自分的にも、その努力がどう花開くか、すごく楽しみなんです。

——なるほどね。さっき、事務所の社長が、〃2010年の前半で、2009年の結果が出る。いや、そこまでに出さないと、もう後はないっていう気持ちでやらんとアカン〃って、言ってたけど。

レガ：はい。本当にそう思ってますね。俺、こういう話すると、すぐお腹痛くなってくるんですよ。プレッシャーに弱いタイプなんで（苦笑）。これ、ちっちゃい頃からなんです……。

——あははは。でも、そういうプレッシャーも感じていかなくちゃいけない1年でもあると思うからね、2010年は。

ゆーぃち：たしかに。2009年はとにかく何をやっても楽しい1年でしたからね。ここから先は、頑張って、2009年に経験したことを実らせていかなくちゃいけない年になってくると思ってますね。そのためには、やっぱり、いくつかのプレッシャーを乗り越えていかなくちゃダメだと思うし。2010年は試煉の年かなと。

レガ：でも、本当にそうですよね。こうやってSHOXXに載せてもらったり出来るのも、本当に幸せなことで、感謝しつつ、それに応えていけるバンドになっていかなくちゃなって思っているんです。ガッカリさせないようにな、中身のあるバンドになっていかなくちゃいけないなって思っているんで、そうなれるように、2010年は頑張りたいと思います！　個人的には、まだまだ、安定したライヴをすることが出来ないんですよ。緊張したり、なんかノレなかったり、自分の気持ちばっかり先走っちゃったり……。そういうことがなくなるように、個人的にも、バンド的にも、成長していけたらいいなと思いますね。

夢叶：僕もそう思います。そのためには、いっぱい努力して、いっぱい失敗して、まずは自分のスキルを上げることを目標に、バンド全体の実力を上げていけたらいいなと思ってます！

——夢叶はまだまだギターキッズ的な存在で居たらいいんじゃない？

夢叶：気持ち的にはギターキッズ的な好奇心は持っていたいと思うんですけど、やっぱりお客さんからお金を貰ってライヴしているんで、それだけじゃダメだと思うんですよ。そういう、好奇心旺盛なところは忘れず、ギターキッズに憧れられるようなギタリストになっていけるように頑張りたいと思います！

——お。頼もしい。雫は？

雫：2010年は、空気感を大事にしたいですね。匂いを大事にしたいなと。2010年だけに、2・0・1（匂い）重視でいこうかなと。

——2010の0は何処行ったの？

雫：そういう細かいこと言わないの！　でね。みんなが言うように、実力を付けていくのももちろん大事だと思ってるんですが、そのバンドにしかない空気感や匂いって、すごい大事だと思うんですよ。なので、2010年は、2・0・1（匂い）重視でいこうと思います！

ひかる。：あはははは。いいこと言ったのか、どうなのか微妙ですけど……（笑）。僕的にはですね、さっきもちょっと言いましたけど、いい老け方が出来るように頑張りたいと思ってます。主催イベントや、プチファンクラブも発足させて、バンドの活動を強化させていくので、ぜひぜひ、楽しみにしていて下さい！

【ライヴスケジュール】●2周年記念2ヶ月連続ワンマン「Innocent world」4/25池袋BlackHole、「a limited night」5/9渋谷TAKE OFF7（「CLUB a Factory」限定）●主催イベント「〜Brand New Wind〜」2/17高田馬場AREA、3/26高田馬場AREA●1/24渋谷Crest、1/26渋谷BOXX、2/13高田馬場AREA、3/18高田馬場AREA●1stミニアルバム発売決定!!『Innocent』3月17日リリース
（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102 http://www.toonfactory.jp/

little HEARTS. ON LINE STORE OPEN!!

little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。 http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。
◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

0th anniversary 記念グッズ

ナイトメア
スカジャン Tシャツ

クローズ×ナイトメア
presented by BLACK PEACE NOW

スカジャン
サイズ：S、M、L ￥14,800
Tシャツ
サイズ：メンズM、レディースM ￥4,200
店舗、通信販売でご購入頂けます。

little HEARTS. にて
絶賛発売中!!

hudie.com

PICKUP ARTIST

SKULL

1月31日
MINI ALBUM
ナチュラルボーンキラー

大注目バンド!!

ttle HEARTS. オリジナル
豪華特典付き！！
CDをお買上の方に
インストアイベントの
ケットを差し上げます。

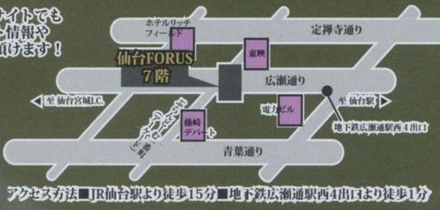
INSTORE EVENT REPORT

ACTWEED

12月18日ACTWEEDのインストアイベントが開催されました！
対象商品「Rosary」について、レコーディングの裏話を含めて披露して頂きました。
お客様からの質問コーナーでは、隣のメンバーを褒めて下さい!!との質問もあり、褒められたはずのメンバーさんが「ん？」とゆう表情をされていたのが印象的でした(笑)。
トークも終盤に入ると、ここでサプライズが!!
ある方からビデオレターが届いているとの事!!
もちろんメンバーさんも知らないサプライズ・・・
皆さん、ビデオレターに釘付け・・・
ツッコんでおられました!!(笑)
どなたからのビデオレターだったのか・・・
2回目のACTWEEDインストアイベントでした。
3回目、4回目・・・とお待ちしておりますね♪

月25日(月)vistlip 17:00〜 トーク&握手&サイン会&カメラタイム
月31日(日)SKULL 15:30〜 トーク&握手&サイン会
月17日(水) Sadie 18:00〜 トーク&握手&サイン会
月22日(月)平成維新 18:00〜 トーク&握手会&クイズ大会
月25日(木)己龍 18:00〜 トーク&握手会
月18日(日)Dacco 15:00〜 トーク&握手会

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます！



アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

little HEARTS.

ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】

http://littlehearts.jp

〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3 11
仙台フォーラス7 F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休

little HEARTS.

蝴蝶网
hudie.com

1/20 SKULL
MINI ALBUM
「ナチュラルボーンキラー」
¥2,100

1/27 彩冷える -ayabie-
ALBUM
「彩 -irodori-」
初回生産限定盤 A/B
(CD＋DVD) 各￥3,500
通常盤 (CD+ 写真集)￥2,800

1/27 3/10 己龍
ALBUM
「明鏡止水」
初回プレス限定
¥3,675
LIVE DVD
「龍驤虎視〜二〇〇九年十三月七日渋谷オーウエスト単独公演〜」
￥4,980

1/20 Versailles
ALBUM
「JUBILEE」
初回限定盤（豪華パッケージ/DVD 付）¥3,500
通常盤 ¥3,500

1/20 R 指定
SINGLE
「拝啓、薔薇色な日々よ」
¥1,575

1/20 ベルベット
SINGLE
「悩殺スパンコォル·バグ」
¥1,260

1/20 VANESSA
SINGLE
「プリミティブ・マイ・マインド」
¥1,575

1/27 Synside
SINGLE
「THE CORE -subconsciousness-」
￥1,575

1/27 Decola Hopping
DVD
「fair' smovie」
〜えほんの世界へようこそ!!〜
￥1,575

1/27 シンディケイト
SINGLE
「濱 NIGHT☆CITYBOY」
TYPE-A/TYPE-B
各 ¥1,365

1/27 BugLug
MINI ALBUM
「SUPER NOVA」
初回盤 ¥2,940
通常盤 ¥2,520

1/27 ValettA
SINGLE
「性欲ヘルパー」
¥1,575

2/3 chariots
ALBUM
「package」
初回盤￥4,200
通常盤￥3,150

2/3 xTRiPx
SINGLE
「Innovation [re]isM」
￥2,100

2/10 LuLu
SINGLE
「ウィルス」
¥1,260

2/10 SOMATIC GURADIAN
SINGLE
「桜モノクローム」
TYPE-A/TYPE-B
各 ¥1,575

2/17 【_vani;lla】
SINGLE
「蟻集」
¥2,100

2/17 メガマソ
SINGLE
初回盤 A¥1,890
初回盤 B¥1,680
通常盤 ¥1,050

2/22 GizeL
SINGLE
「夢食い記念日」
¥2,100

2/24 オトガデッド
SINGLE
「Asterisk」
￥1,800

3/3 NoGoD
BEST ALBUM
「INDIES BEST SELECTION 2005-2009」
¥3,800

3/3 東京ミカエル。
SINGLE
「ハピネス」
初回盤￥1,890
通常盤￥1,260

3/24 Lycaon
ALBUM
「Loyal Order」
初回限定盤 ¥3,300
通常盤 ¥3,000

3/10 ダウト
ALBUM
「CANIVAL 浮世〜大」
TYPE-A/TYPE-B
各￥3,675
TYPE-C¥3,150

3/10 アンド
SINGLE
「煉獄」
TYPE-A/TYPE-B
各￥1,890

3/24 4/4 「東京指定」
SINGLE
「DJ PLAYER」
¥1,890
SINGLE
「One w
星に願い
feat.LU
¥1,890

銀座よろず屋本店 仮想店舗『柿ノ元』

■地下線福袋
※CD・DVD・グッズ等２万円以上封入[特典]KISAKI ＆ 戮新年コメント CD
¥3,500【UCP-1】

■地下線Ｔシャツ（M）
¥3,000【UCP-2】
■地下線Ｔシャツ（L）
¥3,000【UCP-3】

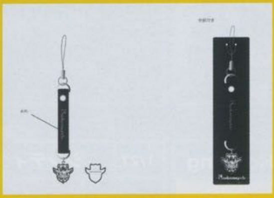
表　裏

■地下線御守り　¥1,000【UCP-4】

最新写真セット A ¥1,500【UP-115】

最新写真セット B ¥1,500【UP-116】

最新写真セット C ¥1,500【UP-117】



■ Phantasmagoria ストラップ
¥1,500【UP-122】

Phantasmagoria

最新写真セット OFF-1 ¥1,500【UP-118】

最新写真セット OFF-2 ¥1,500【UP-120】

最新写真セット OFF-3 ¥1,500【UP-121】

■ Phantasmagoria
アルミミラー
¥1,000【UP-123】

■ Phantasmagoria リストバンド
¥1,000【UP-124】

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック !! http://www.under-code.jp/

neu

シュシュ
000【LNE-2】
チェキ (メンバー選択可)
ウ／タクミ／華遊／ヒィロ／Reo
000【LNE-3】

RMATION】〒153-0064　東京都目黒区下目黒 2-23-7 日栄ビル３階
社 LOOPASH　ホームページ→ http://www.loopash.com/

Natsuki
Aki
Tama
Nao
Zukki

OZ

■マキシシングル「wisteria」
(直筆サイン入り) 2/24 発売 /CD+DVD
¥2,100【LOZ-24】
■チェキ (メンバー選択可)
(Natsuki/Aki/Tama/Nao/Zukki)
¥1,000【LOZ-25】

nudie.com

蝴蝶网
hudie.com

UnsraW

㊙ポラロイド(1 枚)
¥500【SUN-6】

写真 9-A ¥1,000【SUN-5】

ストラップ
¥1,000【SUN-2】

ダウト

シュシュ
¥1,000
【SDO-23】

ストラップ(白)
¥1,200【SDO-24】
ストラップ(黒)
¥1,200【SDO-25】

NightingeiL

失敗の僕 / 成功の君 (会場限定 CD)
¥1,000【SNI-4】

写真 9-A ¥1,000【SNI-9】

写真 11-A ¥1,000【SNI-10】

Ap(r)il

メンバー全員入りチェキ
¥2,000【SAP-3】

写真 11-A
¥1,000【SAP-9】

写真 11-B
¥1,000【SAP-10】

Administrator

ライター
2 個セット(白・黒)
¥800【SAD-2】

集合チェキ
¥500【SAD-6】

写真 1-A
¥1,000【SAD-5】

R 指定

タオル ¥2,000【SRS-5】

写真 9-A
¥1,500【SRS-1】

写真 1-A
¥1,500【SRS-4】

Speed-disk

※ 注意事項
・バックナンバーの受け付けは終了となりました。
・今月号のグッズの締めきりは 2/21 到着分までとさせていただきます。

● SPEEDDISK のイベント
★ SPEEDDISKPRESENTS『桜華乱舞』
・2/3(水) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast:VANESSA / NightingeiL / amber gris / Zip.er / 東京ミカエル。/ Virgil 他

・2/4(木) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：Administrator/R 指定 /SLOD/spiv states / トゥーン工場 / DOGinThe パラレルワールドオーケストラ /DragonWAPPPPPPER

★ E.L.L&SPEED DISK PRESENTS ～『森羅万象 in MID SIDE』
・2/15(月) 名古屋 E.L.L
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：ダウト /Ap(r)il
Guest：愛狂います。/ アンド /THE KIDDIE/Virgil

・2/16(火) 名古屋 E.L.L
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：UnsraW/R 指定
Guest：アヲイ /Wizard/Sel'm/DEATHGAZE/born

・2/17(水) 名古屋 E.L.L
OPEN 18:30/START 19:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Guest：人格ラヂオ /DuelJewel

・2/19(金) 名古屋 E.L.L
OPEN 16:00/START 16:30 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：Administrator
Guest:ALiBi/Zip.er / ジュリエット / ダウナー /DOGinThe パラレルワールドオーケストラ /HERO/Lycaon

・2/20(土) 名古屋 E.L.L
OPEN 16:00/START 16:30 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：VANESSA
Guest:CPS/ シリアル⇔ NUMBER/SKULL/SEX-ANDROID/「東京指定」/ 東京ミカエル。/【_Vani;lla】

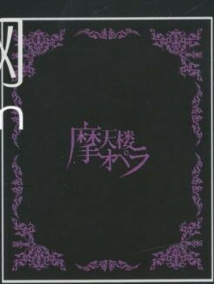
・2/21(日) 名古屋 E.L.L
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：NightingeiL
Guest：amber gris/Dali/DecoLa Hopping/xTRiPx /【_Vani;lla】/ boogieman

★ SPEED DISK PRESENTS『Around30』
・2/25 渋谷 O-EAST
OPEN 16:00/START 16:30 前売り ¥4,000/¥4,500
Cast: アンド /SCREW/ シリアル⇔ NUMBER/ ダウト / 点々・伶希・規明 /DuelJewel/
少女 - ロリヰタ -23 区@セッション(臨時 Vo. リョヲ丞 /Gu. 龍兎 / Gu. ユ≠キ /Ba& 物販 . ココエ <ex- キナルラ >/Dr.BAN)

SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい。
http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

蝴蝶网
hudie.com

摩天楼オペラ

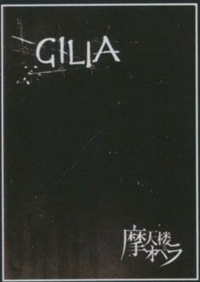


■ミラー ¥1,500 [SAS-OP-MR01]

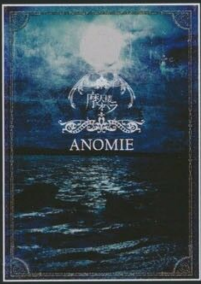
■PHOTO SET A ¥1,000 [SASPIX-121]

■PHOTO SET B ¥1,000 [SASPIX-122]

■PHOTO SET C ¥1,000 [SASPIX-123]



■GILIA パンフレット
¥2,000 [SAS-OP-PH01]



■ANOMIE パンフレット
¥2,500 [SAS-OP-PH02]

Hi·BRiD

■タオル ¥1,500 [FHI-4]

■タンバリン
¥1,000 [FHI-6]

■ミラー
¥1,000 [FHI-3]

■携帯ストラップ ¥1,500 [FHI-5]

marder suitcase

D'ESPAIRSRAY

■10周年記念パンフレット
¥4,200 [DR-1]

62ページ・10周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、
ンバー個人対談あり。
会場限定のポストカードはついておりません。
通販は数に限りがございます。

トゥーン工場

■PHOTO SET A ¥1,000 [WSG-3]

■PHOTO SET B ¥1,000 [WSG-4]

■マフラータオル【ブラック】
¥1,600 [WSG-1]

■マフラータオル【ピンク】
¥1,600 [WSG-2]

■申し込み方法
商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料700円を下記口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入ください。

■郵便振替番号　00180-9-603494
■金額欄　定価に送料を加えた金額をご記入ください。(複数種お申し込みの方は定価の合計金額＋送料700円をご記入ください)
■加入者名　株式会社　音楽専科社

■通信欄　柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社　音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL03-3574-0203　FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
Live Schedule
01.26(tue) 渋谷 RUIDO K2
02.01(mon) 高田馬場 AREA
02.10(wed) 高田馬場 AREA
02.14(sun) 浦和 NARCISS
1st maxi single Release決定！
historical scars
近日詳細発表。
historical scars
DSCD-001
instrumentalを含む4曲入りmaxi single
http://dizsolid.com/
強襲開始!!!
1ヶ月限定無料配布音源
After the Pain
1Songs
01.01から1ヵ月間限定で会場及び、ライカエジソン東京店にて配布中。
1.16(sat) 浦和 NARCISS
配布終了
1.20(wed) 高田馬場 AREA
配布終了
1.26(tue) 渋谷 RUIDO K2
dizSolid

2010.02.01(mon) 高田馬場 AREA

dizSolid 活動記念初主催 EVENT

『BREATH OF THE CATASTROPHE Vol,01』

【OPEN/START】16:00 / 16:30　　【ADV/DAY】¥2,500 / ¥3,000(D 別)

エゴ is≒徒 / NaiL / SeVIlenS / 『7191...』 / BALLY /

Le☆Chasseur ～ルシャスール～ Vo.jouei(as.milk, 閃-4-AIM)、Gt.KAT(ex.DROWNING)、Gt.hisui(as.milk)、Ba. 汰麗、(ex. シリアル⇔NUMBER)、Dr.YUJI(as.milk)

『エトピリカ』Vo.Kuroudo、Gt.Σ、Gt. 未定、Ba. 空、Dr. 樹

■来場者全員に BOOTLEG DVD 【 Swallowtail 】無料配布■

主催 EVENT のチケット購入は dizSolid の物販席、またはチケット予約フォーム〈dizsolid@live.jp〉からお求め下さい。

SOS
Dali
MAXI-SILGLE 2010.4.07 2TYPE Release!!
「トリコロールクロール」
詳しくはホームページで 変態 繊細 検索
未発表新曲全3曲入 完全限定盤 PRODUCED - KISAKI (UNDER CODE PRODUCTION)
TYPE A DVD 「ヨルノハテ」(PROMOTION CLIP) 付 二枚組仕様 (価格2,100円)
TYPE B ボーナストラック 「タイハイヤクニタタズ」(未発表新曲) 収録 (価格1,890円)
INSTORE
4.24(土) ライカエジソン大阪店 14:00~【問】tel.06-6252-6262
4.29(祝) ライカエジソン名古屋店 18:00~【問】tel.052-229-8211
4.30(金) ライカエジソン東京店 18:00~【問】tel.03-3369-3119
5.02(日) 自主盤倶楽部 15:00~【問】tel.03-3371-3851
5.02(日) 池袋BRAND X 19:00~【問】tel.03-3980-6780
OFFICIAL HP通信販売 W購入特典 (発送4.01~) : SPECIAL DVD (メッセージ+2曲入SPECIAL DVD -Dali復活ワンマン公演「色彩感覚コントラスト」at 2010.1.11 心斎橋FANJ-twice-)
CD発売記念 東京&大阪 主催公演決定!!「パルスプラス4アカデミーズ」
1 2010.4.10(土) 池袋RUIDO-K3
出演 Dali/シンディケイト/ホワイトコール24 Fenrir/Cu[be]/ヴァルナ Envus/ミサルカ
2 2010.4.11(日) 池袋RUIDO-K3
出演 Dali/ALSDEAD/PIECElang VAJRA/Fenrir/0801弐209336 Ha;qch./α:Vout
3 2010.4.24(土) 心斎橋FANJ-twice
出演 Dali/パノラマ虚構ゼノン/Cu[be]/Envus Fenrir/code No.Ⅵ/Dear L'Novel [Rem]/愛飴羅/Vallquar-ワルキューレ-
4 2010.4.25(日) 心斎橋FANJ-twice
出演 Dali/シンディケイト/Synside/アイギス Ends∞Infunity/鬼畜一家/PIECElang Crux Rod/リゼルグ/Marie
RUIDO K3 詳細
開場/16:00 開演/16:30 前売/3,000円(drink代別途) 【問】池袋RUIDO-K3 (tel.03-5944-8851)
2010年2月13日(土)よりライカエジソン東京店 (tel.03-3369-3708・発売日初日は電話予約のみ)
ローソンチケット (tel.0570-084-003) にて発売。バンド予約有り!!
4.10&11両日共Daliで入場の方に東京限定プレゼントあり!!
FANJ twice 詳細
開場/15:30 開演/16:00 前売/3,000円(drink代別途) 【問】心斎橋FANJ-twice (tel.06-6484-3880)
2010年2月13日(土)よりライカエジソン大阪店 (tel.06-6252-6262・発売日初日は電話予約のみ)
チケットぴあ (tel.0570-02-9999) にて発売。バンド予約有り!!
4.24&25両日共Daliで入場の方に大阪限定プレゼントあり!!
SOS
EVENT
1.26(火) 渋谷O-WEST 【問】CITTA WORKS (tel.03-5456-4888)
2.23(火) 名古屋ハートランド 【問】名古屋ハートランド (tel.052-202-1351)
2.25(木) HOLIDAY SHINJUKU 【問】HOLIDAY SHINJUKU (tel.03-5292-0591)
2.28(日) 心斎橋FANJ-twice 【問】FANJ-twice (tel.06-6484-3880)
3.13(土) OSAKA MUSE 【問】OSAKA MUSE (tel.06-6245-5389)
3.14(日) ESAKA MUSE (セッション出演) 【問】ESAKA MUSE (tel.06-6387-0203)
3.24(水) 大阪BIG CAT 【問】BIG CAT (tel.06-6258-5008)
3.30(火) 原宿アストロホール 【問】アストロホール (tel.03-3402-3089)
4.03(土) 名古屋ハートランド 【問】名古屋ハートランド (tel.052-202-1351)
4.04(日) OSAKA MUSE 【問】OSAKA MUSE (tel.06-6245-5389)
5.01(土) 渋谷LIVE HALL aube shibuya 【問】渋谷aube (tel.03-5459-2896)
※ 追加スケジュールは随時OFFICIAL SITEにて発表!!
UNDER CODE PRODUCTION
株式会社UNDER CODE PRODUCTION
http://www.under-code.jp
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

現メンバーラストリリース&東名阪ワンマンツアー!!

SELECTION ALBUM 2010.3.10 2TYPE Release!!

「Oblivious」

トレーディングカード1種類封入(全6種類)

現在入手不可能音源含む全10曲入　完全限定盤　PRODUCED by KISAKI (UNDER CODE PRODUCTION)

豪華盤 **SPECIAL DVD付二枚組仕様!!** (価格3,990円・税込)
多数のライブを収録した40分以上収録のLIVE DVD (全て未発表映像)

通常盤 **ボーナストラック「Oblivious」**(未発表新曲) 収録!!
(価格3,150円・税込)

OFFICIAL HP通信販売 W購入特典
SPECIAL DVD (発送3.01〜)
現メンバーラストメッセージ+「Mythlogical of Delusion -Second Day-」2009.11.13 池袋CYBERライブ映像収録

INSTORE
3.23 (火) ライカエジソン名古屋店 18:00〜 【問】tel.052-229-8211
3.26 (金) ライカエジソン大阪店 18:00〜 【問】tel.06-6252-6262
3.27 (土) 自主盤倶楽部 13:00〜 【問】tel.03-3371-3851
3.27 (土) 池袋BRAND X 19:00〜 【問】tel.03-3980-6780
3.28 (日) ライカエジソン東京店 18:00〜 【問】tel.03-3369-3119

Megaromania CD発売記念東名阪ワンマン公演!!「Oblivious of farewell」

2010.3.24 (水) -名古屋-HOLIDAY NAGOYA

開場/18:00　開演/19:00　前売/3,000円 (drink代別途)　【問】HOLIDAY NAGOYA (tel.052-249-2161)
先行発売 2010年1月30日 (土)「Dark profound thought」新宿RUIDO K4公演終了後以降物販席にて販売。(整理番号1〜100先着順に販売/お一人様4枚まで)
一般発売 2010年2月06日 (土) よりチケットぴあ (tel.0570-02-9999)、CD HOLIDAY NAGOYA店頭 (tel.052-259-2075) にて発売。バンド予約有り!!

2010.3.25 (木) -大阪-HOLIDAY OSAKA

開場/18:00　開演/19:00　前売/3,000円 (drink代別途)　【問】HOLIDAY OSAKA (tel.06-6362-5288)
先行発売 2010年1月30日 (土)「Dark profound thought」新宿RUIDO K4公演終了後以降物販席にて販売。(整理番号1〜100先着順に販売/お一人様4枚まで)
一般発売 2010年2月06日 (土) よりチケットぴあ (tel.0570-02-9999)、HOLIDAY CD OSAKA (tel.06-6364-6072) にて発売。バンド予約有り!!

2010.3.31 (水) -東京-SHIBUYA BOXX

開場/18:00　開演/19:00　前売/3,000円 (drink代別途)　【問】チッタワークス (tel.03-5456-4888)
無料配布 **御来場者全員に当日のライブDVDを後日プレゼント!!**
(来場者のクレジット入り。詳しくは当日折り込みフライヤーをご確認下さい)
先行発売 2010年1月30日 (土)「Dark profound thought」新宿RUIDO K4公演終了後以降物販席にて販売。(整理番号1〜100先着順に販売/お一人様4枚まで)
一般発売 2010年2月06日 (土) よりチケットぴあ (tel.0570-02-9999)、ローソンチケット (tel.0570-084-003) ライカエジソン東京店 (tel.03-3369-3708・発売日初日は電話予約のみ) にて発売。バンド予約有り!!

UNDER CODE PRODUCTION PRESENTS
-Formation of 3 pieces-「Dark profound thought」 **2010.1.30 (土) 新宿RUIDO K4**
開場/17:00　開演/18:00　価格3,000円 (drink代別途)　【問】新宿RUIDO K4 (tel.03-5292-5125)
チケットはローソンチケット (tel.0570-084-003)、ライカエジソン東京店 (tel.03-3369-3708) にて発売中。バンド予約有り!!
出演・Megaromania/ALSDEAD/SaTaN

Megaromania東名阪主催イベント「美醜の館-the spell of mystery-」

Megaromaniaでご入場の方にプレゼント有り!!

2010.2.26 (金) 高田馬場AREA
開場/16:00　開演/17:00　価格3,000円 (drink代別途)
【問】高田馬場AREA (tel.03-3361-1069)
チケットはライカエジソン東京店 (tel.03-3369-3708) ローソンチケット (tel.0570-084-003) AREA (tel.03-3361-1069) にて発売中。バンド予約有り!!
出演 Megaromania/chariots (ゲスト) 平成維新/カル・ヴァリ/Administrator Hi:BRiD/シンディケイト/D'LORE

2010.2.27 (土) 名古屋HEART LAND
開場/15:00　開演/16:00　価格3,000円 (drink代別途)
【問】HEART LAND (tel.052-202-1351)
チケットはチケットぴあ (tel.0570-02-9999)、ローソンチケット (tel.0570-00-0403)、ライカエジソン名古屋店 (tel.052-229-8211) にて発売。バンド予約有り!!
出演 Megaromania/Lycaon (ゲスト) E'm〜grief〜/PANIC☆ch/Art Cube VAJRA/RivaSquall/MoNoLith Schwein/BAELSCOPE

2010.2.28 (日) 心斎橋FANJ-twice
開場/15:30　開演/16:00　価格/3,000円 (drink代別途)
【問】心斎橋FANJ-twice (tel.06-6484-3880)
チケットはチケットぴあ (tel.0570-02-9999) ライカエジソン大阪店 (tel.06-6252-6262) にて発売。バンド予約有り!!
出演 Megaromania/Dali (ゲスト) E'm〜grief〜/Art Cube RivaSquall/PANIC☆ch VAJRA/MoNoLith/Schwein

EVENT
1.17 (日) HOLIDAY NAGOYA 【問】HOLIDAY NAGOYA (tel.052-249-2161)
3.13 (土) OSAKA MUSE 【問】OSAKA MUSE (tel.06-6245-5389)
3.14 (日) ESAKA MUSE (セッション出演) 【問】ESAKA MUSE (tel.06-6387-0203)

UNDER CODE PRODUCTION
株式会社UNDER CODE PRODUCTION
〒553-0005 大阪市福島区野田2-7-2 3F
http://www.under-code.jp

蝴蝶网
hudie.com

Request of GIANIZM 天魔覆滅 the Tour

4.13 [tue] 中京大学文化市民会館オーロラホール
OPEN 17:30/START 18:30 info. サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

4.15 [thu] Zepp Fukuoka
OPEN 17:30/START 18:30 info. キョードー西日本 092-714-0159

4.21 [wed] Zepp Sapporo
OPEN 17:30/START 18:30 info.WESS 011-614-9999

4.27 [tue] 大阪国際会議場メインホール
OPEN 17:30/START 18:30 info. キョードーチケットセンター 06-7732-8888

4.29 [thu] 東京国際フォーラム ホール A
OPEN 17:00/START 18:00 info. ディスクガレージ 03-5436-9600

【チケット料金】全席指定：¥5,500（tax in）<Zepp Fukuoka・Zepp Sapporo> 1F スタンディング：¥5,500（tax in）2F 指定席：¥5,500（tax in）※ドリンク代別途
【一般発売日】3月6日（土）※3歳以上有料、3歳未満入場不可

NIGHTMARE 10th anniversary Album

GIANIZM
〜ジャイアニズム〜

IN STORES NOW

【初回限定盤】CD+DVD

10周年記念豪華封入特典!!

- ■スペシャルケース
- ■B2サイズ特大両面ポスター
- ■トレカ5種セット(A type)
- ■豪華特典(計5種)が更にもらえる応募券
- ■ジャイアニズムシリーズ10曲収録DVD
- ■10周年スペシャルクーポン券

VPCC-80646 ¥4,800（tax in）

更に…2010年運試し！ キラキラカードが封入されているかも!?

【通常盤】CD ONLY

10周年記念豪華封入特典!!

- ■写真満載36Pブックレット
- ■トレカ5種セット(B type)
- ■豪華特典(計5種)が更にもらえる応募券
- ■10周年スペシャルクーポン券

VPCC-81654 ¥3,200（tax in）

更に…2010年運試し！メンバー直筆サインが書いてあるかも!?

CD収録曲:01.自傷(少年テロリスト) 02.ジャイアニズム痛〜生涯皆殺し〜 03.ジャイアニズム惨 04.ジャイアニズム死 05.ジャイアニズム誤 06.ジャイアニズム碌 07.ジャイアニズム叱 08.ジャイアニズム調 09.ジャイアニズム究 10.ジャイアニズム天

Nightmare Official website [http://www.nightmare-web.com/] Nightmare Official mobilesite [http://m.nightmare-web.com/] http://www.vap.co.jp/ vap

NIGHTMARE

Printed in Japan
雑誌04537-03
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社
4910045370302
00933